

基本計画書

基本計画																																					
事項		記入欄						備考																													
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更																																			
フリガナ設置者		ガッコウホウジン トウホウダイガク 学校法人 東邦大学																																			
フリガナ大学の名称		トウホウダイガク 東邦大学																																			
大学本部の位置		東京都大田区大森西五丁目21番16号																																			
大学の目的		医学、看護学、薬学及び理学に関する学術の理解および応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与するとともに有為の人材を育成する。																																			
新設学部等の目的		薬剤師の地域偏在ならびに病院薬剤師の不足を解消することを目的とし、病院への就職者数を10年前の水準に回復させ、さらには薬剤師不足が指摘されている地域からの入学者を増やすために本学薬学部現在の入学定員220名、収容定員1,320名から入学定員245名、収容定員1,470名へ変更する申請を行う。																																			
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	医学医学科の入学定員は令和5年度までの臨時定員増（令和4年10月認可）であり、令和6年度における収容定員は697名である。 <table><tr><td>(人)</td><td>入学定員</td><td>収容定員</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>120</td><td>695</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>122</td><td>702</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>110</td><td>697</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>110</td><td>692</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>110</td><td>687</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>110</td><td>682</td></tr><tr><td>令和10年度</td><td>110</td><td>672</td></tr><tr><td>令和11年度</td><td>110</td><td>660</td></tr></table>	(人)	入学定員	収容定員	令和4年度	120	695	令和5年度	122	702	令和6年度	110	697	令和7年度	110	692	令和8年度	110	687	令和9年度	110	682	令和10年度	110	672	令和11年度	110	660
	(人)	入学定員	収容定員																																		
	令和4年度	120	695																																		
	令和5年度	122	702																																		
	令和6年度	110	697																																		
	令和7年度	110	692																																		
	令和8年度	110	687																																		
	令和9年度	110	682																																		
	令和10年度	110	672																																		
	令和11年度	110	660																																		
	医学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次																													
	医学科	6	110	-	697	学士（医学）	医学関係	昭和27年4月 第1年次	東京都大田区大森 西五丁目21番16号																												
	薬学部																																				
	薬学科	6	245	-	1,470	学士（薬学）	薬学関係	令和6年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号																												
			(220)		(1,320)																																
理学部																																					
生物学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	昭和25年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号																													
化学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	昭和25年4月 第1年次	同上																													
生物分子科学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上																													
物理学科	4	70	-	280	学士（理学）	理学関係	昭和57年4月 第1年次	同上																													
情報科学科	4	100	-	400	学士（理学）	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上																													
生命圏環境科学科	4	60	-	240	学士（理学）	理学関係	平成17年4月 第1年次	同上																													
看護学部																																					
看護学科	4	102	-	408	学士（看護学）	保健衛生学関係	平成23年4月 第1年次	東京都大田区大森 西五丁目21番16号																													
健康科学部																																					
看護学科	4	60	-	240	学士（看護学）	保健衛生学関係	平成29年4月 第1年次	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号																													
	計		987		4,695																																
			(962)		(4,545)																																
同一設置者内における変更（定員の移行、名称の変更等）		該当なし																																			
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数																														
		講義	演習	実験・実習	計																																
	-	- 科目	- 科目	- 科目	- 科目	- 単位																															

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)
		教授	准教授	講師	助教	計		
新	医学部 医学科	96 (96)	37 (37)	26 (26)	10 (10)	169 (169)	0 (0)	490 (490)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	96 (96)	37 (37)	26 (26)	10 (10)	169 (169)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 105人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	96 (96)	37 (37)	26 (26)	10 (10)	169 (169)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	96 (96)	37 (37)	26 (26)	10 (10)	169 (169)		
	薬学部 薬学科	24 (24)	11 (11)	25 (25)	9 (9)	69 (69)	0 (0)	2 (2)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	24 (24)	11 (11)	25 (25)	9 (9)	69 (69)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 27人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	24 (24)	11 (11)	25 (25)	9 (9)	69 (69)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	24 (24)	11 (11)	25 (25)	9 (9)	69 (69)		
	理学部 生物学科	4 (4)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	1 (1)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	14 (14)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	4 (4)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	14 (14)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	4 (4)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	14 (14)		
	理学部 化学科	6 (6)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	0 (0)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	16 (16)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	6 (6)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	16 (16)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	6 (6)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	16 (16)		
	理学部 生物分子科学科	8 (8)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	0 (0)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）	8 (8)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）	8 (8)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)		

設

設	理学部 物理学科						8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計（a～b）	8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計（a～d）	8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)								
	理学部 情報科学科						10 (10)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 7人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10 (10)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	20 (20)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計（a～b）	10 (10)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	20 (20)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	計（a～d）	10 (10)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	20 (20)								
	理学部 生命環境科学科						6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)								
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	小計（a～b）	6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)								
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
計（a～d）	6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)									
看護学部 看護学科						11 (11)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	27 (27)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 10人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	21 (21)									
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計（a～b）	11 (11)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	21 (21)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計（a～d）	11 (11)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	21 (21)									
健康科学部 看護学科						7 (7)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	13 (13)	4 (4)	9 (9)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 9人	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	13 (13)									
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
小計（a～b）	7 (7)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	13 (13)									
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
計（a～d）	7 (7)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	13 (13)									
計						180 (180)	95 (95)	68 (68)	20 (20)	363 (363)	4 (4)	— —		
分														

分

既設	理学部教養科		6 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	5 (5)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 一人
	設	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
		b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
		小計（a～b）	6 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
		c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
		d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
		計（a～d）	6 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (9)			
	分	計	6 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	— (—)	
	合 計		186 (186)	97 (97)	69 (69)	20 (20)	372 (372)	4 (4)	0 (0)	
	職 種		専 属		その他		計		校舎敷地 (借用) 須佐知行 1,014.87㎡ S47.3.1～	
事 務 職 員	338 (338)		105 (105)		443 (443)					
	2,711 (2,711)		126 (126)		2,837 (2,837)					
	17 (17)		10 (10)		27 (27)					
	22 (22)		70 (70)		92 (92)					
	0 (0)		13 (13)		13 (13)					
	計		3,088 (3,088)		324 (324)		3,412 (3,412)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			校舎敷地 (借用) 須佐知行 1,014.87㎡ S47.3.1～
	校 舎 敷 地	154,617.36 ㎡	0 ㎡		0 ㎡		154,617.36 ㎡			
	そ の 他	161,501.21 ㎡	0 ㎡		0 ㎡		161,501.21 ㎡			
	合 計	316,118.57 ㎡	0 ㎡		0 ㎡		316,118.57 ㎡			
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
		115,433.14 ㎡ (115,433.14 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)		0 ㎡ (0 ㎡)		115,433.14 ㎡ (115,433.14 ㎡)			
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	191 室		教 員 研 究 室		512 室		大学全体	
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		機械・器具 点		大学全体		
		電子図書 〔うち外国書〕冊		電子ジャーナル 〔うち外国書〕種		標本 点				
	大学全体	431,733 [155,268] (431,733 [155,268])	3,135 [559] (3,135 [559])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,417 [8,684] (10,417 [8,684])		22,737 (22,737)		0 (0)	
	計	431,733 [155,268] (431,733 [155,268])	3,135 [559] (3,135 [559])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,417 [8,684] (10,417 [8,684])	22,737 (22,737)	0 (0)			
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体		
		0 ㎡		8,315.58 ㎡		11,680.23 ㎡				

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	大学全体																												
		教員 1 人当り研究費等		305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。																												
		共同研究費等		66,975千円	66,975千円	66,975千円	66,975千円	66,975千円	66,975千円																													
		図 書 購 入 費	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円																													
		設 備 購 入 費	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円																													
	学生 1 人当り納付金			第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次																													
	医学部			4,800千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円																													
	薬学部			2,230千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円																													
	理学部			1,632千円	1,562千円	1,562千円	1,562千円	－ 千円	－ 千円																													
	看護学部			2,400千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	－ 千円	－ 千円																													
健康科学部			1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	－ 千円	－ 千円																														
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入等																																			
既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称		東邦大学																																			
	学 部 等 の 名 称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収 容 定 員 充 足 率	開設年度	所 在 地																												
			年	人	年次人	人		倍																														
	医学部										平成27年度 医学部医学科入学定員増（5人） （地域枠：令和3年度まで） 令和4年度 医学部医学科入学定員増（10人） （地域枠：令和4年度まで） 令和5年度 医学部医学科入学定員増（12人） （地域枠：令和5年度まで）																											
	医学科		6	122	－	702	学士（医学）	0.99	昭和27年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号	<table><tr><td></td><td>入学定員</td><td>収容定員</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>120</td><td>695</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>122</td><td>702</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>110</td><td>697</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>110</td><td>692</td></tr><tr><td>令和8年度</td><td>110</td><td>687</td></tr><tr><td>令和9年度</td><td>110</td><td>682</td></tr><tr><td>令和10年度</td><td>110</td><td>672</td></tr><tr><td>令和11年度</td><td>110</td><td>660</td></tr></table>		入学定員	収容定員	令和4年度	120	695	令和5年度	122	702	令和6年度	110	697	令和7年度	110	692	令和8年度	110	687	令和9年度	110	682	令和10年度	110	672	令和11年度	110	660
		入学定員	収容定員																																			
	令和4年度	120	695																																			
	令和5年度	122	702																																			
	令和6年度	110	697																																			
	令和7年度	110	692																																			
	令和8年度	110	687																																			
	令和9年度	110	682																																			
	令和10年度	110	672																																			
	令和11年度	110	660																																			
	薬学部																																					
	薬学科		6	220	－	1,320	学士（薬学）	1.08	平成18年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	理学部（合計）							1.02																														
	生物学科		4	80	－	320	学士（理学）	1.00	昭和25年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	化学科		4	80	－	320	学士（理学）	1.02	昭和25年度	同上																												
	生物分子科学科		4	80	－	320	学士（理学）	1.03	平成元年度	同上																												
	物理学科		4	70	－	280	学士（理学）	0.99	昭和58年度	同上																												
	情報科学科		4	100	－	400	学士（理学）	1.04	平成元年度	同上																												
	生命圏環境科学科		4	60	－	240	学士（理学）	1.05	平成17年度	同上																												
	看護学部																																					
	看護学科		4	102	－	408	学士（看護学）	1.08	平成23年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号																												
	健康科学部																																					
	看護学科		4	60	－	240	学士（看護学）	1.10	平成29年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	医学研究科																																					
	医科学専攻（修士課程）		2	5	－	10	修士（医科学）	0.30	平成18年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号																												
	医学専攻（博士課程）		4	35	－	140	博士（医学）	0.96	平成22年度	同上																												
	薬学研究科																																					
	薬科学専攻（修士課程）		2	10	－	20	修士（薬科学）	0.25	平成22年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	医療薬学専攻（博士課程）		4	5	－	20	博士（薬学）	1.40	平成24年度	同上																												
	理学研究科							1.20		同上																												
	博士前期課程（合計）																																					
	化学専攻（博士前期課程）		2	16	－	32	修士（理学）	2.21	昭和57年度	同上																												
生物学専攻（博士前期課程）		2	15	－	30	修士（理学）	1.10	昭和57年度	同上																													
生物分子科学専攻（博士前期課程）		2	18	－	36	修士（理学）	0.94	平成5年度	同上																													
物理学専攻（博士前期課程）		2	18	－	36	修士（理学）	0.75	昭和61年度	同上																													
情報科学専攻（博士前期課程）		2	18	－	36	修士（理学）	0.66	平成5年度	同上																													
環境科学専攻（博士前期課程）		2	6	－	12	修士（理学）	2.50	平成21年度	同上																													

理学研究科 博士後期課程（合計）	化学専攻 （博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.11	昭和59年度	同上
	生物学専攻 （博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.88	昭和59年度	同上
	生物分子科学専攻 （博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.22	平成7年度	同上
	物理学専攻 （博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.44	昭和63年度	同上
	情報科学専攻 （博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.33	平成8年度	同上
	環境科学専攻 （博士後期課程）	3	2	-	6	博士（理学）	0.83	平成23年度	同上
	看護学研究科								
	看護学専攻 （博士前期課程）	2	15	-	30	修士（看護学）	0.50	平成25年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号
	看護学専攻 （博士後期課程）	3	5	-	15	博士（看護学）	1.33	平成25年度	同上
附属施設の概要		名称：医療センター大森病院 目的：付属病院 所在地：東京都大田区大森西6丁目11-1 設置年月：大正14年12月 規模等：土地 22,818.89 m² 延べ床面積 73,579.62 m² 概要：ベッド数 916床 名称：医療センター大橋病院 目的：付属病院 所在地：東京都目黒区大橋2丁目22-36 設置年月：昭和39年7月6日開設（平成30年6月20日移転） 規模等：土地 20,548.56 m² 延べ床面積 32,337.17 m² 概要：ベッド数 320床 名称：医療センター佐倉病院 目的：付属病院 所在地：千葉県佐倉市下志津564番地1 設置年月：平成3年9月2日開設 規模等：土地 45,279.00 m² 延べ床面積 53,994.03 m² 概要：ベッド数 405床 名称：薬学部付属薬用植物園造園 目的：薬用植物園（薬草園） 所在地：千葉県船橋市三山2丁目2番1号 設置年月：昭和44年3月 規模等：1,587 m²							

- （注）
- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については，専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
 - 3 「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
 - 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 7 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人東邦大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
東邦大学			東邦大学			
医学部			医学部			
医学科	122	702	医学科	110	697	令和5年度までの医学部臨時定員増からの減少（△12）
薬学部			薬学部			
薬学科（6年制）	220	1,320	薬学科（6年制）	<u>245</u>	<u>1,470</u>	定員変更（25）
理学部			理学部			
生物学科	80	320	生物学科	80	320	
化学科	80	320	化学科	80	320	
物理学科	70	280	物理学科	70	280	
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320	
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400	
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240	
看護学部			看護学部			
看護学科	102	408	看護学科	102	408	
健康科学部			健康科学部			
看護学科	60	240	看護学科	60	240	
計	974	4,550	計	<u>987</u>	<u>4,695</u>	
東邦大学大学院			東邦大学大学院			
医学研究科			医学研究科			
医科学専攻（M）	5	10	医科学専攻（M）	5	10	
医学専攻（D）	35	140	医学専攻（D）	35	140	
薬学研究科			薬学研究科			
薬科学専攻（M）	10	20	薬科学専攻（M）	10	20	
医療薬学専攻（D）	5	20	医療薬学専攻（D）	5	20	
理学研究科			理学研究科			
化学専攻（M）	16	32	化学専攻（M）	16	32	
化学専攻（D）	3	9	化学専攻（D）	3	9	
生物学専攻（M）	15	30	生物学専攻（M）	15	30	
生物学専攻（D）	3	9	生物学専攻（D）	3	9	
物理学専攻（M）	18	36	物理学専攻（M）	18	36	
物理学専攻（D）	3	9	物理学専攻（D）	3	9	
生物分子科学専攻（M）	18	36	生物分子科学専攻（M）	18	36	
生物分子科学専攻（D）	3	9	生物分子科学専攻（D）	3	9	
情報科学専攻（M）	18	36	情報科学専攻（M）	18	36	
情報科学専攻（D）	3	9	情報科学専攻（D）	3	9	
環境科学専攻（M）	6	12	環境科学専攻（M）	6	12	
環境科学専攻（D）	2	6	環境科学専攻（D）	2	6	
看護学研究科			看護学研究科			
看護学専攻（M）	15	30	看護学専攻（M）	15	30	
看護学専攻（D）	5	15	看護学専攻（D）	5	15	
計	183	468	計	183	468	

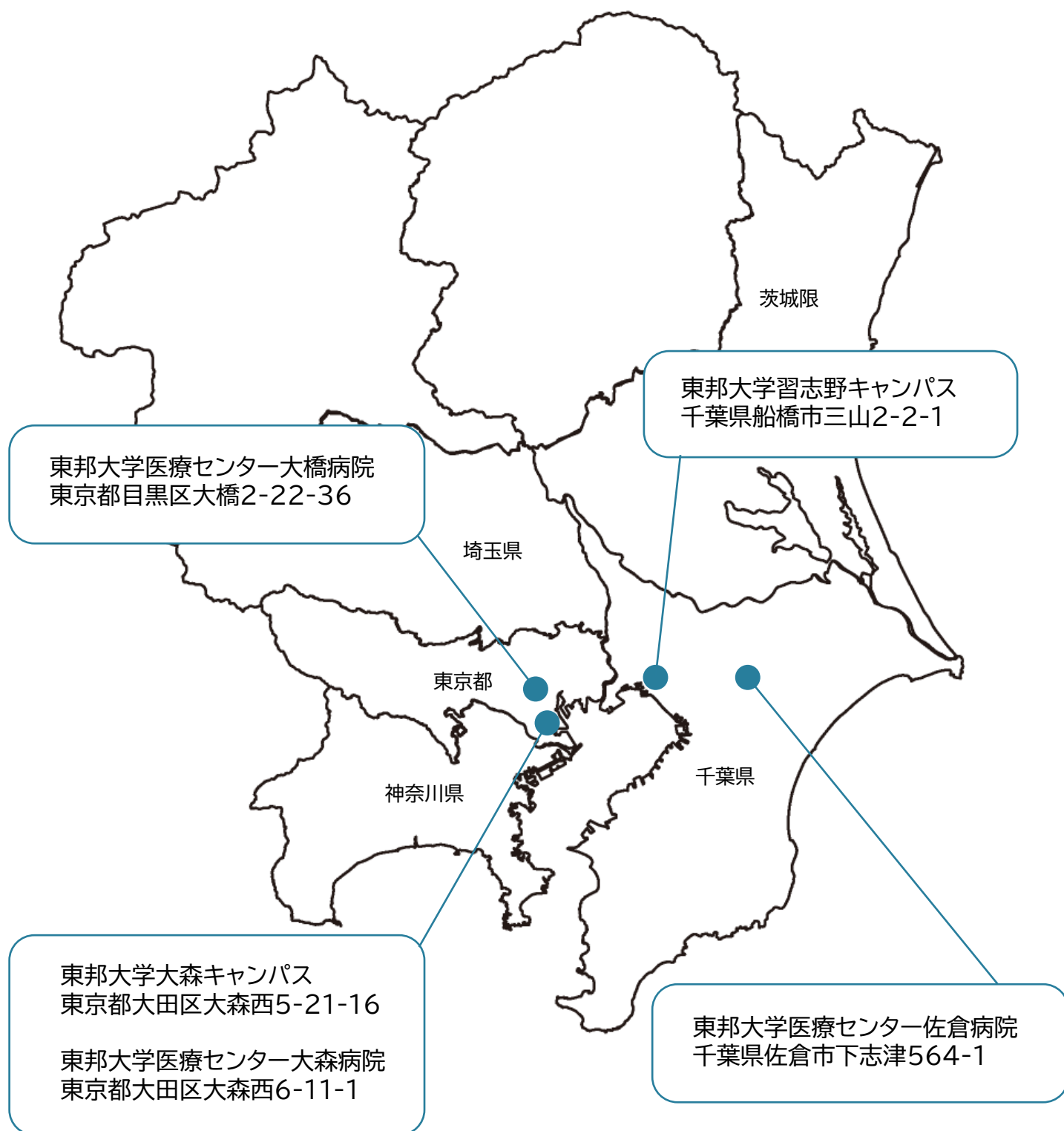
教 育 課 程 等 の 概 要																		
(薬学部薬学科等)																		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員			
教養教育	法倫理哲	学	1前		1			○								2	講義・演習併用	
	心理	学	1前		1			○								1		
	保健環境	論	1後		1			○				1				1		
	文章表現	論	1後		1			○								1		
	基礎物理学Ⅰ	学	1前	○	1			○			2		2					
	基礎物理学Ⅱ	学	1後	○	1			○				1						
	基礎物理学Ⅲ	学	2前	○	1			○			1							
	基礎化学	学	1前	○	1			○			1		3					
	基礎生物学	学	1前	○	1			○			1		3					
	基礎数学Ⅰ	学	1前	○	1			○			1					1		
	基礎数学Ⅱ	学	1後	○	1			○			1					1		
	初等物理学演習	習	1通	○	1				○		3	2	2			1		
	初等化学演習	習	1前	○	0.5				○			1	6					
	コンピュータ入門	門	1前	○	1				○				2					
	基礎生物学実習	習	1後	○	0.5					○	1	2	2					
	データサイエンス実践入門	門	1前		2	0.5				○						1		
	現代日本史	史	1前		1			○					1			5		
	国際関係論	論	1前		1			○								1		
	自己表現論	論	1前		1			○								1		
	民俗学	学	1後		1			○								1		
	スポーツ科学	学	1後		1			○					1			1		
	小計 (24科目)		—	—	15	8.5	0	—			6	5	14	0	0	18		
	外国語	英語Ⅰ	a	1通	○	2			○			1		1				4
		英語Ⅰ	b	1通	○	2			○			1		1				3
英語Ⅱ		a	2通	○	2			○			1		1			2		
英語Ⅱ		b	2通	○	2			○			1		1			6		
英会話		話	2通・3通			2		○								1		
ドイツ語Ⅰ		a	1通		2			○								3		
ドイツ語Ⅰ		b	1通		2			○								3		
中国語Ⅰ		a	1通		2			○								1		
中国語Ⅰ		b	1通		2			○								1		
フランス語Ⅰ		a	1通		2			○								1		
フランス語Ⅰ		b	1通		2			○								1		
小計 (11科目)		—	—	8	14	0	—			1	0	1	0	0	16			
保健体育	スポーツ実習Ⅰ	Ⅰ	1前		1					○			1			7		
	スポーツ実習Ⅱ	Ⅱ	1後		1					○			1			7		
	小計 (2科目)		—	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0	7		
医療人意識形成	薬学入門	門	1前	○	1			○			1		2			2		
	薬史	学	1後	○	1			○										
	コミュニケーションⅠ	シ	1前	○	0.5			○				1						
	コミュニケーションⅡ	シ	2前	○	1				○	1								
	ヒューマニズムⅠ	Ⅰ	1後	○	0.5				○			1						
	ヒューマニズムⅡ	Ⅱ	2後	○	0.5				○			1						
	ヒューマニズムⅢ	Ⅲ	3後	○	0.5				○			1						
	ヒューマニズムⅣ	Ⅳ	4前	○	0.5				○			1						
	早期臨床体験	験	1後	○	0.5					1	1	1						
	人間と生命	命	1前		1		○			1	1	1			2			
小計 (10科目)		—	—	6	1	0	—			3	1	5	0	0	4			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	Ⅰ	1後	○	0.5			○					1					
	薬事関係法規・制度Ⅱ	Ⅱ	4前	○	2			○					1					
	地域医療	療	2前	○	0.5			○				1						
	薬局管理	理	4後	○	1			○			1							
	社会薬学総合演習	習	6後		0.5				○		1	2						
	小計 (5科目)		—	—	4	0.5	0	—			0	1	2					

社 会 へ の 招 待	Ⅱ a	5後			0.5	○			1						*4
社 会 へ の 招 待	Ⅱ b	5後			0.5	○			1						*4
社 会 へ の 招 待	Ⅱ c	5後			0.5	○			1						*4
社 会 へ の 招 待	Ⅱ d	5後			0.5	○			1						*4
実 用 薬 学 英 語		4前			1		○			1					
チ ャ ム 医 療 演 習		4前			1		○		1					4	
海 外 実 務 実 習		5後			2			○			1				
小計（37科目）		—	—	4	23.5	0	—		20	7	7	0	0	10	
合計（198科目）		—	—	168	59	0	—		23	12	26	8	0	94	
学位又は称号		学士（薬学）			学位又は学科の分野			薬学関係							
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等						
必修科目168単位、選択必修科目7単位、選択科目11単位以上を修得し、186単位以上履修すること。なお、選択必修科目の履修は以下のとおりとする。 *1の6科目から2単位履修する。 *2の4科目から4単位履修する。 *3の2科目から0.5単位履修する。 *4の4科目から0.5単位履修する。									1 学年の学期区分			2学期			
									1 学期の授業期間			14週			
									1 時限の授業の標準時間			50分			

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

都道府県内における位置関係の図面



[illegible]

東 邦 大 学 学 則 （案）

第1章 総則

（目的及び使命）

第1条 東邦大学（以下「本学」という。）は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、各々専門の学術の理論と応用とを教授し且つ研究を行い併せて一般教養に資する学科を学ばしめることを目的とし以て教養ある有能な人材を養成し文化の発展に寄与することを使命とする。

2 学部学科ごとの人材の育成に関する目的及びその他の教育研究上の目的を別表第1のとおり定める。

（自己点検・評価）

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価に関する規程は別にこれを定める。

（認証評価）

第3条 本学は、前条に規定する措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（学部及び学科）

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

医学部	医学科		
薬学部	薬学科		
理学部	生物学科	化学科	生物分子科学科
	物理学科	情報科学科	生命圏環境科学科
看護学部	看護学科		
健康科学部	看護学科		

（学生定員）

第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。

（学部・学科）	（入学定員）	（収容定員）
医学部		
医学科	110	660
（計）	（110）	（660）
薬学部		
薬学科	245	1,470
（計）	（245）	（1,470）
理学部		
生物学科	80	320

化学科	80	320
生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280
情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)
看護学部		
看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)
健康科学部		
看護学科	60	240
(計)	(60)	(240)
(総計)	(987)	(4,658)

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規程は別にこれを定める。

第2章 職員組織

(学長)

第7条 本学に学長を置く。

2 学長は本学を代表し、教育理念に基づいて校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 学長が不在または欠けたときは学長代行者を置き、新しく学長が就任するまでの間、学長代行者が学長の職務を行う。

(副学長)

第8条 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることができる。

(学部長)

第9条 本学の学部 to 学部長を置く。

2 学部長は、学長指示のもとに当該学部の校務をつかさどり所属職員を統率し教育及び研究の責に任ずる。

(教職員)

第10条 本学に学長統督のもとに教育及び研究のため教授、准教授、講師、助教、助手を置きその定員は別にこれを定める。ただし、助手は教育職員としない。

2 本学に事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

3 本学の職員を専任、兼担、兼任に区別しその勤務規程は別にこれを定める。

(大学協議会)

第11条 本学に学長の諮問機関として大学協議会を置き、大学全般にわたる学事の重要事項として、次の各号の一に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育研究に係る中長期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 学則その他の教育研究に係る重要な規程等の制定又は改廃に関する事項
- (3) 教育研究活動等の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- (4) その他学長が必要と認める事項

2 大学協議会に関する規程は別にこれを定める。

(学長・学部長会議)

第 12 条 本学に学長・学部長会議を置き、各学部及び大学院各研究科間の調整を図るべく、次の各号の一に掲げる事項を企画、検討し、大学協議会に提言する。

- (1) 全学的な諸活動に係る計画、方針
- (2) 各学部及び大学院各研究科に共通する事項
- (3) その他学長が必要と認める事項

2 学長・学部長会議に関する規程は別にこれを定める。

(教授会の設置)

第 13 条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部に所属する教授をもって組織する。但し、学部の定めるところにより、准教授、講師、助教を加えることができる。

3 教授会の規程は、別にこれを定める。

(教授会の審議事項)

第 14 条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、これについて意見を述べる。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別にこれを定める事項
- (4) その他、学則に定める事項

2 教授会は前項に規定するもののほか、学長、学部長の求めに応じ、教育研究に関する事項について審議し、意見を述べることができる。

3 教授会は第 1 項及び第 2 項に規定する事項のほか、教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長へ意見を述べることができる。

第 3 章 学年、学期及び休業日

(学年)

第 15 条 本学の学年は 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。ただし、学長が教育上必要と認めたときは、変更することができる。

(学期)

第 16 条 1 学年を次の 2 学期に分ける。

春学期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

秋学期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更することができる。

(休業日)

第 17 条 休業日を次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日（6 月 10 日）
- (4) 夏期、冬期及び春期休業日については別に定める

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第 4 章 入学、転入学、編入学、転学部・転学科及び再入学

(入学)

第 18 条 本学の入学は学年の始めとする。ただし、学長が教育上有益と認めるときは、第 16 条の秋学期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第 19 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

(出願手続)

第 20 条 入学志願者は入学志願票に所定の入学検定料及び必要書類を添えて願い出なければならない。

(入学者選考)

第 21 条 前条の入学志願者については、別にこれを定めるところにより選考する。

(入学手続・入学許可)

第 22 条 選考の結果、合格の通知を受けた者は保証人を定め所定の在学誓書に入学金を添えて提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第 23 条 保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。なお、その身分及び住所に変更があったとき、あるいは保証人を変更したいときは速やかに届け出なければならない。

(転入学)

第 24 条 他の大学に在学している者が現に在学する大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。

2 転入学に関する規程は別にこれを定める。

(編入学)

第 25 条 次の各号の一に該当する者が本学に編入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。ただし、編入学定員を定めている場合は、審査を経て相当年次に入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 法令により編入学を認められた者
- (5) その他前各号と同等以上の学力があると認めた者

2 編入学に関する規程は別にこれを定める。

(転学部・転学科)

第 26 条 本学の学生が転学部または転学科を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て許可することがある。

2 転学部、転学科に関する規程は別にこれを定める。

(再入学)

第 27 条 退学者が再入学を願い出たときは、学長はこれを許可することがある。その規程は別にこれを定める。

第 5 章 休学及び退学

(休学)

第 28 条 病気その他止むを得ない事由で引き続き 2 カ月以上授業に出席することができない者は、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、休学することができる。

2 疾病その他の事由により修学が不相当と認められる者に対しては、学長は学校医又は専門家及び教授会の意見を参酌し、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第 29 条 休学できる期間は、第 15 条に規定する学年末までとする。ただし、正当な事由と認められた時は、当初の休学期間を含めて 2 年間を上限とし、期間延長を許可することがある。

2 通算して休学できる期間は、医学部及び薬学部においては 3 年間、理学部、看護学部及び健康科学部においては 2 年間とする。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者の休学の扱いについては別にこれを定める。

4 休学期間は第 34 条各項に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第 30 条 休学者は、休学事由が消滅した場合、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、復学することができる。

(任意退学)

第 31 条 任意に退学しようとする者は、保証人連署で届け出て学長の許可を受けなければならない。

(措置退学)

第 32 条 次の各号の一に該当する者に対しては退学の措置をとるものとする。

- (1) 在学年限を越えた者
- (2) 休学期間を超えて復学できない者
- (3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者
- (4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者
- (5) 死亡した者

2 措置退学の日付は、次に掲げるとおりとする。

(1) 在学年限を超えた者	在学年限の最終日
(2) 休学期間を超えて復学できない者	休学期間の終了日
(3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者	学費を完納している期の最終日
(4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者	教授会の議を経て学長が決定する日
(5) 死亡した者	死亡日

(懲戒退学)

第 33 条 次の各号の一に該当する者に対しては懲戒による退学を命ずる。

- (1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第34条 医学部及び薬学部の修業年限は6年とし、12年まで在学することができる。ただし、同一学年に在学できる年数は原則として2年を限度とする。

2 理学部、看護学部及び健康科学部の修業年限は4年とし、8年まで在学することができる。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者については別にこれを定める。

第7章 教育課程

(授業科目及び単位数)

第35条 授業科目及び単位数は、別表第2のとおり定める。

(単位の基準)

第36条 各授業科目の単位数は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業における教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(各授業科目の授業期間)

第37条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(授業の方法)

第38条 授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

- 4 第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は60単位を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。

(成績の評価)

第39条 成績は、秀、優、良、可及び不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、段階評価に適さない授業科目に係る考査の成績は、合格又は不合格とすることができる。

(単位の授与)

第40条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験の上単位を与えるものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して単位を与える。

(成績評価基準等の明示等)

第41条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(他学部及び他学科、又は他大学等による指導)

第42条 教育上有益と認めるときは、他学部及び他学科、又は他大学等との協議に基づき、学生に当該他学部等において科目履修に必要な指導を受けさせることができる。

(他の大学等における履修)

第43条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業を履修させることができる。

- 2 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別にこれを定める学修を、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 3 第1項の規定により修得した授業科目の単位数及び前項の規定により与える単位については、合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

(入学前の既修得単位等認定)

第44条 本学に入学する前に他の大学又は短期大学で修得した単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）については、教育上有益と認めるときは、本学において修得したものと認定することができる。

- 2 本学に入学する前に行った前条第2項に規定する学修を教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 3 第1項の規定により認定した単位及び第2項の規定により与える単位については、再入学、転入学、編入学等の場合を除き、前条により認定した単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

(教育職員の免許状)

第 45 条 本学に教員養成課程を置く。

- 2 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 3 教員養成課程に関する専門科目及び単位数は別表第 3 のとおり定める。
- 4 本学において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科
理学部	生 物 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	化 学 科		
	生物分子科学科	高等学校教諭一種免許状	理 科
	物 理 学 科		
	生命圏環境科学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数 学
	情 報 科 学 科		数 学
			情 報

第 8 章 進級、卒業及び学位

(進級)

第 46 条 進級に関する規程は、別にこれを定める。

(卒業)

第 47 条 第 34 条に定める修業年限以上在学し、別表第 2 のとおり定める所定の単位数を修得した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 前項に加え、医学部では卒業試験に合格した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 3 第 1 項の規定にかかわらず、理学部では卒業単位を優秀な成績で修得したと認めるときは、3 年以上在学すれば足りるものとする。

(学位の授与)

第 48 条 卒業を認めた者には、学長が学士の学位を授与する。

- 2 付記する専攻分野の名称は、それぞれ次のとおりとする。

医学部医学科	学士（医学）
薬学部薬学科	学士（薬学）
理学部各学科	学士（理学）
看護学部看護学科	学士（看護学）
健康科学部看護学科	学士（看護学）

第9章 入学金、授業料等の学費及び徴収

(学費等)

第49条 本学の入学金、授業料及びその他の学費は、別表第4のとおり定める。

2 学生の実験及び実習に要する経費を定めて別に徴収することがある。

3 授業料及びその他の学費の納入については別にこれを定める。

(学費等の取扱)

第50条 在学中授業料及びその他の学費について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納入するものとする。

2 一旦納入した授業料及びその他の学費は、原則として返還しない。

第10章 委託生、科目等履修生、特別聴講生、聴講生及び留学生

(委託生)

第51条 学長は公共団体又はその他の機関より本学に特定の学科目について修学を委託された場合は、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生に関する細則は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第52条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち一又は複数の授業科目の単位を修得することを希望する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する細則は、別にこれを定める。

(特別聴講生)

第53条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、他の大学との協議に基づき、当該他大学の学生が授業科目の単位を修得することを希望する場合は、特別聴講生として許可することができる。

(聴講生)

第54条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、一又は複数の授業科目について聴講を希望する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関する細則は、別にこれを定める。

(留学生)

第55条 学長は日本国籍をもたない者で、修学する目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、留学生として入学を許可することがある。

2 留学生は、本学則を準用する。

第11章 付属施設

(メディアセンター)

第56条 本学にメディアセンターを置き、その規程は別にこれを定める。

(付属病院)

第57条 本学医学部に教育及び臨床実習のために付属病院を置く。

2 医学部長のもとに付属病院長を置き、院務をつかさどらしめる。

(付属薬用植物園)

第 58 条 本学薬学部付属薬用植物園を置き、その規程は別にこれを定める。

(その他教育研究施設)

第 59 条 その他、必要な教育研究施設を置くことができる。

第 12 章 厚生補導及び厚生保健施設

(厚生補導)

第 60 条 本学に、学生の福利厚生をはかり、かつ、学生生活を指導助育するため、学生部を置き、その規程は別にこれを定める。

(厚生保健施設)

第 61 条 本学に厚生保健施設を置き、その規程は別にこれを定める。

第 13 章 賞罰

(表彰)

第 62 条 人物及び学業の優秀な者を表彰することができる。

(懲戒)

第 63 条 本学の学則又はこれに基づいた諸規則に背き、あるいは学生の本分に反する行為をした者は学長の決定に基づき懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学、退学の 3 種とする。

3 懲戒に該当する事項については、別にこれを定める。

第 14 章 雑則

(改廃)

第 64 条 この学則の改正は、大学協議会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和50年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和51年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和52年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和53年4月1日から施行する。

(第19条は昭和52年度以前の入学生については従前の例による。)

この学則は、一部改正のうえ昭和54年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和55年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和56年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和57年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和58年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和59年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和60年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和61年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和62年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ昭和63年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず昭和63年度から昭和71年度までの間、理学部生物学科及び物理学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとする。

昭和・年度 学科・定員		63	64	65	66	67	68	69	70	71
生物学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	340	360	380	400	400	400	400	400	400
物理学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	280	320	360	400	400	400	400	400	400

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成元年4月1日から施行する。
- 2 第70条及び附則（昭和63年4月1日施行）の規定にかかわらず、平成元年度から同8年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとし、同生物学科に係る期間を付した定員増加は、昭和63年度をもって停止する。

平成・年度 学科・定員		元	2	3	4	5	6	7	8
物理学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	300	320	340	320	320	320	320	320
生物分子 科学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	80	160	240	320	320	320	320	320
情報 科学科	入学定員	60	60	60	60	60	60	60	60
	総定員	60	120	180	240	240	240	240	240
理学部 総定員		1220	1340	1460	1520	1520	1520	1520	1520

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成2年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成3年7月1日から施行する。
- 2 期間を付した定員増加に係る附則中「総定員」とあるものを「収容定員」に読み替えるものとする。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成3年10月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成4年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成5年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成6年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年12月22日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成9年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成9年度から同11年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

平成・年度 学科・定員		9	10	11
物理学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
生物分子 科学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
情 報 科学科	入学定員	100	100	100
	収容定員	280	320	360
理学部収容定員		1,560	1,600	1,640

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成10年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成11年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成12年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成12年度から同18年度までの間、理学部物理学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員 \ 平成・年度		12	13	14	15	16	17	18
物理学科	入学定員	78	76	74	72	70	70	70
	収容定員	318	314	308	300	292	286	282
理学部収容定員		1,678	1,674	1,668	1,660	1,652	1,646	1,642

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成12年9月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成13年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成13年9月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成14年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成15年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成16年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成18年4月1日から施行する。

但し、薬学部平成17年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成19年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成20年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成21年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（看護学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成23年4月1日から施行する。

但し、医学部看護学科の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

- 2 医学部看護学科は、平成23年4月より学生募集を停止し、在学者が卒業次第、廃止する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成24年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成25年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成25年度から同28年度までの間、理学部生命圏環境科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

平成・年度 学科・定員		25	26	27	28
生命圏環 境科学科	入学定員	60	60	60	60
	収容定員	300	280	260	240
理学部収容定員		1,940	1,920	1,900	1,880

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成26年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学校教育法及び同法施行規則の一部改正、地域の医師確保等の観点による医学部入学定員増、薬学部カリキュラム及び教育充実費の改定に伴う改正を含む）のうえ平成27年4月1日から施行する。

但し、薬学部平成26年度以前の入学者の卒業に必要な必修科目単位数及び教育充実費の納付額については、なお従前の例による。

- 2 第47条の規定にかかわらず、平成27年度から同31年度までの間、医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

平成・年度 学部・定員		27	28	29	30	31
医 学 部	入学定員	115	115	115	115	115
	収容定員	665	670	675	680	685

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部・薬学部の各年次の在学年限及び休学に関する取扱いの変更、医学部カリキュラムの改訂に伴う改正を含む）のうえ平成28年4月1日から施行する。

但し、平成27年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成29年4月1日から施行する。

但し、平成28年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

- 2 第96条の規定にかかわらず、平成29年度から同31年度までの間、健康科学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員 \ 平成・年度		29	30	31
健康科学部	入学定員	60	60	60
	収容定員	60	120	180

附 則

- 1 この学則は、一部改正（大学協議会規程制定、薬学部授業料の改定及び理学部の授業科目の変更に伴う改正を含む）のうえ平成30年4月1日から施行する。

但し、平成29年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の再申請並びに医学部卒業要件における文言修正に係る改正）のうえ令和2年4月1日から施行する。
- 2 第47条の規定にかかわらず、令和2年度から同8年度までの医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員 \ 令和・年度		2	3	4	5	6	7	8
医学部	入学定員	115	115	110	110	110	110	110
	収容定員	690	690	685	680	675	670	665

附 則

- 1 この学則は、一部改正（理学部の入学金、授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

但し、理学部令和2年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。

- 2 この学則は、一部改正（理学部の授業科目の変更に伴う改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和4年4月1日から施行する。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和4年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和4年度から同9年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

令和・年度 学部・定員		4	5	6	7	8	9
医学部	入学定員	120	110	110	110	110	110
	収容定員	695	690	685	680	675	670

- 4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

令和・年度 学部・定員		5	6	7	8	9	10
医学部	入学定員	122	110	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682	672

- 4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35条関係）の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3（第45条関係）教員養成課程のカリキュラムに係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（薬学部の入学定員・収容定員の増員）のうえ、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10	11
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245	245
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445	1,470

別表 1 (第 1 条関係)

本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を以下に定める。

(1) 医学部

本医学部は医学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」を育成する。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、教養を高め人間性を涵養するとともに、倫理観を持って専門性に基づいた課題探求・問題解決能力、社会や文化の変化に対応できる生涯学習能力を持った人材を育成することを目的とする。

研究に関しては、基礎医学並びに臨床医学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献することを目的とする。

(2) 薬学部

本薬学部は薬学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて一般教育科目を学ばしめることを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的とする。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、高い倫理観、豊かな人間性、自他ともに高め合う態度、基礎薬学並びに医療薬学に関するバランスのとれた豊富で正確な知識・技術及び問題解決能力を育成し、チーム医療に資するためのコミュニケーション能力及び実践的能力を醸成する。

研究に関しては、基礎薬学並びに医療薬学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献する。

(3) 理学部

本理学部は理学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて教養教育科目を学ばしめることを目的とする。

〔人材の養成に関する目的・教育研究上の目的〕

教育については、自然・生命・人間を探究する過程を通して、社会に貢献する「科学人」を育てることを目的とする。科学人の基礎的な要件は次の点に要約される。

1. 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ。

専門分野における十分な基礎知識・技能と、関連する分野における概括的な知識・技能をもつ。

科学的な推論を行う能力、科学的な手法で実験・実証をする能力、問題の科学的な分析を試みる態度をもつ。

2. 主体的に学ぶ力をもつ。

問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力をもつ。

3. 他者と協力して課題を解決する力をもつ。

チーム・仲間と協働して解決する力をもつ。

コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力、協働して解決する態度、多様性を受け入れる態度をもつ。 社会と協調し、科学の役割を理解し、社会に対して責任を果たす態度をもつ。 科学的倫理をわきまえていること、自然に対する畏敬の念・生命の尊重・人間としての謙虚な心をもつ。 研究については、理学部を構成する各専門分野の立場から理学の理論と応用を研究し、科学者・技術者からの視点で社会の発展に貢献することを目指す。
生物学科： 生物を通して自然・生命・人間を探究することにより、生物と環境の双方に適切な意見を有する科学人を育てる。広範な生物学の基礎科目を基盤とし、分子生物学や環境保全などを取り込んだ総合的な生物学の知識を身につけ、それを活用した課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。
化学科： 化学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、自然現象を化学の言葉で語ることができ、かつ持続性のある社会の構築に貢献する科学人を育てる。無機化学、分析化学、有機化学、物理化学を基礎的内容の柱とし、講義・演習・実験の効果的な連携によって化学の知識と技能を修得させ、それらを踏まえて、課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養することにより、化学に関わる多様な応用場面に対応できる科学人を育成する。
生物分子科学科： 化学と生物学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、生命現象を化学の言葉で語ることができる研究者や技術者の育成を目指す。化学及び生物学の確かな基礎知識を身につけさせ、それを踏まえて課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。
物理学科： 物理学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然の仕組みを物理的思考から深く理解し、自然に対する畏敬の念をもち、科学及び社会の発展に貢献できる人材を育成する。物理学の基本的な知識と方法を十分に身につけ、それを踏まえて実践的な問題解決力、柔軟な思考力、科学者・技術者倫理、自然・生命・人間を守る態度、豊かな人間性、国際性、創造性、高いコミュニケーション能力を涵養する。
情報科学科： 情報科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、常に人間の視点に立って社会貢献できる人材の育成を目指す。情報科学の基本的な理論と技術、ならびに現象を科学的、論理的、かつ数理的に分析・理解して問題を解決できる能力を身につけ、情報科学の多様な応用場面に対して対応できる技術者・科学者を育成する。
生命圏環境科学科： 環境科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、環境問題の解決に取り組み、持続性のある社会の構築に貢献できる人材を育成する。自然科学の理解、人文・社会科学的視点の涵養、科学的思考力やコミュニケーション能力の向上を図り、その上で地球科学、環境生態学、環境化学、環境管理・創成科学についてより専門的な教育を行い、豊かな人間性をもって意欲的に活躍できる人材を育成する。

(4) 看護学部

本看護学部は看護の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

長く受け継がれた看護教育の文化や歴史を継承するとともに、知的探究心を持った誠実で思いやりのある調和のとれた看護実践者の育成を図る。さらに、社会の構成員としてその使命を自覚し、自然、生命、人間に対して畏敬の念を持ち、人間の生命の尊厳と権利の尊重を基盤として、医療人としてすべての人々を公正に受容しうる自主の精神に充ちた心身ともに健康で感性豊かな人間性の育成を図り、国際的な感覚を身につけ、地球規模で思考し、保健・医療の発展に貢献できる人材を育成する。

〔教育研究上の目的〕

深い人間愛を持ち、創造的、全人的見方のできる看護職に必要な品性・知性・感性を養う多様な看護教育及び人間教育を提供すると共に看護学の発展に貢献するため、科学的な研究態度を有し、新たな知的財産の獲得を常に目指した実践と研究を推進する。

(5) 健康科学部

本健康科学部は健康に関する科学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

〔人材の養成に関する目的〕

健康科学に関わる専門知識と確かな技術を学び、洗練された倫理性を備え、人々の健康生活を支援する医療・福祉・政策の分野に貢献できる人材の育成を目的とする。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、人々の健康を科学的に探究し支援できるよう、知性・感性・品性及び問題発見・解決能力、生涯学習能力を兼ね備えた実践者と研究者の育成を目的とする。

研究に関しては、健康科学分野の基礎研究とともに、変化する社会情勢に即した応用分野の研究に携わることを目的とする。

別表 2（第35条関係）

(1) 医学部医学科開設科目単位表

令和5年度以降の入学者に適用

領域名		サブ領域	ユニット	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5			
			倫理学				
		人文・社会学②	社会学				
			心理学Ⅱ				
			法学				
	選択人文・社会学	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ1)		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択人文・社会学Ⅱ1)		1		
			選択人文・社会学Ⅲ1)		1		
			選択人文・社会学Ⅳ1)		1		
		選択芸術	選択芸術Ⅰ1)		1		
			選択芸術Ⅱ1)		1		
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ1)		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			医学教養Ⅱ1)		1		
			医学教養Ⅲ1)		1		
			医学教養Ⅳ1)		1		
			医学教養Ⅴ1)		1		
			医学教養Ⅵ1)		1		
			医学教養Ⅶ1)		1		
			医学教養Ⅷ1)		1		
		選択短期集中講座	学生テュータ養成講座1)		1		
			実用医療英語1)		1		
			チーム医療演習1)		1		
			データサイエンス実践入門1)		2		
		選択地域医療	地域医療学Ⅰ ¹⁾		1		
			地域医療学Ⅱ ¹⁾		1		
			地域医療学Ⅲ ¹⁾		1		
			地域医療学（千葉）Ⅰ ¹⁾		2		
			地域医療学（千葉）Ⅱ ¹⁾		2		
			地域医療学（千葉）Ⅲ ¹⁾		2		

領域名		サブ領域	ユニット	単位数			備 考			
				必修	選択	自由				
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②	医学英語入門							
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話1)		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得			
			Listening Skills1)		1					
	Cross Cultural Communication1)		1							
	Writing1)		1							
	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース1)		1						
英語検定1)			1							
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ1)		2						
		フランス語Ⅱ1)		1						
		ドイツ語Ⅰ1)		2						
		ドイツ語Ⅱ1)		1						
		中国語Ⅰ1)		2						
		中国語Ⅱ1)		1						
医学準備・基礎医学統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	数理情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ	3						
		医用理工学1-②					数理情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ			
		医用理工学1実習	医用理工学1実習2)				0.5		2) 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施	
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4						
			生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ							
		生体物質の科学②	生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ							
			代謝生化学Ⅱ 遺伝生化学Ⅱ							
		生体物質の科学③	生体物質の科学実習3)					1		3) 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系							
			生体の構造1-③					消化器系 内分泌・泌尿生殖器系		
		生体の構造1実習		生体の構造1実習Ⅰ2) 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ 生体の構造1実習Ⅳ	2.5			2) 医用理工学1実習と合わせて実施		
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2							
	生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ	3.5							

領域名		サブ領域	ユニット		単位数			備 考
					必修	選択	自由	
医学 準備 ・ 基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋		4			
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環					
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖					
			生体の機能1実習					
		生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能		2		
	病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学		7			4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②	病態の科学概論4) 薬理学 病理学					
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ5)		3. 5			
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ 1)			1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ 1)			1		
			選択生物Ⅰ 1)			1		
			選択生物Ⅱ 1)			1		
			選択環境科学Ⅰ 1)			1		
			選択環境科学Ⅱ 1)			1		
			選択物理1)			1		
			選択数学Ⅰ 1)			1		
選択数学Ⅱ 1)				1				
臨床医学科目	臨床医学入門	臨床検査・ 生理機能検査演習		1				
		医学総論	内科総論 外科総論	2				
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6			
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁				
			腎臓・電解質系					
			感染症学					

領域名		サブ領域	ユニット		単位数			備 考					
					必修	選択	自由						
臨床 医 学 科 目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8								
			脳・神経系	内科 外科									
		臨床医学2-②	血液病学						内分泌 糖尿病 甲状腺外科				
			腫瘍学										
			膠原病・アレルギー病学										
			代謝・内分泌系										
		臨床医学3(小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学					小児科 新生児科 外科	6			
				臨床遺伝学									
	臨床医学3-②		産科婦人科学	産科 婦人科									
			泌尿器科学										
			臨床医学4(骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
	耳鼻・咽喉・口腔外科学	耳鼻科 口腔外科											
	皮膚・形成外科学	皮膚科 形成外科											
	整形外科科学												
	臨床医学5(放射線・全身管理)	臨床医学5			放射線医学	診断 治療				3			
			中毒・救急医学										
			麻酔・集中治療学	麻酔科 集中治療									
			臨床医学6(精神領域)	臨床医学6	行動科学	2							
	心身医学												
	精神神経医学												
	臨床医学7(総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4								
			医療安全										
			リハビリテーション医学										
			臨床栄養学										
			移植・再生医療										

領域名		サブ領域	ユニット	単位数			備 考	
				必修	選択	自由		
臨床医学科目	臨床医学8(臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門 臨床検査・生理機能検査実習 シミュレーション実習	3				
		臨床医学9(統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3			
		臨床医学10(統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習	2			
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ	1				
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ	2				
	診断学実習	診断学実習	診断学実習	2				
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習	21				
		臨床実習2	必修診療参加型臨床実習	40				
		臨床実習3	選択診療参加型臨床実習6)	8			6)選択必修科目	
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4				
		社会医学1-②	法医学					
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	3				
キャリア教育科目	全人の医療人教育1	全人の医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	4.5				
	全人の医療人教育2	全人の医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	3				
	全人の医療人教育3	全人の医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1.5				
	全人の医療人教育4	全人の医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	2				
	全人の医療人教育5	全人の医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1				
	全人の医療人教育6	全人の医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文9)	10			9) 6年間で論文作成は必修	
			先端医学演習10)				10) 自由選択科目15時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
			先端医学実習11)				11) 自由選択科目30時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
	合計			208	52	0	卒業所要単位数は、必修208単位、選択9単位以上、計217単位以上とする。	

令和4年度の入学者に適用

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育 科 目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			倫理学							
			社会学							
		人文・社会学②	心理学Ⅱ							
			法学							
		選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾				1			
			選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾				1			
			選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾				1			
			選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1			
		選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾				1			
	選択芸術Ⅱ ¹⁾		1							
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
			医学教養Ⅱ ¹⁾				1			
			医学教養Ⅲ ¹⁾							1
			医学教養Ⅳ ¹⁾							1
			医学教養Ⅴ ¹⁾							1
			医学教養Ⅵ ¹⁾				1			
			医学教養Ⅶ ¹⁾				1			
			医学教養Ⅷ ¹⁾							1
		選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾				1			
			実用医療英語 ¹⁾							1
			チーム医療演習 ¹⁾							1
			データサイエンス実践入門 ¹⁾							2
		選択地域医療	地域医療学Ⅰ ¹⁾					1		
			地域医療学Ⅱ ¹⁾					1		
			地域医療学Ⅲ ¹⁾					1		
外 国 語 科 目	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②	医学英語入門							
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
			Listening Skills ¹⁾				1			
			Cross Cultural Communication ¹⁾				1			
			Writing ¹⁾				1			
	選択英語単位認定科目		海外集中英語コース ¹⁾				1			
			英語検定 ¹⁾				1			
	初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾				2			
			フランス語Ⅱ ¹⁾				1			
			ドイツ語Ⅰ ¹⁾				2			
			ドイツ語Ⅱ ¹⁾				1			
			中国語Ⅰ ¹⁾				2			
中国語Ⅱ ¹⁾			1							

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医 学 準 備 ・ 基 礎 医 学 統 合 科 目	医用理工学1	医用理工学1-①	数理情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ	3						
		医用理工学1-②	数理情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ							
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5				²⁾ 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学 生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ	4						
			生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ							
			代謝生化学Ⅱ 遺伝生化学Ⅱ							
		生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1				³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系							
		生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系							
		生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ ²⁾ 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ 生体の構造1実習Ⅳ			2.5				²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2						
		生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ			3.5				

領域名		サブ領域	ユニット		必修単位			選択単位			備 考
					講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学 準備・基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋		4						
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環								
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖								
		生体の機能1実習	生体の機能1実習				1				
		生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能		2					
	病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学		7						4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②	病態の科学概論 ⁴⁾ 薬理学 病理学								
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ ⁵⁾				3.5				
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾ 選択化学Ⅱ ¹⁾ 選択生物Ⅰ ¹⁾ 選択生物Ⅱ ¹⁾ 選択環境科学Ⅰ ¹⁾ 選択環境科学Ⅱ ¹⁾ 選択物理 ¹⁾ 選択数学Ⅰ ¹⁾ 選択数学Ⅱ ¹⁾					1 1 1 1 1 1 1 1	1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
	臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習			1				
医学総論				内科総論 外科総論		2					
臨床医学1		臨床医学1	循環器系	内科 外科	6						
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁							
			腎臓・電解質系								
			感染症学								

領域名		サブ領域	ユニット		必修単位			選択単位			備 考
					講義	演習	実習	講義	演習	実習	
臨床医学科目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管)	8						
				内科(肝胆膵)							
				外科・腹壁							
			脳・神経系	内科							
		外科									
		臨床医学2-②	血液病学								
			腫瘍学								
			膠原病・アレルギー病学								
	代謝・内分泌系		内分泌								
		糖尿病									
	甲状腺外科										
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科	6						
				新生児科							
		臨床医学3-②	臨床遺伝学								
			産科 婦人科学	産科							
				婦人科							
			泌尿器科学								
	臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
			耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科							
				口腔外科							
			皮膚・ 形成外科学	皮膚科							
				形成外科							
			整形外科科学								
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断	3							
			治療								
		中毒・救急医学									
		麻酔・集中 治療学	麻酔科								
集中治療											
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2							
		心身医学									
		精神神経医学									
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療	4							
			地域・僻地医療								
			総合・家庭診療								
			東洋医学								
		医療安全									
		リハビリテーション医学									
		臨床栄養学									
移植・再生医療											

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考	
				講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床医学科目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3					
			臨床検査・ 生理機能検査実習								
			シミュレーション実習								
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3							
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2						
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1						
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2						
	診断学実習	診断学実習	診断学実習			2					
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21					
臨床実習2		必修診療参加型臨床実習			40						
臨床実習3		選択診療参加型臨床実習 ⁶⁾			8				⁶⁾ 選択必修科目		
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4							
		社会医学1-②	法医学								
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1					
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3						

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キ ャ リ ア 教 育 科 目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5					
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3					
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5					
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2					
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1					
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1					
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	P B LテュートリアルⅠ		1					
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	P B LテュートリアルⅡ		1					
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5					
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10					⁹⁾ 6年間で論文作成は必修
			先端医学演習 ¹⁰⁾					※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
			先端医学実習 ¹¹⁾						※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小 計				80.5	40.5	87	34	12	0	
合 計				208			46			
卒業時必要総単位数				217						

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考	
				講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教 養 教 育 科 目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
			倫理学								
		社会学									
		心理学Ⅱ									
		人文・社会学②	法学								
			選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾								1
		選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾								1
			選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾								1
			選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾	1							
		選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾				1				
	選択芸術Ⅱ ¹⁾		1								
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得		
			医学教養Ⅱ ¹⁾				1				
			医学教養Ⅲ ¹⁾							1	
			医学教養Ⅳ ¹⁾							1	
			医学教養Ⅴ ¹⁾							1	
			医学教養Ⅵ ¹⁾				1				
			医学教養Ⅶ ¹⁾				1				
			医学教養Ⅷ ¹⁾							1	
選択短期集中講座		学生テュータ養成講座 ¹⁾				1					
		実用医療英語 ¹⁾				1					
外 国 語 科 目	英語1	英語1-①	英語総合	4							
		英語1-②									医学英語入門
	英語2	英語2	基礎医学英語	2							
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2							
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1							
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得		
			Listening Skills ¹⁾				1				
			Cross Cultural Communication ¹⁾				1				
			Writing ¹⁾				1				
	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾				1					
		英語検定 ¹⁾				1					
	初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾				2				
			フランス語Ⅱ ¹⁾				1				
			ドイツ語Ⅰ ¹⁾				2				
			ドイツ語Ⅱ ¹⁾				1				
			中国語Ⅰ ¹⁾				2				
			中国語Ⅱ ¹⁾				1				

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医 学 準 備 ・ 基 礎 医 学 統 合 科 目	医用理工学1	医用理工学1-①	数理情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ	3						
		医用理工学1-②	数理情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ							
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5				²⁾ 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学 生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ	4						
			生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ							
			代謝生化学Ⅱ 遺伝生化学Ⅱ							
		生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1				³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系							
		生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系							
		生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ ²⁾ 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ 生体の構造1実習Ⅳ			2.5				²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2						
		生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ			3.5				

領域名		サブ領域	ユニット		必修単位			選択単位			備 考
					講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学 準備・基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋		4						
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環								
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖								
		生体の機能1実習	生体の機能1実習				1				
		生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能		2					
	病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学		7						4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②	病態の科学概論 ⁴⁾ 薬理学 病理学								
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ ⁵⁾				3.5				
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾ 選択化学Ⅱ ¹⁾ 選択生物Ⅰ ¹⁾ 選択生物Ⅱ ¹⁾ 選択環境科学Ⅰ ¹⁾ 選択環境科学Ⅱ ¹⁾ 選択物理 ¹⁾ 選択数学Ⅰ ¹⁾ 選択数学Ⅱ ¹⁾					1 1 1 1 1 1 1 1	1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
	臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習			1				
医学総論				内科総論 外科総論		2					
臨床医学1		臨床医学1	循環器系	内科 外科	6						
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁							
			腎臓・電解質系								
			感染症学								

領域名		サブ領域	ユニット		必修単位			選択単位			備 考
					講義	演習	実習	講義	演習	実習	
臨床医学科目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管)	8						
				内科(肝胆膵)							
				外科・腹壁							
			脳・神経系	内科							
		外科									
		臨床医学2-②	血液病学								
			腫瘍学								
			膠原病・アレルギー病学								
	代謝・内分泌系		内分泌								
		糖尿病									
	甲状腺外科										
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科	6						
				新生児科							
		臨床医学3-②	臨床遺伝学								
			産科 婦人科学	産科							
				婦人科							
			泌尿器科学								
	臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
			耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科							
				口腔外科							
			皮膚・ 形成外科学	皮膚科							
				形成外科							
	整形外科科学										
	臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断	3						
				治療							
			中毒・救急医学								
麻酔・集中 治療学			麻酔科								
	集中治療										
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2							
		心身医学									
		精神神経医学									
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療	4							
			地域・僻地医療								
			総合・家庭診療								
			東洋医学								
		医療安全									
		リハビリテーション医学									
		臨床栄養学									
移植・再生医療											

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
臨床医学科目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
	診断学実習	診断学実習	診断学実習			2				
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21				
		臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
			Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾					1		⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与
		臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ^{7), 8)}			8				⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
		社会医学1-②	法医学							
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5					
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3					
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5					
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2					
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1					
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1					
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	P B LテュートリアルⅠ		1					
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	P B LテュートリアルⅡ		1					
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5					
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10					⁹⁾ 6年間で論文作成は必修
			先端医学演習 ¹⁰⁾					※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
			先端医学実習 ¹¹⁾						※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小 計				80.5	40.5	87	34	8	0	
合 計				208			42			
卒業時必要総単位数				217						

平成28年度から平成30年度の入学者に適用

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考		
				講義	演習	実習	講義	演習	実習			
教 養 教 育 科 目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ 倫理学 社会学	4.5						1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得		
		人文・社会学②	心理学Ⅱ 法学									
		選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1 1 1 1					
			選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾ 選択芸術Ⅱ ¹⁾				1 1				
				医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾ 医学教養Ⅱ ¹⁾ 医学教養Ⅲ ¹⁾ 医学教養Ⅳ ¹⁾ 医学教養Ⅴ ¹⁾ 医学教養Ⅵ ¹⁾ 医学教養Ⅶ ¹⁾ 医学教養Ⅷ ¹⁾				1 1 1 1 1 1 1		1 1 1	
	選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾ 実用医療英語 ¹⁾ チーム医療演習 ¹⁾					1	1 1				
		外国語科目	英語1		英語1-① 英語1-②	4						
			英語2		英語2							
	英語3		英語3		臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4		英語4		臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語		選択英語コミュニケーション		英会話 ¹⁾ Listening Skills ¹⁾ Cross Cultural Communication ¹⁾ Writing ¹⁾				1 1 1 1			
		選択英語単位認定科目		海外集中英語コース ¹⁾ 英語検定 ¹⁾				1 1				
		初修外国語		選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾ フランス語Ⅱ ¹⁾ ドイツ語Ⅰ ¹⁾ ドイツ語Ⅱ ¹⁾ 中国語Ⅰ ¹⁾ 中国語Ⅱ ¹⁾				2 1 2 1 2 1			
					基礎医学統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3				
医用理工学1-②			数理情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ									
医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾							0.5				2) 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学 準備・基礎 医学 統合 科目	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学 生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ	4						
			生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ							
		生体物質の科学②	代謝生化学Ⅱ 遺伝生化学Ⅱ							
		生体物質の科学③	生体物質の科学実習 ³⁾			1				
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系							
		生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系							
		生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ ²⁾ 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ 生体の構造1実習Ⅳ			2.5				²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2						
		生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ			3.5				
	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋	4						
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環							
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖							
		生体の機能1実習	生体の機能1実習			1				
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能	2						
	病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学	7						⁴⁾ 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②	病態の科学概論 ⁴⁾ 薬理学 病理学							
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ ⁵⁾			3.5				⁵⁾ 2～3期で実施されるが評価は3期に行う

領域名		サブ領域	ユニット		必修単位			選択単位			備 考
					講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学準備・基礎医学統合科目	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾					1	1		1) ¹⁾ 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾								
			選択生物Ⅰ ¹⁾					1			
			選択生物Ⅱ ¹⁾					1			
			選択環境科学Ⅰ ¹⁾					1			
			選択環境科学Ⅱ ¹⁾					1			
			選択物理 ¹⁾					1			
			選択数学Ⅰ ¹⁾					1			
			選択数学Ⅱ ¹⁾					1			
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・生理機能検査演習			1					
			医学総論	内科総論 外科総論	2						
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6						
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁							
			腎臓・電解質系								
			感染症学								
	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆臓) 外科・腹壁	8						
			脳・神経系	内科 外科							
			血液病学 腫瘍学								
		臨床医学2-②	膠原病・アレルギー病学								
			代謝・内分泌系	内分泌 糖尿病 甲状腺外科							
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科	6						
			臨床遺伝学								
		臨床医学3-②	産科婦人科学	産科 婦人科							
			泌尿器科学								
	臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
			耳鼻・咽喉・口腔外科学	耳鼻科 口腔外科							
			皮膚・形成外科学	皮膚科 形成外科							
			整形外科科学								

領域名		サブ領域	ユニット		必修単位			選択単位			備 考	
					講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床医 学科 目	臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線医学	診断 治療	3							
			中毒・救急医学									
			麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療								
	臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2							
			心身医学									
			精神神経医学									
	臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学		4						
				医療安全								
				リハビリテーション医学								
			臨床栄養学									
			移植・再生医療									
	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門				3					
			臨床検査・ 生理機能検査実習									
シミュレーション実習												
臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義		3								
臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習			2							
臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ			1							
臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ			2							
診断学実習	診断学実習	診断学実習				2						
臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習				21						
	臨床実習2	必修診療参加型臨床実習				40						
		Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾						1		⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与		
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ^{7), 8)}				8					⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須	
社会医 学科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学		4							
		社会医学1-②	法医学									
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習				1					
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習			3						

領域名		サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キ ャ リ ア 教 育 科 目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5					
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3					
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5					
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2					
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1					
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1					
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	P B L テュートリアルⅠ		1					
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	P B L テュートリアルⅡ		1					
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5					
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10					⁹⁾ 6年間で論文作成は必修
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与	
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与	
小 計				82.5	38.5	87	34	8		
合 計				208			42			
卒業時必要総単位数				217						

平成27年度以前の入学者に適用

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(1) 医学 教育 準備 科目	健康心理学	28						
	英語総合・英語総合基礎	56						
	基礎物理学	21						2科目から1科目選択必修
	基礎生物学	21						
	基礎化学	14						
	生体無機化学	14						
	生体有機化学	14						
	化学実習	30						
	物理学	21						
	物理学実習	30						
	人体生物学	21						
	細胞生物学	21						
	細胞生物学実習	30						
	医学情報学	28						
	数学	14						
	運動科学	14						
	P B L テュートリアル I	19						
(2) 基礎 医学 科目	組織学総論	30						
	細胞生理学	12						
	血液・リンパ系	10						
	内分泌系		18					
	呼吸・循環器系		24					
	消化器系		13					
	腎・泌尿生殖器系		14					
	運動器（骨格）系	20						
	末梢神経・筋系		17					
	中枢神経構造・感覚器系		17					
	中枢神経機能系		24					
	マクロ形態実習		102					
	ミクロ形態実習		45					
	生理機能(生理)実習		39					
	人体発生学		19					
	生化学基礎編	60						
	生化学応用編		28					
	医動物学		10					
	微生物学		80					
	免疫学		40					
	薬理学総論		38					
	薬理学各論				※16			
	病理学総論		58					
	病理学各論 I			※51				
	病理学各論 II				※24			
	放射線医学（基礎編）		24					

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(2) 基礎 医学 科目	東洋医学（基礎編） 基礎医学英語 検査医学演習（基礎編） 先端医科学演習 PBL テュートリアルⅡ		8 22 34 44 30					
(3) 臨床 医学 科目	臨床医学入門*† 臨床医学英語Ⅰ 臨床医学英語Ⅱ 臨床推論演習 外科学総論* 臨床遺伝学 呼吸器・乳腺*† 循環器系*† 腎臓学・電解質* 脳・神経系*† 代謝・内分泌学*† 消化器系* 膠原病・アレルギー学† 感染症学* 血液学 腫瘍学 加齢・高齢医学 眼科学 耳鼻咽喉科学 皮膚科学 産科婦人科学* 小児科学*† 整形外科学† 精神科学† 心身医学* 行動科学 形成外科学 泌尿器科学 救急医学 麻酔科学 輸血学 放射線医学（臨床編） 東洋医学（臨床編） 検査医学演習（臨床編） 栄養学 リハビリテーション医学 （*含栄養学） （†含リハビリテーション医学） 診断学実習			46 28 22 7 9 63 81 43 63 48 72 29 15 21 14 9 18 18 18 70 69 47 40 20 18 6 26 15 18 10 18 8 14 ※14 ※8 49	16			

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(3) 臨床 医学 科目	症候・病態学演習 P B L テュートリアルⅢ P B L テュートリアルⅣ 総合臨床講義 臨床実習入門 臨床実習 集中臨床講義 選択制臨床実習			※63	12 ※63 90	36 20 990 120	42 240	
(4) 社会 医学 科目	E B M 入門 衛生学 公衆衛生学 法医学 統合型社会医学実習 (衛生学、公衆衛生学、法医学)				16 20 23 21 34			
(5) 医療 人 教育 科目	全人の医療人教育Ⅰ 全人の医療人教育Ⅱ 全人の医療人教育Ⅲ 全人の医療人教育Ⅳ 全人の医療人教育Ⅴ(C B M)	66	16	11	22	28		
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※「病理学各論Ⅰ」「病理学各論Ⅱ」「薬理学各論」

「栄養学」「リハビリテーション医学」は、統合科目として実施する。

※「PBL テュートリアルⅢ」「PBL テュートリアルⅣ」は、各ユニットに含まれる。

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	①人文科学							
	倫理学	1						
	哲学	1						
	宗教学	1						
	言語学	1						
	②社会科学							
	法学 1	1						
	法学 2	1						
	経済学	1						
	社会学	1						
	行動分析学入門	1						
	③芸術・健康科学							
	音楽	1						
	美術	1						
	スポーツ科学演習	2						
	ロジカルライティング入門	1						
	教材作成から学ぶ	1						
	④自然・環境科学							
	選択基礎化学	1						
	線形数学入門	1						
	かたちの科学入門	1						
	微分積分学入門	1						
	地球環境科学	1						
	特殊環境の生命を探る	1						
	バイオインフォマティクス入門	1						
	生体関連分子特論	1						
	演習生体有機化学	1						
	応用物理学	1						
	細胞の生物学	1						
	選択基礎物理学	1						
	⑤医療教養学							
	医療人のための日本語表現	1						
	男女共同参画と医療	1						
	役立つ最新の心理療法	1						
	医学生の学術情報活用演習	1						
	⑥基礎医科学							
	基礎免疫学	1						
	からだの化学的調節と循環器疾患	1						
	法医学入門	1						
	感染症の最前線	1						
	分子神経科学	1						
	呼吸を科学する	1						
	航空宇宙医学	1						
	人体構造学演習	1						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	行動神経解剖学（心理解剖学）	1						
	NEJM Case Recordsを読む	1						
	臨床微生物学・感染症学の基礎と応用	1						
	⑦臨床医科学							
	東洋医学概論	1						
	身体・心理・社会・医療モデル 1	1						
	身体・心理・社会・医療モデル 2	1						
	医療の変遷と潮流	1						
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅰ	1						
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅱ	1						
	英国疫学の歴史に学ぶEBM看護の機能と役割	1						
	看護の機能と役割	1						
	赤ちゃんを巡るところとからだ	1						
	⑧基礎語学							
	選択英語 1	2						
	選択基礎 2	2						
	CMESⅠ※	1						
	CMESⅡ※	1						
	CMESⅢ※	1						
	フランス語基礎	2						
	フランス語初級	2						
	MSFを読む 1	1						
	MSFを読む 2	1						
	ドイツ語基礎	2						
	ドイツ語初級	2						
	中国語基礎 1	2						
	中国語基礎 2	2						
	⑨言語コミュニケーション学							
	英会話初級 1	2						
	英会話初級 2	2						
	英会話中級 1	2						
	英会話中級 2	2						
	英会話上級 1	2						
	英会話上級 2	2						
	E L 1-Listening	1						
	E L 2-Reading	1						
	E L 3-Reading	1						
	ニュースのME 1	2						
	ニュースのME 2	2						
	ME医学英語 1	2						
	ME医学英語 2	2						
	Writing	2						
	C S A	1						
	オックスフォード・イングリッシュ・プログラム	2-3						
	Medical English Vocabulary	2						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	Speech Shadowing	2						
	Presentation	2						
	⑩語学検定							
	独語検定 1	1						
	独語検定 2	1						
	英語検定 (TOEFLコース)	2						
	⑪テュートリアル							
	インターネットテュートリアル	1						
	学生テュータ養成講座Ⅰ	1						
	学生テュータ養成講座Ⅱ	1						
目	⑫多職種連携							
	チーム医療演習	1						
	実用医療英語	1						
	計 (単位数)	116						
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※ 「CMESⅠ」「CMESⅡ」「CMESⅢ」は英語成績不良者の必修補講科目である。

※ 選択科目は第4年次までに18単位以上取得。

*計：授業時間数（1時限は70分）を示す。選択科目は単位数を示す。

(2) 薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成21年度から平成26年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位		選択単位		備 考
		講義	実習実技	講義	実習実技	
教 養 教 育 科 目	法学	1				選択必修単位(４単位履修する)
	倫理哲学	1				
	心理学	1				
	保健環境論	1				
	現代日本史			1		
	国際関係論			1		
	自己表現論			1		
	民俗学			1		
	経済学			1		
	文章表現論			1		
	薬史学			1		
	スポーツ科学			1		
外 国 語 科 目	英語Ⅰ	2				
	英語Ⅱ	2				
	英語Ⅲ	2				
	英語Ⅳ			2		
	英語Ⅴ			2		
	ドイツ語Ⅰ			2		
	ドイツ語Ⅱ			2		
	フランス語Ⅰ			2		
	フランス語Ⅱ			2		
	中国語Ⅰ			2		
	中国語Ⅱ			2		
	育保 科健 目体	体育実技Ⅰ				
体育実技Ⅱ					0.5	
小 計		10		24	1.5	
合 計		10		25.5		

注 自由科目の選択単位は卒業所要単位に含まない。

薬学部基礎教育科目、専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
基 礎 教 育 科 目	基礎物理	1						
	薬学応用物理学Ⅰ	1						
	薬学応用物理学Ⅱ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	薬学への招待	1						
	コンピュータ入門		1					
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期体験学習			0.5				
	基礎生物実習Ⅰ			0.5				
	基礎生物実習Ⅱ			0.5				
専 門 教 育 科 目	初等物理学演習					1		自由科目
	初等化学演習					0.5		自由科目
	初等数学演習					0.5		自由科目
	構造化学Ⅰ	1						
	構造化学Ⅱ	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	生体分子解析法Ⅰ	1						
	物理系実習Ⅰ			1.5				
	物理系実習Ⅱ			1				
	生体分子解析法Ⅱ				1			
	薬学応用物理学Ⅲ				1			
	薬化学Ⅰ	1						
	薬化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機構造解析	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品化学	1						
	生薬学	1						

授 業 科 目			必修単位			選択単位			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	化 学 系 薬 学 を 学 ぶ	天然物化学	1						
		漢方薬物学	1						
		化学系実習Ⅰ			1.5				
		化学系実習Ⅱ			1				
		総合化学				1			
		香粧品学				1			
	生 物 系 薬 学 を 学 ぶ	細胞生物学	1						
		人体生理学Ⅰ	1						
		人体生理学Ⅱ	1						
		微生物学	1						
		生化学Ⅰ	1						
		生化学Ⅱ	1						
		生化学Ⅲ	1						
		生化学Ⅳ	1						
		分子生物学Ⅰ	1						
		分子生物学Ⅱ	1						
		免疫Ⅰ	1						
		免疫Ⅱ	1						
		病原微生物学	1						
		生命科学Ⅰ	1						
		微生物実習			1				
		生物系実習Ⅰ			1				
		生物系実習Ⅱ			1				
		生命科学Ⅱ				1			
	健 康 と 環 境	健康Ⅰ	1						
		健康Ⅱ	1						
		環境Ⅰ	1						
		環境Ⅱ	1						
		環境Ⅲ	1						
		衛生薬学実習			1				
		健康Ⅲ				1			
		環境Ⅳ				1			
	薬 と 疾 病	薬理学Ⅰ	1						
		薬理学Ⅱ	1						
		薬理学Ⅲ	1						
		薬理学Ⅳ	1						
		薬理学Ⅴ	1						
		薬物動態学Ⅰ	1						
		薬物動態学Ⅱ	1						
		薬物動態学Ⅲ	1						
		病態検査学Ⅰ	1						
		病態生化学	1						
		化学療法学	1						
		ウイルス学	1						
		腫瘍学	1						
		疾患と薬物治療Ⅰ	1						

授 業 科 目			必修単位			選択単位			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	薬 と 疾 病	疾患と薬物治療Ⅱ	1						
		疾患と薬物治療Ⅲ	1						
		疾患と薬物治療Ⅳ	1						
		疾患と薬物治療Ⅴ	1						
		疾患と薬物治療Ⅵ	1						
		疾患と薬物治療Ⅶ	1						
		医療情報Ⅰ	1						
		医療情報Ⅱ	1						
		医薬品安全性学	1						
		薬理学実習			1.5				
		薬物動態学実習			1				
		病態検査学Ⅱ				1			
		薬理学Ⅵ				1			
		高齢者医療				1			
		疾患と薬物治療Ⅷ				1			
	医 薬 品 を つ く る	製剤学Ⅰ	1						
		製剤学Ⅱ	1						
		製剤学Ⅲ	1						
		医薬品開発Ⅰ	1						
		構造活性相関	1						
		治験	0.5						
		医療統計	1						
		製剤学実習			1				
		医療統計演習		0.5					
		分子生物学Ⅲ				1			
		総合薬剤学				1			
専 門 教 育 科 目	薬 学 と 社 会	薬事関係法規Ⅰ	2						
		薬剤経済	1						
		薬局概論	0.5						
		放射薬品学				1			
		一般用医薬品				1			
		薬事関係法規Ⅱ				1			
		放射薬品学実習						0.5	
	薬 局 病 院 薬 剤 ・ 師	プレ実務実習Ⅰ			1.5				病院実習・薬局実習 合計で20単位
		プレ実務実習Ⅱ			4.5				
		病院実習			20				
		薬局実習							
	問 題 解 決 能 力 の 醸 成	卒業研究			15				
		薬学演習Ⅰ		1					
		薬学演習Ⅱ		2					
		薬学総合演習Ⅰ		1					
		薬学総合演習Ⅱ		2					
		薬物治療演習		1					
		処方せん解析Ⅰ	1						
		処方せん解析Ⅱ	1						
		薬学総合講義Ⅵ	1						

授 業 科 目			必修単位			選択単位			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	薬 学 ア ド バ ン ス ト 教 育	薬学総合講義Ⅰ				1			選択必修科目 (2単位履修する)
		薬学総合講義Ⅱ				1			
		薬学総合講義Ⅲ				1			
		薬学総合講義Ⅳ				1			
		薬学総合講義Ⅴ				1			
		臨床薬学総論Ⅰ				1			
		臨床薬学総論Ⅱ				1			
		臨床生理学				1			
		薬剤師のためのやさしい英会話				1			
		実用薬学英語				1			
		医用工学概論				1			
		植物療法学				1			
		臨床漢方治療学				1			
		看護学				1			
		臨床心理学				1			
		コミュニケーション				0.5			
		臨床栄養学				0.5			
		人体解剖学				0.5			
		地域医療Ⅰ				0.5			
		地域医療Ⅱ				0.5			
		医薬品開発Ⅱ				0.5			
		医薬品開発Ⅲ				0.5			
		臨床医学総論Ⅰ				1			
		臨床医学総論Ⅱ				1			
		形態機能学総論				1			
		薬局管理学				1			
		環境学総論Ⅰ				1			
		環境学総論Ⅱ				1			
実用医療英語	1								
チーム医療演習	1								
症候学	0.5								
海外実務実習		2							
臨床検査実習		4.5							
小 計			84	11.5	55	40.5	4.5	7	
合 計			150.5			52			

注 自由科目の選択単位は卒業所要単位に含まない。

※平成21年度から平成26年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目166.5単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成27年度から平成28年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
	民俗学				1			*1
	経済学				1			*1
	スポーツ科学				1			*1
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
	フランス語Ⅰb				2			
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
	小 計	20	2.5	0.5	20	0.5	2	
	合 計	23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5	1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
	薬理学Ⅵ				1			
薬学臨床	1	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
	卒業研究Ⅱb						2	*2
薬学アドバンス	高齢者医療Ⅰ	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発Ⅰ				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬銀開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	香粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
	実用薬学英语					1		
	チーム医療演習					1		
	海外実務実習						2	
小計		85.5	13.5	46	23.5	2	8.5	
合計		145			34			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成27年度から平成28年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成29年度から平成30年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
外 国 語	民俗学				1			*1
	経済学				1			*1
	スポーツ科学				1			*1
	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
健 保 育 体	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
	フランス語Ⅰb				2			
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション	0.5						
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎（物理）	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学基礎（化学）	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医 療 薬 学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
	薬理学Ⅵ				1			
薬 学 臨 床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬 学 総 合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
	卒業研究Ⅱb						2	*2
薬 学 ア ド バ ン ス ト	高齢者医療Ⅰ	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	香粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
	実用薬学英語					1		
	チーム医療演習					1		
	海外実務実習						2	
小計		85.5	13.5	46	24.5	2	8.5	
合計		145			35			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成29年度から平成30年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

【平成31年度から令和3年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
	民俗学				1			*1
	経済学				1			*1
	スポーツ科学				1			*1
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
	フランス語Ⅰb				2			
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション	0.5						
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学基礎（物理）	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学基礎（化学）	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医 療 薬 学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
	薬理学Ⅵ				1			
薬 学 臨 床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者応対)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬 学 総 合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
	卒業研究Ⅱb						2	*2
薬 学 ア ド バ ン ス ト	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
	実用薬学英語					1		
	チーム医療演習					1		
	海外実務実習						2	
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成31年度から令和3年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【令和4年度の入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	データサイエンス実践入門					2		*1
	現代日本史				1			*2
	国際関係論				1			*2
外 国 語	自己表現論				1			*2
	民俗学				1			*2
	経済学				1			*2
	スポーツ科学				1			*2
	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
健 保 育 体	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
	フランス語Ⅰb				2			
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	2.5	2	
合 計		23			24.5			

*1 講義、演習を併用する

*2 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション	0.5						
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学基礎（物理）	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学基礎（化学）	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
	薬理学Ⅵ				1			
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者応対)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*3
	薬学総合講義Ⅱ				1			*3
	卒業研究Ⅱa						4	*3
	卒業研究Ⅱb						2	*3
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*4
	社会薬学特別講義				0.5			*4
	社会への招待Ⅱa				0.5			*5
	社会への招待Ⅱb				0.5			*5
	社会への招待Ⅱc				0.5			*5
	社会への招待Ⅱd				0.5			*5
	実用薬学英語					1		
	チーム医療演習					1		
	海外実務実習						2	
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*3 選択必修単位（4単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

*5 選択必修単位（0.5単位履修する）

※令和4年度以降の入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

【令和5年度以降の入学者に適用】

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
教養教育	法学	1			
	倫理哲学	1			
	心理学	1			
	保健環境論	1			
	文章表現論	1			
	基礎物理学Ⅰ	1			
	基礎物理学Ⅱ	1			
	基礎物理学Ⅲ	1			
	基礎化学	1			
	基礎生物学	1			
	基礎数学Ⅰ	1			
	基礎数学Ⅱ	1			
	初等物理学演習	1			
	初等化学演習	0.5			
	コンピュータ入門	1			
	基礎生物学実習	0.5			
	初等数学演習		0.5		
	データサイエンス実践入門		2		
	現代日本史		1	*1	
	国際関係論		1	*1	
	自己表現論		1	*1	
	民俗学		1	*1	
	経済学		1	*1	
	スポーツ科学		1	*1	
外国語	英語Ⅰa	2			
	英語Ⅰb	2			
	英語Ⅱa	2			
	英語Ⅱb	2			
	英会話		2		
	ドイツ語Ⅰa		2		
	ドイツ語Ⅰb		2		
	中国語Ⅰa		2		
	中国語Ⅰb		2		
	フランス語Ⅰa		2		
	フランス語Ⅰb		2		
体育健	スポーツ実習Ⅰ		1		
	スポーツ実習Ⅱ		1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療人意識形成	薬学入門	1			
	薬史学	1			
	コミュニケーション	0.5			
	プレゼンテーション	1			
	ヒューマニズムⅠ	0.5			
	ヒューマニズムⅡ	0.5			
	ヒューマニズムⅢ	0.5			
	ヒューマニズムⅣ	0.5			
	早期臨床体験	0.5			
	人間と生命		1		
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5			
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2			
	地域医療	0.5			
	薬局管理学	1			
	社会薬学総合演習		0.5		
薬学基礎（物理）	分析化学Ⅰ	1			
	分析化学Ⅱ	1			
	分析化学Ⅲ	1			
	薬学機器分析学	0.5			
	構造化学	1			
	物理化学Ⅰ	1			
	物理化学Ⅱ	1			
	放射薬品学	1			
	分析化学実習	1			
	物理化学実習	1			
	放射薬品学実習		0.5		
薬学基礎（化学）	生薬学	1			
	天然物化学	1			
	漢方薬学	1			
	植物療法学	1			
	無機化学	1			
	有機化学Ⅰ	1			
	有機化学Ⅱ	1			
	有機化学Ⅲ	1			
	有機化学Ⅳ	1			
	有機構造解析学	1			
	生物有機化学	1			
	医薬品合成化学Ⅰ	1			
	医薬品合成化学Ⅱ	1			
	医薬品化学	1			
	有機化学実習Ⅰ	0.5			
	有機化学実習Ⅱ	1			
	生薬学実習	1			

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1			
	生化学Ⅱ	1			
	生化学Ⅲ	1			
	細胞生物学	1			
	人体生理学Ⅰ	1			
	人体生理学Ⅱ	1			
	人体生理学Ⅲ	1			
	微生物学	1			
	病原微生物学	1			
	分子生物学Ⅰ	1			
	分子生物学Ⅱ	1			
	免疫学Ⅰ	1			
	免疫学Ⅱ	1			
	分子腫瘍学	0.5			
	微生物学実習	1			
	生化学実習	0.5			
	分子生物学・免疫学実習	0.5			
衛生薬学	環境Ⅰ	2			
	環境Ⅱ	1			
	健康Ⅰ	1			
	健康Ⅱ	1			
	健康Ⅲ	1			
	健康Ⅳ	1			
	臨床衛生学	1			
	衛生薬学実習	1			
医療薬学	薬理学Ⅰ	1			
	薬理学Ⅱ	1			
	薬理学Ⅲ	1			
	薬理学Ⅳ	1			
	薬理学Ⅴ	1			
	製剤学Ⅰ	1			
	製剤学Ⅱ	1			
	製剤学Ⅲ	1			
	薬物動態学Ⅰ	1			
	薬物動態学Ⅱ	1			
	薬物動態学Ⅲ	1			
	生物統計学	1			
	化学療法学	1			
	症候学	1			
	病態検査学	1			
	薬物治療学Ⅰ	1			
	薬物治療学Ⅱ	1			
	薬物治療学Ⅲ	1			
	薬物治療学Ⅳ	1			
	薬物治療学Ⅴ	1			

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1			
	薬物治療学Ⅶ	1			
	感染症学	1			
	臨床腫瘍学	0.5			
	臨床漢方治療学	1			
	医薬品安全性学	0.5			
	一般用医薬品学	1			
	先端医療薬学	1			
	医療情報Ⅰ	1			
	医療情報Ⅱ	1			
	医療情報Ⅲ	1			
	臨床薬学総論	1			
	薬物治療学演習	0.5			
	薬理学実習	1.5			
	製剤学実習	1			
	薬物動態学実習	1			
	病態検査学実習	0.5			
	薬理学Ⅵ		1		
薬学臨床	実践薬物治療学	1			
	ブレ実務実習Ⅰ(調剤)	1			
	ブレ実務実習Ⅰ(医薬品管理・患者対応)	0.5			
	ブレ実務実習Ⅱ(実践薬学)	2.5			
	ブレ実務実習Ⅱ(医療情報)	1			
	ブレ実務実習Ⅱ(総合演習)	1			
薬学総合	総合科学演習	1			
	薬学演習Ⅰ	1			
	薬学演習Ⅱ	2			
	薬学総合演習Ⅰ	2			
	薬学総合演習Ⅱ	4			
	病院実習	10			
	薬局実習	10			
	卒業研究Ⅰ	8			
	薬学総合講義Ⅰ		1	*2	
	薬学総合講義Ⅱ		1	*2	
	卒業研究Ⅱa		4	*2	
	卒業研究Ⅱb		2	*2	
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5			
	臨床医学総論Ⅰ	1			
	臨床医学総論Ⅱ	1			
	処方設計管理学	1			
	社会への招待Ⅰ	0.5			
	薬剤師のためのやさしい英会話		1		
	実用医療英語		1		
	生体分子解析学		1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
	医薬品開発Ⅰ		1		
	医薬品開発Ⅱ		1		
	医用工学概論		1		
	看護学		1		
	形態機能学総論		1		
	臨床心理学		1		
	生命科学		1		
	人体解剖学		0.5		
	臨床栄養学		0.5		
	環境学総論Ⅰ		0.5		
	環境学総論Ⅱ		0.5		
	香粧品学		0.5		
	レギュラトリーサイエンス		0.5		
	薬剤経済		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅰ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅱ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅲ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅳ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅴ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅵ		0.5		
	生命科学特別講義		0.5	*3	
	社会薬学特別講義		0.5	*3	
	社会への招待Ⅱa		0.5	*4	
	社会への招待Ⅱb		0.5	*4	
	社会への招待Ⅱc		0.5	*4	
	社会への招待Ⅱd		0.5	*4	
	実用薬学英語		1		
	チーム医療演習		1		
	海外実務実習		2		
	合計	168	59	0	卒業所要単位数は、必修168単位、選択18単位以上、計186単位以上とする。

*1 選択必修単位（2単位履修する）

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

(3-1) 理学部生物学科開設科目単位表

授業科目の区分			授業科目	単位数			備考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2		
			哲学		2		
			現代思想		2		
			倫理学		2		
			文学		2		
			日本文化論		2		
			芸術学		2		
			日本国憲法		2		
			法学		2		
			情報法		2		
			経済学A		2		
			経済学B		2		
			会計学		2		
			社会学		2		
			ダイバーシティ論		2		
			文化人類学		2		
			自然人類学		2		
			歴史学		2		
			科学史		2		
			心理学A		2		
			心理学B		2		
			教育心理学		2		
			教育原理		2		
		言語表現系	College English A1	1			
			College English A2	1			
			College English B1	1			
			College English B2	1			
			College English C1	1			
			College English C2	1			
			日本語文章表現A		1		
			日本語文章表現B		1		
			中国語A		1		
			中国語B		1		
			外国語セミナーA		1		
			外国語セミナーB		1		
			外国語セミナーC		1		
			外国語セミナーD		1		
			外国語セミナーE		1		
			外国語セミナーF		1		
			実用医療英語		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合 教育 科目	教養 教育 科目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 系	スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技 A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 L		1		
			スポーツ・健康科学実技 M		1		
			スポーツ・健康科学実技 N		1		
			スポーツ・健康科学実技 O		1		
			スポーツ・健康科学演習 A		1		
			スポーツ・健康科学演習 B		1		
			スポーツ・健康科学演習 C		1		
			スポーツ・健康科学演習 D		1		
			スポーツ・健康科学演習 E		1		
			スポーツ・健康科学演習 F		1		
			スポーツ・健康科学演習 G		1		
			スポーツ・健康科学演習 H		1		
			スポーツ・健康科学演習 I		1		
			スポーツ・健康科学演習 J		1		
			スポーツ・健康科学演習 K		1		
			スポーツ・健康科学演習 L		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
			教育社会学		2		
			人間と生命		1		
	基礎教育科目		数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
			情報科学A 1		1		
			情報科学A 2		1		
			情報科学B 1		2		
			情報科学B 2		2		
			データサイエンス実践入門		2		
			一般化学	2			
			生命科学		2		
			物理学概論		2		
			一般物理学		2		
			地球宇宙科学		2		
			化学実験		1		
			生命科学実験		1		
			物理学実験		1		
			地球宇宙科学実験		1		
			初年次セミナー		2		
			化学ベーシックA			1	
			化学ベーシックB			1	
			生物ベーシックA			1	
			生物ベーシックB			1	
			数学ベーシックA			1	
			数学ベーシックB			1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
		統合科目 2 0		2		
専門教育科目		生物学序論	1			
		細胞生物学	2			
		遺伝学	2			
		基礎生物科学演習 I	1			
		生物基礎実験	1			
		物質生化学	2			
		基礎生理学	2			
		動物生態学	2			
		発生生物学	2			
		分子生物学	2			
		植物生理学 I	2			
		基礎生物科学演習 II	1			
		分子・細胞生物学実習	1			
		組織学	2			
		基礎免疫生物学	2			
		代謝生化学	2			
		系統分類学	1			
		植物生態学	2			
		生化学実習	1			
		卒業研究 I	1			
		多様性生物学		2		
		植物生理学 II		2		
		動物行動学		2		
		発生学実習		1		
		野外生態学実習 I		1		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	応用生化学		2		
	分子細胞生物学		2		
	分子遺伝学		1		
	分子発生生物学		2		
	植物系統学		1		
	進化生態学		2		
	解剖学実習		1		
	組織学実習		1		
	植物生理学実習		1		
	遺伝学実習		1		
	動物生理学		2		
	生物統計学		2		
	微生物学Ⅰ		1		
	微生物学Ⅱ		1		
	免疫生物学		2		
	幹細胞生物学		2		
	分子生理学		2		
	動物形態進化学		2		
	生物学特論Ⅰ		1		
	生命科学研究セミナー		1		
	微生物学実習		1		
	免疫生物学実習		1		
	生命工学実習		1		
	動物生理学実習		1		
	野外生態学実習Ⅱ		1		
	分子進化学		1		
	行動生理学		1		
	霊長類生態学		1		
	高山生態学		1		
	生物科学英語		1		
	生物学特論Ⅱ		1		
	生物科学実践実習		3		
	生物学特論Ⅲ		1		
	卒業研究Ⅱ		4		
	生物学演習Ⅱ		1		
	生物学特論Ⅳ		1		
	卒業研究Ⅲ		4		
	生物学演習Ⅲ		1		
	生物学特論Ⅴ		1		
	生物学特論Ⅵ		1		
	学外講義		2		
	学外実習		1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	(医用電子工学概論実習)		(0.5)		物理学実験をもってこれに代える (再掲：統合科目) (再掲：統合科目)
		医学概論		(2)		
		臨床病態学		(2)		
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
		病理検査学実習		1		
		微生物検査学		2		
		臨床検査学実習Ⅰ		0.7		
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅳ		1		
		臨地実習		12		
		臨床特別講義		1		
		チーム医療演習		1		
		合計	44	340.5	6	卒業所要単位は、必修44単位、選択80単位以上、計124単位以上とする。

(3-2) 理学部化学科開設科目単位表

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2		
			哲学		2		
			現代思想		2		
			倫理学		2		
			文学		2		
			日本文化論		2		
			芸術学		2		
			日本国憲法		2		
			法学		2		
			情報法		2		
			経済学A		2		
			経済学B		2		
			会計学		2		
			社会学		2		
			ダイバーシティ論		2		
			文化人類学		2		
			自然人類学		2		
			歴史学		2		
			科学史		2		
			心理学A		2		
		心理学B		2			
		教育心理学		2			
		教育原理		2			
		言語表現系	College English A1	1			
			College English A2	1			
			College English B1	1			
			College English B2	1			
			College English C1	1			
	College English C2		1				
	日本語文章表現A			1			
	日本語文章表現B			1			
	中国語A		1				
	中国語B		1				
	外国語セミナーA		1				
	外国語セミナーB		1				
	外国語セミナーC		1				
外国語セミナーD		1					
外国語セミナーE		1					
外国語セミナーF		1					
実用医療英語		1					

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合 教育 科目	教養 教育 科目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 系	スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技 A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 L		1		
			スポーツ・健康科学実技 M		1		
			スポーツ・健康科学実技 N		1		
			スポーツ・健康科学実技 O		1		
			スポーツ・健康科学演習 A		1		
			スポーツ・健康科学演習 B		1		
			スポーツ・健康科学演習 C		1		
			スポーツ・健康科学演習 D		1		
			スポーツ・健康科学演習 E		1		
			スポーツ・健康科学演習 F		1		
			スポーツ・健康科学演習 G		1		
			スポーツ・健康科学演習 H		1		
			スポーツ・健康科学演習 I		1		
			スポーツ・健康科学演習 J		1		
			スポーツ・健康科学演習 K		1		
			スポーツ・健康科学演習 L		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
			教育社会学		2		
			人間と生命		1		
	基盤教育科目		数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
			情報科学A 1		1		
			情報科学A 2		1		
			情報科学B 1		2		
			情報科学B 2		2		
			データサイエンス実践入門		2		
			一般化学	2			
			生命科学		2		
			物理学概論		2		
			一般物理学	2			
			地球宇宙科学		2		
			化学実験		1		
			生命科学実験		1		
			物理学実験		1		
			地球宇宙科学実験		1		
			初年次セミナー		2		
			化学ベーシック A			1	
			化学ベーシック B			1	
			生物ベーシック A			1	
			生物ベーシック B			1	
			数学ベーシック A			1	
			数学ベーシック B			1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合 教育 科目	統合 科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
		統合科目 2 0		2		
専門 教育 科目		基礎化学	2			
		基礎化学実験	2			
		基礎物理学実験	2			
		情報化学		2		
		卒業研究		10		
		化学輪講Ⅰ	(1)			臨床検査技師課程以外は化学輪講Ⅰ・化学輪講Ⅱが必修。臨床検査技師課程は臨床検査総合管理学Ⅲ・臨床検査総合管理学Ⅳが必修。
		化学輪講Ⅱ	(1)			
		臨床検査総合管理学Ⅲ	(1)			
		臨床検査総合管理学Ⅳ	(1)			
		特別問題研究		2		
		微生物学Ⅰ		1		
		微生物学Ⅱ		1		
		生物化学Ⅰ		2		
		生物化学Ⅱ		2		
		生物化学実験		1		
		分析化学Ⅰ	2			
		分析化学Ⅱ	2			
		分析化学Ⅲ		2		
		分析化学Ⅳ		2		
		分析化学Ⅴ		2		
		地球・環境化学Ⅰ		2		
		地球・環境化学Ⅱ		2		
		無機・分析化学演習Ⅰ	1			
		分析化学実験	2			

授業科目の区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	無機化学Ⅰ	2			
	無機化学Ⅱ	2			
	無機化学Ⅲ		2		
	無機化学Ⅳ		2		
	無機化学Ⅴ		2		
	放射化学		2		
	錯体化学		2		
	無機・分析化学演習Ⅱ	1			
	無機化学実験	2			
	有機化学Ⅰ	2			
	有機化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅲ		2		
	有機化学Ⅳ		2		
	有機化学Ⅴ		2		
	有機化学Ⅵ		2		
	有機化学Ⅶ		2		
	有機化学演習Ⅰ	1			
	有機化学演習Ⅱ	1			
	有機化学実験	4			
	物理化学Ⅰ	2			
	物理化学Ⅱ		2		
	物理化学Ⅲ	2			
	物理化学Ⅳ		2		
	物理化学Ⅴ		2		
	物理化学Ⅵ		2		
	物理化学Ⅶ		2		
	物理化学演習Ⅰ	1			
	物理化学演習Ⅱ	1			
	物理化学実験	4			
	化学特論Ⅰ		1		
	化学特論Ⅱ		1		
	化学特論Ⅲ		1		
	化学特論Ⅳ		1		
	化学特論Ⅴ		1		
	化学特論Ⅵ		1		
	化学特論Ⅶ		1		
	化学特論Ⅷ		1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目科目目	臨床検査技師資格関連科目	基礎生理学		2		基礎物理学実験をもってこれに代える (再掲) (再掲)
		組織学		2		
		分子生物学Ⅰ		2		
		免疫学		2		
		免疫検査学		2		
		微生物学実習		1		
		(医用電子工学概論実習)		(0.5)		
		医学概論		(2)		
		臨床病態学		(2)		
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
		病理検査学実習		1		
		微生物検査学		2		
		臨床検査学実習Ⅰ		0.7		
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		(1)		
臨床検査総合管理学Ⅳ		(1)				
臨地実習		12				
臨床特別講義		1				
チーム医療演習		1				
		合計	56	347.5	6	卒業所要単位は、必修56単位、選択68単位以上、計124単位以上とする。

(3-3) 理学部生物分子科学科開設科目単位表

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2		
			哲学		2		
			現代思想		2		
			倫理学		2		
			文学		2		
			日本文化論		2		
			芸術学		2		
			日本国憲法		2		
			法学		2		
			情報法		2		
			経済学A		2		
			経済学B		2		
			会計学		2		
			社会学		2		
			ダイバーシティ論		2		
			文化人類学		2		
			自然人類学		2		
			歴史学		2		
			科学史		2		
			心理学A		2		
			心理学B		2		
			教育心理学		2		
			教育原理		2		
		言語表現系	College English A1	1			
			College English A2	1			
			College English B1	1			
			College English B2	1			
			College English C1	1			
			College English C2	1			
			日本語文章表現A		1		
			日本語文章表現B		1		
			中国語A		1		
			中国語B		1		
			外国語セミナーA		1		
			外国語セミナーB		1		
			外国語セミナーC		1		
			外国語セミナーD		1		
			外国語セミナーE		1		
			外国語セミナーF		1		
			実用医療英語		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合 教育 科目	教養 教育 科目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 系	スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技 A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 L		1		
			スポーツ・健康科学実技 M		1		
			スポーツ・健康科学実技 N		1		
			スポーツ・健康科学実技 O		1		
			スポーツ・健康科学演習 A		1		
			スポーツ・健康科学演習 B		1		
			スポーツ・健康科学演習 C		1		
			スポーツ・健康科学演習 D		1		
			スポーツ・健康科学演習 E		1		
			スポーツ・健康科学演習 F		1		
			スポーツ・健康科学演習 G		1		
			スポーツ・健康科学演習 H		1		
			スポーツ・健康科学演習 I		1		
			スポーツ・健康科学演習 J		1		
			スポーツ・健康科学演習 K		1		
			スポーツ・健康科学演習 L		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
			教育社会学		2		
			人間と生命		1		
	基礎教育科目		数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
			情報科学A 1		1		
			情報科学A 2		1		
			情報科学B 1		2		
			情報科学B 2		2		
			データサイエンス実践入門		2		
			一般化学	2			
			生命科学		2		
			物理学概論		2		
			一般物理学		2		
			地球宇宙科学		2		
			化学実験		1		
			生命科学実験		1		
			物理学実験		1		
			地球宇宙科学実験		1		
			初年次セミナー		2		
			化学ベーシックA			1	
			化学ベーシックB			1	
			生物ベーシックA			1	
			生物ベーシックB			1	
			数学ベーシックA			1	
			数学ベーシックB			1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
		統合科目 2 0		2		
専門教育科目		有機化学Ⅰ	2			
		基礎生理学	2			
		細胞生物学	2			
		基礎生化学	2			
		生物分子科学実験Ⅰ	1			
		物理化学Ⅰ	2			
		生化学Ⅰ	2			
		分子生物学Ⅰ	2			
		生物分子科学実験Ⅱ	1			
		生物分子科学実験Ⅲ	1			
		細胞組織学	2			
		遺伝子工学Ⅰ	2			
		生物分子科学実験Ⅳ	1			
		生物分子科学実験Ⅴ	1			
		生物分子科学特論Ⅲ	2			
		生物分子科学演習Ⅰ	1			
		生物分子科学演習Ⅱ	1			
		基礎化学演習		1		
		基礎細胞生物学		2		
		基礎遺伝学		2		
		生命科学概論		2		
		生物分子科学セミナーⅠ		1		
		基礎進化生物学		2		
		分析化学		2		
		有機化学Ⅱ		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	情報生物学		2		
	生理学Ⅰ		2		
	臨床遺伝学		2		
	有機分析法		2		
	情報科学概論		2		
	発生生物学		2		
	分子医学概論		2		
	野外実習		1		
	生体分子構造論A		1		
	生体分子構造論B		1		
	生物無機化学A		1		
	生物無機化学B		1		
	生物有機化学A		1		
	生物有機化学B		1		
	生理学Ⅱ A		1		
	生理学Ⅱ B		1		
	免疫学		2		
	微生物学Ⅰ		1		
	微生物学Ⅱ		1		
	生物分子科学実験Ⅵ		1		
	機能性材料化学A		1		
	機能性材料化学B		1		
	分子医学Ⅰ		2		
	分子医学ⅡA		1		
	分子医学ⅡB		1		
	分子医学ⅢA		1		
	分子医学ⅢB		1		
	応用ゲノム科学A		1		
	応用ゲノム科学B		1		
	生物物理化学A		1		
	生物物理化学B		1		
	生物分子科学特論Ⅰ		2		
	生物分子科学特論Ⅳ A		1		
	生物分子科学特論Ⅳ B		1		
	卒業研究		10		
	生物分子科学演習Ⅲ		1		
	生物分子科学特論Ⅱ		2		
	生物分子科学特論Ⅴ		2		
	生物分子科学特論Ⅵ		2		
	生物分子科学特論Ⅶ		2		
	生物分子科学特論Ⅷ		2		
	生物分子科学セミナーⅡ		1		
	学外実習		2		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	医用電子工学概論実習		0.5		(再掲) (再掲)
		医学概論		(2)		
		臨床病態学		(2)		
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
		病理検査学実習		1		
		微生物検査学		2		
		臨床検査学実習Ⅰ		0.7		
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅳ		1		
		臨地実習		12		
		臨床特別講義		1		
		チーム医療演習		1		
		合 計	39	354	6	卒業所要単位は、必修39単位、選択85単位以上、計124単位以上とする。

(3-4) 理学部物理学科開設科目単位表

授業科目の区分			授業科目	単位数			備考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2		
			哲学		2		
			現代思想		2		
			倫理学		2		
			文学		2		
			日本文化論		2		
			芸術学		2		
			日本国憲法		2		
			法学		2		
			情報法		2		
			経済学A		2		
			経済学B		2		
			会計学		2		
			社会学		2		
			ダイバーシティ論		2		
			文化人類学		2		
			自然人類学		2		
			歴史学		2		
			科学史		2		
			心理学A		2		
			心理学B		2		
			教育心理学		2		
			教育原理		2		
		言語表現系	College English A1	1			
			College English A2	1			
			College English B1	1			
			College English B2	1			
			College English C1	1			
			College English C2	1			
			日本語文章表現A		1		
			日本語文章表現B		1		
			中国語A		1		
			中国語B		1		
			外国語セミナーA		1		
			外国語セミナーB		1		
			外国語セミナーC		1		
			外国語セミナーD		1		
			外国語セミナーE		1		
			外国語セミナーF		1		
			実用医療英語		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合 教育 科目	教養 教育 科目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 系	スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技 A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 L		1		
			スポーツ・健康科学実技 M		1		
			スポーツ・健康科学実技 N		1		
			スポーツ・健康科学実技 O		1		
			スポーツ・健康科学演習 A		1		
			スポーツ・健康科学演習 B		1		
			スポーツ・健康科学演習 C		1		
			スポーツ・健康科学演習 D		1		
			スポーツ・健康科学演習 E		1		
			スポーツ・健康科学演習 F		1		
			スポーツ・健康科学演習 G		1		
			スポーツ・健康科学演習 H		1		
			スポーツ・健康科学演習 I		1		
			スポーツ・健康科学演習 J		1		
			スポーツ・健康科学演習 K		1		
			スポーツ・健康科学演習 L		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
			教育社会学		2		
			人間と生命		1		
	基盤教育科目		数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1	2			
			数学B 2	2			
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
			情報科学A 1		1		
			情報科学A 2		1		
			情報科学B 1		2		
			情報科学B 2		2		
			データサイエンス実践入門		2		
			一般化学		2		
			生命科学		2		
			物理学概論		2		
			一般物理学		2		
			地球宇宙科学		2		
			化学実験		1		
			生命科学実験		1		
			物理学実験		1		
			地球宇宙科学実験		1		
			初年次セミナー		2		
			化学ベーシックA			1	
			化学ベーシックB			1	
			生物ベーシックA			1	
			生物ベーシックB			1	
			数学ベーシックA			1	
			数学ベーシックB			1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
		統合科目 2 0		2		
専門教育科目		力学Ⅰ	2			
		力学演習Ⅰ	1			
		力学Ⅱ	2			
		力学演習Ⅱ	1			
		解析力学	2			
		解析力学演習	1			
		電磁気学Ⅰ	2			
		電磁気学演習Ⅰ	1			
		電磁気学Ⅱ	2			
		電磁気学演習Ⅱ	1			
		電磁気学Ⅲ		2		
		基礎数学演習Ⅰ	1			
		基礎数学演習Ⅱ	1			
		物理数学Ⅰ	2			
		物理数学演習Ⅰ	1			
		物理数学Ⅱ	1			
		物理数学演習Ⅱ	0.5			
		物理数学Ⅲ		1		
		物理数学演習Ⅲ		0.5		
		微分方程式		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	熱力学	2			
	統計力学Ⅰ	2			
	統計力学演習Ⅰ	1			
	統計力学Ⅱ	1			
	統計力学演習Ⅱ	0.5			
	統計力学Ⅲ		1		
	統計力学演習Ⅲ		0.5		
	原子物理学	2			
	量子力学Ⅰ	2			
	量子力学演習Ⅰ	1			
	量子力学Ⅱ	1			
	量子力学演習Ⅱ	0.5			
	量子力学Ⅲ		1		
	量子力学演習Ⅲ		0.5		
	物理数学入門	2			
	物理学実験Ⅰ	2			
	物理学実験ⅡA	2			
	物理学実験ⅡB	2			
	物理学実験ⅢA	2			
	物理学実験ⅢB	2			
	卒業研究A	5			
	卒業研究B	5			
	コンピュータプログラミング		1		
	物理計測学		2		
	相対性理論		2		
	化学		2		
	原子核物理学		2		
	物理光学		2		
	銀河天文学		2		
	素粒子物理学		2		
	高エネルギー物理学		2		
	固体物理学A		2		
	電子工学		2		
	固体物理学B		2		
	化学物理学		2		
	宇宙物理学		2		
	物理学特別講義Ⅰ		2		
	物理学特別講義Ⅱ		2		
	物理学特論Ⅰ		2		
	物理学特論Ⅱ		2		
	合計	70.5	243.5	6	卒業所要単位は、必修70.5単位、選択53.5単位以上、計124単位以上とする。

(3-5) 理学部情報科学科開設科目単位表

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合 教育 科目	教養 教育 科目	人文・ 社会 科学 系	人文社会科学入門		2		
			哲学		2		
			現代思想		2		
			倫理学		2		
			文学		2		
			日本文化論		2		
			芸術学		2		
			日本国憲法		2		
			法学		2		
			情報法		2		
			経済学A		2		
			経済学B		2		
			会計学		2		
			社会学		2		
			ダイバーシティ論		2		
			文化人類学		2		
			自然人類学		2		
			歴史学		2		
			科学史		2		
			心理学A		2		
			心理学B		2		
			教育心理学		2		
			教育原理		2		
		言語 表現 系	College English A1	1			
			College English A2	1			
			College English B1	1			
			College English B2	1			
			College English C1	1			
			College English C2	1			
			日本語文章表現A		1		
			日本語文章表現B		1		
			中国語A		1		
			中国語B		1		
			外国語セミナーA		1		
			外国語セミナーB		1		
			外国語セミナーC		1		
			外国語セミナーD		1		
			外国語セミナーE		1		
			外国語セミナーF		1		
			実用医療英語		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系	スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技 A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 L		1		
			スポーツ・健康科学実技 M		1		
			スポーツ・健康科学実技 N		1		
			スポーツ・健康科学実技 O		1		
			スポーツ・健康科学演習 A		1		
			スポーツ・健康科学演習 B		1		
			スポーツ・健康科学演習 C		1		
			スポーツ・健康科学演習 D		1		
			スポーツ・健康科学演習 E		1		
			スポーツ・健康科学演習 F		1		
			スポーツ・健康科学演習 G		1		
			スポーツ・健康科学演習 H		1		
			スポーツ・健康科学演習 I		1		
			スポーツ・健康科学演習 J		1		
			スポーツ・健康科学演習 K		1		
			スポーツ・健康科学演習 L		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
			教育社会学		2		
			人間と生命		1		
	基盤教育科目	数学A 1	2				
		数学A 2	2				
		数学B 1	2				
		数学B 2	2				
		確率と統計A		2			
		確率と統計B		2			
		情報科学A 1		1			
		情報科学A 2		1			
		情報科学B 1		2			
		情報科学B 2		2			
		データサイエンス実践入門		2			
		一般化学		2			
		生命科学		2			
		物理学概論		2			
		一般物理学		2			
		地球宇宙科学		2			
		化学実験		1			
		生命科学実験		1			
		物理学実験		1			
		地球宇宙科学実験		1			
		初年次セミナー		2			
		化学ベーシックA			1		
		化学ベーシックB			1		
		生物ベーシックA			1		
		生物ベーシックB			1		
		数学ベーシックA			1		
		数学ベーシックB			1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
		統合科目 2 0		2		
専門教育科目		情報数理A	2			数理知能科学コースのみ必修 メディア生命科学コースのみ必修
		情報数理演習A	1			
		プログラミングA	2			
		情報数理B	2			
		情報数理演習B	1			
		プログラミングB	2			
		コンピュータアーキテクチャ	2			
		確率論入門	2			
		情報数理C	(2)			
		情報数理演習C	(1)			
		データ解析	(2)			
		情報数理D	(2)			
		情報数理演習D	(1)			
		コンピュータ数学	(2)			
		アルゴリズムとデータ構造	(2)			
		アルゴリズムとデータ構造演習	(1)			
		データ活用概論	(2)			
		データ活用演習	(1)			
		UNIXとネットワーク	(2)			
		データ構造とプログラミング	(2)			
		プロジェクトA	2			
		プロジェクトB	2			
		情報科学セミナー	2			
		卒業研究A	5			
		卒業研究B	5			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門 教育科目	情報 基盤 分野	フーリエ解析		2		
		グラフ理論		2		
		コンピュータネットワーク		2		
		ソフトウェア工学		2		
		メディア情報処理		2		
		データ科学基礎		2		
		コンパイラと形式言語		2		
		マルチパラダイムプログラミング		2		
		データベース論		2		
		自然言語処理		2		
		社会情報学		2		
		情報・符号理論		2		
		暗号と情報セキュリティ		2		
		人工知能		2		
		情報産業論		2		
	数理 先進 分野	確率過程論		2		
		離散数学		2		
		ラプラス変換		2		
		ベクトル解析		2		
		複素関数論		2		
		実関数論		2		
		確率解析学		2		
		応用幾何学		2		
		形式論理学		2		
		行動計量学		2		
		数理知能科学講究A		2		
		数理計画法		2		
		情報代数学		2		
		数理知能科学講究B		2		
		関数解析学		2		
	メ デ ィ ア 生 命 分 野	メディア創作概論		2		
		医療情報学		2		
		基礎分子生物学		2		
		CGクリエーション		2		
		デジタル信号処理		2		
		コンピュータグラフィックス		2		
		神経回路理論		2		
		CGクリエーション演習		1		
		バイオインフォマティクス基礎論		2		
		コンピュータビジョン		2		
		メディア生命科学講究A		2		
		シミュレーション		2		
		パターン認識		2		
		メディア生命科学講究B		2		
		生命医科学情報ネットワーク論		2		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専門 教 育 科 目	そ の 他 の 科 目	情報テクノロジー		2			
		情報マネジメント・ストラテジ		2			
		社会調査論		2			
		社会調査演習A		1			
		社会調査演習B		1			
		社会調査法		2			
	(教 職)	教職数学A			2		
		教職数学B			2		
			合計	54	309	10	卒業所要単位は、必修54単位、選択70単位以上、計124単位以上とする。

(3-6) 理学部生命圏環境科学科開設科目単位表

授業科目の区分			授業科目	単位数			備考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2		
			哲学		2		
			現代思想		2		
			倫理学		2		
			文学		2		
			日本文化論		2		
			芸術学		2		
			日本国憲法		2		
			法学		2		
			情報法		2		
			経済学A		2		
			経済学B		2		
			会計学		2		
			社会学		2		
			ダイバーシティ論		2		
			文化人類学		2		
			自然人類学		2		
			歴史学		2		
			科学史		2		
			心理学A		2		
			心理学B		2		
			教育心理学		2		
			教育原理		2		
		言語表現系	College English A1	1			
			College English A2	1			
			College English B1	1			
			College English B2	1			
			College English C1	1			
			College English C2	1			
			日本語文章表現A		1		
			日本語文章表現B		1		
			中国語A		1		
			中国語B		1		
			外国語セミナーA		1		
			外国語セミナーB		1		
			外国語セミナーC		1		
			外国語セミナーD		1		
			外国語セミナーE		1		
			外国語セミナーF		1		
			実用医療英語		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系	スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技 A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技 K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技 L		1		
			スポーツ・健康科学実技 M		1		
			スポーツ・健康科学実技 N		1		
			スポーツ・健康科学実技 O		1		
			スポーツ・健康科学演習 A		1		
			スポーツ・健康科学演習 B		1		
			スポーツ・健康科学演習 C		1		
			スポーツ・健康科学演習 D		1		
			スポーツ・健康科学演習 E		1		
			スポーツ・健康科学演習 F		1		
			スポーツ・健康科学演習 G		1		
			スポーツ・健康科学演習 H		1		
			スポーツ・健康科学演習 I		1		
			スポーツ・健康科学演習 J		1		
			スポーツ・健康科学演習 K		1		
			スポーツ・健康科学演習 L		1		

授業科目の区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
			教育社会学		2		
			人間と生命		1		
	基盤教育科目		数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
			情報科学A 1		1		
			情報科学A 2		1		
			情報科学B 1		2		
			情報科学B 2		2		
			データサイエンス実践入門		2		
			一般化学		2		
			生命科学		2		
			物理学概論		2		
			一般物理学		2		
			地球宇宙科学		2		
			化学実験		1		
			生命科学実験		1		
			物理学実験		1		
			地球宇宙科学実験		1		
			初年次セミナー		2		
			化学ベーシックA			1	
			化学ベーシックB			1	
			生物ベーシックA			1	
			生物ベーシックB			1	
			数学ベーシックA			1	
			数学ベーシックB			1	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
		統合科目 2 0		2		
専門教育科目	環境科学概論科目	自然環境科学概論		1		
		生命環境科学概論		1		
		人間環境科学概論		1		
		地球環境科学概論		1		
		環境科学体験実習		1		
	環境科学基礎科目	一般化学Ⅱ		2		
		生命科学Ⅱ		2		
		一般物理学Ⅱ		2		
		地球宇宙科学Ⅱ		2		
		環境統計基礎		2		
		コミュニケーションⅠ		2		
		コミュニケーションⅡ		2		
		化学実験Ⅱ		1		
		生命科学実験Ⅱ		1		
		物理学実験Ⅱ		1		
		地球宇宙科学実験Ⅱ		1		
		環境科学プロジェクト実習		2		
	環境科学応用科目	物質科学		2		
		グリーンケミストリー		2		
		保全生態学		2		
		エネルギー環境学		2		
		再生可能エネルギー論		2		
		環境経済学		2		
		環境法		2		
		環境倫理学		2		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	環境科学専門科目	環境化学Ⅰ		2		
		環境化学Ⅱ		2		
		環境分析科学		2		
		環境技術企業論		2		
		生物分類論		2		
		群集生態学		2		
		海洋生態学		2		
		地球・惑星科学Ⅰ		2		
		地球・惑星科学Ⅱ		2		
		リモートセンシング		2		
		気象予報論		2		
		環境マネジメント		2		
		環境政策		2		
		環境情報システム		2		
		国際環境ビジネス論		2		
		生命圏環境科学特論Ⅰ		2		
		生命圏環境科学特論Ⅱ		2		
		生命圏環境科学特論Ⅲ		2		
		生命圏環境科学特論Ⅳ		2		
		プログラミング		2		
		環境科学海外研修		2		
		環境科学野外実習Ⅰ		1		
		環境科学野外実習Ⅱ		1		
		環境科学野外実習Ⅲ		1		
		環境科学野外実習Ⅳ		1		
		環境科学野外実習Ⅴ		1		
		環境科学野外実習Ⅵ		1		
		環境科学応用演習Ⅰ		1		
		環境科学応用演習Ⅱ		1		
	環境ト科学ユニット	地球科学ユニット科目	(3)			所属コースに沿っていずれか必修
		環境生態学ユニット科目	(3)			
		環境化学ユニット科目	(3)			
		環境管理・創成科学ユニット科目	(3)			
	研 卒 究 業	卒業研究Ⅰ	4			臨床検査技師課程配属者は課程の別科目の履修により「卒業研究Ⅰ、Ⅱ」の単位にあてる
		卒業研究Ⅱ	4			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	生物化学Ⅰ		2		＊１ 物理学実験をもってこれに代える (再掲) (再掲)
		生物化学Ⅱ		2		
		生物化学実験		1		
		基礎生理学		2		
		組織学		2		
		微生物学Ⅰ		1		
		微生物学Ⅱ		1		
		分子生物学Ⅰ		2		
		免疫学		2		
		免疫検査学		2		
		微生物学実習		1		
		(医用電子工学概論実習)		(0.5)		
		医学概論		(2)		
		臨床病態学		(2)		
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		＊１
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		＊１
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
		病理検査学実習		1		
		微生物検査学		2		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門 教育 科目	臨床検査技師資格関連科目	臨床検査学実習Ⅰ		0.7		＊１
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		＊１（臨床検査技師課程の学生は＊１の４科目の履修をもって「卒業研究Ⅰ」の履修とみなす）
		臨床検査総合管理学Ⅳ		1		
		臨地実習		12		
		臨床特別講義		1		
		チーム医療演習		1		
		合計	21	382.5	6	卒業所要単位は、必修21単位、選択103単位以上、計124単位以上とする。

(4) 看護学部看護学科開設科目単位表【令和5年度以降入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1		17単位以上 必修8単位 ＋ 選択9単位以上
		人間論	1			
		死生表象論		1		
		文学		1		
		文化人類学		1		
		法学（日本国憲法）	1			
		法律と医療		1		
		社会学		1		
		教育学		1		
		心理学	1			
		臨床心理学		1		
		医療人間論	1			
		コミュニケーション・スキル		1		
		自然科学の基礎	1			
		化学		1		
		生物学	1			
		物理学		1		
		宇宙科学		1		
		人と芸術	1			
		チームビルディングと自然体験	1			
	視野を広げる	異文化理解Ⅰ		1		10単位以上 必修8単位 ＋ 選択2単位以上 （ただし、英語集中講座以外から最低1単位必要）
		異文化理解Ⅱ		1		
		データサイエンス実践入門		2		
		英語Ⅰa	1			
		English Communication		1		
		英語Ⅰb	1			
		英語Ⅰc	1			
		英語Ⅱa	1			
		英語Ⅱb	1			
		Medical English	1			
		第2外国語 a	1			
		第2外国語 b	1			
		English Communication for Nurses a/b		1		
		英語集中講座 a（海外）		2		
		英語集中講座 b（国内）		1		
		Advanced ReadingⅠ		1		
		Advanced ReadingⅡ		1		
		English Proficiency TestⅠ		1		
		English Proficiency TestⅡ		1		
		実用医療英語		1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2			23単位以上 必修21単位 ＋ 選択2単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2			
		生化学と栄養	1			
		遺伝学	1			
		病態と治療Ⅰ	2			
		病態と治療Ⅱ	2			
		病態と治療Ⅲ	2			
		感染と防御	2			
		感染制御学	1			
		人体と薬物	2			
		運動科学		1		
		東洋医学		1		
		音楽療法		1		
		公衆衛生学	1			
		疫学と保健統計	2			
		地域共生社会論		1		
		健康支援と社会保障	1			
	探究	アカデミック・スキルⅠ	1			必修 8単位
		アカデミック・スキルⅡ	1			
		基礎統計学	1			
		研究方法論	2			
		卒業研究	3			
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1			必修 10単位
		基礎看護学Ⅰ	2			
		基礎看護学Ⅱ	2			
		看護過程論	2			
		基礎看護学Ⅲ	2			
		基礎看護学Ⅳ	1			必修 3単位
		基礎看護学実習Ⅰ	1			
		基礎看護学実習Ⅱ	2			必修 3単位
		看護管理学	2			
		看護倫理学	1			必修 5単位
	看護の展開	成人看護学概論	1			
		成人看護学Ⅰ	2			
		成人看護学Ⅱ	2			
		成人看護学実習	4			必修 4単位
		高齢者看護学概論	1			必修 4単位
		高齢者看護学Ⅰ	1			
		高齢者看護学Ⅱ	2			必修 3単位
		高齢者看護学実習	3			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門分野	看護の展開	小児看護学概論	1			必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1			
		小児看護学Ⅱ	1			
		小児看護学演習	1			
		小児看護学実習	2			必修 2単位
		母性看護学概論	1			必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2			
		母性看護学Ⅱ	1			
		母性看護学実習	2			必修 2単位
		精神看護学概論	1			必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1			
		精神看護学Ⅱ	2			
		精神看護学実習	2			必修 2単位
		がん看護学Ⅰ	1			必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1			
		がん看護学実習	2			必修 2単位
		在宅看護学概論	2			必修 6単位
		在宅看護学方法論	2			
		地域看護学概論	1			
		地域看護学活動論	1			
	地域・在宅看護学実習	2			必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1			必修 1単位	
	看護の応用	国際看護学	2			必修 2単位
		国際看護学演習		1		
		チーム医療演習		1		
		統合実習	3			必修 3単位
合計			113	32	0	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和4年度入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1	17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
		人間論	1		
		死生表象論		1	
		文学		1	
		文化人類学		1	
		法学（日本国憲法）	1		
		法律と医療		1	
		社会学		1	
		教育学		1	
		心理学	1		
		臨床心理学		1	
		医療人間論	1		
		コミュニケーション・スキル		1	
		自然科学の基礎	1		
		化学		1	
		生物学	1		
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		人と芸術	1		
		チームビルディングと自然体験	1		
		異文化理解Ⅰ		1	
		異文化理解Ⅱ		1	
		データサイエンス実践入門		2	
	視野を広げる	英語Ⅰa	1		10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から 最低1単位必要)
		English Communication		1	
		英語Ⅰb	1		
		英語Ⅰc	1		
		英語Ⅱa	1		
		英語Ⅱb	1		
		Medical English	1		
		第2外国語 a	1		
		第2外国語 b	1		
		English Communication for Nurses a/b		1	
		英語集中講座 a (海外)		2	
		英語集中講座 b (国内)		1	
		Advanced Reading Ⅰ		1	
		Advanced Reading Ⅱ		1	
		English Proficiency Test Ⅰ		1	
		English Proficiency Test Ⅱ		1	
		実用医療英語		1	

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		23単位以上 必修21単位 ＋ 選択2単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生化学と栄養	1		
		遺伝学	1		
		病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		感染と防御	2		
		感染制御学	1		
		人体と薬物	2		
		運動科学		1	
		東洋医学		1	
		音楽療法		1	
		公衆衛生学	1		
		疫学と保健統計	2		
		地域共生社会論		1	
		健康支援と社会保障	1		
	探究	アカデミック・スキルⅠ	1		必修 8単位
		アカデミック・スキルⅡ	1		
		基礎統計学	1		
		研究方法論	2		
		卒業研究	3		
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1		必修 10単位
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	2		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		必修 3単位
		基礎看護学実習Ⅰ	1		
		基礎看護学実習Ⅱ	2		必修 3単位
		看護管理学	2		
		看護倫理学	1		
	看護の展開	成人看護学概論	1		必修 5単位
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
		成人看護学実習	4		必修 4単位
		高齢者看護学概論	1		必修 4単位
		高齢者看護学Ⅰ	1		
		高齢者看護学Ⅱ	2		必修 3単位
		高齢者看護学実習	3		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 分 野	看護の展開	小児看護学概論	1		必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		
		小児看護学実習	2		必修 2単位
		母性看護学概論	1		必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2		
		母性看護学Ⅱ	1		
		母性看護学実習	2		必修 2単位
		精神看護学概論	1		必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1		
		精神看護学Ⅱ	2		
		精神看護学実習	2		必修 2単位
		がん看護学Ⅰ	1		必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1		
		がん看護学実習	2		必修 2単位
		在宅看護学概論	2		必修 6単位
		在宅看護学方法論	2		
		地域看護学概論	1		
		地域看護学活動論	1		
		地域・在宅看護学実習	2		必修 2単位
		公衆衛生看護学概論	1		必修 1単位
	看護の応用	国際看護学	2		必修 2単位
		国際看護学演習		1	
		チーム医療演習		1	
		統合実習	3		必修 3単位
		合計	113	32	卒業所要単位数は、必修113単位、選択13単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和3年度以前入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
一 般 教 育 領 域	基 礎 自 然 科 学 を 学 ぶ の	化学		1	4単位以上
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		自然科学の基礎	1		
		生物学	1		
	視 野 を 広 げ る	English for Communication I	2		10単位以上
		English for Communication II	2		
		English for Communication III	1		
		English for Communication IV	1		
		Medical English I	1		
		Medical English II		1	
		夏期英語集中講座		1	
		Advanced Reading I		1	
		Advanced Reading II		1	
		English for Communication V		1	
		第2外国語 I	1		
		第2外国語 II	1		
		実用医療英語		1	
	人 間 性 を 養 い 感 性 を 培 う	日本文化研修	1		
		文化講座	1		
		自然体験学習	1		
		運動科学	1		
		人間論	1		
	人 間 の 営 み を 理 解 す る	心理学	1		4単位以上 但し、保健師国家試験受資格を得るためには法学を必修とする。
		社会学		1	
		教育学		1	
		法学（日本国憲法）		1	
		文化人類学		1	
		手話		1	
		文学		1	
		海外研修 I		1	
		海外研修 II		1	

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎 領域	人体を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生体の化学	1		
		栄養と代謝	1		
		遺伝学	1		
	人間と健康	病態と治療Ⅰ	2		13単位以上
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		病態と治療Ⅳ	2		
		感染と防御	2		
		人体と薬物	2		
		東洋医学		1	
		臨床心理学		1	
		音楽療法		1	
	健康と環境	医療人間論	1		
		保健・医療・福祉と行政	1		
		公衆衛生学	2		
		疫学と保健統計	2		
		情報と統計学	2		
		法律と医療	1		
	研究	研究方法論	1		
		卒業研究	4		
専門 領域Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1		
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	1		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
	実基礎	看護学基礎実習	1		
		基礎看護学実習	3		
専門 領域Ⅱ	看護学成人	成人看護学概論	1		
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
	看護学高齢者	高齢者看護学概論	1		
		高齢者看護学Ⅰ	1		
		高齢者看護学Ⅱ	2		
	看護学小児	小児看護学概論	1		
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 領 域 Ⅱ	看護学 母性	母性看護学概論	1		
		母性看護学Ⅰ	2		
		母性看護学Ⅱ	1		
	看護学 精神	精神看護学概論	1		
		精神看護学Ⅰ	1		
		精神看護学Ⅱ	2		
	看護学 がん	がん看護学Ⅰ	1		
		がん看護学Ⅱ	1		
	専門 実習	成人看護学実習	4		
		高齢者看護学実習	3		
		小児看護学実習	2		
		母性看護学実習	2		
		精神看護学実習	2		
		がん看護学実習	2		
統 合 領 域	看護学 在宅	在宅看護学概論	2		
		在宅看護方法論	2		
	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論	2		2単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、公衆衛生看護学Ⅰ・Ⅱは必修とする。
		公衆衛生看護学Ⅰ		2	
		公衆衛生看護学Ⅱ		2	
	看護学 国際	国際看護学	2		6単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、健康政策論は必修とする。
	看護の 統合と 実践	看護管理学	2		
		看護倫理学	1		
		感染制御学	1		
		死生表象論		1	
		健康政策論		1	
		国際看護学演習		1	
		チーム医療演習		1	
		看護専門分野実践入門		1	
臨床実践への統合	1				
実統 合 習	在宅看護学実習	2			
	統合実習	2			
保健師課程		保健・医療・福祉行政論		2	保健師課程選択者（保健師国家試験受験資格を得るため）は、13単位の履修を必要とする。
		公衆衛生看護管理論		2	
		公衆衛生看護活動展開論Ⅰ		2	
		公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		2	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ		3	
合 計		118	42	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上（保健師課程は除く）、計126単位以上とする。	

(5) 健康科学部看護学科開設科目単位表

令和5年度以降の入学者に適用

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1			※※自由選択 講義、演習を併用する
		データサイエンス	1			
		データサイエンス実践入門※※		2		
		化学	1			
		生物学	1			
		看護のための物理学	1			
	語学	実用英語ⅠA		1		選択1単位以上
		実用英語ⅠB		1		
		実用英語Ⅱ	1			
		医療英語A		1		選択1単位以上
		医療英語B		1		
		実用英語Ⅲ		1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ		1		
		実用医療英語		1		
		ドイツ語入門		1		選択1単位以上
		フランス語入門		1		
		中国語入門		1		
	健康科学	健康科学概論	1			
		コミュニケーション論	1			
		プレゼンテーション論	1			
		人間と生命		1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		千葉県地域医療		1		
		スポーツ健康科学※		1		
		スポーツ健康科学実技※		1		
	人文科学	心理学	1			
		社会学	1			
		倫理学	1			
		教育学		1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		組織論※		1		
		経済学		1		
		法学（日本国憲法を含む）※		2		
		文学		1		
		人類学		1		
		哲学		1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎 教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	2			
		人体の構造と機能Ⅱ	2			
		人体の構造と機能Ⅲ	2			
		生化学	1			
		臨床栄養学	1			
		微生物学	1			
		疾病と治療Ⅰ	2			
		疾病と治療Ⅱ	2			
		疾病と治療Ⅲ	2			
		疾病と治療Ⅳ	2			
		疾病と治療Ⅴ	2			
		薬理学	2			
		薬剤学	1			
		リハビリテーション論	1			
		臨床遺伝学		1		選択1単位以上
		臨床心理学		1		
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2			
		社会保障制度	2			
		保健統計	1			
		公衆衛生	1			
		疫学Ⅰ（基礎編）※		1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		疫学Ⅱ（応用編）※		1		
		健康生活支援論※		1		
		政策形成過程論※		1		
専門教育 科目	トランス レー シ ョ ナ ル 看 護 領 域	看護学概論	1			
		臨床看護学概論	1			
		看護倫理学	1			
		看護理論・看護展開論	1			
		機能障害のある患者の看護	2			
		周手術期看護・急性重症患者看護	2			
		リスクマネジメント	1			
		看護の基本技術1（療養環境の整備技術）	1			
		看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）	1			
		看護の基本技術3（日常生活援助技術）	2			
		看護の基本技術4（診療の補助技術）	2			
		看護の基本技術5（慢性期看護技術）	1			
		看護の基本技術6（急性期看護技術）	1			
	臨地 実習	看護入門実習Ⅰ	1			
		臨床看護学実習Ⅰ	3			
		臨床看護学実習Ⅱ	3			
		臨床看護学実習Ⅲ	2			

授業科目の 区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専門教育科目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 Ⅰ	発達看護論	1			
			ファミリーヘルス看護論	1			
			援助の人間関係論	1			
		小児 看護 学	小児看護学概論	1			
			小児看護学方法論	1			
			看護の基本技術7（小児看護技術）	1			
		母性 看護 学	母性看護学概論	1			
			母性看護学方法論	1			
			看護の基本技術8（母性看護技術）	1			
		精神 看護 学	精神看護学概論	1			
			精神看護学方法論	1			
			看護の基本技術9（精神看護技術）	1			
		臨地 実習	小児看護学実習	2			
			母性看護学実習	2			
			精神看護学実習	2			
	コミュニティヘルス看護領域	基礎 科目 Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1			
			コミュニティヘルス看護展開論	1			
		看護 老年	老年看護学概論	1			
			老年看護学方法論	2			
			看護の基本技術10（老年看護技術）	1			
		在宅 地域 看護 ・ 論	地域・在宅看護概論	1			
			地域・在宅看護方法論	1			
			看護の基本技術11（在宅看護技術）	1			
		看護 衛生 公衆	公衆衛生看護学概論	1			
			看護の基本技術12（地区診断）	1			
		臨地 実習	老年看護学実習	3			
			看護入門実習Ⅱ	1			
			在宅看護実習	1			
			コミュニティヘルス看護実習	1			
専門教育科目	ブレ・プロフェッショナル看護領域	看護 の 統 合 と 実 践	看護研究入門	1			
			看護研究	2			
			看護の役割と実践の探究	1			
			臨床実践技術の探究	1			
			看護管理論	1			
			エンドオブライフケア	1			
			国際保健論（災害看護論を含む）※		1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		臨地 実習	専門看護への招待		1		
			がん看護		1		
			チーム活動論※		1		
			チーム医療演習		1		
			国際看護		1		
			看護実践の探究	2			

授業科目の 区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	保 健 師 専 門 科 目	公 衆 衛 生 看 護 学	公衆衛生看護学の技術※		2	※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
			公衆衛生看護学活動論※		2		
			学校保健・産業保健※		1		
			公衆衛生看護管理論※		1		
		実 習 地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※		2		
			公衆衛生看護学実習Ⅱ※		2		
リ メ ディ アル 教 育 科 目			生物学入門		1	卒業所要単位に含めない	
			化学入門		1		
専 門 基 盤 科 目		初 年 次 教 育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1		選択1単位以上	
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1			
		ア キ ヤ リ 教 育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ		1		
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ		1		
合 計				113	50	0	卒業所要単位数は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする。

令和4年度の入学者に適用

科目 区分		授業科目	必修			選択			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
総合 教育 科目	自然 科 学	自然科学概論	1						※※自由選択 講義、演習を併用する
		データサイエンス		1					
		データサイエンス実践入門※※					2		
		化学	1						
		生物学	1						
		看護のための物理学	1						
	語 学	実用英語ⅠA					1		選択1単位以上
		実用英語ⅠB					1		
		実用英語Ⅱ		1					
		医療英語A					1		選択1単位以上
		医療英語B					1		
		実用英語Ⅲ					1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ					1		
		実用医療英語					1		
		ドイツ語入門					1		選択1単位以上
		フランス語入門					1		
		中国語入門					1		
	健 康 科 学	健康科学概論	1						選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		コミュニケーション論	1						
		プレゼンテーション論	1						
		人間と生命				1			
		千葉県の地域医療				1			
		スポーツ健康科学※				1			
		スポーツ健康科学実技※					1		
	人 文 科 学	心理学	1						
		社会学	1						
		倫理学	1						
		教育学				1			選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		組織論※				1			
		経済学				1			
		法学（日本国憲法を含む）※				2			
		文学				1			
		人類学				1			
		哲学				1			

科目 区分		授業科目	必修			選択			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門基礎 教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	2						
		人体の構造と機能Ⅱ	2						
		人体の構造と機能Ⅲ	2						
		生化学	1						
		臨床栄養学	1						
		微生物学		1					
		疾病と治療Ⅰ	2						
		疾病と治療Ⅱ	2						
		疾病と治療Ⅲ	2						
		疾病と治療Ⅳ	2						
		疾病と治療Ⅴ	2						
		薬理学	2						
		薬剤学	1						
		リハビリテーション論	1						
		臨床遺伝学				1			
		臨床心理学				1			
									選択1単位以上
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2						
		社会保障制度	2						
		保健統計	1						
		公衆衛生	1						
		疫学Ⅰ(基礎編)※				1			
		疫学Ⅱ(応用編)※				1			
		健康生活支援論※				1			
		政策形成過程論※				1			
専門教育 科目	トランスレーショナル看護領域	看護学概論	1						
		臨床看護学概論	1						
		看護倫理学	1						
		看護理論・看護展開論		1					
		機能障害のある患者の看護	2						
		周手術期看護・急性重症患者看護	2						
		リスクマネジメント		1					
		看護の基本技術1 (療養環境の整備技術)		1					
		看護の基本技術2 (ヘルスアセスメント)		1					
		看護の基本技術3 (日常生活援助技術)		2					
		看護の基本技術4 (診療の補助技術)		2					
		看護の基本技術5 (慢性期看護技術)		1					
		看護の基本技術6 (急性期看護技術)		1					
	臨床実習	看護入門実習Ⅰ			1				
		臨床看護学実習Ⅰ			3				
		臨床看護学実習Ⅱ			3				
		臨床看護学実習Ⅲ			2				

科目 区分			授業科目	必修			選択			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 Ⅰ	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助的人間関係論	1						
		看護学 小児	小児看護学概論	1						
			小児看護学方法論	1						
			看護の基本技術7 (小児看護技術)		1					
		看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術8 (母性看護技術)		1					
		看護学 精神	精神看護学概論	1						
			精神看護学方法論	1						
			看護の基本技術9 (精神看護技術)		1					
		臨地 実習	小児看護学実習			2				
			母性看護学実習			2				
			精神看護学実習			2				
	コミュニティヘルス看護領域	科目 Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			老年看護学方法論	2						
			看護の基本技術10 (老年看護技術)		1					
		地域・在宅 看護・在宅 論	地域・在宅看護概論	1						
			地域・在宅看護方法論	1						
			看護の基本技術11 (在宅看護技術)		1					
		生公 学衆 看護 衛	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術12 (地区診断)		1					
		臨地 実習	老年看護学実習			3				
			看護入門実習Ⅱ			1				
			在宅看護実習			1				
			コミュニティヘルス看護実習			1				
	プレ・プロフェッショナル看護領域	看護の統合と実践	看護研究入門		1					
			看護研究		2					
			看護の役割と実践の探究		1					
			臨床実践技術の探究		1					
			看護管理論	1						
			エンドオブライフケア	1						
			国際保健論 (災害看護論を含む) ※				1			選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			専門看護への招待				1			
			がん看護				1			
			チーム活動論※				1			
			チーム医療演習					1		
			国際看護					1		
		臨地実習	看護実践の探究			2				

科目 区分			授業科目	必修			選択			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門教育科目	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術※					2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※				2			
			学校保健・産業保健※				1			
			公衆衛生看護管理論※				1			
		実習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※						2	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ※						2	
リメディアル教育科目			生物学入門				1			卒業所要単位に含めない
			化学入門				1			
専門基盤科目		初年次教育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ		1					
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1						
		アキヤ教育リ	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ				1			選択1単位以上
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ				1			
小 計				63	27	23	29	17	4	卒業所要単位は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする
合 計				113			50			

令和3年度以前の入学者に適用

科目 区分		授業科目	必修			選択			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育 科 目	自然 科学	自然科学概論	1						
		情報科学概論	1						
		化学	1						
		生物学	1						
		看護のための物理学	1						
	語 学	実用英語ⅠA					1		選択1単位以上
		実用英語ⅠB					1		
		実用英語Ⅱ		1					
		医療英語ⅠA					1		選択1単位以上
		医療英語ⅠB					1		
		実用英語Ⅲ					1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ					1		
		医療英語Ⅱ					1		
		実用医療英語					1		
		ドイツ語入門					1		選択1単位以上
		フランス語入門					1		
		中国語入門					1		
	健 康 科 学	健康科学概論	1						
		コミュニケーション論	1						
		プレゼンテーション論	1						
		スポーツ健康科学※				1			選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		スポーツ健康科学実技※					1		
	人 文 科 学	心理学	1						
		教育学	1						
		組織論※				1			選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		経済学				1			
		社会学				1			
		法学(日本国憲法を含む)※				2			
		文学				1			選択2単位以上
		人類学				1			
		哲学				1			
		倫理学				1			
専 門 基 礎 教 育 科 目	人 間 と 健 康	人体の構造と機能Ⅰ	2						
		人体の構造と機能Ⅱ	2						
		人体の構造と機能Ⅲ	2						
		生化学	1						
		臨床栄養学	1						
		微生物学		1					
		疾病と治療Ⅰ	2						
		疾病と治療Ⅱ	2						

科目 区分		授業科目	必修			選択			備 考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専門基礎教育科目	人間と健康	疾病と治療Ⅲ	2						選択1単位以上	
		疾病と治療Ⅳ	2							
		疾病と治療Ⅴ	1							
		薬理学	2							
		薬剤学	1							
		リハビリテーション論	1							
		臨床遺伝学				1				
		臨床心理学				1				
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2						選択1位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
		社会保障制度	2							
		研究方法の基礎	1							
		保健統計と情報処理	1							
		疫学と公衆衛生	2							
		健康生活支援論※				1				
		政策形成過程論※				1				
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	臨床看護学	看護学概論	1						
			臨床看護学概論	1						
			看護倫理学	1						
			看護理論	1						
			トランスレーショナルへの挑戦	1						
			看護展開論		1					
			機能障害のある患者の看護	2						
			周手術期看護・急性重症患者看護	2						
			がん看護・緩和ケア	1						
			感染看護	1						
	臨床看護学	看護の基本技術Ⅰ		1						
		看護の基本技術Ⅱ		2						
		看護の基本技術Ⅲ		2						
		看護の基本技術Ⅳ		1						
		臨床実習	看護入門実習Ⅱ			1				
	看護実践の基礎				2					
	臨床実践Ⅰ				2					
	臨床実践Ⅱ				2					
	臨床実践Ⅲ				2					
	ファミリーヘルス看護領域	基盤科目Ⅰ	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助的人間関係論	1						
		小児看護学	小児看護学概論	1						
			小児看護学方法論	1						
			看護の基本技術Ⅴ		1					

科目 区分			授業科目	必修			選択			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術Ⅵ		1					
		看護学 精神	精神看護学概論	1						
			精神看護学方法論	2						
		臨地実習	小児看護学実習			2				
			母性看護学実習			2				
			精神看護学実習			2				
	コミュニティヘルス看護領域	基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
			国際保健論（災害看護論を含む）	1						
			ターミナルケア	1						
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			看護の基本技術Ⅶ		2					
		看護学 在宅	在宅看護概論	1						
			看護の基本技術Ⅷ		1					
		看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術Ⅸ		1					
		臨地実習	老年看護学実習Ⅰ			2				
			老年看護学実習Ⅱ			1				
			老年看護学実習Ⅲ			1				
			看護入門実習Ⅰ			1				
			在宅看護実習			1				
			コミュニティヘルス看護実習			1				
	プレ・プロフェッショナル看護領域	看護の統合と実践	看護研究入門	1						
			看護研究		2					
			看護の役割と実践の探究	1						
			臨床実践技術の探究		1					
			看護安全論※				1			選択3単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			看護管理論※				1			
			看護哲学				1			
			チーム活動論※				1			
			チーム医療演習					1		
		実習地	看護実践の探究			2				
	保健師専門科目	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学の技術※					1		選択9単位 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※				2			
			学校保健・産業保健※				1			
			公衆衛生看護管理論※				1			
		実習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※						2	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ※						2	

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
自由 科目	生物学入門				1			卒業所要単位に含めない
	化学入門				1			
	文章表現入門				1			
	千葉県の地域医療				1			
	倫理ことはじめ				1			
小 計		67	20	24	27	14	4	卒業所要単位は、必修111単位、選択14単位以上、計125単位以上とする
合 計		111			45			

別表 3 (第45条関係)

教員養成課程開設授業科目並びに単位表 (1)

理学部生物学科、同化学科、同物理学科、同生物分子科学科、同生命圏環境科学科

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
理科教育法Ⅰ		2	1科目以上を選択必修とする
理科教育法Ⅱ		2	
理科教育法Ⅲ		2	
理科指導法Ⅰ		2	1科目以上を選択必修とする
理科指導法Ⅱ		2	
理科指導法Ⅲ		2	
理科実験指導法	2		
理科授業論	2		
理科教育演習Ⅰ		1	
理科教育演習Ⅱ		1	
理科教育演習Ⅲ		1	
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道徳教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用)
教職実践演習	2		いずれか1科目選択必修
介護等体験	1		
総合演習Ⅰ		1	1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究Ⅰ		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究Ⅱ		4	免許申請科目外とする

教員養成課程開設授業科目並びに単位表 (2)

理学部情報科学科

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
数学教育概論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科指導法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科教育法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科授業論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学教育演習Ⅰ		1	
数学教育演習Ⅱ		1	
数学教育演習Ⅲ		1	
情報科教育法	2		情報免許取得希望者のみ必修
情報科授業論	2		情報免許取得希望者のみ必修
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	} いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道德教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用) } いずれか1科目選択必
教職実践演習	2		
介護等体験	1		中学免許取得希望者のみ必修
総合演習Ⅰ		1	} 1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究Ⅰ		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究Ⅱ		4	免許申請科目外とする

別表 4（第 49 条関係）

（単位円）

学部	入学金	授業料		教育充実費		施設設備費	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
医 学 部	1,500,000	2,500,000		(900,000) 500,000		(800,000) 300,000	
薬 学 部	400,000	(670,000) 560,000	(670,000) 560,000	(355,000) 355,000	(355,000) 355,000		
理 学 部	250,000	531,000	531,000	(250,000) 160,000	(250,000) 160,000		
看護学部	500,000	550,000	550,000	(150,000) 150,000	(150,000) 150,000	(250,000) 250,000	(250,000) 250,000
健康科学部	300,000	475,000	475,000	(400,000) 150,000	(400,000) 350,000		

- 備考 1 医学部の在学中の授業料は、初年度と同額とする。
- 2 薬学部の在学中の授業料の括弧書きは、2 年次以降の納付額を示す。
- 3 教育充実費及び施設設備費欄の括弧書きは、2 年次以降の年間納付額（薬学部・理学部・看護学部・健康科学部は春学期・秋学期の納付額）を示す。
- 4 教育充実費については、入学試験の総合成績の優秀なものについては全額または一部を免除することがある。ただし、初年度分に限りこれを適用する。

変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

令和4年8月、文部科学省の政策・審議会である「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」による「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」において、薬学にかかる学部の新設及び収容定員増について抑制方針をとることとし、令和7年度に開設予定の学部から適用される見通しとなった。しかしながら、依然として薬剤師の数は地域毎に偏在が指摘されており、各都道府県の医療計画等において薬剤師の確保を図るべきであると判断できる等の場合には、例外として取り扱われるとされている。また、厚生労働省に設置された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」のとりまとめにおいて、病院薬剤師が不足しているという業態偏在が大きな課題であることが指摘されている。近隣の千葉県、茨城県にヒアリングを行った結果からも、薬剤師の地域偏在に加え、病院薬剤師不足という業態偏在がある旨の回答を得ている。

本学薬学部は、地域はもとより医療の最前線で活躍する心の温かい薬の専門家の養成を目指しており、医療センター3病院との連携による高度な実務実習・医療薬学教育や本学の他学部との積極的な連携による合同教育および全学共通教育など、独自性の高い教育を推進している。令和6年度入学生からは、改訂版の薬学教育モデル・コアカリキュラムを反映した新カリキュラムに移行し、その中で薬剤師の地域偏在と業態偏在の解消に向けた新しい取組の導入を予定している。これに合わせて入学定員の増加を図り、入学試験の試験区分に推薦入試枠ならびに総合入試枠を設けることで、これら偏在解消に対して強い志を有した学生を受け入れ、入学後は薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の現状と課題、解消への施策について教授することを通じて、社会へ常に関心を抱き、地域はもとより広く社会に貢献する姿勢と実践的能力を有する人材の育成を行うこととしている。

以上のことから令和6年度入学者より、入学定員を220名から245名に、収容定員を1,320名から1,470名に増員する旨の申請を行うものである。

2. 変更点

第5条、附則

東邦大学学則の変更部分の新旧対照表

改正後			現 行		
(略)			(略)		
(学生定員)			(学生定員)		
第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。			第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。		
(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)	(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)
医学部			医学部		
医学科	110	660	医学科	110	660
(計)	(110)	(660)	(計)	(110)	(660)
薬学部			薬学部		
薬学科	245	1,470	薬学科	220	1,320
(計)	(245)	(1,470)	(計)	(220)	(1,320)
理学部			理学部		
生物学科	80	320	生物学科	80	320
化学科	80	320	化学科	80	320
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280	物理学科	70	280
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)	(計)	(470)	(1,880)
看護学部			看護学部		
看護学科	102	408	看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)	(計)	(102)	(408)
健康科学部			健康科学部		
看護学科	60	240	看護学科	60	240
(計)	60	240	(計)	60	240
(総計)	(987)	(4,658)	(総計)	(962)	(4,508)
以下省略			以下省略		
附 則			附 則		
この学則は、昭和48年4月1日から施行する。			この学則は、昭和48年4月1日から施行する。		
(略)			(略)		
附 則			附 則		
1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。			1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。		
但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料			但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料		

改正後

の納付額については、なお従前の例による。

2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

令和・年度 学部・定員		5	6	7	8	9
医学部	入学定員	122	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682

令和・年度 学部・定員		10
医学部	入学定員	110
	収容定員	672

4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35条関係）の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3（第45条関係）教員養成課程のカリキュラムに係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、一部改正（薬学部の入学定員・収容定員の増員）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445

令和・年度 学部・定員		11
薬学部	入学定員	245
	収容定員	1,470

以下省略

現 行

の納付額については、なお従前の例による。

2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

令和・年度 学部・定員		5	6	7	8	9
医学部	入学定員	122	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682

令和・年度 学部・定員		10
医学部	入学定員	110
	収容定員	672

4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35条関係）の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3（第45条関係）教員養成課程のカリキュラムに係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

《追記》

以下省略

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

東邦大学（以下、「本学」という。）は、現在の社会からの要請に応えるとともに高等教育機関に求められる責務を果たすため、令和 6（2024）年 4 月より薬学部薬学科の収容定員を増員することとし、学則を変更する。

薬学部薬学科の入学定員を現行の 220 名から 25 名増員して 245 名とし、収容定員を 1,470 名とする。収容定員変更の内容及び内訳は、以下のとおりである（表 1）。

表 1. 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医学部	医学科	110	660	110	660
薬学部	薬学科	220	1,320	<u>245</u>	<u>1,470</u>
理学部	生物学科	80	320	80	320
	化学科	80	320	80	320
	生物分子科学科	80	320	80	320
	物理学科	70	280	70	280
	情報科学科	100	400	100	400
	生命圏環境科学科	60	240	60	240
看護学部	看護学科	102	408	102	408
健康科学部	看護学科	60	240	60	240
総 計		962	4,508	<u>987</u>	<u>4,658</u>

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、額田豊・額田晋兄弟により財団法人帝国女子医学専門学校として大正 14（1925）年に創設され、令和 7（2025）年には創立 100 周年を迎える。創立者には医学と薬学は車の両輪のごとき関係にあるとの強い考えがあったため、創設翌年の大正 15（1926）年に薬学科設置の認可を受け、昭和 2（1927）年に薬学科が増設された。昭和 5（1930）年に帝国女子医学薬学専門学校と改称した後、昭和 16（1941）年に開校した帝国女子理学専門学校とともに、昭和 25（1950）年に学校法人東邦大学となり、医学部、薬学部、理学部の 3 学部が設置された。さらに、平成 23（2011）年に看護学部、平成 29（2017）年に健康科学部をそれぞれ開設し、現在の 5 学部の体制となっている。

創立者の一人である額田晋は、「自然・生命・人間」に関する世界観を提唱し、自然に対する畏敬の念、生命の尊厳の自覚、人間の謙虚な心を原点とすることの大切さを説いた。この「自然・生命・人間」は、本学の根底にある価値観として創設期から深く息づいており、昭和 47（1972）年より本学の建学の精神となっている。また、「自然・

生命・人間」の言葉の中に示される世界観は、「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るための、豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」としてまとめられ、本学の教育の理念として掲げられている。

現在、本学は東京都大田区（大森キャンパス）と千葉県船橋市（習志野キャンパス）に2つのキャンパスを有している。大森キャンパスには医学部（医学科）、看護学部（看護学科）、習志野キャンパスには薬学部（薬学科）、理学部（化学科、生物学科、生物分子科学科、物理学科、情報科学科、生命圏環境科学科）及び健康科学部（看護学科）をそれぞれ設置している。理学部では臨床検査技師課程を開設しており、医療教育・研究を中心とした自然科学系総合大学を標榜している。また、地域医療の中核を担うべく、医療センター大森病院（東京都大田区）、医療センター大橋病院（東京都目黒区）、医療センター佐倉病院（千葉県佐倉市）を擁し、さらには中等教育機関として、附属中学校・高等学校（千葉県習志野市）及び駒場東邦中学校・高等学校（東京都世田谷区）も設置し、学校法人として社会に貢献し、確固たる実績と信頼を築いている。

本学薬学部は、令和9（2027）年には開設100周年を迎える長い歴史と伝統を有する学部であり、前身である帝国女子医学専門学校薬学科、帝国女子医学薬学専門学校も含めると、令和3（2021）年度までに16,365名の卒業生を輩出している。卒業生は病院、薬局、製薬企業、教育・研究機関等、幅広い職域で活躍している。本学薬学部は、人材の養成に関する目的として「心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的とする」を、教育研究上の目的として「教育に関しては、高い倫理観、豊かな人間性、自他ともに高め合う態度、基礎薬学並びに医療薬学に関するバランスのとれた豊富で正確な知識・技術及び問題解決能力を育成し、チーム医療に資するためのコミュニケーション能力及び実践的能力を醸成する。研究に関しては、基礎薬学並びに医療薬学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献する」を掲げており、医療の最前線で活躍するための知識、技術、能力に加えて、高い倫理観と豊かな人間性を持った心の温かい薬の専門家を養成することを目指している。

本学薬学部の教育を受けた多くの卒業生が地域医療をはじめとした幅広い分野で活躍し、貢献することで、本学薬学部に対する社会からの信頼と期待も大いに高まっているものと考えている。歴史と実績、社会的評価及び薬学教育へのビジョンと熱意を有する本学薬学部で学び、薬剤師など薬事関係の職種での社会への貢献を目指すことを望む入学志願者も多い（表2）。一人でも多くの学生に学びの場を提供することは、大学として、特に重要な責務であると考えます。

一方、チーム医療、在宅医療、高度な薬剤管理の要請などから、社会における薬剤師の役割が拡大するなかで、薬剤師の地域偏在や業態による偏在が問題視されるようになってきている。とくに、薬剤師を目指す多くの薬学部出身者は、調剤薬局やドラッグストアを就職先として選択する傾向が見られるようになっており、病院薬剤師を志望する薬学

部卒業生の数は全国的に減少傾向を示している。このため、医療の中で病院薬剤師が担う役割が将来的に十分に果たせなくなるという可能性が、危機感を持って指摘されるようになっている。

本学薬学部は前述の通り、生命の尊厳を自覚して医療の最前線で活躍できる、心の温かい薬の専門家を養成することを目指している。すなわち、薬の専門家として高度医療・急性期医療を支える病院薬剤師を養成することも、本学薬学部が担う重要な社会的責務、使命であると考えます。本学には薬学部の他にも医学部、看護学部、健康科学部が設置されており、将来、病院関連の職に就き活躍することを目指す若者が多く集まっている。また、本学薬学部の臨床系教員には本学医療センター3病院の薬剤部で業務に従事した者がいる他、薬剤部長が本学薬学部特任教授として教育に携わるなど、病院薬剤師としての将来像をイメージできる教育を実践する環境が多く整っている。これらの環境を活かし、病院薬剤師としての活躍の場を求める卒業生を多く輩出することができる教育の実践が本学薬学部において可能である。

一方、福祉を含めた地域医療やセルフメディケーションの進展のためには、調剤薬局やドラッグストアが重要な拠点として機能する必要がある、これらの職域で活躍する人材を養成することも薬学部に向けられた重要な社会的要請である。以上のような社会の変化と要請に的確に対応していくために検討を進めた結果、本学の教育理念、本学薬学部の教育目標をより高いレベルで実現して社会に還元することを目指し、本学薬学部の入学定員を令和6（2024）年度より25名増員して245名とし、収容定員を1,470名とすることとした。

表 2. 過去 5 年間の東邦大学薬学部入学試験志願者数

入学試験枠	定員	志願者数				
		2022	2021	2020	2019	2018
総合入試（専願制）	25	128	100	－	－	－
公募制推薦入試（専願制）	30	－	－	119	－	－
公募制推薦入試	37	－	－	－	91	142
推薦入試（公募併願制）	20	157	155	－	－	－
公募制推薦入試（併願制）	10	－	－	87	－	－
推薦入試（指定校制）	50	68	74	－	－	－
指定校制推薦入試	50	－	－	53	49	50
共通テスト利用入試	15	510	562	－	－	－
センター試験入試	20	－	－	705	－	－
センター試験入試（前期）	20	－	－	－	721	794
センター試験入試（後期）	10	－	－	－	20	32
一般入試（共通テスト利用）	10	282	269	－	－	－
一般・センター試験併用型入試	10	－	－	310	－	－
一般入試	100	846	717	808	1,000	1,253
同窓生子女	若干名	14	13	13	17	14
社会人入試	若干名	0	1	1	2	3
計	220 (各年度)	2,005	1,891	2,096	1,900	2,288

－: 当該年度に設けられていない入学試験枠

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容について

本学則変更の趣旨を実現するために、自然科学系総合大学としてのメリットを活かし、学部間交流及び本学医療センター3病院の協力に基づいた本学薬学部の教育を実践する。

学部間交流に基づく共通教育科目として、「人間と生命」、「データサイエンス実践入門」、「ヒューマニズムⅡ」、「チーム医療演習」、「ヒューマニズムⅣ」、「実用医療英語」がすでに開講されている。「人間と生命」は習志野キャンパス共通教育科目として平成 28（2016）年度より開講されている 1 年次の選択科目であり、多様性社会の実現に向けて自分がどう関わっていけるか、自他の生命

（いのち）を尊重し、それを行動に移すことができるか、という視点からの学びを通じて、医療人としての意識を養うことを目指している。

「データサイエンス実践入門」は令和4（2022）年度より1年次開講選択科目として設置された全学部共通の科目であり、医療に携わる場でも必要となるデータサイエンスの基礎として、リテラシーレベルの知識を身につけるとともに、データを利用するための技術を習得する。本科目は、今後の必修化に向けて検討が進められている。

「ヒューマニズムⅡ」は2年次の必修科目として開講されており、医療現場における倫理的問題を課題として、医学部、薬学部の2つの学部の学生により混成されたグループで討論し、医療チームとしての方針決定を模擬的に行っている。

各学部での学習をより深めた後の4年次に選択科目として開講する「チーム医療演習」では、多職種連携協働及びチーム医療について、少人数グループワークを中心とした学習を多学部合同で行う。同様に4年次に開講される「ヒューマニズムⅣ」は、薬学部の必修科目となっており、この科目では医療系職種を目指す医学部、薬学部、看護学部、健康科学部、理学部（臨床検査技師課程3年生）の学生が、異なる職業観を背景に、患者さんにとって何が一番幸せであるかについて生命倫理の観点からグループ討論を行う。

「実用医療英語」は、全学部合同カリキュラムとして設置されており、薬学部では4年次の選択科目として開講される。この科目では、医療において必要な英語コミュニケーション能力を高めるとともに、宗教や文化、出身国による多様な価値観を尊重する態度と倫理的姿勢を身につけることも目指す。

「臨床漢方治療学」、「臨床医学総論Ⅱ」の各科目では、医師が講義を担当しており、各領域の専門家から最先端の医療の現場を反映した治療の実践に関する教育を行っている。薬学部の学生が上記科目を通じて実際の医療への造詣を深めるとともに、先端的な薬物治療をより身近なものに感じられることを目的とし、各学部ならびに病院との連携を強化している。

また、本学医療センター3病院の各薬剤部も薬学部の教育に積極的に関与している。病院実務実習において多くの本学薬学部学生を受け入れており、薬学部教員と連携のうえ、効果的な病院実務実習の実践に取り組んでいる。さらに実務実習後の6年次に必修科目として開講されている「処方設計管理学」は、平成25年度改訂版薬学教育モデル・コアカリキュラムに提示されている代表的な疾患に関して、症例を通じて臨床現場で行われている薬物治療の実際と薬剤師が対応すべき事項について、医療センター大森病院薬剤部所属の薬剤師による現場の声を学生に教授するなど、協力関係を構築している。

学部間交流の取組みに関連して、本学では東邦大学共通教育機構を令和5（2023）年度より開設する。本機構は、自然科学系総合大学としての利点を活かし、各学部・研究科並びに他の全学組織と連携しながら、教育課程を横断して共通する教育事業を実施し、教育機能の向上と全学的な教育の質保証に資することを目

的としている。本機構の活動により、今後もさらなる学部間交流の進展が期待される。

東邦大学共通教育機構の開設準備の一環として、医学部、薬学部との教育の共通化に関する議論を2学部間で開始した。薬学教育モデル・コア・カリキュラムは、医学部、歯学部とのモデル・コア・カリキュラムとの共通化を見据えながら改訂作業が行われ、令和5（2023）年2月28日に「薬学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版」として公表された。これに伴い、本学でも医学部及び薬学部で、改訂版モデル・コア・カリキュラムに基づいた新カリキュラムを令和6（2024）年度入学生より適用するべく検討を開始している。また、検討と並行しながら、医学部の全人的医療人教育、薬学部の医療人意識形成教育を中心として、演習などを含めた教育のさらなる共通化や交流を目指して学部間の議論を進めている。これらの取組みの中で、薬学部の学生も医学部の全人的医療人教育に触れ、先端医療への造詣をさらに深めて、医療人として社会に出たときに持つべき意識や使命感をより高めることができると考える。

さらに、卒後のキャリアアップを指向した必修科目として現在開講されている「社会への招待Ⅰ・Ⅱ」では、薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の解消に向けた取組みにも重点を置いた学修内容を組み込む予定である。これらの他にも、国内外を問わず様々な立場の人々と協調的な人間関係を築くことができる人材の育成を目的とした5年次選択科目「海外実務実習」、病院に勤務する専門薬剤師や地域医療で活躍する薬剤師による講義を受講する6年次必修科目「臨床薬学総論」等の科目をすでに開講しており、これらの教育を通じて、社会に対して常に関心を抱き、地域はもとより広く社会に貢献する姿勢と実践的能力を有する人材の育成を目指す。

なお、本学薬学部は令和4（2022）年度に一般社団法人 薬学教育評価機構による6年制薬学教育プログラムに対する第三者評価を受審し、令和5年3月14日付で「認定」の通知を受領している。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容について

本学は各学部における教育方法及び履修指導方法の整備と充実に努めており、今回の収容定員変更についても、その内容が十分に担保される範囲内での計画である。

医療技術の高度化に対応するためには、薬学の専門知識や技能・技術、そして、科学的根拠に基づいた論理的思考力の修得が不可欠である。本学薬学部では、必修科目168単位、選択必修科目7単位、選択科目11単位以上を修得することが卒業要件となっており、これらの単位を6年間で修得することによって、必要となる知識、技能、態度の醸成を図っている。

基礎科目や教養・語学科目は主に1年次に開講し、2年次から次第に専門薬学教育を主体とする教育に移行して、臨床系科目や応用的な科目へと無理なく発展するようなカリキュラムを設けており、6年間の効果的な教育を通し、確かな知識と高

い実務能力を有する薬の専門家を育成している。同時に、低学年時にも一部の専門薬学教育や実践的な教育、医療人意識形成などの科目を配置して、薬剤師をはじめとする薬の専門家を目指して学ぶ意欲を維持できるよう配慮するとともに、3 年次以降にも英語関連の科目を継続して履修するための選択科目を開講している。

この教育課程のなかで、(ア) の項に示したような既存の学部間交流科目を設置しているが、さらなる学部間交流教育の進展に向けて、これまで各学部で独自に設定していた授業時間と成績評価の全学的な統一を進めている。薬学部では、令和 3 (2021) 年度入学生より全学的に統一された各科目の成績評価と、GPA による学修評価を導入した。さらに、令和 6 (2024) 年度より全学的に統一された授業時間 (50 分) の導入を予定している。

新型コロナウイルス感染症禍を経て、大学教育においては ICT の活用や Zoom 等を用いた遠隔授業が積極的に行われるようになってきている。習志野キャンパスと大森キャンパスや各医療センターは地理的に離れているものの、学部間交流教育や医学部、看護学部の教員、各医療センターのスタッフにおいても ICT 等を有効に活用している。学生も ICT 等の活用に馴染んできており、学部間交流教育においても Zoom を通じた小グループ討論では、対面の場合と同様に活発に議論する場面も多く見られる。今後は、ICT 等の活用法を身に付けるための授業を 1 年次に設置するなどの準備を整え、ICT 等をさらに積極的に授業に活用することで、学部間交流教育をより充実させることが可能であると考えている。そのため、LMS の統一的活用に向けた環境整備と運営管理を行うことを目的とし、全学的な組織として ICT 学修支援センターを令和 5 (2023) 年度から設置する。

さらに、卒業後のキャリアを意識した学修が早期から進められるよう、また、低学年化している就職活動に余裕を持って準備できるよう、既存のキャリアデザイン関連科目をより低学年に移行することも検討している。キャリア関連科目では、単に各職種の紹介のみに留まらず、新人や若手、中堅、ベテランなど、それぞれのキャリアに応じた社会への貢献の例と、そこからのキャリアアップのプロセスについて概観することで、社会に出てからの自らの成長をイメージさせ、学生一人一人が自身の志望を改めて見つめ直す機会となるよう構成する。

本学薬学部における科目履修については、各学年の年度初頭に教務委員会から全学年向けのガイダンスが行われるとともに、教務委員会、学生委員会、さらには事務部門である習志野学事部学事課薬学部教務担当を通じて、きめ細やかな指導が行われている。これらの指導により、これまでに大きな混乱は生じておらず、今後も同様の対応を継続する予定である。

(ウ) 教員組織の変更内容について

本学薬学部のこれまでの入学定員は 220 名、収容定員は 1,320 名であり、大学設置基準に定められた基幹教員数は 36 名となる。これに対して、令和 4 (2022) 年 12 月 1 日現在の本学薬学部の基幹教員数は 69 名であり、収容定員あるいは実際の

在籍学生数（1,457名；令和4（2022）年12月1日現在）を考慮しても、必要な教員数を十分に確保している。本学薬学部の基幹教員数は、学則変更により収容定員を1,470名とした後も、大学設置基準に定められた基幹教員数（37名）を大きく上回るものである。

また大学設置基準に定められた臨床系教員の数は6名であるのに対し、令和4（2022）年12月1日現在、本学薬学部には10名の臨床系教員が専任教員として在籍している。

教員組織を中心として本学薬学部の教育が実施されており、高いレベルの薬学教育が滞りなく進められている。よって1学年あたり25名の収容定員の増加によってもほぼ影響を受けないものと考えている。また、項目（ア）及び（イ）に示した教育課程、教育方法の変更は、これまでの教員組織を維持することで十分に対応可能である。

以上のことから、学則変更（収容定員変更）に伴う教員組織の変更は予定していない。

（エ）大学全体の施設・設備の変更内容について

本学薬学部では教育研究上の目的に沿った教育研究活動に必要な施設を計画的に整備しており、習志野キャンパス内にA館、B館、C館、D館、E館の5つの建物を有している。薬学部の建物は、これまでに教育課程の改訂や教育方法、研究活動動向の変更、修正などに対応し、施設・設備の補修、更新、再生整備を実施してきた。

300名以上の学生を収容できる大規模教室（講義室）としては、A館に3室、C館に1室のほか、理学部Ⅲ号館5階大講義室も主に薬学部が使用している。さらに、平成31/令和元（2019）年度にはB館3階に315席ある教室（講堂）を設置したことにより、現在では合わせて6室（6学年分）の大規模教室が確保されている。このほか、100～200席程度の中規模教室を6室、60席の小規模教室を9室それぞれ設置しており、授業の形態や目的に応じて対応可能な講義室を十分に備えている。令和2（2020）年度以降は、講義を録画するための装置を大規模、中規模教室に設置するとともに、講義動画の配信や作成、編集を行うための配信準備室を複数設置し、種々の遠隔授業の形態に対応可能となるよう準備を整えている。

基礎科目及び専門科目に関係する実習を行うための実習室は、A館1～4階の各階に整備されているほか、令和2（2020）年度にはB館4階にも1室を新たに設置した。さらに、臨床準備教育のための実習施設・設備としては、少人数グループの学生の指導が可能な各種実習室がC館4階（調剤、注射調剤）及び5階（模擬薬局、服薬指導、医療情報、医療演習）に設置されている。これらのうち、収容定員変更後の1学年245名を収容できる実習室は3室であるが、きめ細やかな指導の実施を目的とし、従前より実習教育（指導）は1学年を2つに分けたうえ、さらに数名程度のグループ単位で実施している。このように、実習に係る施設・設備は現状

において十分に整備され、効果的で適切な実習指導が行われており、支障は生じていない。

また、平成 30（2018）年度には、10 名程度での小グループ活動に適した SDL 室（18 室）が E 館 4 階に整備され、演習科目等で効果的に活用されている。

講義室、実習室のうち、老朽化等の問題が生じているものについては、適宜、適切な改修、補修をおこなうとともに、教育課程の改訂や教育方法、研究活動動向の変更、修正などに対応し、施設・設備の更新、整備を積極的に実施している。

以上に示すように、現状保有している施設・設備は学則変更（収容定員変更）に十分に対応可能なものである。今後も、老朽化等に対する適切な改修・補修や、効果的な教育の実施に向けた変更・修正等に対する検討を随時行い、迅速に対応できる体制を維持していく予定である。

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(薬学部薬学科等)																		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員			
教養教育	法倫理哲	学	1前		1			○								2	講義・演習併用	
	心理	学	1前		1			○								1		
	保健環境	論	1後		1			○					1			1		
	文章表現	論	1後		1			○							1			
	基礎物理学Ⅰ	学	1前	○	1			○			2		2					
	基礎物理学Ⅱ	学	1後	○	1			○				1						
	基礎物理学Ⅲ	学	2前	○	1			○			1							
	基礎化学	学	1前	○	1			○			1		3					
	基礎生物学Ⅰ	学	1前	○	1			○			1		3					
	基礎数学Ⅰ	学	1前	○	1			○			1				1			
	基礎数学Ⅱ	学	1後	○	1			○			1				1			
	初等物理学演習	習	1通	○	1				○		3	2	2		1			
	初等化学演習	習	1前	○	0.5				○			1	6					
	コンピュータ入門	門	1前	○	1				○				2					
	基礎生物学実習	習	1後	○	0.5					○	1	2	2					
	データサイエンス実践入門	門	1前		2				○						1			
	現代日本史	史	1前		1			○					1					
	国際関係論	論	1前		1			○										
	自己表現論	論	1前		1			○										
	民俗学	学	1後		1			○										
	スポーツ科学	学	1後		1			○					1					
	小計 (24科目)		—	—	15	8.5	0	—			6	5	14	0	0	18		
	外国語	英語Ⅰ	a	1通	○	2			○			1		1				4
		英語Ⅰ	b	1通	○	2			○			1		1				3
英語Ⅱ		a	2通	○	2			○			1		1			2		
英語Ⅱ		b	2通	○	2			○			1		1			6		
英会話		話	2通・3通			2		○								1		
ドイツ語Ⅰ		a	1通		2			○								3		
ドイツ語Ⅰ		b	1通		2			○								3		
中国語Ⅰ		a	1通		2			○								1		
中国語Ⅰ		b	1通		2			○								1		
フランス語Ⅰ		a	1通		2			○								1		
フランス語Ⅰ		b	1通		2			○								1		
小計 (11科目)		—	—	8	14	0	—			1	0	1	0	0	16			
保健体育	スポーツ実習Ⅰ	Ⅰ	1前		1					○			1			7		
	スポーツ実習Ⅱ	Ⅱ	1後		1					○			1			7		
	小計 (2科目)		—	—	0	2	0	—			0	0	1	0	0	7		
医療人意識形成	薬学入門	門	1前	○	1			○			1		2			2		
	薬史	学	1後	○	1			○										
	コミュニケーションⅠ	Ⅰ	1前	○	0.5			○				1						
	コミュニケーションⅡ	Ⅱ	2前	○	1				○		1							
	ヒューマニズムⅠ	Ⅰ	1後	○	0.5				○			1						
	ヒューマニズムⅡ	Ⅱ	2後	○	0.5				○			1						
	ヒューマニズムⅢ	Ⅲ	3後	○	0.5				○			1						
	ヒューマニズムⅣ	Ⅳ	4前	○	0.5				○			1						
	早期臨床体験	験	1後	○	0.5					1	1	1						
	人間と生命	命	1前		1			○		1	1	1			2			
小計 (10科目)		—	—	6	1	0	—			3	1	5	0	0	4			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	Ⅰ	1後	○	0.5			○					1					
	薬事関係法規・制度Ⅱ	Ⅱ	4前	○	2			○					1					
	地域医療	療	2前	○	0.5			○				1						
	薬局管理	理	4後	○	1			○			1							
	社会薬学総合演習	習	6後		0.5				○		1	2						
	小計 (5科目)		—	—	4	0.5	0	—			0	1	2					

社 会 へ の 招 待	Ⅱ a	5後			0.5	○			1						*4
社 会 へ の 招 待	Ⅱ b	5後			0.5	○			1						*4
社 会 へ の 招 待	Ⅱ c	5後			0.5	○			1						*4
社 会 へ の 招 待	Ⅱ d	5後			0.5	○			1						*4
実 用 薬 学 英 語		4前			1		○			1					
チ ャ ム 医 療 演 習		4前			1		○		1					4	
海 外 実 務 実 習		5後			2			○			1				
小計（37科目）		—	—	4	23.5	0	—		20	7	7	0	0	10	
合計（198科目）		—	—	168	59	0	—		23	12	26	8	0	94	
学位又は称号		学士（薬学）			学位又は学科の分野			薬学関係							
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等						
必修科目168単位、選択必修科目7単位、選択科目11単位以上を修得し、186単位以上履修すること。なお、選択必修科目の履修は以下のとおりとする。 *1の6科目から2単位履修する。 *2の4科目から4単位履修する。 *3の2科目から0.5単位履修する。 *4の4科目から0.5単位履修する。									1 学年の学期区分			2学期			
									1 学期の授業期間			14週			
									1 時限の授業の標準時間			50分			

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

①東邦大学の現状把握・分析

東邦大学（以下、「本学」という。）は、現在、5つの学部（医学部・薬学部・理学部・看護学部・健康科学部）を擁する自然科学系総合大学である。「自然・生命・人間」を建学の精神として社会と時代の要請に応えながら、正しい自然観・生命観を基に、「自然とは何か」、「生命とは何か」、「人間としての優しさ・ぬくもり・愛とは何か」を追究することにより、教育・研究と医療活動を介して、自然・生命科学の普及と人材の育成に尽力してきた。本学の前身である専門学校時代を含めると、すでに5万人を超える卒業生を輩出している。

令和4（2022）年度の入学定員に対する入学者数比率は、大学全体では1.05であり、学部別では、医学部1.00、薬学部1.09、理学部1.02、看護学部1.05、健康科学部1.08、また、過去5カ年度の入学定員に対する入学者数平均比率は、大学全体で1.07、学部別では、医学部1.00、薬学部1.09、理学部1.03、看護学部1.05、健康科学部1.13であることから、概ね適切に入学定員管理がなされている。

また、令和4（2022）年度の収容定員に対する充足率は、大学全体では1.07であり、学部別では、医学部1.02、薬学部1.12、理学部1.05、看護学部1.08、健康科学部1.10である。過去5カ年度の大学全体の収容定員に対する在籍学生数比率の平均は1.09であり、各学部とも著しい過剰や未充足は発生していない。18歳人口が減少している中、令和4（2022）年度までの5カ年度における学部の志願者数の総計は延べ53,110名であり、志願者数を安定して確保している。

②東邦大学薬学部の現状把握・分析

東邦大学薬学部（以下、「本学薬学部」という。）は昭和2（1927）年に開設された「帝国女子医学専門学校薬学科」を前身とし、令和4（2022）年に95周年を迎えている。日本における大学薬学部の中でも有数の長い歴史と伝統があり、これまでに輩出した卒業生数は16,000人を超える。卒業生は病院・調剤薬局などの臨床現場や、製薬企業、研究所、官公庁、大学など、幅広いフィールドで長きにわたり活躍している。

平成18（2006）年に6年制教育が開始され、これまでの基礎薬学を中心とした教育内容に医療薬学や長期実務実習が加わることにより、病棟や在宅における薬学的管理や患者の状況に応じた処方提案を行う能力が格段と向上した人材が輩出されるようになった。さらには、多職種との協働による医療の充実という医療現場のニーズを踏まえた人材の養成も重要視されてきたことから、本学の他学部と積極的に連携し、多様化する薬剤師の業務内容や果たすべき役割にも適応できるように教育を行っている。

厚生労働省に設置された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」の

「とりまとめ」（令和3（2021）年6月30日公表）によれば、少子化の進行等により将来的に薬剤師の供給が需要を上回り薬剤師が過剰となること、薬剤師の従事先には地域偏在に加えて、薬局に比べて病院における薬剤師が不足しているという業態の偏在等の課題があることが指摘されている。本学薬学部がある千葉県を始め、千葉県に隣接し、本学薬学部への入学者も比較的多く、薬学部が設置されていない茨城県、さらに本学医学部において地域枠入試を実施している新潟県を対象にそれぞれヒアリングを実施したところ、同様の問題が生じていることを確認した。

本学薬学部では6年制教育を受けた卒業生のうち、9割弱が病院、調剤薬局またはドラッグストアに就職して薬剤師としての業務を担っている。平成24

（2012）年以降、調剤薬局への就職者数に大きな変動はないものの、在宅を含めた地域医療へのニーズの高さからドラッグストア及びドラッグストア併設調剤薬局への就職者の増加が近年では顕著となっている。その結果として、平成24

（2012）年に3割程度を占めていた病院への就職者数が、令和4（2022）年には2割程度に減じている【資料1_東邦大学薬学部卒業生の就職先の年次推移】。このような大学における人材輩出のパラダイムシフトが上記「とりまとめ」において指摘されている病院における薬剤師不足に直結しているものと理解している。この状態が放置されれば、高度医療あるいは急性期医療に関わる薬剤師の不足が拡大していく可能性が見込まれる。これは薬剤師の養成輩出機関である薬学部のみならず、医学部及び付属病院を有し、我が国の医療の一翼を担っている本学全体の問題と認識している。

一方で、地域医療に対する高いニーズがあるにも関わらず、薬剤師の地域偏在の問題が依然として解消されていない現状に対して継続して対応していくことも重要課題であるため、いずれの問題に対して等しく対処するには、入学者の増員により輩出する卒業生の人数を増やす必要があると考えている。

令和6（2024）年度からスタートする教育プログラムの拠り所となる「薬学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版」は、初めて、医学・歯学・薬学教育が足並みをそろえた一斉の改訂であり、キャッチフレーズとして「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」を掲げ、「変化し続ける未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」を目指して医学・歯学・薬学教育の3領域で統一的に取りまとめられている。具体的には、「求められる基本的な資質・能力」に関して原則として医学・歯学・薬学の3領域で共通化され、多職種の卒前段階の教育の水平的な協調を進め、医療人として価値観を共有することを目指している。本学薬学部では令和5（2023）年2月28日付で公表された「薬学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版」に基づいて教育内容の充実化を含めたカリキュラムの再構築を喫緊に進め、病院への就職者数を実数として平成24（2012）年頃の水準にまで回復させることが本学薬学部で実施可能な施策と考えている。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

本学薬学部の令和4（2022）年12月1日現在の在学者数は1,457名である。出身都道府県別では千葉県906名（62.2%）、東京都232名（15.9%）、埼玉県85名（5.8%）、茨城県68名（4.7%）、神奈川県28名（1.9%）と続き、千葉県、東京都、埼玉県、茨城県及び神奈川県（以下、「1都4県」という。）出身者が90.5%を占める【資料2_東邦大学薬学部学生の出身都道府県一覧】。

1都4県及び文部科学省の学校基本調査に基づき、平成28（2016）年3月から令和3（2021）年3月までの高等学校（全日制・定時制、東京都・茨城県・神奈川県については中等教育学校後期課程を含む）の卒業者数、大学等進学者数の集計を行った【資料3_1都4県と全国の卒業者数・大学等進学者数・大学進学率の集計表】。

1都4県においては平成29（2017）年3月の卒業者数が302,716名と最大であり、その後減少に転じ、令和3（2021）年3月の卒業者数は294,023名となっており、8,693名減少している。減少率は約2.9%である。一方、大学等進学者は平成28（2016）年3月卒業者が181,500名であるのに対し、令和3年3月卒業者は185,609名と4,109名増加、大学等進学率は60.6%から63.1%に上昇している。全国の令和3（2021）年の大学等進学率が57.5%であることに鑑みれば、本学薬学部が位置する1都4県は大学進学希望者が多い地域であると考えられる。

また、日本私立学校振興・共済事業団による「私立大学・短期大学入学志願動向」によれば、薬学部への入学志願者は平成29（2017）年度から令和3（2021）年度までは減少傾向にあったものの、令和4（2022）年度は前年度比で約3,000人増加している。新型コロナウイルス感染症禍を経て、薬剤師の社会的使命が再認識されたことによるものと分析されている【資料4_日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学入学志願動向」（薬学部分の抜粋）】。

さらに、リクルート進学総研による関東エリア、東海エリア、関西エリアの高校に通っている令和5（2023）年3月卒業予定者を対象にした「進学希望分野」に関する調査結果によれば、志望希望分野は、「工学（電気・電子・情報）」、「工学（エネルギー）」、「工学（機械）」といった工学系や「生物・農・獣医・林産・水産」、「薬学」といった理系分野の希望者が技術革新・理系人材への注目もあり、2年連続で増加している結果が示されている。その中で、「薬学」への希望者の割合は令和2（2020）年調査で5.5%、令和3（2021）年調査で6.2%、令和4（2022）年調査で6.9%と年々増加しており、「薬学」が高く注目される分野となっていることが示された【資料5_リクルート進学総研「高校生に聞いた 大学ブランドランキング『進学ブランド力調査2022』」（抜粋）（令和4（2022）年7月14日公表）

（https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2022_brand01.pdf）】。

なお、リクルート進学総研による令和4（2022）年「志願したい大学」ランキン

グ調査では、本学薬学部は薬学領域で関東地区において 10 位以内に位置している
【資料 6_リクルート進学総研「高校生に聞いた 大学ブランドランキング『進学ブランド力調査 2022』より希望分野ランキング」（抜粋）（令和 4（2022）年 7 月 14 日公表）

（https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2022_brand03.pdf）】。この調査結果から、本学薬学部が薬学の専門知識を学ぶために進学したい大学として高校生から高い関心を寄せられていることが明らかとなった。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

①趣旨目的

上記の検討ならびに分析の結果を踏まえ、薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の解消は喫緊に対応すべき課題であるとの認識から、この度、本学薬学部の現在の入学定員 220 名、収容定員 1,320 名を入学定員 245 名、収容定員 1,470 名にそれぞれ変更する申請を行うこととした。

薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の解消を目的とし、病院への就職者数を 10 年前の水準に回復させる施策と薬剤師不足が指摘されている地域からの入学者を増やす施策を実施する。入学者の増員ならびに今後の医療ニーズにマッチした薬学教育を提供することを通じ、偏在の解消に貢献できると考えている。

②教育内容

本学薬学部では、薬学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠し、大学独自の教育プログラムを加味することで構築した教育カリキュラムを実施し、心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を図り、間もなく創立 100 年を迎える歴史と伝統に根ざした充実度の高い薬学教育・研究を実施している。

本学医療センター3 病院との連携による高度な実務実習・医療薬学教育や本学の他の 4 学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育プログラム及び全学共通教育による学内交流を行うなど、独自性のある教育も行っている。

本学薬学部の教育カリキュラムでは、卒後のキャリアアップを指向した授業科目である「社会への招待Ⅰ」と「社会への招待Ⅱ」を 4 年次及び 5 年次に必修科目として開講しており、収容定員増加を通じて強化する薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の解消に向けた取り組みをこれら科目の教育内容を強化発展させることで継続実施する。「社会への招待Ⅰ」では、薬学業界研究、自己分析及びコミュニケーションをキーワードとして、医療に関わるそれぞれの業種の使命・特徴・魅力、自己研鑽と次世代を担う人材の育成の重要性の理解を通じ、キャリアデザイン創生のための力を身につけることを目的とし、「社会への招待Ⅱ」では、薬剤師が社会貢献している病院・薬局、教育・研究機関、製薬企業、行政な

ど様々な業種に関する理解を深め、将来のキャリアデザインの支援を行うことを目的としている。これら科目に加えて、地域はもとより広く社会に貢献する姿勢と実践的能力を有する人材の育成を目的に「海外実務実習」を5年次に選択科目として開講し、社会へ常に関心を抱き、国内外を問わず様々な立場の人々と協調的な人間関係を築くことができる人材の育成を進めており、薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の解消に向けた取り組みを後押しする。6年次に開講される「臨床薬学総論」では、病院に勤務する専門薬剤師や地域医療で活躍する薬剤師による講義を受講する機会を設けている。これらの教育方針は、令和6（2024）年度入学生には改訂版の薬学教育モデル・コア・カリキュラムを反映した新しい教育カリキュラムに引き継ぎ、薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の解消に向けた施策を継続して実施することとしている。

改訂版の薬学教育モデル・コア・カリキュラムが令和5（2023）年2月28日付で公表されたことから、今後、早急に現行カリキュラムの改訂作業に着手する。

なお、本学薬学部は令和4（2022）年度に一般社団法人 薬学教育評価機構による6年制薬学教育プログラムに対する第三者評価を受審し、令和5年3月14日付で「認定」の通知を受領している。

③定員設定の理由

以下の理由により、入学定員を25名増員する。

1) 薬剤師の地域偏在の解消

千葉県、茨城県、新潟県の各自治体の関係部局及び千葉県薬剤師会に対して実施したヒアリングでは、各県内の薬剤師の数は全国平均と比べ大幅に不足している状況ではないものの一部地域で不足している、とのことであった。状況を詳細に確認するため、本学薬学部では公益社団法人日本医師会による地域医療情報システム（JMAP）により、各県の薬局数、訪問薬局数、薬剤師数の分析を行った【資料7_千葉県・茨城県・新潟県の薬局数・訪問薬局数・薬剤師数】。薬剤師数では、人口10万人あたりの薬剤師数の全国平均は111.54名であるのに対し、8割に満たない医療圏が千葉県で1地域

（市原医療圏）、茨城県で2地域（鹿行医療圏、筑西・下妻医療圏）、新潟県で3地域（中越医療圏、魚沼医療圏、佐渡医療圏）あることがそれぞれ確認できた。そのため当該地域の高等学校からの入学者や当該地域に居住する高校生の入学者数を増やすべく、積極的な働きかけが必要と判断される。本学薬学部ではこの課題を解決する手段として、入学試験の試験区分における推薦入試の枠（推薦入試（指定校制））を10名増員し、この入学試験枠を有効利用すると同時に入学者全員に対し入学後教育で薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の現状と課題について教授することを通じて、地域偏在解消の達成に寄与する。

2) 薬剤師の業態偏在の解消

薬剤師の業態偏在の解消に寄与するためには、本学薬学部における病院への就職者数を10年前の水準に回復させ、現入学定員（220名）の1割程度に相当する人数を現時点より多く病院薬剤師として輩出する必要がある。入学試験の試験区分における推薦入試枠（推薦入試（公募併願制））を10名、総合入試枠（総合入試（専願制））を5名増員し、これらの入試枠を有効利用すると同時に入学者全員に対して入学後教育で薬剤師の地域偏在ならびに業態偏在の現状と課題について教授することを通じて、地域偏在解消の達成を図る。

④授業料等の学生納付金の設定根拠

学生納付金は、下記のとおり設定している。

入学金：400,000円

授業料：春学期・秋学期 各560,000円（2年次以降は各670,000円）

教育充実費：春学期・秋学期 各355,000円

定員増後もこれまでの教育研究費や大学運営上の管理経費の推移と今後の教育研究環境の維持・充実に資することを勘案し、入学金や授業料等の学生納付金は従来と変更しない。

また、入学金や授業料等は本学薬学部が競合校と考えている日本大学薬学部、帝京大学薬学部、北里大学薬学部、昭和大学薬学部と比べても大きな差は無く、標準的な額に設定している【資料8_東邦大学薬学部及び競合校の学生納付金】。

エ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

本学薬学部に対する進学需要の見通しを客観的に確認するために、第三者機関（株式会社リクルート、株式会社アンド・ディ）に委託のうえ、高校2年生を対象としたアンケート調査を実施した。令和4（2022）年度入試における本学薬学部の受験実績、入学実績を勘案のうえ高等学校を抽出し、最終的に139校（2校の中等教育学校を含む）、22,402名を対象に調査を実施した。調査の概要は以下のとおりである。

①調査対象の高等学校の所在地

以下の表に示すとおりである。

設置都県	公立		私立		合計	
	高校数	生徒数	高校数	生徒数	高校数	生徒数
千葉県	35	5,016	21	3,026	56	8,042
東京都	10	2,041	35	4,912	45	6,953
埼玉県	6	1,431	7	1,481	13	2,912
神奈川県	—	—	7	1,420	7	1,420
茨城県	3	439	8	1,435	11	1,874
栃木県	—	—	1	55	1	55
群馬県	3	341	1	520	4	861

新潟県	2	285	—	—	2	285
計	59	9,553	80	12,849	139	22,402

②調査期間及び有効回答数

令和5（2023）年1月5日（木）より順次調査票を送付し、2月9日（木）到着分までを調査対象として集計を行った。有効回答数は123校、15,780名に回答いただき、有効回答率は70.4%となった。調査対象の高等学校の設置別内訳は、公立（都立・県立・市立）が44.2%、私立が55.8%となった。所在地等は以下のとおりである。

設置都県	公立		私立		合計	
	高校数	生徒数	高校数	生徒数	高校数	生徒数
千葉県	33	3,870	18	2,014	51	5,884
東京都	9	1,484	29	3,308	38	4,792
埼玉県	6	996	7	1,187	13	2,183
神奈川県	—	—	7	1,077	7	1,077
茨城県	2	255	7	982	9	1,237
栃木県	—	—	1	47	1	47
群馬県	2	226	1	193	3	419
新潟県	1	141	—	—	1	141
計	53	6,972	70	8,808	123	15,780

③高等学校卒業後の希望進路等

高等学校卒業後に希望する進路については、95.7%（15,102名）が「大学（4年制・6年制）」への進学を希望しており、「大学（4年制・6年制）」への進学を第1希望とする者は88.2%（13,922名）に上る。また、「大学（4年制・6年制）」への進学希望者のうち、薬学に「とても興味がある」、「興味がある」と回答した者は45.9%（6,926名）で、理学・工学の54.6%（8,247名）に次ぐ関心の高さであり、薬学分野への関心が高いものと考えられる。

④本学薬学部に対する評価

本学薬学部の取組や特徴を示し、最も魅力的であるものを尋ねたところ、「高い国家試験合格率および就職率の達成に向けた個々の学生に合わせた懇切丁寧なサポートの実践」が24.1%（3,638名）と最も高く、「本学医療センター3病院との連携による高度な実務実習および臨床を強く意識した医療薬学教育の実践」（16.9%、2,549名）、「本学の他の4学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の実践」（12.6%、1,899名）と続いた。

⑤本学薬学部への受験意向・入学意向

本学薬学部の受験意向を尋ねたところ、大学進学希望者（15,102名）では「ぜひ受験したい」は3%（457名）、「受験したい」は15.3%（2,314名）に上り、18.3%（2,771名）となった。そのうち、薬学分野に関心があ

る者は2,371名であり、入学意向に対しては、35.4%（839名）が「ぜひ入学したい」、「入学したい」と回答している。

⑥調査による検証結果

回答者15,780名のうち、薬学分野に関心があり、本学薬学部を受験する意向のある者は2,371名、そのうち入学の意向のある者は839名となることから、受験者及び入学者を確保することは可能であると結論づける【資料 9_東邦大学薬学部収容定員増（計画中）に関する進学需要調査【高校生の入学意向】調査結果報告書】。

B. 新設学部等の分野の動向

千葉県北西部に薬学部を擁する大学は4校あり、志願者数はこの6年間で概ね横ばいに推移している。志願倍率は4校併せた数値においても約9倍を確保しており、大きな環境の変化がない限り、本校を含めた千葉県北西部に所在する薬学部の定員充足状態は今後も維持できるものと考えられる【資料 10_近隣大学の学部設置状況並びに定員充足状況】。

C. 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

リクルート進学総研マーケットリポート「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」（2022）によれば、18歳人口は令和4（2022）年度は112万人であるが、令和7（2025）年度には約109万人、令和15（2033）年度には約101万人にまで減少すると分析されている【資料 11_リクルート進学総研マーケットリポート 2022 Vol.106 2023年2月号「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」】。

同リポートのエリア別18歳人口予測においては、令和4（2022）年度から令和15（2033）年度にかけて減少数が大きいのは東北、甲信越、北海道であるが、南関東（千葉県、東京都、神奈川県及び埼玉県）では、令和15（2033）年度には約29万人と他のエリアと比較して減少率は低いと予想されている。よって今回入学定員・収容定員の増員の申請を行う本学薬学部においても、18歳人口減少の影響を受けることは避けられないものの、他のエリアと比較して影響は少ないものとする。

また、同リポートの大学進学率の推移において、令和3（2021）年度の進学率が高いのは南関東で、61%と高い進学率であった。

さらに、南関東圏では令和3（2021）年度の地元残留率が48%であり、同圏内での進学率が比較的高い地域であるとも分析されている。

今回増員を行う本学薬学部がある習志野キャンパスは千葉県船橋市に所在する。東京都にも比較的近い場所に位置し、キャンパス最寄り駅（JR 津田沼駅または京成大久保駅）から東京駅までは電車で30分程度、新宿駅までは45分程

度、横浜駅までは 60 分程度、大宮駅までは 71 分程度、千葉駅までは 10 分程度である【資料 12_東邦大学習志野キャンパスへのアクセスマップ】。

以上のことから、千葉県をはじめ東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県など南関東圏の都県に近いという立地上の特性を活かした学生募集活動を行うことで、今後も安定的に志願者を確保できるものとする。

また、薬学部進学に関する動向について、一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会と株式会社リクルートマーケティングパートナーズによる合同調査「高校生と保護者の進路に関する意識調査」（2021 年）によれば、高校生が就きたい職業として薬剤師が 7 位（4.4%）となっている他、保護者が子どもに就いてほしい職業でも薬剤師が 5 位（5.2%）となっている【資料 13_一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会と株式会社リクルートマーケティングパートナーズによる合同調査「高校生と保護者の進路に関する意識調査」（抜粋）（https://souken.shingakunet.com/research/.assets/2019_hogosya4.pdf）】。

同調査は隔年で実施されており、平成 25（2013）年度から令和 3（2021）年度における 5 回分の調査結果を比較したところ、高校生が就きたい職業・保護者が子どもに就いてほしい職業としての薬剤師の順位及び回答比率は高位を維持しており、18 歳人口が減少している一方で、薬剤師養成に対する需要は今後も増加することが見込まれる。

また、同調査において、保護者が子どもに薬剤師に就いてほしいと思う具体的な理由としては、

- ①女性でも安定した収入が見込め、将来の子育てとの両立が可能である
- ②求人がどの時代にもあり、どこで生活する事になっても働ける資格を持ってほしいと思うから
- ③子どもが色々考え、将来就きたい仕事と言っている
等が挙げられている。

以上から、同調査の調査結果トピックスでは、保護者は進路に関して、安定した職を得られる資格が取得できることを理由とする意見が多いが、親の希望という以前に、子どもが目指していることが前提として分析されている。

以上の結果より、本学薬学部は薬剤師の職業イメージ及び高校生・保護者の資格取得への強い意識が薬剤師養成需要拡大の一因であると考えている。

さらに、令和 4（2022）年度は全国の薬系学部の入学志願者数は 76,625 名と前年度（73,580 名）に比べて 3,055 名増加し、8 年ぶりに増加傾向に転じた。日本私立薬科大学協会による「私立薬科大学（薬学部）入学志願者調査」によれば、南関東に設置された 19 薬系大学（本学薬学部を含む）では、令和 3

（2021）年度の志願者数が 29,686 名、令和 4（2022）年度の志願者数が 31,041 名と 1,355 名増加している。これは全体の 44.4%となることから、南関東圏全体の薬系学部には引き続き強いニーズがあると分析している【資料 14_南関東（千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県）設置薬系大学の志願者状況】。

D. 競合校の状況

本学薬学部は6年制教育を行う薬学科のみ設置している。競合校としては、千葉県内及び東京都内に薬学部のキャンパスを有する日本大学、帝京大学、北里大学、昭和大学が挙げられる。いずれの大学も医学部を有する私立総合大学である点に大きな特徴がある。各々の大学は病院実習を実施可能な付属病院を有している他、薬学部が設置されているキャンパスはJRや私鉄の駅の近隣に位置しているなど立地についても共通点が多いことから、受験者層も似通っていると推察される。

なお、令和4（2022）年度入試における各大学の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率は別紙資料のとおりである【資料15_競合校の令和4（2022）年度入試における志願者数等一覧】。いずれの大学も志願倍率は5倍以上あり、定員も充足されている。本学薬学部においては志願倍率が9.1倍あったことから、25名の定員増を行ったとしても、定員の充足は十分に可能である。

E. 既設学部等の学生確保の状況

本学薬学部は千葉県船橋市にある習志野キャンパスに設置されている。当キャンパスは東京都にも比較的近く、神奈川県、埼玉県、茨城県からも通学可能な場所に位置し、安定的な志願倍率、入学定員充足率を維持している。入学定員220名に対し、最近5年間は約2,000名程度の志願者数と約9倍程度の安定した志願倍率を維持している【資料16_過去5年間の入試状況】。

なお、千葉県出身の薬剤師を目指す学生のうち、1/4～1/5が本学薬学部在籍しており、千葉県における薬剤師育成に大きく貢献している【資料17_千葉県出身者の大学別一覧】。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

本学薬学部では、教員（入試委員会と広報委員会）と事務職員（習志野学事部入試広報課）を中心に、全教職員が年間を通して積極的かつ全国的な学生確保の取組を実施し、薬学部PRのため入試広報のみならず、大学や法人広報関連部門とも連携しながら学生募集活動を強化・推進しており、こうした組織的な広報活動が今までの学生確保に繋がっていると言える。

増員認可後の学生確保に向けた取組としては、これまで本学薬学部にて行ってきた取組体制を継続・発展させ、創立100年近い歴史と伝統を生かし、自然科学系総合大学として他学部及び本学医療センター3病院と連携し、充実した医療薬学教育・研究・卒後教育が実施されているという特色を強くPRする予定である。

具体的な取組内容は以下（ア）～（オ）に記載する。

（ア）オープンキャンパス

本学薬学部では、同じ習志野キャンパスに設置されている理学部及び健康科学部と同時開催で、春期（1回1日）、夏期（1回2日）にオープンキャンパスを開催している。過去5年の開催では、平成29（2017）年度は春期268組・467名、夏期2,642組・4,408名、平成30（2018）年度は春期206組・355名、夏期2,733組・4,808名、令和元（2019）年度は春期229組・402名、夏期2,481組・4,557名を動員している。令和2

（2020）年度は新型コロナウイルス感染症禍により開催を断念した。令和3（2021）年度は引き続き新型コロナウイルス感染症禍により、感染拡大防止のためにWeb開催とし、学部長動画、広報委員長動画、入試委員長動画、2名の在学生プレゼンテーション動画をリアルタイムで配信した。令和4（2022）年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために予約制・定員制により対面での実施を再開し、春期120組・225名、夏期2,130組・3,663名（2日間、各日2回、1回あたり平均参加者数は概ね900名超）で、入学定員を大きく上回る実績となっている。

新型コロナウイルス感染症禍の制限なく実施できた令和元（2019）年度のオープンキャンパスの内容は、薬学部入試概要説明、学部概要説明、在校生によるキャンパスライフ紹介、個別相談、薬学部ツアー、薬学クイズにチャレンジ、薬剤師にチャレンジ（調剤を体験してみよう。注射薬調製を体験してみよう。生命（いのち）の音を聞いてみよう。薬をつくってみよう。薬局の中をのぞいてみよう。）、在校生と話そう、のぞいてみよう顕微鏡、目で見える私たちの教室環境、研究最前線、教科書・シラバス・参考書展示オープンラボ（研究室見学）である。令和4（2022）年度は密を回避するために人数制限及び時間制限のなか、入試概要説明、学部概要説明、学生プレゼンテーション、個別相談、教科書・シラバス展示、のぞいてみよう顕微鏡、目で見える私たちの教育環境、薬剤師にチャレンジ（調剤を体験してみよう。注射薬調製を体験してみよう。生命（いのち）の音を聴いてみよう。薬をつくってみよう。薬局をのぞいてみよう。）、漢方の世界へようこそ、薬学部ツアー、現役在学生と話そう等を企画した。また、入試説明会では説明しきれない学部の詳細な教育内容や学生支援体制等を紹介する大学案内や大学統合リーフレットを配付しており、これは以下の（イ）～（オ）の取組みについても同様であった。

（イ）土曜キャンパス見学会&懇談会

令和3（2021）年度は1日2回・計23回開催し、薬学部参加者総数は255組・472名であった。令和4（2022）年度は、1日2回・計24回実施し、薬学部参加者総数は377組・689名であった。

この試みは、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2（2020）年度のオープンキャンパスが中止になったことと、令和3（2021）年度のオープンキャンパスがWeb開催になったことなどから、従来、年に5～6回

行っていた習志野キャンパス全体の土曜キャンパス見学会に加え、人数制限下で少人数を対象としたキャンパス見学会&懇談会を薬学部独自で開催することを進めている。具体的には、教員1名と在学生数名で1班とし、1班で最大5組（10名）まで、1回の受け入れを最大25組（50名）として実施している。

土曜日キャンパス見学会&懇談会は、教員が薬学部の施設や研究室を案内し、実際の大学生活などを在校生が高校生の質問に回答する形式で説明している。本広報活動に協力する在学生（1年生から6年生）は学生アルバイトとして募集し、自らの大学生活を説明する他、高校時代の勉強方法や受験に関する助言も行う。キャンパス見学会終了後は約1時間程度、活発に高校生など受験予定者の質問に対して熱心な回答を寄せている。

この他、夏休み平日限定見学会も追加開催している。令和3（2021）年度は1日3回計21回開催し、薬学部参加者総数は256組・462名であった。令和4（2022）年度は、1日2回計14回開催し、薬学部参加者総数は171組・292名であった。実施内容は土曜日キャンパス見学会と同様である。

（ウ）模擬講義

高等学校からの依頼と仲介業者からの依頼により、教員が高校に出張し、高校生にも興味を持てるような講義を行っている。令和3（2021）年度からは直接本学に依頼してくる高校も増加している。

なお、令和4（2022）年度の出張講義の実施実績は別紙資料のとおりである【資料18_令和4（2022）年度出張講義実施実績】。

（エ）付属病院紹介動画の作成

令和4（2022）年度、本学の強みである医療センター3病院（大森病院、大橋病院、佐倉病院）の充実した施設・教育指導体制や本学薬学部卒業生の姿を紹介し、本学薬学部の志願者増に繋げることと、高校生が目にする機会が少ない「病院薬剤師」の職場や仕事内容を紹介し、病院薬剤師の仕事への理解を深めていただくことを目的に医療センターの紹介動画の作成を企画し準備を進めている。3病院それぞれの特徴を紹介していく企画である。

大森病院では、病院薬剤部の紹介動画を作成する予定である。具体的には、大森病院薬剤部長へのインタビュー形式にて、薬剤部の概要、特色、本学の実習受け入れ体制などを紹介する。また、病院薬剤師が活躍する現場（施設）を数か所撮影して紹介する他、現場で活躍している本学薬学部卒業生へのインタビュー（仕事のやりがい、就職先を決めた理由、高校生へのメッセージ等）も実施する。

大橋病院では、病院見学ツアー形式で病院薬剤師の仕事を紹介する動画を作成する予定である。具体的には、本学薬学部卒業生（病院薬剤師）が

院内ツアーを実施し、病院薬剤師が日頃活躍している現場や病院の特色を紹介する動画の作成を企画している。

佐倉病院では、病院薬剤師として活躍する本学薬学部卒業生へのインタビューを中心に、佐倉病院に就職した理由、業務内容、業務のやりがい、薬剤師を目指す高校生へのメッセージ等をインタビューする動画の作成を企画している。

本企画は、本学薬学部の増員目的の一つである病院薬剤部に就職する卒業生数の増加にも大きく寄与するものと考えている。

(オ) その他広報活動等

高校生向けのイベントだけでなく、令和4(2022)年度には、東京都江戸川区こども未来館(参加者14組27名)、夏休み薬学教室(小学生の部:参加者32組・64名、中高生の部:参加者78組・121名)、ひらめきときめきサイエンス(参加者21組・21名)等、小中学生向けの薬剤師体験イベントを行っている。また、令和元(2019)年度には、本学と包括協定を締結している千葉県佐倉市内在住の小学5・6年生及び中学1・2・3年生を対象とした公開講座「薬剤師のお仕事を体験しよう!」を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年から対面での開催を見送っていたが、今後の感染状況も踏まえ開催を模索していく。将来、薬剤師を希望する方が一人でも多くなるよう、その一端を担う責務があると考え。さらに、薬草園一般公開や公開講座等、一般市民へも訴求する広報活動を全学的に実施している。

なお、大学ホームページにおいてもオープンキャンパスやイベントに関する情報、入試情報の他、各種イベントやニュース、本学の歴史、施設紹介動画、キャンパスライフ紹介動画、教員・学生インタビュー動画、研究成果等を発信し、受験生がリアルタイムで情報を得られるようにしている。昨今スマートフォンがインターネット利用のメインデバイスとなっていることを踏まえ、大学ホームページのスマートフォン対応も実施している。その他、ソーシャル・ネットワーキング・サービスのTwitterやInstagramを活用する等、時代に応じた方法で広く情報提供を続けている。

以上のとおり、本学薬学部では学生募集活動における豊富な実績があり、さらに新たな試みも行い、積極的な広報活動を展開している。過去5年間の志願者数、入学者数のいずれも入学定員を充足するのに十分な数で推移していることから、現在の体制を継続し、さらに発展させることにより、本学薬学部においては入学定員を十分に確保できるものとする。

※薬学部 6 年制課程について

過去 5 年の実質競争倍率、収容定員充足率、標準修業年限内での卒業率・国家試験合格率ならびに退学の割合は以下に示すとおりである。

●実質競争倍率（受験者数／合格者数）

平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
3.93	3.20	3.17	3.01	3.52

●収容定員充足率（在籍者数／収容定員数）

平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
115.8%	115.0%	114.8%	114.5%	112.8%

●標準修業年限内での卒業率

平成 24 年度 (2012 年度) 入学者	平成 25 年度 (2013 年度) 入学者	平成 26 年度 (2014 年度) 入学者	平成 27 年度 (2015 年度) 入学者	平成 28 年度 (2016 年度) 入学者
74.7%	79.2%	76.0%	80.3%	76.3%

●標準修業年限内での国家試験合格率

平成 24 年度 (2012 年度) 入学者	平成 25 年度 (2013 年度) 入学者	平成 26 年度 (2014 年度) 入学者	平成 27 年度 (2015 年度) 入学者	平成 28 年度 (2016 年度) 入学者
69.4%	75.3%	71.3%	76.5%	71.9%

●退学率

平成 24 年度 (2012 年度) 入学者	平成 25 年度 (2013 年度) 入学者	平成 26 年度 (2014 年度) 入学者	平成 27 年度 (2015 年度) 入学者	平成 28 年度 (2016 年度) 入学者
2.9%	4.3%	1.9%	2.5%	2.2%

いずれの年も実質競争倍率が 3.0 倍以上と十分な人数の入学志願者数を確保できており、増員数 25 名は令和 4（2022）年度入試の総志願者数 2,005 名の 1.2%程度であり、入学者の学力水準に及ぼす影響はほとんど無いと見込まれる。従って、現入学定員（220 名）に対する 11.4%増が、実質競争倍率、収容定員充足率、標準修業年限内での卒業率・国家試験合格率及び退学の割合に与える影響は軽微と見込んでいる。

しかしながら、収容定員充足率の適切化、ならびに標準修業年限内での卒業率・国家試験合格率の向上は、定員増の有無に拘わらず、今後も継続して取り組んでいく重要な課題と位置付けている。

現入学定員に対し 11.4%増となった場合

- ・実質競争倍率 : やや減少 (合格者増のため)
- ・収容定員充足率 : 変化しない (収容定員も増えるため)
- ・標準修業年限内での卒業率 : 変化しない (入試合格基準に変化を与えないため)
- ・標準修業年限内での国家試験合格率 : 変化しない (入試合格基準に変化を与えないため)
- ・退学率 : 変化しない (入試合格基準に変化を与えないため)

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学薬学部では、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人である「心の温かい薬の専門家」の育成を目的とする。また、「心の温かい薬の専門家」を育成するために、高い倫理観、豊かな人間性、自他ともに高め合う態度、基礎薬学並びに医療薬学に関するバランスのとれた豊富で正確な知識・技術及び問題解決能力を育成し、チーム医療に資するためのコミュニケーション能力及び実践的能力を醸成する教育、研究に関しては、基礎薬学並びに医療薬学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献できる研究を実践している。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

前述の本学薬学部における現状把握、分析に基づき、本学薬学部の人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的が、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであるかを客観的に確認するために、第三者機関（株式会社リクルート、株式会社アンド・ディ）に委託のうえ、就職先として想定される病院、薬局、企業等を対象としたアンケート調査を実施した。これまでの就職実績に基づき、病院 310 施設、薬局 402 施設、企業等 118 施設の計 830 施設を対象に調査を実施した。調査の概要は以下のとおりである。

①調査対象の施設の所在地

- ・病 院：千葉県 87、東京都 70、埼玉県 31、茨城県 30、神奈川県 25、新潟県 36、長野県 10、群馬県 7、静岡県 5、栃木県 4、山梨県 2、福島県・兵庫県・沖縄県各 1 計 310 施設
- ・薬 局：千葉県 82、東京都 125、埼玉県 45、茨城県 24、神奈川県 32、新潟県 23、栃木県・静岡県各 13、北海道・岩手県・山形県・福島県・長野県・大阪府・福岡県各 3、宮城県・群馬県・富山県・愛知県・岐阜県・三重県・兵庫県各 2、山梨県・石川県・京都府・岡山県・広島県・山口県・徳島県・高知県・佐賀県・沖縄県各 1 402 施設
- ・企業等：千葉県 3、東京都 93、埼玉県 2、茨城県 1、神奈川県 1、大阪府 7、愛知県 4、長野県・山梨県・富山県・三重県・京都府・徳島県・香川県各 1 計 118 施設

②調査期間及び有効回答数

令和 4（2022）年 12 月 28 日（水）より順次調査票を送付し、令和 5（2023）年 2 月 1 日（水）到着分までを調査対象として集計を行った。328 施設に回答いただき、有効回答率は 39.5%となった。

回答いただいた病院・薬局・企業等の所在地は東京都が 31.7% (104 施設) と最も高く、次いで千葉県 (21.3%、70 施設) であった。また、業種別では保険調剤薬局・ドラッグストアが無回答を除く 326 施設中 182 社 (55.8%) と最も高く、次いで病院が 94 施設 (28.8%) であった。

③薬剤師の量的な確保状況

回答企業等における薬剤師の量的な確保状況について尋ねたところ、「大幅に不足している」は 7.0% (23 施設)、「不足している」は 52.1% (171 施設) であり、これらを合算した「不足している・計」59.1%の施設で薬剤師が量的に不足していることがわかった。不足している企業等の状況は、大都市圏域 (千葉市、東京 23 区、さいたま市、横浜市) 72 施設 (54.5%)、大都市圏域以外 (含む茨城県、埼玉県) で 122 施設 (62%) であった。特に、千葉県においては「不足している・計」が 64.4%であり東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県のうち最も高い。また、病院は大都市圏において 71.4%が「不足している・計」、大都市圏外で 65.9%が「不足している・計」と回答しており、いずれの地域でも量的な不足の状況にあることがわかった。

④薬剤師の質的な確保状況

回答企業等における薬剤師の質的な確保状況について尋ねたところ、「大幅に不足している」は 4.0% (13 施設)、「不足している」は 29.3% (96 施設)、「やや不足している」は 33.8% (111 施設) であり、67%の企業等で薬剤師が質的に不足しているとの回答があった。

病院では「不足している・計」が 80.9%と全体よりも 13.8p 高い。なかでも、従業員規模「500～999 人」「1,000 人以上」において、それぞれ 83.3% (55 施設) が「不足している・計」と回答しており、中大規模の病院が他の業種に比べても質的な不足感が強いことを確認した。

前項③の回答と合わせて考察すると、病院における薬剤師は量的・質的にも不足しているといえる。

⑤採用状況

令和 4 (2022) 年 4 月入職の大学新卒採用者数は、「1～9 人」が 53.4% (175 施設) と最も高く、ついで「採用なし」が 29.3% (96 施設)、「10～49 人」が 11.9% (39 施設) となっている。従業員規模別では、従業員 300 名未満の施設では「採用なし」が 42.9% (66 施設)、300 名～999 名の施設では「1～9 人」が 61.8% (63 施設)、1,000 名以上の企業では「10～49 人」が 23.6% (17 施設) が最も多い。また、令和 4 (2022) 年度の採用人数が目標人数に対し充足したかについては、58.5% (192 施設) が充足していないと回答した。特に病院では 66.0% (62 施設) で充足しておらず、また、千葉県では病院と保険薬局・ドラッグストアともに充足していない。さらに、令和 5 (2023) 年 4 月入職の大学

新卒者の採用予定について尋ねたところ、「令和 4（2022）年度と同程度」が 50.0%（164 施設）と最大で、次いで「令和 4（2022）年度よりも増える」が 25.0%（82 施設）、「令和 4（2022）年度よりも減る（が採用する）」が 5.2%（17 施設）となり、80.1%（263 施設）に採用意向があることが確認できた。

⑥本学薬学部に対する評価

令和 5（2023）年度も採用意向のある 263 施設に対し、本学薬学部の学び・取組の特徴を示し、興味関心を感じる特徴を尋ねたところ、「本学の他の 4 学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の実践」（209 施設（79.5%））、「本学医療センター3 病院との連携による高度な実務実習および臨床を強く意識した医療薬学教育の実践」（208 施設（79.1%））、「高い国家試験合格率および就職率の達成に向けた個々の学生に合わせた懇切丁寧なサポートの実践」（191 施設（72.6%））の順にご関心をいただいていることがわかった。

また、本学薬学部で学んだ学生に対する採用意向を尋ねたところ、「採用対象になる」228 施設（86.7%）から、合計「おそらく採用対象になる」14 施設（5.3%）、「採用対象として検討してもよい」18 施設（6.8%）も含めると、260 社（98.9%）に採用の意向があることがわかった。さらに採用見込人数も尋ねたところ、1 施設あたりの平均人数は 3.4 人となった。

⑥調査による検証結果

「採用対象になる」と回答した企業からの採用意向人数は 767 人で、本学の予定している入学定員 245 人を大幅に上回る採用意向数を確認できた。1 施設あたりの平均人数は 3.6 人に上り、特に「従業員規模 1,000 人以上」の病院で平均 3.6 人、「従業員規模 300 人以上」の保険薬局・ドラッグストアで平均 7.5 人であった。入学定員数を大幅に上回り、かつ、1 施設あたり複数人の採用意向が確認され、本学薬学部卒業生が社会に受け入れていただけるものと結論づける。

以上のことから、本学薬学部の定員増の計画については、入学・採用需要ともに充足できることが見込まれる。しかしながら、特に、薬剤師の採用需要は、院外処方箋の発行の伸びや高齢化の進展により、概ね今後 10 年間程度は増加が見込まれているが、それ以降は人口減による影響を受けることが報告されている（「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」の「とりまとめ」（令和 3（2021）年 6 月 30 日公表））。このことを念頭に置き、本学の卒業生を多く採用している病院・薬局・企業等のもとより、千葉県及び近隣自治体、薬剤師会等の関係者との不断の協力関係を構築し、中長期にわたる薬剤師の人材需要の動向の把握を通じて、薬剤師の最適配置に貢献するものとして【資料 19_東邦大学薬学部収容定員増（計画）に関する人材需要調査【病院・薬局・企業等への採用意向】調査結果報告書】。

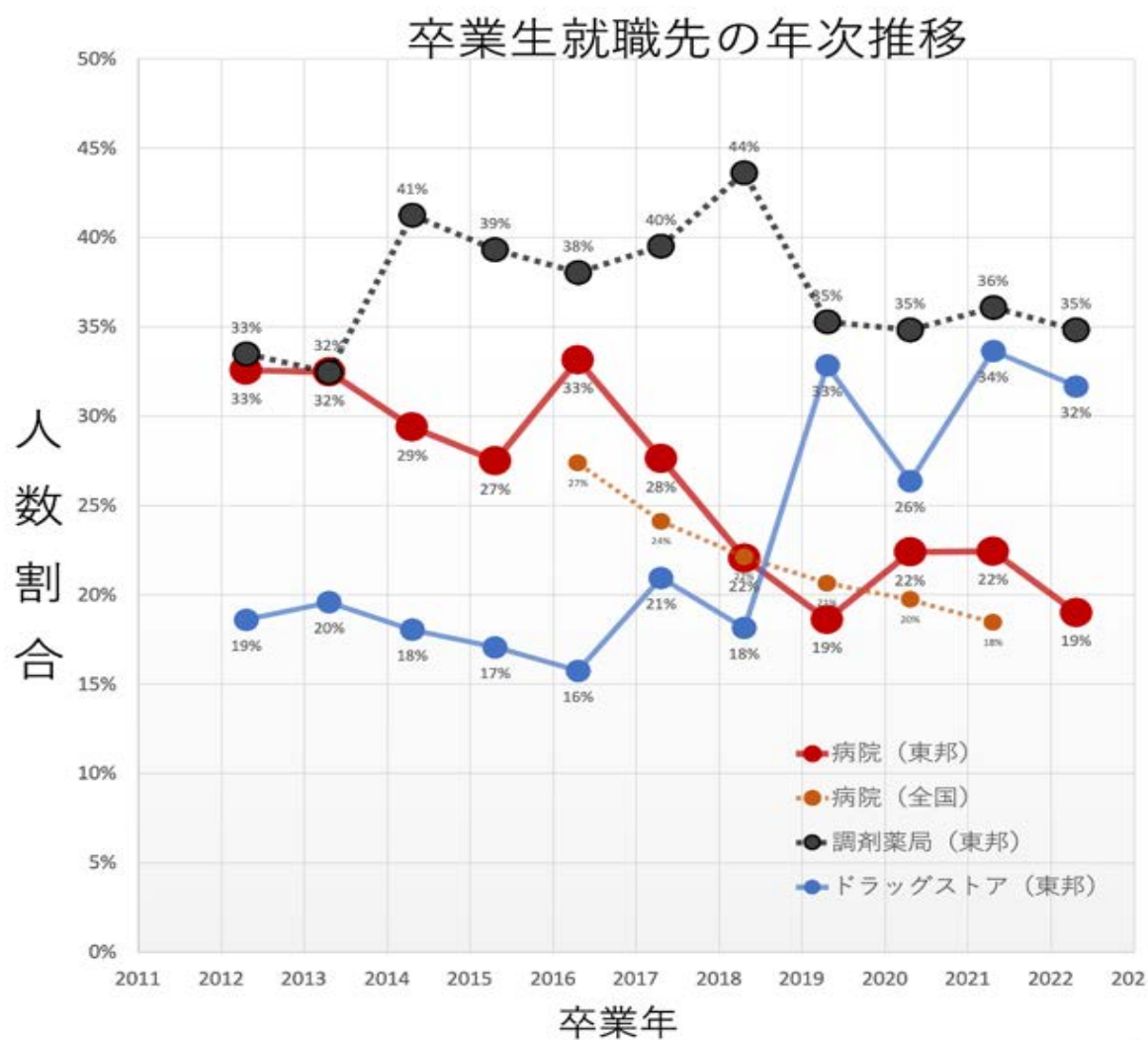
学生の確保の見通し等を記載した書類

《 資 料 目 次 》

資料 1	東邦大学薬学部卒業生の就職先の年次推移
資料 2	東邦大学薬学部学生の出身都道府県一覧
資料 3	1 都 4 県と全国の卒業生数・大学等進学者数・大学進学率の集計表
資料 4	日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学入学志願動向」（薬学部分の抜粋）
資料 5	リクルート進学総研「高校生に聞いた 大学ブランドランキング『進学ブランド力調査 2022』」（抜粋）（令和 4（2022）年 7 月 14 日公表）
資料 6	リクルート進学総研「高校生に聞いた 大学ブランドランキング『進学ブランド力調査 2022』より希望分野ランキング」（抜粋）（令和 4（2022）年 7 月 14 日公表）
資料 7	千葉県・茨城県・新潟県の薬局数・訪問薬局数・薬剤師数
資料 8	東邦大学薬学部及び競合校の学生納付金
資料 9	東邦大学薬学部収容定員増（計画中）に関する進学需要調査【高校生の入学意向】調査結果報告書
資料 10	近隣大学の学部設置状況並びに定員充足状況
資料 11	リクルート進学総研マーケットリポート 2022 Vol. 106 2023 年 2 月号「18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」
資料 12	東邦大学習志野キャンパスへのアクセスマップ
資料 13	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会と株式会社リクルートマーケティングパートナーズによる合同調査「高校生と保護者の進路に関する意識調査」（抜粋）

- 資料 14 南関東（千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県）設置薬系大学の志願者状況
- 資料 15 競合校の令和 4（2022）年度入試における志願者数等一覧
- 資料 16 過去 5 年間の入試状況
- 資料 17 千葉県出身者の大学別一覧
- 資料 18 令和 4（2022）年度出張講義実施実績
- 資料 19 東邦大学薬学部収容定員増（計画中）に関する人材需要調査【病院・薬局・企業等への採用意向】調査結果報告書

東邦大学薬学部卒業生の就職先の年次推移



東邦大学薬学部学生の出身都道府県一覧

都道府県名	人数（名）	割合	都道府県名	人数（名）	割合
千葉県	906	62.18%	静岡県	18	1.24%
東京都	232	15.92%	愛知県	3	0.21%
埼玉県	85	5.83%	三重県	2	0.14%
茨城県	68	4.67%	京都府	1	0.07%
神奈川県	28	1.92%	大阪府	1	0.07%
北海道	4	0.27%	兵庫県	1	0.07%
青森県	4	0.27%	和歌山県	1	0.07%
岩手県	4	0.27%	広島県	1	0.07%
宮城県	4	0.27%	山口県	2	0.14%
秋田県	3	0.21%	香川県	3	0.21%
山形県	4	0.27%	愛媛県	1	0.07%
福島県	9	0.62%	高知県	1	0.07%
栃木県	13	0.89%	福岡県	5	0.34%
群馬県	15	1.03%	佐賀県	1	0.07%
新潟県	8	0.55%	熊本県	2	0.14%
富山県	2	0.14%	大分県	1	0.07%
石川県	1	0.07%	宮崎県	1	0.07%
山梨県	5	0.34%	鹿児島県	4	0.27%
長野県	9	0.62%	沖縄県	3	0.21%
岐阜県	1	0.07%			
			計	1,457	100.00%

1都4県と全国の卒業生数・大学等進学者数・大学進学率の集計表

●千葉県、東京都、埼玉県、神奈川県および全国の高等学校等卒業生数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
千葉県	48,944	49,330	49,149	48,998	48,289	48,202
東京都	101,558	103,462	102,928	102,864	101,281	100,084
埼玉県	57,150	57,262	56,970	56,992	56,643	55,098
茨城県	25,763	25,569	25,937	25,544	25,001	24,747
神奈川県	66,037	67,093	66,887	67,219	66,293	65,892
1都4県計	299,452	302,716	301,871	301,617	297,507	294,023
全国総計	1,064,352	1,074,655	1,061,565	1,055,807	1,042,549	1,017,097

備考1) 全日制・定時制、東京都・茨城県・神奈川県については中等教育学校後期課程を含む。

●千葉県、東京都、埼玉県、神奈川県および全国の高等学校等卒業生のうち、大学等進学者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
千葉県	27,451	27,466	27,381	26,975	27,030	28,068
東京都	67,706	68,365	66,752	67,140	67,652	69,243
埼玉県	32,513	32,989	32,572	32,731	33,130	33,440
茨城県	13,132	13,019	13,207	13,034	12,983	13,176
神奈川県	40,698	41,204	40,901	40,879	40,471	41,682
1都4県計	181,500	183,043	180,813	180,759	181,266	185,609
全国総計	583,704	589,121	581,958	578,382	582,540	584,722

備考1) 全日制・定時制、東京都・茨城県・神奈川県については中等教育学校後期課程を含む。

備考2) 通信教育部進学者は除く。

●千葉県、東京都、埼玉県、神奈川県および全国の高等学校等卒業生の大学等進学率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
千葉県	56.1%	55.7%	55.7%	55.1%	56.0%	58.2%
東京都	66.7%	66.1%	64.9%	65.3%	66.8%	69.2%
埼玉県	56.9%	57.6%	57.2%	57.4%	58.5%	60.7%
茨城県	51.0%	50.9%	50.9%	51.0%	51.9%	53.2%
神奈川県	61.6%	61.4%	61.1%	60.8%	61.0%	63.3%
1都4県計	60.6%	60.5%	59.9%	59.9%	60.9%	63.1%
全国総計	54.8%	54.8%	54.8%	54.8%	55.9%	57.5%

備考1) 全日制・定時制、東京都・茨城県・神奈川県については中等教育学校後期課程を含む。

備考2) 通信教育部進学者は除く。

出典：文部科学省および各都県の学校基本調査より抜粋

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学入学志願動向」（薬学部分の抜粋）

年度	学部数	入学定員	志願者	志願倍率	入学定員充足率
平成 30 (2018)	57	11,451	96,008	8.38	95.62%
平成 31／令和元 (2019)	57	11,356	89,223	7.86	93.46%
令和 2 (2020)	59	11,451	82,668	7.22	92.82%
令和 3 (2021)	60	11,501	73,580	6.40	88.61%
令和 4 (2022)	60	11,391	76,635	6.73	94.79%

出典：日本私立学校振興事業団「私立大学・短期大学入学志願動向」

平成 30（2018）年度：P. 20

<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouH30.pdf>

平成 31（2019）年度：P. 20

<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouH31.pdf>

令和 2（2020）年度_P. 24

<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR2.pdf>

令和 3（2021）年度_P. 31

<https://www.shigaku.go.jp/files/nyuugakusiganndoukoudaitan0928.pdf>

令和 4（2022）年度_P. 20

<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR4.pdf>

Press Release

リクルート進学総研

2022年7月14日

高校生の「志願したい大学」

【関東】早稲田大学が2年連続1位

【東海】名城大学が6年連続1位

【関西】関西大学が15年連続1位

高校生に聞いた 大学ブランドランキング「進学ブランド力調査2022」

（調査期間：2022年3月31日（木）～4月28日（木））より

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する、「リクルート進学総研」（所長：小林 浩）は、高校生の大学選びの動向を明らかにするため、2008年より進学ブランド力調査を実施しております。このたび2022年の調査結果がまとまりましたので、一部ご報告いたします。

解説：「リクルート進学総研」所長 小林 浩：P2

関東・東海・関西の「志願したい大学」ランキング…P4～P6

	関東	東海	関西
全体 1 位	早稲田大学 （昨年1位）	名城大学 （昨年1位）	関西大学 （昨年1位）
	関東	東海	関西
男子1位	明治大学（昨年1位）	名城大学（昨年1位）	<u>近畿大学（昨年2位）</u>
女子1位	<u>早稲田大学（昨年3位）</u>	<u>南山大学（昨年3位）</u> <u>名城大学（昨年2位）</u>	関西大学（昨年1位）
文系1位	<u>早稲田大学（昨年3位）</u>	南山大学（昨年1位）	関西大学（昨年1位）
理系1位	<u>明治大学（昨年3位）</u>	<u>名古屋大学（昨年2位）</u>	<u>大阪公立大学（新設校）</u>

- 関東エリアでは全体で「早稲田大学」が2年連続で1位となり、「明治大学」が2位となった。
- 東海エリアでは全体で「名城大学」が6年連続で1位となり、「名古屋大学」が2位となった。
- 関西エリアでは全体で「関西大学」15年連続で1位となり、「近畿大学」が2位となった。

関東・東海・関西エリアの「知っている大学」ランキング…P7

	関東	東海	関西
全体 1 位	<u>早稲田大学（昨年2位）</u>	<u>東京大学（昨年3位）</u>	<u>立命館大学（昨年4位）</u>

関東・東海・関西エリアの「大学のイメージ」ランキング…P8～9

	関東	東海	関西
「学校が発展していく可能性がある」 1 位	東京大学（昨年1位） <u>早稲田大学（昨年2位）</u>	東京大学（昨年1位）	<u>近畿大学（昨年3位）</u>
「学びたい学部・学科がある」 1 位	<u>慶應義塾大学（昨年2位）</u>	<u>東京大学（昨年2位）</u>	<u>神戸大学（昨年7位）</u>
「教育方針・カリキュラムが魅力的である」 1 位	<u>早稲田大学（昨年2位）</u>	<u>東京大学（昨年2位）</u>	<u>神戸大学（昨年8位）</u>
「おしゃれな」 1 位	青山学院大学（昨年1位）	青山学院大学（昨年1位）	<u>同志社大学（昨年3位）</u>

※調査データの引用をご希望される際は、“「進学ブランド力調査2022」リクルート進学総研調べ”と明記いただき、広報までご一報いただけますと幸いです。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

「リクルート進学総研」WEBサイト <https://souken.shingakunet.com/>

■ポイント

1) 志願度は関東・東海・関西すべてのエリアで1位と2位は前年と変わらず。

【関東】「早稲田大学」が2年連続で1位となり、「明治大学」が2位。

【東海】「名城大学」が6年連続で1位となり、「名古屋大学」が2位。

【関西】「関西大学」15年連続で1位となり、「近畿大学」が2位。

2) 志望希望分野は、技術革新・DX化・再生可能エネルギー等を背景に「情報」、「工学（電気・電子・情報）」「工学（エネルギー）」「工学（機械）」の希望者が増加

その他、理系人材への注目もあり「生物・農・獣医・林産・水産」「**薬学**」といった理系分野の希望者も**2年連続で増加している**。

3) “学ぶ内容と卒業後のイメージ”をより重視し大学を選ぶようになっている傾向がみられる

進路検討時の重視項目は、「学びたい学部・学科がある」は全項目の中で最も高く、2年連続で増加中。この他、上位項目の中では「就職に有利である」「教育方針・カリキュラムが魅力的である」

「卒業後に社会で活躍できる」が2年連続で増加している。

■解説

コロナ禍3年目となり、一時減少したオープンキャンパス参加率は回復に向かっており、進路選択に向けた行動意欲は高まっている。しかし、コロナ禍前の状況までは戻っていない。コロナ禍によって生じた将来不安は、高校生の進路選択時の重視項目や進学を希望する分野に見られる。まず、進学先を検討する際に重視する項目では、学びの内容や出口意識の高まりに関連した項目「就職に有利である」「教育方針・カリキュラムが魅力的である」「卒業後に社会で活躍できる」などが増加している。また、進学志望希望分野では、AI・データサイエンスといった技術革新に関わる人材ニーズの高まりを受けて、文理に関わらない「情報」や「工学系」分野の希望者が2年連続で増加した一方で、「外国語」「観光」といった分野はコロナ禍影響を受け、2年連続で減少している。

もう一つの注目点は、年内入試での進学者の増加だ（進学センサス2022より）。国立大学も後期日程の定員を総合型選抜に振り替えるなど年内の受験機会が増えており、全体として年内入試へのシフトが加速していることから、早期に志望校を絞り込む動きが高まっている。大学としては、早期に高校生の認知を高め、第一志望群に入っておく必要性が高まっている。

こうした社会環境の変化に対応した改革を進めている大学や、高校生の進路選択行動を見極めながらタイムリーな情報発信をしている大学のランキングが上昇する傾向がみられる。

『リクルート進学総研』 所長 小林 浩

<プロフィール>

1988年株式会社リクルート入社。早稲田大学法学部卒。グループ統括担当や「ケイコとマナブ」商品企画マネジャー、大学ソリューション営業、社団法人 経済同友会出向（教育問題担当）、会長秘書、大学ソリューション推進室長などを経て、2007年4月より現職。

文部科学省中央教育審議会高大接続特別部会委員、高大接続システム改革会議委員等を歴任。現、中央教育審議会大学分科会質保証システム部会委員。

「リクルートカレッジマネジメント」編集長兼務



『リクルート進学総研』について

高校生、進路選択に関する調査研究機関として、以下の活動を行っています。

- ・全国の大学、短期大学、専修学校など、高等教育機関の経営層向けの専門誌「カレッジマネジメント」の発行
- ・高校の先生を読者対象とする進路指導、キャリア教育の専門誌「キャリアガイダンス」シリーズの発行
- ・高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査の実施や社外に向けての情報発信

<取材にお答えできます>

- ・大学を巡る政策動向全般について
- ・高校生の進路や将来についての価値観・大学のブランド力
- ・高校生、保護者、高等教育機関についての各種データ・マーケット動向や事例など、高校生から大学経営まで教育に関わる内容について幅広くお答えします。

詳しくはこちらをご覧ください。

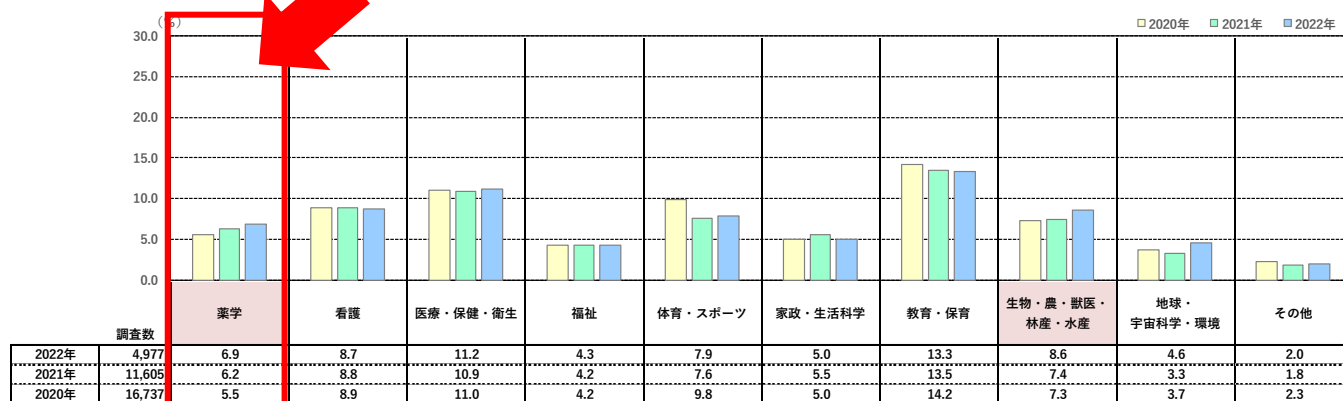
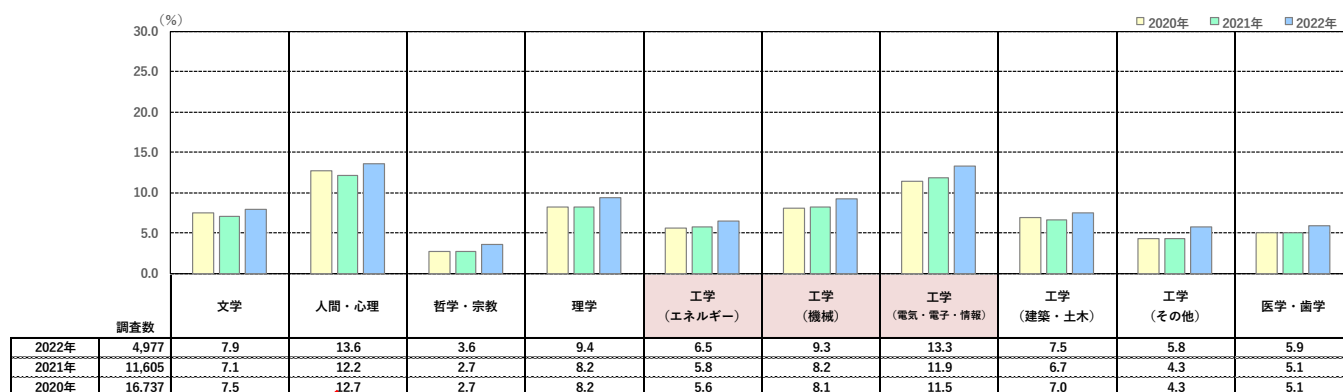
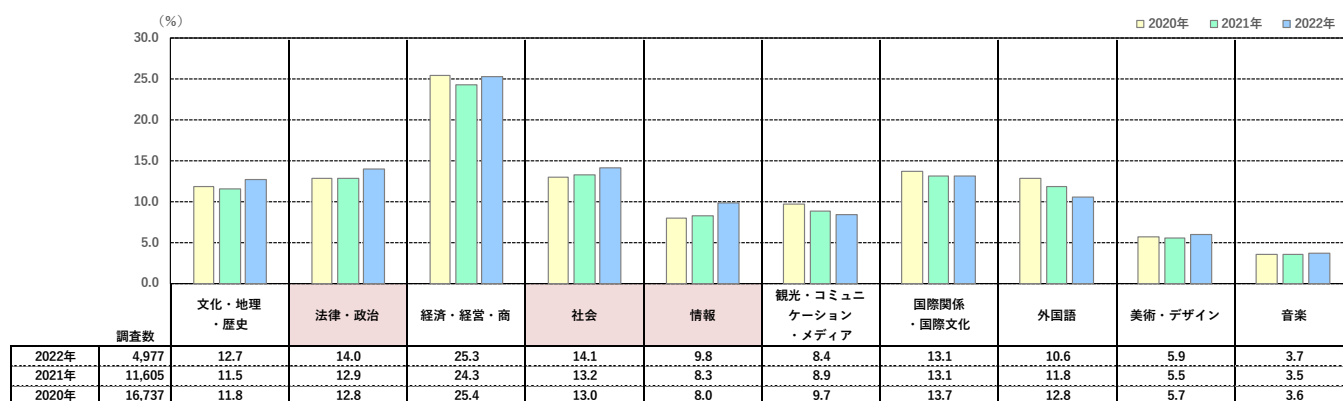
『リクルート進学総研』：<https://souken.shingakunet.com/>

以降10p中略

- ・技術革新・理系人材への注目もあり「工学（電気・電子・情報）」「工学（エネルギー）」「工学（機械）」といった工学系や「生物・農・獣医・林産・水産」「**薬学**」といった理系分野の希望者が**2年連続で増加**。またDX化を背景に「情報」、これらの他「法律・政治」「社会」も2年連続で増加している。

- ・コロナ禍の影響もあり「観光・コミュニケーション・メディア」、「外国語」など観光・外国語関連分野が減少。その他、「看護」「教育・保育」の希望者が2年連続で減少している。

■ 進学希望分野（「関東」「東海」「関西」全体／各複数回答） 単位：％



※東名阪を合算するに当たり、各エリア内の男女比だけでなく、3エリア間の生徒数比を加味してウエイトバック
 ※2年連続増加した分野は薄赤の網がけ

以降2p省略

リクルート進学総研「高校生に聞いた 大学ブランドランキング『進学ブランド力調査2022』より希望分野ランキング」（抜粋）
（令和4（2022）年7月14日公表）

薬学																	
関東(N=169)						東海(N=67)						関西(N=107)					
順位			大学名	区分	%	順位		大学名	区分	%	順位		大学名	区分	%		
1	(1)	—	北里大学	私	17.0	1	(3)	↑	名古屋市立大学	公	21.7	1	(1)	—	大阪大学	国	16.7
2	(5)	↑	明治薬科大学	私	14.1	2	(2)	—	名城大学	私	19.8	2	(6)	↑	近畿大学	私	14.5
3	(2)	↓	千葉大学	国	11.8	3	(1)	↓	名古屋大学	国	16.2	3	(3)	—	神戸大学	国	13.2
4	(7)	↑	星薬科大学	私	11.6	4	(4)	—	岐阜薬科大学	公	14.8	4	(2)	↓	京都薬科大学	私	11.6
5	(6)	↑	東京理科大学	私	11.4	5	(6)	↑	岐阜大学	国	10.4	5	(4)	↓	大阪医科薬科大学	私	11.4
6	(4)	↓	慶應義塾大学	私	10.1	6	(11)	↑	三重大学	国	9.9	6	—	*	大阪公立大学	公	11.1
7	(15)	↑	筑波大学	国	9.5	7	(12)	↑	愛知学院大学	私	9.2	7	(8)	↑	摂南大学	私	10.0
8	(14)	↑	明治大学	私	9.4	8	(8)	—	静岡大学	国	6.9	8	(27)	↑	兵庫医科大学	私	8.2
9	(17)	↑	昭和薬科大学	私	7.2	9	(16)	↑	慶應義塾大学	私	6.0	9	(11)	↑	京都大学	国	7.6
10	(15)	↑	東邦大学	私	6.7	9	(5)	↓	静岡県立大学	公	6.0	10	(12)	↑	神戸学院大学	私	7.2

千葉県・茨城県・新潟県の薬局数・訪問薬局数・薬剤師数

千葉県の薬局数・訪問薬局数・薬剤師数

◆薬局数

医療圏名	施設数	人口 10 万人あたり	
		施設数	全国平均
千 葉	445	45.64	48.30
東 葛 南 部	637	35.46	48.30
東 葛 北 部	524	37.22	48.30
印 旛	302	42.04	48.30
香 取 海 匝	133	50.70	48.30
山 武 長 生 夷 隅	207	50.46	48.30
安 房	69	57.46	48.30
君 津	157	48.35	48.30
市 原	114	42.30	48.30
千 葉 県 全 体	2,588	41.18	48.30

◆訪問薬局数

医療圏名	施設数	人口 10 万人あたり	
		施設数	全国平均
千 葉	152	15.59	18.20
東 葛 南 部	281	15.64	18.20
東 葛 北 部	225	15.98	18.20
印 旛	97	13.50	18.20
香 取 海 匝	30	11.44	18.20
山 武 長 生 夷 隅	37	9.02	18.20
安 房	12	9.99	18.20
君 津	43	13.24	18.20
市 原	37	13.73	18.20
千 葉 県 全 体	914	14.54	18.20

◆薬剤師数

医療圏名	職員数	人口 10 万人あたり	
		職員数	全国平均
千 葉	1,124	115.29	111.54
東 葛 南 部	1,841	102.47	111.54
東 葛 北 部	1,423	101.09	111.54
印 旛	680	94.66	111.54
香 取 海 匝	279	106.35	111.54
山 武 長 生 夷 隅	434	105.79	111.54
安 房	127	105.75	111.54
君 津	299	92.08	111.54
市 原	224	83.11	111.54
千 葉 県 全 体	6,431	102.33	111.54

*千葉医療圏：千葉市（中央区、花見川区、稲毛区、若葉区、緑区、美浜区）

東葛南部医療圏：市川市、船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市

東葛北部医療圏：松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市

印旛医療圏：成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、
酒々井町、栄町

香取海匝医療圏：銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町、東庄町

山武長生夷隅医療圏：茂原市、東金市、勝浦市、山武市、いすみ市、大網白里市、
九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、
白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町

安房医療圏：館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町

君津医療圏：木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

市原医療圏：市原市

*地方厚生局へ届出のあった薬局および常勤薬剤師数の令和4（2022）年11月現在の
集計値

出典：JMAP 地域医療情報システム（日本医師会）(<https://jmap.jp/cities/detail/pref/12>)

茨城県の薬局数・訪問薬局数・薬剤師数

◆薬局数

医療圏名	施設数	人口 10 万人あたり	
		施設数	全国平均
水戸	240	52.41	48.30
日立	122	50.00	48.30
常陸太田・ひたちなか	160	45.51	48.30
鹿行	104	38.78	48.30
土浦	110	43.10	48.30
つくば	181	51.37	48.30
取手・竜ヶ崎	190	41.32	48.30
筑西・下妻	112	44.08	48.30
古賀・坂東	110	49.13	48.30
茨城県全体	1,329	46.35	48.30

◆訪問薬局数

医療圏名	施設数	人口 10 万人あたり	
		施設数	全国平均
水戸	83	18.12	18.20
日立	43	17.62	18.20
常陸太田・ひたちなか	63	17.92	18.20
鹿行	29	10.82	18.20
土浦	35	13.71	18.20
つくば	74	21.00	18.20
取手・竜ヶ崎	76	16.53	18.20
筑西・下妻	39	15.35	18.20
古賀・坂東	47	20.99	18.20
茨城県全体	489	17.06	18.20

◆薬剤師数

医療圏名	職員数	人口 10 万人あたり	
		職員数	全国平均
水戸	513	112.02	111.54
日立	249	102.05	111.54
常陸太田・ひたちなか	340	96.71	111.54
鹿行	194	72.35	111.54
土浦	251	98.35	111.54
つくば	396	112.38	111.54
取手・竜ヶ崎	426	92.65	111.54
筑西・下妻	224	88.17	111.54
古河・坂東	231	103.17	111.54
茨城県全体	2,824	98.50	111.54

*水戸医療圏：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町

日立医療圏：日立市、高萩市、北茨城市

常陸太田・ひたちなか医療圏：常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町

鹿行医療圏：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

土浦医療圏：土浦市、石岡市、かすみがうら市

つくば医療圏：常総市、つくば市、つくばみらい市

取手・竜ヶ崎医療圏：龍ヶ崎市、取手市、牛久市、守谷市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町、利根町

筑西・下妻医療圏：結城市、下妻市、筑西市、桜川市、八千代町

古河・坂東医療圏：古河市、坂東市、五霞町、境町

*地方厚生局へ届出のあった薬局および常勤薬剤師数の令和4（2022）年11月現在の集計値

出典：JMAP 地域医療情報システム（日本医師会）(<https://jmap.jp/cities/detail/pref/8>)

新潟県の薬局数・訪問薬局数・薬剤師数

◆薬局数

医療圏名	施設数	人口 10 万人あたり	
		施設数	全国平均
下越	102	50.84	48.30
新潟	508	57.24	48.30
県央	128	59.20	48.30
中越	180	41.83	48.30
魚沼	69	44.26	48.30
上越	142	54.79	48.30
佐渡	25	48.55	48.30
新潟県全体	1,154	52.42	48.30

◆訪問薬局数

医療圏名	施設数	人口 10 万人あたり	
		施設数	全国平均
下越	44	21.93	18.20
新潟	199	22.42	18.20
県央	41	18.96	18.20
中越	59	13.71	18.20
魚沼	30	19.24	18.20
上越	53	20.45	18.20
佐渡	7	13.59	18.20
新潟県全体	433	19.67	18.20

◆薬剤師数

医療圏名	職員数	人口 10 万人あたり	
		職員数	全国平均
下越	204	101.69	111.54
新潟	1,043	117.51	111.54
県央	237	109.61	111.54
中越	370	85.99	111.54
魚沼	129	82.74	111.54
上越	256	98.77	111.54
佐渡	43	83.51	111.54
新潟県全体	2,282	103.67	111.54

*下越医療圏：新発田市、村上市、胎内市、聖籠町、関川村、栗島浦村
新潟医療圏：新潟市（北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区、西蒲区）、五泉市、阿賀野市、阿賀町
県央医療圏：三条市、加茂市、燕市、弥彦村、田上町
中越医療圏：長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村
魚沼医療圏：十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町
上越医療圏：糸魚川市、妙高市、上越市
佐渡医療圏：佐渡市

*地方厚生局へ届出のあった薬局および常勤薬剤師数の令和4（2022）年11月現在の集計値

出典：JMAP 地域医療情報システム（日本医師会）(<https://jmap.jp/cities/detail/pref/15>)

東邦大学薬学部及び競合校の学生納付金

大学名	入学金	授業料等
本 学 薬 学 部	400,000 円	1,830,000 円
日 本 大 学 薬 学 部	400,000 円	2,050,000 円
帝 京 大 学 薬 学 部	368,000 円	2,142,000 円
北 里 大 学 薬 学 部	400,000 円	1,950,000 円
昭 和 大 学 薬 学 部	600,000 円	2,000,000 円

出典：各大学のホームページ

日本大学薬学部 (<https://www.pha.nihon-u.ac.jp/entrance/g-nyushi/gakuhi/>)

帝京大学薬学部

(https://www.teikyo-u.ac.jp/studentlife/life_support/financial_support)

北里大学薬学部

(https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/goukaku/undergraduate_ad/fees/fees.html)

昭和大学薬学部 (<https://adm.showa-u.ac.jp/admission/expenses/>)

東邦大学 御中

東邦大学 薬学部 収容定員増（計画中） に関する進学需要調査

【高校生の入学意向】

調査結果報告書

2023年3月

株式会社リクルート

株式会社アンド・ディ



目次

▶ 調査概要	3
▶ 調査結果	5
・ サマリー	6
・ 回答者プロフィール	7
・ <進路検討状況>高校卒業後の希望進路	8
・ <進路検討状況>興味のある学問分野	9
・ 東邦大学薬学部 関連分野の興味度	10
・ 東邦大学薬学部の学びの特徴	11
・ 東邦大学薬学部への受験意向	13
・ 東邦大学薬学部への入学意向	14
・ 受験意向あり数・入学意向者数	15
▶ 調査票・呈示資料	16
▶ 参考資料	22

調査概要

▶調査目的

- 東邦大学が計画している薬学部の新増設について、周辺エリアに所在する高校の2年生に受験意向・入学意向をアンケート調査し、受容性を確認する。

▶調査対象と調査方法

- 東邦大学薬学部への受験実績、進学実績がある高校の2年生
 - 調査対象校に事前に調査協力を依頼し、承諾を得た対象校へ調査票を送付。ホームルームなど教室で配布・回収。

▶調査期間

- 2023年1月5日（木）～2023年2月9日（木）

▶有効回答数

- 123校／15,780件（有効回答率70.4%） 139校／22,402件配布に対し

▶調査機関

- 株式会社アンド・ディ

▶調査協力校

- 回答高校数 123校
- 内訳：
 - 公立（県立・市立・都立）高校 53校／6,972件(44.2%)
 - 私立高校 70校／8,808件(55.8%)

●有効回答数

合計	15,780				
茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	119	千葉県立印旛明誠高等学校	176	東京都立紅葉川高等学校	74
茨城県立並木高等学校	136	千葉県立佐倉高等学校	71	東京都立両国高等学校	67
茨城高等学校	17	千葉県立成田国際高等学校	87	東京都立城東高等学校	272
東洋大学附属牛久高等学校	119	千葉県立佐原白楊高等学校	62	白百合学園高等学校	162
清真学園高等学校	135	千葉県立銚子高等学校	31	武蔵野大学附属千代田高等学院	160
江戸川学園取手高等学校	159	千葉県立匝瑳高等学校	82	東洋高等学校	373
茗溪学園高等学校	221	千葉県立成東高等学校	75	二松學舎大学附属高等学校	38
常総学院高等学校	221	千葉県立長生高等学校	140	三輪田学園高等学校	75
土浦日本大学中等教育学校	110	千葉県立安房高等学校	221	東洋英和女学院高等部	166
佐野日本大学高等学校	47	千葉県立君津高等学校	230	明治学院高等学校	54
群馬県立前橋女子高等学校	153	千葉市立千葉高等学校	79	山脇学園高等学校	90
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	73	銚子市立銚子高等学校	109	成城高等学校	149
東京農業大学第二高等学校	193	千葉県立津田沼高等学校	106	目白研心高等学校	74
埼玉県立越ヶ谷高等学校	75	千葉県立松戸六実高等学校	66	國學院高等学校	67
埼玉県立大宮高等学校	291	千葉県立成田北高等学校	37	東京女学館高等学校	62
埼玉県立草加高等学校	282	千葉県立柏中央高等学校	109	跡見学園高等学校	34
埼玉県立越谷北高等学校	71	千葉県立千葉西高等学校	297	京華高等学校	73
埼玉県立越谷南高等学校	34	千葉県立幕張総合高等学校	73	駒込高等学校	188
埼玉県立熊谷西高等学校	243	成田高等学校	129	文京学院大学女子高等学校	46
大宮開成高等学校	88	昭和学院高等学校	50	岩倉高等学校	45
本庄東高等学校	223	千葉敬愛高等学校	106	桜丘高等学校	33
星野高等学校	109	市川高等学校	134	順天高等学校	63
栄東高等学校	187	千葉黎明高等学校	34	安田学園高等学校	454
獨協埼玉高等学校	23	和洋国府台女子高等学校	57	共栄学園高等学校	98
春日部共栄高等学校	487	千葉英和高等学校	130	江戸川女子高等学校	114
城北埼玉高等学校	70	日出学園高等学校	55	田園調布学園高等部	174
千葉県立千葉女子高等学校	100	千葉明德高等学校	77	東亜学園高等学校	50
千葉県立千葉東高等学校	10	国府台女子学院高等部	142	文化学園大学杉並高等学校	96
千葉県立千葉南高等学校	94	東邦大学付属東邦高等学校	209	淑徳巣鴨高等学校	109
千葉県立八千代高等学校	106	敬愛学園高等学校	112	淑徳高等学校	102
千葉県立船橋高等学校	36	専修大学松戸高等学校	150	富士見高等学校	97
千葉県立菜園台高等学校	257	日本大学習志野高等学校	167	成蹊高等学校	62
千葉県立船橋東高等学校	306	拓殖大学紅陵高等学校	277	横浜雙葉高等学校	59
千葉県立船橋啓明高等学校	95	八千代松陰高等学校	34	横浜共立学園高等学校	89
千葉県立鎌ヶ谷高等学校	301	東京学館浦安高等学校	99	桐蔭学園高等学校	361
千葉県立国分高等学校	117	光英VERITAS高等学校	52	山手学院高等学校	140
千葉県立小金高等学校	37	東京都立大崎高等学校	72	平塚学園高等学校	308
千葉県立松戸国際高等学校	80	東京都立清瀬高等学校	223	鎌倉女学院高等学校	47
千葉県立立柏高等学校	148	東京都立田園調布高等学校	212	清泉女学院高等学校	73
千葉県立柏南高等学校	63	東京都立戸山高等学校	294	新潟県立佐渡高等学校	141
千葉県立我孫子高等学校	69	東京都立白鷗高等学校	210	東京都立深川高等学校	60

<調査結果>

サマリー

・興味のある学問分野 薬学に「興味がある・計」45.9%

- ・大学進学希望者における、進学先として興味のある分野を尋ねたところ、薬学に「とても興味がある」「興味がある」と回答した高校生は、45.9%。理学・工学の54.6%に次ぐ興味の高さであった。

・東邦大学薬学部への学びの特徴に対する高校生からの魅力

「いずれかの項目に『魅力的である』と回答した人の割合」83.3%

- ・5つの特徴のいずれかに魅力を感じている回答が、83.3%。
- ・最も多かったのは、「高い国家試験合格率および就職率の達成に向けた個々の学生に合わせた懇切丁寧なサポートの実践」(53.6%)。

・東邦大学薬学部への受験意向 「受験意向あり・計」18.3%

- ・東邦大学薬学部への受験意向を尋ねたところ、大学進学希望者では「ぜひ受験したい」は3.0%。「受験したい」(15.3%)と合わせると、18.3%が受験意向あり(受験意向あり・計)。
- ・性別では、男性16.8%、女性19.7%が受験意向あり。
- ・高校所在地別では、「東京都」(19.7%)で受験意向ありが高い。次いで「千葉県」(18.9%)、「茨城県」(17.2%)、「埼玉県」(16.3%)。

・東邦大学薬学部への入学意向 「入学意向あり・計」34.9%

- ・東邦大学薬学部への入学意向を尋ねたところ、大学進学希望者かつ受験意向者では、「ぜひ入学したい」が15.0%。「入学したい」と合わせると、34.9%が入学意向あり。
- ・性別では、「男性」の35.6%、「女性」の33.8%が入学意向あり。
- ・高校所在地別では「茨城県」(39.2%)、「千葉県」(39.1%)で入学意向が高い。

・東邦大学薬学部への入学定員充足見込み

「受験×入学意向あり・計」839人

回答者全体15,780人のうち

①大学への進学希望者は	15,102人	全体の95.7%
② ①のうち、学科の関連分野に興味のある者は	6,926人	全体の43.9%
③ ②のうち、受験意向者は	2,371人	全体の15.0%
④ ③のうち、入学意向者は	839人	全体の5.3%

クロス集計の結果、東邦大学薬学部への入学意向者数は、予定入学定員の245人を上回る。

回答者プロフィール

- ・ 回答者の性別は「男性」が46.4%、「女性」が50.1%
- ・ 居住エリアは「千葉県」が39.9%で最も多い。次いで「東京都」(26.9%)、「埼玉県」(14.3%)
- ・ 所属クラスは「理系」(66.6%)、「文系」(26.0%)

【F1】性別(ひとつに○)

(単位:%)			男性	女性	その他	回答しない	無回答
全体 (n=15,780)			46.4	50.1	0.7	2.7	0.2
所属クラス別	文系 (n=4,099)		38.0	59.1	0.4	2.4	-
	理系 (n=10,512)		50.0	46.6	0.7	2.6	0.2
	その他 (n= 810)		42.1	49.8	2.7	5.1	0.4
	無回答 (n= 359)		45.1	49.6	0.6	3.1	1.7
高校所在地別	一都三県 (n=13,936)		46.0	50.4	0.7	2.7	0.2
	千葉県 (n=5,884)		49.5	47.6	0.6	2.2	0.2
	東京都 (n=4,792)		40.2	55.8	0.6	3.2	0.3
	埼玉県 (n=2,183)		49.9	46.4	0.9	2.7	0.1
	神奈川県 (n=1,077)		45.2	49.7	1.6	3.4	0.1
	北関東・新潟県 (n=1,844)		48.9	47.9	0.8	2.4	0.1
	茨城県 (n=1,237)		53.4	42.8	1.0	2.7	-
	栃木県 (n= 47)		63.8	36.2	-	-	-
	群馬県 (n= 419)		33.2	64.4	0.5	1.9	-
	新潟県 (n= 141)		50.4	46.8	-	2.1	0.7

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

【F2】現在お住まいの都道府県・エリア(ひとつに○)

(単位:%)			東京都	千葉県	茨城県	埼玉県	神奈川県	群馬県	新潟県	栃木県	その他	無回答
全体 (n=15,780)			26.9	39.9	7.0	14.3	7.3	3.1	1.0	0.2	0.3	0.1
性別	男性 (n=7,315)		25.4	42.2	7.8	15.0	6.0	2.2	1.0	0.2	0.1	0.1
	女性 (n=7,904)		28.2	38.4	6.3	13.8	8.4	3.8	0.9	0.2	0.1	-
	その他 (n= 114)		21.1	30.7	7.0	13.2	7.9	2.6	2.6	0.9	14.0	-
	回答しない (n= 420)		31.0	29.0	7.9	14.5	8.6	3.1	1.4	0.5	3.3	0.7
	無回答 (n= 27)		25.9	37.0	-	3.7	3.7	-	3.7	-	-	25.9
所属クラス別	文系 (n=4,099)		30.5	36.4	5.5	14.6	10.7	0.1	1.8	0.0	0.2	-
	理系 (n=10,512)		26.4	38.7	7.9	15.0	6.4	4.5	0.7	0.2	0.1	0.1
	その他 (n= 810)		20.1	71.7	2.3	0.9	1.7	0.1	0.4	0.4	2.2	0.1
	無回答 (n= 359)		14.8	42.9	9.2	21.7	7.5	1.1	1.1	-	-	1.7

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

【F3】所属クラス(ひとつに○)

(単位:%)			文系	理系	その他	無回答
全体 (n=15,780)			26.0	66.6	5.1	2.3
性別	男性 (n=7,315)		21.3	71.8	4.7	2.2
	女性 (n=7,904)		30.7	62.0	5.1	2.3
	その他 (n= 114)		15.8	63.2	19.3	1.8
	回答しない (n= 420)		23.6	64.0	9.8	2.6
	無回答 (n= 27)		3.7	63.0	11.1	22.2
高校所在地別	一都三県 (n=13,936)		27.2	64.9	5.6	2.3
	千葉県 (n=5,884)		22.8	64.7	10.0	2.5
	東京都 (n=4,792)		29.7	65.2	3.6	1.5
	埼玉県 (n=2,183)		28.0	68.3	0.5	3.3
	神奈川県 (n=1,077)		38.9	57.6	1.2	2.3
	北関東・新潟県 (n=1,844)		16.5	79.8	1.4	2.2
	茨城県 (n=1,237)		19.1	76.2	2.1	2.7
	栃木県 (n= 47)		-	97.9	-	2.1
	群馬県 (n= 419)		0.2	98.8	-	1.0
	新潟県 (n= 141)		48.2	49.6	-	2.1

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

<進路検討状況>高校卒業後の希望進路

- ・ 高校卒業後に希望する進路を尋ねたところ、「大学(4年制・6年制)」進学希望者が95.7%。
- ・ 第一進路希望では「大学(4年制・6年制)」が88.2%。

【問1】あなたは、高校卒業後どのような進路を希望していますか。(いくつでも○)

		(単位:%)	大学(4年制・6年制)	短期大学	専門学校・専修学校	就職	その他	無回答	進学希望者・計	進学非希望者・計
全体		(n=15,780)	95.7	3.0	8.7	2.7	0.9	0.4	98.4	1.2
性別	男性	(n=7,315)	96.7	1.8	6.6	3.2	0.9	0.3	98.4	1.2
	女性	(n=7,904)	95.4	3.7	10.3	1.7	0.5	0.5	98.8	0.7
	その他	(n= 114)	80.7	14.9	11.4	15.8	11.4	0.9	86.8	12.3
	回答しない	(n= 420)	89.8	7.4	13.3	7.9	4.5	0.2	94.0	5.7
	無回答	(n= 27)	74.1	3.7	14.8	11.1	11.1	18.5	74.1	7.4
所属クラス別	文系	(n=4,099)	94.3	3.8	9.7	2.6	0.8	0.7	98.2	1.1
	理系	(n=10,512)	97.5	2.2	7.5	1.8	0.7	0.3	99.1	0.6
	その他	(n= 810)	81.2	8.1	17.9	13.6	3.5	0.6	91.2	8.1
	無回答	(n= 359)	92.8	5.0	12.0	6.4	1.1	1.9	96.4	1.7
高校所在地別	一都三県	(n=13,936)	95.6	3.1	9.0	2.7	0.9	0.4	98.3	1.2
	千葉県	(n=5,884)	93.1	4.1	12.2	3.9	0.8	0.4	97.6	2.0
	東京都	(n=4,792)	97.6	2.1	6.3	1.6	1.2	0.4	99.0	0.6
	埼玉県	(n=2,183)	97.2	2.8	7.2	2.2	0.4	0.5	98.7	0.8
	神奈川県	(n=1,077)	96.7	3.1	7.3	2.9	1.0	0.6	98.5	0.9
	北関東・新潟県	(n=1,844)	96.7	2.1	6.0	2.5	0.6	0.5	98.7	0.8
	茨城県	(n=1,237)	98.0	1.9	4.6	2.7	0.6	0.4	98.9	0.6
	栃木県	(n= 47)	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
	群馬県	(n= 419)	98.6	1.2	3.8	1.0	0.7	0.7	98.8	0.5
	新潟県	(n= 141)	79.4	7.1	27.0	6.4	-	1.4	95.7	2.8

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

【問2】問1で選んだ番号のうち、最も希望する進路の番号を右欄にひとつだけお書きください。

		(単位:%)	大学(4年制・6年制)	短期大学	専門学校・専修学校	就職	その他	無回答
全体		(n=15,780)	88.2	0.6	2.8	1.0	0.4	7.0
性別	男性	(n=7,315)	89.2	0.3	1.8	1.1	0.4	7.2
	女性	(n=7,904)	88.2	0.7	3.7	0.6	0.3	6.5
	その他	(n= 114)	64.9	2.6	1.8	10.5	7.0	13.2
	回答しない	(n= 420)	79.8	1.4	3.3	3.3	1.2	11.0
	無回答	(n= 27)	70.4	-	-	-	7.4	22.2
所属クラス別	文系	(n=4,099)	87.6	1.0	3.5	0.9	0.5	6.5
	理系	(n=10,512)	89.8	0.4	2.0	0.5	0.3	7.0
	その他	(n= 810)	73.2	1.2	8.9	6.8	1.7	8.1
	無回答	(n= 359)	83.0	0.6	3.3	2.2	0.6	10.3
高校所在地別	一都三県	(n=13,936)	88.0	0.6	2.9	1.0	0.4	7.1
	千葉県	(n=5,884)	85.7	0.8	4.5	1.8	0.3	7.0
	東京都	(n=4,792)	89.6	0.4	1.6	0.3	0.6	7.6
	埼玉県	(n=2,183)	91.5	0.5	1.8	0.5	0.4	5.3
	神奈川県	(n=1,077)	86.8	0.8	1.9	1.4	0.3	8.7
	北関東・新潟県	(n=1,844)	89.9	0.3	1.9	0.7	0.5	6.7
	茨城県	(n=1,237)	90.9	0.1	1.1	0.5	0.6	6.9
	栃木県	(n= 47)	89.4	-	-	-	-	10.6
	群馬県	(n= 419)	92.1	0.7	0.7	0.7	0.2	5.5
	新潟県	(n= 141)	74.5	1.4	13.5	2.8	-	7.8

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

東邦大学薬学部定員増進学需要調査<高校>

<進路検討状況>興味のある学問分野

- 大学進学希望者に興味のある学問分野を尋ねたところ、進学先として興味のある分野の上位5つは以下の通り。
 - ①理学・工学(54.6%)、②薬学(45.9%)、③社会科学(45.1%)、④人文科学(41.8%)、⑤「医学・歯学」「教育学・保育」(36.3%)

【問3】進学先で学ぶ分野として、あなたは以下のそれぞれの分野にどの程度興味を持っていますか。(それぞれ、ひとつに○)

	(単位:%)	とても興味がある	興味がある	興味はない	無回答	興味がある・計
大学進学希望者						
a 薬学	(n=15,102)	12.1	33.8	52.5	1.6	45.9
b 医学・歯学	(n=15,102)	11.1	25.2	62.1	1.6	36.3
c 保健衛生学	(n=15,102)	12.3	22.6	63.0	2.1	34.8
d 理学・工学	(n=15,102)	31.5	23.1	44.1	1.3	54.6
e 農学	(n=15,102)	9.1	22.6	66.0	2.3	31.7
f 社会科学	(n=15,102)	18.1	27.0	53.3	1.6	45.1
g 人文科学	(n=15,102)	14.0	27.8	56.6	1.6	41.8
h 教育学・保育	(n=15,102)	10.3	26.0	60.0	3.7	36.3
i 家政学	(n=15,102)	5.4	17.0	73.8	3.8	22.4
j 芸術学	(n=15,102)	9.7	23.0	63.6	3.8	32.6

東邦大学薬学部 関連分野の興味度

- 東邦大学薬学部の関連分野である「薬学」への興味について、内訳は以下の通り。
 - 性別では、「男性」の41.7%、「女性」の50.0%が薬学に興味がある。
 - 所属クラス別では、「理系」の56.6%が薬学に興味がある。

【問3】[α 薬学]進学先で学ぶ分野として、あなたは以下のそれぞれの分野にどの程度興味を持っていますか。(それぞれ、ひとつに○)

【薬学】			(単位: %)	とても興味 がある	興味 がある	興味は ない	無回答	興味 がある・計
			大学進学希望者					
全体			(n=15,102)	12.1	33.8	52.5	1.6	45.9
性別	男性	(n=7,076)		10.0	31.7	56.4	1.9	41.7
	女性	(n=7,537)		14.0	36.0	48.6	1.4	50.0
	その他	(n= 92)		23.9	26.1	46.7	3.3	50.0
	回答しない	(n= 377)		10.6	28.4	59.4	1.6	39.0
	無回答	(n= 20)		15.0	40.0	45.0	-	55.0
所属クラス別	文系	(n=3,866)		2.5	16.5	79.4	1.6	19.0
	理系	(n=10,245)		16.0	40.6	41.8	1.7	56.6
	その他	(n= 658)		10.0	27.1	61.4	1.5	37.1
	無回答	(n= 333)		9.0	36.9	52.6	1.5	45.9

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

- 【問4a】 以下は、東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」の取り組みや特徴の例です。あなたが魅力的であると思うもの、最も魅力的であると思うものをそれぞれお選びください。a) 魅力的である(いくつでも○)

※「全体」と比較して **5pt** 以上高い
10pt 以上低い

- 【最も魅力を感じる特徴】としては、「高い国家試験合格率および就職率の達成に向けた個々の学生に合わせた懇切丁寧なサポートの実践」(24.1%)がトップ。
- 次に、最も魅力を感じるという回答が多かったのは下記の通り。
 - 「本学医療センター3病院との連携による高度な実務実習および臨床を強く意識した医療薬学教育の実践」(16.9%)
 - 「本学の他の4学部(医学部、理学部、看護学部、健康科学部)との積極的な連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の実践」(12.6%)

【問4b】以下は、東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」の取り組みや特徴の例です。あなたが魅力的であると思うもの、最も魅力的であると思うものをそれぞれお選びください。b) 最も魅力的である(ひとつに○)

		(単位:%)	実 創 践 し た 充 実 度 年 の を 高 迎 い え る 薬 学 歴 史 と ・ 伝 研 究 に の 根	識 る 本 し 高 学 た 度 医 療 実 セ 薬 務 セ ン タ 学 実 タ 教 習 育 お 3 の よ 病 実 び 院 臨 臨 と 床 の を 連 強 携 く に 意 よ	全 連 看 本 学 携 護 学 共 に 学 通 よ 部 他 教 る 、 の 育 合 健 4 に 同 康 学 よ 教 科 部 る 育 学 へ 学 プ 部 医 部 ロ ー 学 間 グ と 部 交 う の 、 流 ム 積 理 の お 極 学 実 よ 的 部 践 び な 、	る む 業 卒 こ 剤 後 と 師 フ を と オ 目 し ロ 的 て ー と 生 ア し 涯 ッ た に プ 卒 わ の 後 た 実 研 る 践 修 向 制 上 度 心 に を よ 育	丁 成 高 寧 に い な 向 国 サ け 家 ポ た 試 ー 個 験 ト タ 合 の の 格 実 学 率 践 生 お に よ び 合 わ 就 せ 職 た 率 の 懇 切 達	無 回 答
大学進学希望者								
全体		(n=15,102)	6.8	16.9	12.6	8.7	24.1	30.9
性別	男性	(n=7,076)	8.5	13.7	12.3	8.7	22.3	34.6
	女性	(n=7,537)	5.0	20.2	12.9	8.9	26.2	26.8
	その他	(n= 92)	17.4	12.0	14.1	7.6	13.0	35.9
	回答しない	(n= 377)	9.8	12.5	11.9	6.6	18.8	40.3
	無回答	(n= 20)	15.0	20.0	5.0	5.0	10.0	45.0
所属クラス別	文系	(n=3,866)	7.4	15.0	9.4	9.7	26.5	32.0
	理系	(n=10,245)	6.7	17.7	13.9	8.4	23.1	30.2
	その他	(n= 658)	7.0	17.3	12.0	7.4	24.9	31.3
	無回答	(n= 333)	4.5	12.0	11.1	9.3	24.3	38.7
希望進路 ×分野別	大学進学希望者・薬学興味あり	(n=6,926)	6.2	19.5	14.0	8.8	23.6	27.8
	大学進学希望者・薬学興味なし	(n=7,928)	7.4	14.8	11.4	8.7	24.7	32.9
高校所在地 別	一都三県	(n=13,318)	6.8	16.8	12.5	8.7	24.2	31.0
	千葉県	(n=5,479)	7.2	16.9	12.5	9.0	24.9	29.5
	東京都	(n=4,676)	6.0	17.0	11.7	8.8	23.4	33.2
	埼玉県	(n=2,122)	8.1	16.8	13.4	8.2	24.6	28.9
	神奈川県	(n=1,041)	5.8	15.7	13.9	7.3	23.9	33.4
	北関東・新潟県	(n=1,784)	7.2	17.4	13.1	9.2	23.2	30.0
	茨城県	(n=1,212)	8.0	16.3	12.5	9.2	25.4	28.5
	栃木県	(n= 47)	8.5	12.8	17.0	8.5	17.0	36.2
	群馬県	(n= 413)	5.6	20.8	15.0	9.7	16.0	32.9
	新潟県	(n= 112)	3.6	17.9	10.7	8.0	27.7	32.1

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

東邦大学薬学部への受験意向

- 東邦大学薬学部の受験意向を尋ねたところ、大学進学希望者では「ぜひ受験したい」は3.0%、「受験したい」(15.3%)と合わせると、18.3%が受験意向あり(受験意向あり・計)。
- 性別では、男性16.8%、女性19.7%が受験意向あり。
- 高校所在地別では、「東京都」(19.7%)で受験意向ありが高い。次いで「千葉県」(18.9%)、「茨城県」(17.2%)、「埼玉県」(16.3%)。

【問5】東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」を、あなたはどの程度受験したいと思いますか。(ひとつに○)

		(単位: %)	ぜひ 受験したい	受験したい	受験したくない	無回答	受験意向あり・ 計
大学進学希望者							
全体		(n=15,102)	3.0	15.3	78.4	3.3	18.3
性別	男性	(n=7,076)	2.4	14.4	79.2	3.9	16.8
	女性	(n=7,537)	3.3	16.4	77.7	2.6	19.7
	その他	(n= 92)	15.2	13.0	70.7	1.1	28.3
	回答しない	(n= 377)	4.8	12.5	78.8	4.0	17.2
	無回答	(n= 20)	5.0	15.0	75.0	5.0	20.0
所属クラス別	文系	(n=3,866)	1.5	8.4	89.6	3.8	6.6
	理系	(n=10,245)	3.7	19.5	73.8	3.0	23.2
	その他	(n= 658)	2.9	9.6	83.4	4.1	12.5
	無回答	(n= 333)	3.6	12.6	79.9	3.9	16.2
希望進路×分野別	大学進学希望者・薬学興味あり	(n=6,926)	5.7	28.5	63.0	2.8	34.2
	大学進学希望者・薬学興味なし	(n=7,928)	4.0	11.8	91.8	3.5	4.7
高校所在地別	一都三県	(n=13,318)	3.1	15.4	78.1	3.4	18.5
	千葉県	(n=5,479)	3.7	15.2	77.3	3.8	18.9
	東京都	(n=4,676)	3.4	16.3	77.1	3.2	19.7
	埼玉県	(n=2,122)	1.7	14.6	81.1	2.6	16.3
	神奈川県	(n=1,041)	1.4	14.2	80.8	3.6	15.7
	北関東・新潟県	(n=1,784)	2.6	14.6	80.4	2.4	17.3
	茨城県	(n=1,212)	3.1	14.2	80.7	2.1	17.2
	栃木県	(n= 47)	4.3	27.7	66.0	2.1	31.9
	群馬県	(n= 413)	1.5	14.8	81.8	1.9	16.2
	新潟県	(n= 112)	1.8	13.4	77.7	7.1	15.2

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

東邦大学薬学部への入学意向

- 東邦大学薬学部の入学意向を尋ねたところ、大学進学希望者かつ受験意向者では、「ぜひ入学したい」が15.0%。「入学したい」と合わせると、34.9%が入学意向あり。
- 性別では、「男性」の35.6%、「女性」の33.8%が入学意向あり。
- 高校所在地別では「茨城県」(39.2%)、「千葉県」(39.1%)で入学意向が高い。

【問6】東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。(ひとつに○)

(単位:%)			ぜひ入学したい	入学したい	併願校の可否によっては入学したい	入学先としては考えない	無回答	入学意向あり・計
大学進学希望者×受験意向者								
全体 (n=2,771)			15.0	19.9	57.3	7.9		34.9
性別	男性 (n=1,192)		15.2	20.4	56.2	8.2		35.6
	女性 (n=1,484)		13.7	20.0	59.2	7.0		33.8
	その他 (n= 26)		34.6	3.8	34.6	26.9		38.5
	回答しない (n= 65)		30.8	15.4	41.5	12.3		46.2
	無回答 (n= 20)		5.0	15.0	75.0	5.0		20.0
所属クラス別	文系 (n= 256)		21.9	21.9	42.2	14.1		43.8
	理系 (n=2,379)		14.2	19.5	59.0	7.4		33.7
	その他 (n= 82)		15.9	24.4	53.7	6.1		40.2
	無回答 (n= 54)		16.7	20.4	59.3	3.7		37.0
希望進路×分野別	大学進学希望者・薬学興味あり (n=2,371)		14.9	20.5	58.5	6.1		35.4
	大学進学希望者・薬学興味なし (n= 373)		15.0	16.1	50.7	18.2		31.1
高校所在地別	一都三県 (n=2,463)		15.0	19.8	57.5	7.7		34.8
	千葉県 (n=1,035)		18.3	20.9	54.5	6.4		39.1
	東京都 (n= 919)		14.7	18.8	57.5	9.0		33.5
	埼玉県 (n= 346)		9.8	21.1	62.1	6.9		30.9
	神奈川県 (n= 163)		7.4	16.0	66.9	9.8		23.3
	北関東・新潟県 (n= 308)		14.6	20.5	55.5	9.4		35.1
	茨城県 (n= 209)		16.7	22.5	52.2	8.6		39.2
	栃木県 (n= 15)		6.7	6.7	73.3	13.3		13.3
	群馬県 (n= 67)		10.4	16.4	61.2	11.9		26.9
	新潟県 (n= 17)		11.8	23.5	58.8	5.9		35.3

※「全体」と比較して

5pt 以上高い
10pt 以上低い

受験意向あり数・入学意向あり数

回答者全体15,780人のうち

①大学への進学希望者は	<u>15,102人</u>	全体の95.7%
② ①のうち、学科の関連分野に興味のある者は	<u>6,926人</u>	全体の43.9%
③ ②のうち、受験意向あり数は	<u>2,371人</u>	全体の15.0%
④ ③のうち、入学意向あり数は	<u>839人</u>	全体の 5.3%

東邦大学薬学部では、入学意向あり数が予定入学定員の245人を上回る。

東邦大学薬学部 入学意向あり数(内訳)

大学進学希望者	15,102人
関連分野希望者 (「薬学」興味あり)	6,926人
受験意向あり数 (受験意向あり・計=ぜひ受験したい+受験したい)	2,371人
入学意向あり数 (入学意向あり・計=ぜひ入学したい+入学したい)	839人
入学定員(予定)	245人

<調查票・呈示資料>

送付状

高等学校長 様

「東邦大学薬学部(収容定員増計画中)」構想に関するアンケートご協力をお願い

拝啓 初春の候、貴校におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃は本学の教育研究に対し、ご理解並びにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、このたび東邦大学では、2024年4月に薬学部の収容定員の増員を検討しております。
つきましては、この計画の内容を一層充実したものとするため、貴校2年生の生徒の皆様を対象としたアンケート調査へのご協力をお願いさせていただいた次第でございます。
校務ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、アンケートの実施につきまして何卒ご高配を賜りたくお願い申し上げます。
この調査で得られた情報は、薬学部の収容定員の増員計画に係る統計資料としてのみ活用し、ご回答いただいた個人を特定することは一切ございません。
本調査の主旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
末筆ながら、今後の貴校のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

2023年1月
東邦大学

記

■調査内容 高校卒業後の進路についてのお考え、薬学部への受験意向・入学意向

■調査対象 高校2年生の生徒

■実施方法 貴校ホームルーム等で実施していただければ幸いです。

アンケート実施後は、同封の返送用封筒・着払い伝票(返送先印字済み)にてご返送願います。

アンケート返送先 株式会社ジイズスタッフ内「東邦大学アンケート」係
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-26-8 神田小川町三丁目ビル 3階
電話:03-5217-3131

■アンケート実施期限

誠に勝手ながら、**2023年2月1日(水)**を目途にご返送いただきますようお願いいたします。

※本調査の実施は、所定の契約を結んだ上、株式会社リクルート、株式会社アンド・ディに業務委託しております。

■調査内容・記入方法に関するお問合せは、下記宛にお問い合わせください

【調査委託会社】 株式会社アンド・ディ 調査担当:羽生田(はにゅうだ)、信時(のぶとき)
〈社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 正会員 No.20143〉
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-5 ビュロー西新橋 2F
メール:post2@and-d.co.jp / 電話:0120-09-8401
受付時間:月～金(祝日を除く) 10:00～17:00

■本件に関するお問合せ

東邦大学習志野学事部学部長室 担当:小菅、徳永
〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1
メール:dean.narashino@jim.toho-u.ac.jp / 電話:047-472-1205(直通)
*お電話の受付時間:月～金(祝日を除く) 9:00～17:00

以上

調査票

東邦大学 薬学部(収容定員増計画中)に関するアンケート

対象: 2022 年度現在、高校 2 年生のみなさん

東邦大学では 2024 年 4 月より「薬学部」の収容定員を増やすことを計画しています。このアンケートを通して、これから大学進学時期を迎えるみなさんからご意見をお聞きして、構想をより充実させたいと考えております。

なお、このアンケートに回答いただいたみなさんから得られた情報は、東邦大学薬学部の収容定員増計画に係る統計資料としてのみ使用し、個人を特定するようなことはありません。また、回答内容が入学に影響を及ぼすこともありません。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は、東邦大学から委託された第三者機関(株式会社リクルート、株式会社アンド・ディ)が実施いたします。

あなたご自身についてお聞きます。

F1. 性別 (ひとつに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない

F2. 現在お住まいの都道府県・エリア (ひとつに○)

1. 東京都 2. 千葉県 3. 茨城県 4. 埼玉県 5. 神奈川県
6. 群馬県 7. 新潟県 8. 栃木県 9. その他()

F3. 所属クラス (ひとつに○)

1. 文系 2. 理系 3. その他

高校卒業後の進路についてあなたのご希望をお聞きます。

問1. あなたは、高校卒業後どのような進路を希望していますか。(いくつでも○)

1. 大学(4 年制・6 年制) 2. 短期大学 3. 専門学校・専修学校
4. 就職 5. その他 ()

問2. 問1で選んだ番号のうち、最も希望する進路の番号を右欄にひとつだけお書きください。

問3. 進学先で学ぶ分野として、あなたは以下のそれぞれの分野にどの程度興味を持っていますか。

(それぞれ、ひとつに○)

			とても 興味がある	興味がある	興味はない
a 薬学	薬学、製薬学、衛生薬学、医療薬学、生物薬学など	→	1	2	3
b 医学・歯学	基礎医学、臨床医学、社会医学、歯学など	→	1	2	3
c 保健衛生学	看護、放射線学、リハビリテーション学など	→	1	2	3
d 理学・工学	数学、物理学、生物学、情報学、機械工学、建築学など	→	1	2	3
e 農学	農学、農業経済学、林学、水産学、獣医畜産学など	→	1	2	3
f 社会科学	経済・経営・商学、法律・政治学、社会学、国際学など	→	1	2	3
g 人文科学	文学、史学、哲学、心理学、文化人類学、外国語など	→	1	2	3

			とても 興味がある	興味がある	興味はない
h 教育学・保育	幼稚園・小・中・高等学校等の教員養成、保育など	→	1	2	3
i 家政学	生活科学、食物学、住居学、被服学など	→	1	2	3
j 芸術学	音楽、デザイン、美術など	→	1	2	3

※ 問1で1. 大学(4年制・6年制)を選ばなかった方はここで終了です。ありがとうございました。

ここからは、東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」についてお聞きします。

別途お配りしたリーフレットをよくお読みいただき、お答えください。

問4. 以下は、東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」の取り組みや特徴の例です。

あなたが魅力的であると思うもの、最も魅力的であると思うものをそれぞれお選びください。

		魅力的 である (いくつでも○) ↓	最も 魅力的である (ひとつに○) ↓
1	創立100年を迎える歴史と伝統に根ざした充実度の高い薬学教育・研究の 実践	1	1
2	本学医療センター3病院との連携による高度な実務実習および臨床を強く 意識した医療薬学教育の実践	2	2
3	本学の他の4学部(医学部、理学部、看護学部、健康科学部)との積極的な 連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の 実践	3	3
4	薬剤師として生涯にわたる向上心を育むことを目的とした卒業研修制度に よる卒業フォローアップの実践	4	4
5	高い国家試験合格率および就職率の達成に向けた個々の学生に合わせた 懇切丁寧なサポートの実践	5	5

【参考】周辺エリアで同分野の大学との比較 ※各大学の学費・費用は、変更になることがあります

大学名	学部名	初年次		
		入学金	授業料等	初年次納付金・合計
東邦大学	薬学部	40.0万円	183.0万円	223.0万円
日本大学	薬学部	40.0万円	205.0万円	245.0万円
北里大学	薬学部	40.0万円	195.0万円	235.0万円
昭和大学	薬学部	60.0万円	140.0万円	200.0万円
帝京大学	薬学部	36.8万円	213.5万円	250.3万円

他大学の学費は、各大学ホームページの掲載情報です(2022年11月時点)

問5. 東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」を、あなたはどの程度受験したいと思いますか。(ひとつに○)

1. ぜひ受験したい 2. 受験したい 3. 受験したくない

問6. 東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。(ひとつに○)

1. ぜひ入学したい 2. 入学したい
3. 併願校の可否によっては入学したい 4. 入学先としては考えない

アンケートはこれで終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

呈示資料



薬学部 薬学科

2024年4月

入学定員増構想中

220名 → 245名

記載の内容は現在構想中の予定数であり、変更される可能性があります。



東邦大学は「自然・生命・人間」を建学の精神とする自然科学系総合大学です。大森キャンパスに医学部、看護学部、習志野キャンパスに薬学部、理学部、健康科学部を置いています。これら5学部では、「豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を持った人材の育成」を教育理念として、自然、生命、人間の3要素をバランスよく学修します。このような教育体制により、専攻分野に精通するだけでなく、幅広い視野を持ち、人間的にも豊かな深い自然・生命科学の専門的職業人、医療人を輩出しています。





東邦大学

いのち 生命の科学で未来をつなぐ



東邦大学の薬学部で 「養成する人材像」

心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的としています。

実習を支える施設

プレ実習実習に対応した薬学部C館

実際の薬局や病院の施設・設備を忠実に再現し、地域医療から先端医療現場に対応。

薬学部C館には、調剤薬局のカウンターを再現した模擬薬局や、注射調剤実習室、入院患者さんへの対応を学ぶ模擬病室などが設置されており、学生の技能のレベルアップを支えています。これらのハード面の充実だけでなく、患者役としてプレ実習実習に参加する模擬患者*さんの協力により、対人カウンター・ベッドサイドでの医療コミュニケーション実習なども経験でき、薬剤師の役割を総合的に学ぶことができます。



*模擬患者…学生が患者さんとのコミュニケーションを学ぶために、患者さんの役割を演じる方

主な施設・設備

モラル薬局/待合室・投薬説明カウンター/モラル病室/注射調剤実習室/新敷・針薬調剤実習室/西薬調剤実習室/患者シミュレータ

●高い合格率

5年制薬学部の学生にとって、薬剤師をめざす場合も研究職や医療職をめざす場合も、薬剤師国家資格の取得は、大きな目標の一つです。本学は毎年、高い合格率を維持しています。



薬剤師国家試験合格率（第104回～第107回）

	第104回	第105回	第106回	第107回
東邦大学	94.6%	93.0%	93.9%	92.2%
全国平均	85.5%	84.8%	85.6%	85.2%

※薬学関係者データ

■学部・学科入学定員

2024年4月 入学定員増増増中

薬学部 薬学科

入学定員 **220名 → 245名**

記載の内申は現在増増中の予定数であり、変更される可能性があります。

統合する大学・学部

日本大学薬学部/北里大学薬学部/昭和大学薬学部/市立大学薬学部

医学部

入学定員 **110名**

理学部

入学定員 **470名**

看護学部

入学定員 **102名**

健康科学部

入学定員 **60名**

■薬学部学費 [2023年度]

1 年次学納金（年額）		入学定員	入学定員
区分	入学金	400,000円	—
	授業料	560,000円	560,000円
	教育充実費	355,000円	355,000円
合計		1,315,000円	915,000円

2 年次以降学納金（年額） 2,050,000円

●その他

学納金	学納金	学納金	学納金
学生生活費（生活費）	6,840円	学納金（父母費）	40,000円※1
学生生活費（学費）	45,000円	学納金（学費）	10,000円※2
合計	101,840円		

※1：薬学部の学納金については2年次以降、20,000円ずつ増額します。

※2：薬学部の学納金については2年次から5年次まで10,000円ずつ増額します。

入学時の教育充実費 減免制度（本学独自）	対象学部	募集人数
内容	薬学部	約50名
一般入試、共通テスト利用入試、一般入試（共通テスト利用）合格者のうち、給付奨励の適用対象者は、教育充実費の全額または一部を免除。		

<3つの付属病院>

医学部・看護学部がある大森キャンパスに隣接し、特定機能病院でもある大森病院。東京・浜松に近く、地域の中心病院である大森病院。千葉県にあり、地域住民の医療・健康を支えプライマリ・ケアを実現する社会病院。それぞれが首都圏有数の施設・設備を誇り、地域医療の要として、そして実習実習の場として重要な役割を担っています。



東邦大学医療センター 大森病院
(東京都大田区)



東邦大学医療センター 大森病院
(東京都大田区)



東邦大学医療センター 千葉病院
(千葉県千葉市)



東邦大学 習志野キャンパス [薬学部] [理学部] [健康科学部]

〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1

■ JR 総武線「津田沼駅」北口4番・5番バス乗り場から「三山車庫」「京成バス習志野出張所」「二宮神社」「八千代台駅」「日大実習」行きのいずれかに乗車し（乗車時間約10分）、「東邦大学前」下車後すぐ。
※習志野キャンパスから JR 津田沼駅方面へお帰りの際は、バス停「大久保十字路」が便利です。

■ 京成本線「京成大久保駅」から、徒歩約10分。

JR「津田沼駅」……路線バス約10分……

▲ 京成電線「新津田沼」から徒歩約3分

京成本線「京成大久保駅」……徒歩約10分……

習志野
キャンパス

<參考資料>

【問6】東邦大学「薬学部（収容定員増計画中）」を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。（ひとつに○）

(単位：人)			受験意向 あり・計	ぜひ入学 したい	入学した い	入学意向 あり・計
大学進学希望者×「薬学」興味者						
全体 (n=6,926)			2,371人	354人	485人	839人
性別	男性	(n=2,952)	955人	140人	203人	343人
	女性	(n=3,770)	1,348人	192人	272人	464人
	その他	(n= 46)	18人	7人	1人	8人
	回答しない	(n= 147)	47人	14人	9人	23人
	無回答	(n= 11)	3人	1人	0人	1人
所属クラス別	文系	(n= 735)	148人	36人	33人	69人
	理系	(n=5,794)	2,119人	301人	426人	727人
	その他	(n= 244)	62人	10人	17人	27人
	無回答	(n= 153)	42人	7人	9人	16人
設置者別	公立	(n=2,916)	852人	129人	188人	317人
	私立	(n=4,010)	1,519人	225人	297人	522人
高校所在地別	一都三県	(n=6,015)	2,104人	314人	433人	747人
	千葉県	(n=2,504)	883人	168人	190人	358人
	東京都	(n=2,092)	788人	114人	156人	270人
	埼玉県	(n= 999)	294人	26人	64人	90人
	神奈川県	(n= 420)	139人	6人	23人	29人
	北関東・新潟県	(n= 911)	267人	40人	52人	92人
	茨城県	(n= 572)	184人	32人	38人	70人
	栃木県	(n= 32)	12人	0人	1人	1人
	群馬県	(n= 261)	57人	6人	10人	16人
	新潟県	(n= 46)	14人	2人	3人	5人

近隣大学の学部設置状況並びに定員充足状況

●東邦大学（船橋市；私立）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入 学 定 員	220	220	220	220	220	220
志 願 者 数	2,620	2,288	1,900	2,096	1,891	2,005
入 学 者 数	270	241	239	241	241	241
志 願 倍 率	11.91	10.40	8.64	9.53	8.60	9.11
入学定員充足率	122.7%	109.5%	108.6%	109.5%	109.5%	109.5%

●日本大学（船橋市；私立）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入 学 定 員	244	244	244	244	244	244
志 願 者 数	2,455	2,547	1,875	1,648	1,432	1,398
入 学 者 数	258	254	261	254	258	293
志 願 倍 率	10.06	10.44	7.68	6.75	5.87	5.73
入学定員充足率	105.7%	104.1%	107.0%	104.1%	105.7%	120.1%

●東京理科大学（野田市；私立）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入 学 定 員	100	100	100	100	100	100
志 願 者 数	2, 072	1, 509	2, 155	2, 050	1, 839	2, 085
入 学 者 数	117	87	82	104	93	98
志 願 倍 率	20. 72	15. 09	21. 55	20. 50	18. 39	20. 85
入学定員充足率	117. 0%	87. 0%	82. 0%	104. 0%	93. 0%	98. 0%

●千葉大学（千葉市；国立）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入 学 定 員	80	80	90	90	90	90
志 願 者 数	719	608	595	528	662	673
入 学 者 数	86	85	90	93	95	96
志 願 倍 率	8. 99	7. 60	6. 61	5. 87	7. 36	7. 48
入学定員充足率	107. 5%	106. 3%	100. 0%	103. 3%	105. 6%	106. 7%

出典：各大学のホームページ

【全国版】

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

【将来予測 2022～2034年】

■18歳人口予測 P3～P8

- ・2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）
- ・東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
- ・2022年比減少率が高いのは東北（80.9%）、減少数が多いのは近畿（22,958人減）

【経過推移 2013年～2022年】

■進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P15

大学進学率（現役）

- ・2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）
- ・上昇が大きいのは、1位 北海道（135.3）、2位 四国（120.4）、3位 東北（118.3）※注
- ・進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）

- ・2013年5.4%→2022年3.7%（1.7ポイント低下）
- ・低下が大きいのは、1位 南関東（62.5）、2位 東海（63.2）、3位 近畿（65.6）※注
- ・進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

専門学校進学率（現役）

- ・2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）
- ・上昇が大きいのは、1位 東海（104.2）、2位 北関東（102.2）、3位 九州沖縄（102.1）。※注
- ・進学率が高いのは、甲信越、北海道、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2022年）

- ・大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2013～2022年）

- ・2022年現役と過年度含の進学率の差は、大学は1.3ポイント（過年度含が高い）
- ・短期大学は差なし

注）※の（）内の数値は、2013年を100としたときの2022年の指数

■地元残留率の推移 P16～P24

- ・大学入学者の地元残留率は、2013年43.4%→2022年44.8%（1.4ポイント上昇）
- ・短期大学入学者の地元残留率は、2013年68.8%→2022年71.8%（3.0ポイント上昇）
- ・大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.6%）
- ・短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（93.1%）

■18歳人口減少率×地元残留率 P25・26

- ・大学入学者：都道府県別：2022→2034年
- ・短期大学入学者：都道府県別：2022→2034年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<https://souken.shingakunet.com/>

分析・データについて

■ 分析・データについて

データ元：文部科学省「学校基本調査」

- ① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口＝3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数＋「義務教育学校卒業生数（H29年度より）」
 - ・ 中学校卒業生数＝高校生＋フリーター＋就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専修学校専門課程（専門学校））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合。（浪人含）
- ⑥ 図表で利用している百分率（％）は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果で数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下の通り。

北海道：北海道
東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東：茨城、栃木、群馬
南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川
甲信越：新潟、山梨、長野
北陸：富山、石川、福井
東海：岐阜、静岡、愛知、三重
近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国：徳島、香川、愛媛、高知
九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

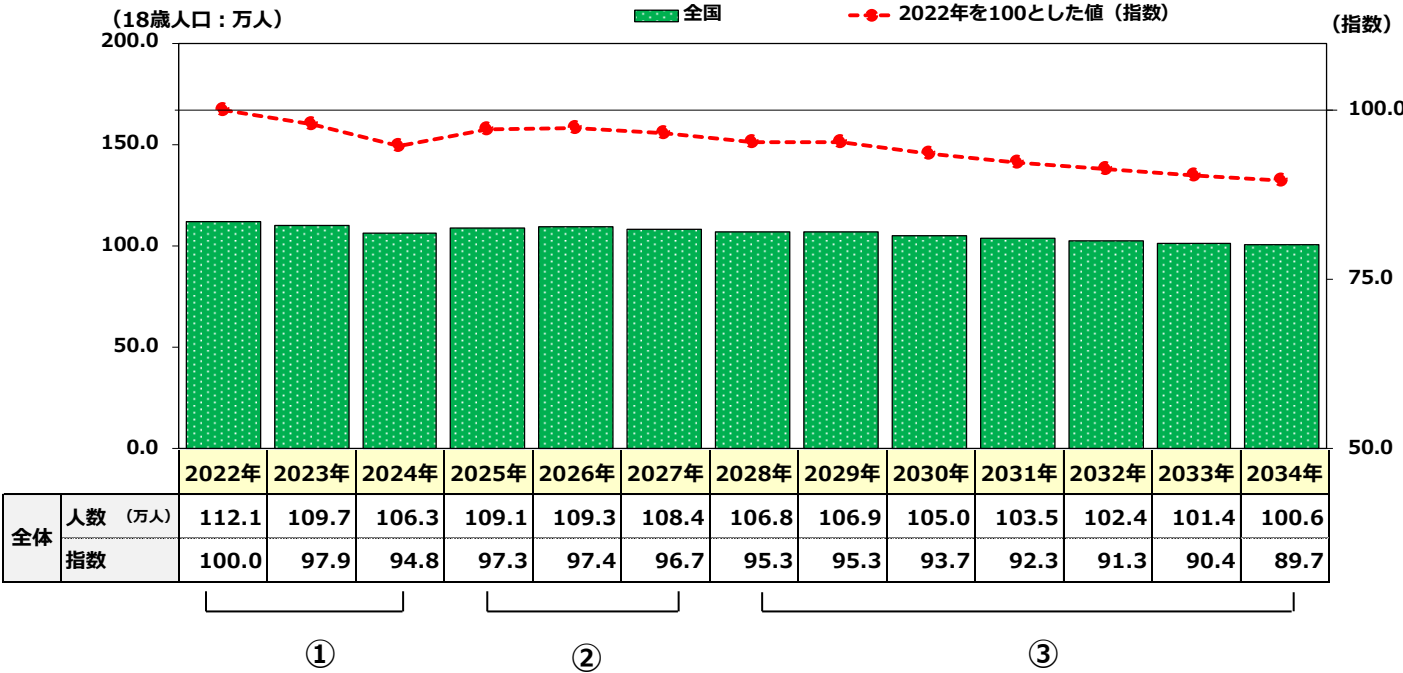
学校基本調査		18歳人口		3年前の中学・中等教育卒業生数
		図表（年）	人数	
確報	学校基本調査公表	2022	1,121,285	（平成31年）2019年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2023	1,097,416	（令和2年）2020年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2024	1,063,451	（令和3年）2021年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2025	1,090,562	（令和4年）2022年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2026	1,092,647	（令和4年）2022年 の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生+義務教育学校9年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2027	1,084,271	（令和4年）2022年 の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生+義務教育学校8年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2028	1,068,477	（令和4年）2022年 の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生+義務教育学校7年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2029	1,068,876	（令和4年）2022年 の小学校6年生+義務教育学校6年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2030	1,050,143	（令和4年）2022年 の小学校5年生+義務教育学校5年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2031	1,034,714	（令和4年）2022年 の小学校4年生+義務教育学校4年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2032	1,023,592	（令和4年）2022年 の小学校3年生+義務教育学校3年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2033	1,013,581	（令和4年）2022年 の小学校2年生+義務教育学校2年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2034	1,005,782	（令和4年）2022年 の小学校1年生+義務教育学校1年生の生徒数

18歳人口予測（全体：全国：2022～2034年）

■ 2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

- ① 2022年～2024年：3年連続減少（112.1万人から106.3万人、5.8万人減少）。特に2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。
- ② 2025年～2027年：2025年に109.1万人と2024年106.3万人に対し2.8万人増加に転じ、2026年は109.3万人で横ばい、2027年は108.4万人と微減が続く。
- ③ 2028年～2034年：2028年は106.8万人と2027年108.4万人に対し再び1.6万人減少し、2034年は100.6万人となる。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（男女別：全国：2022～2034年）

■男女共に12年間で約11%の減少

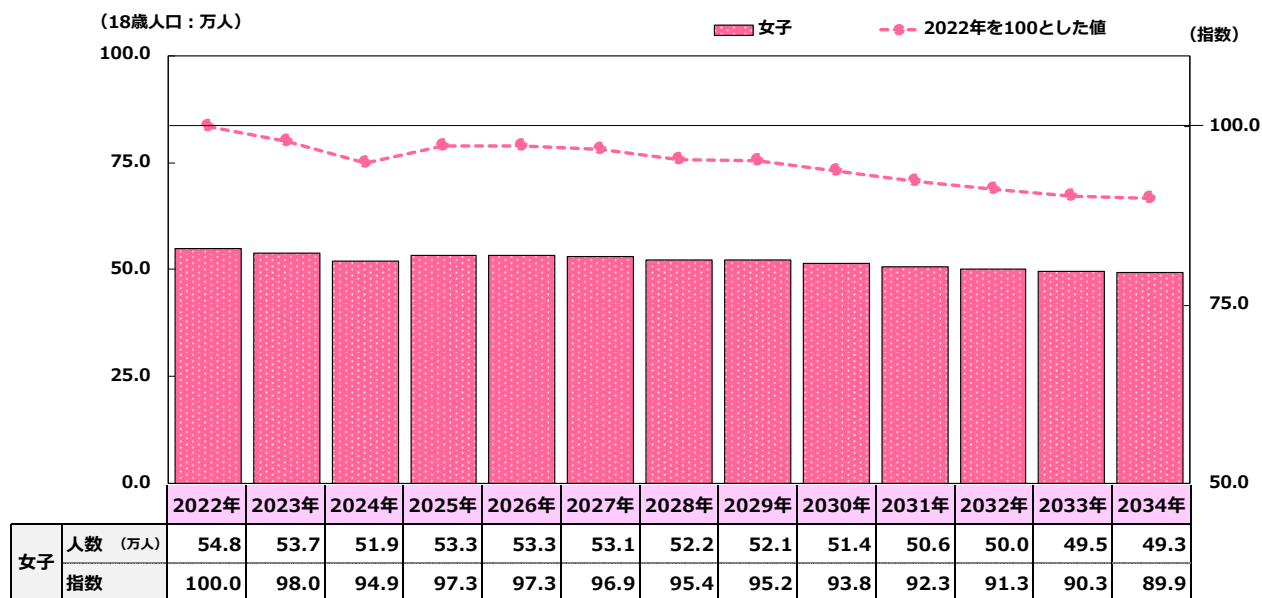
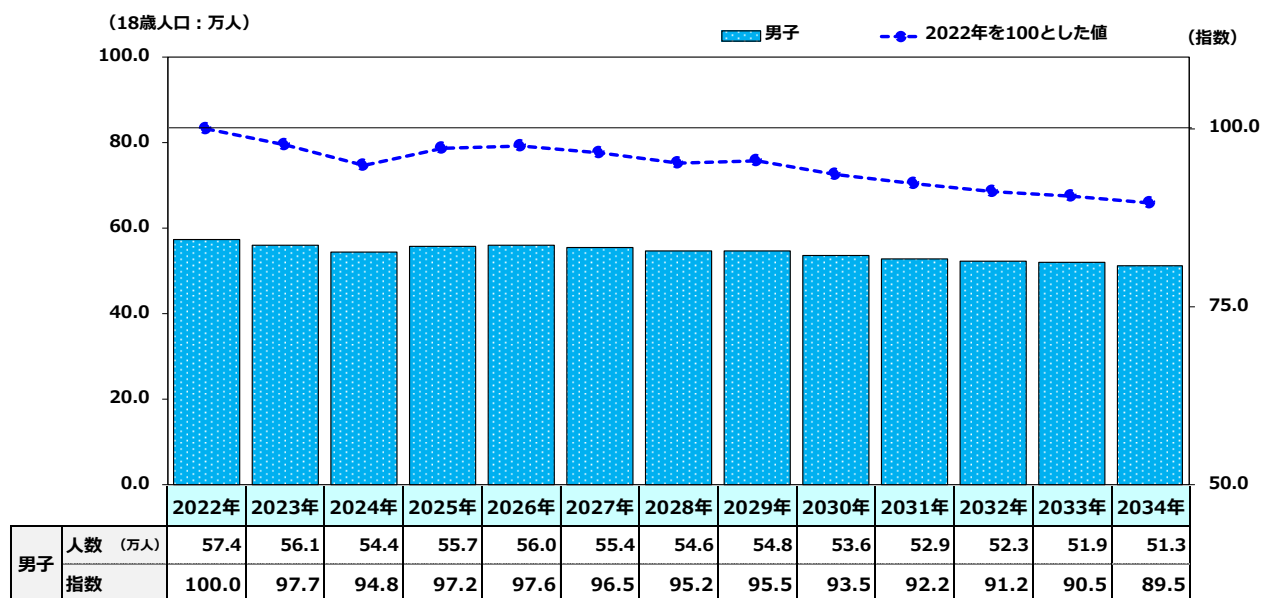
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

男子

- ・2022年57.4万人から2034年51.3万人、12年間で6.1万人減少。
- ・2025年、2026年で増加に転じるが、2027年から再び減少傾向となり2034年までに4.1万人減少している。

女子

- ・2022年54.8万人から2034年49.3万人、12年間で5.5万人減少。
- ・男子と同様2025年増加に転じ、2027年までほぼ横ばいが続くが、2028年から2034年にかけて2.9万人減少している。

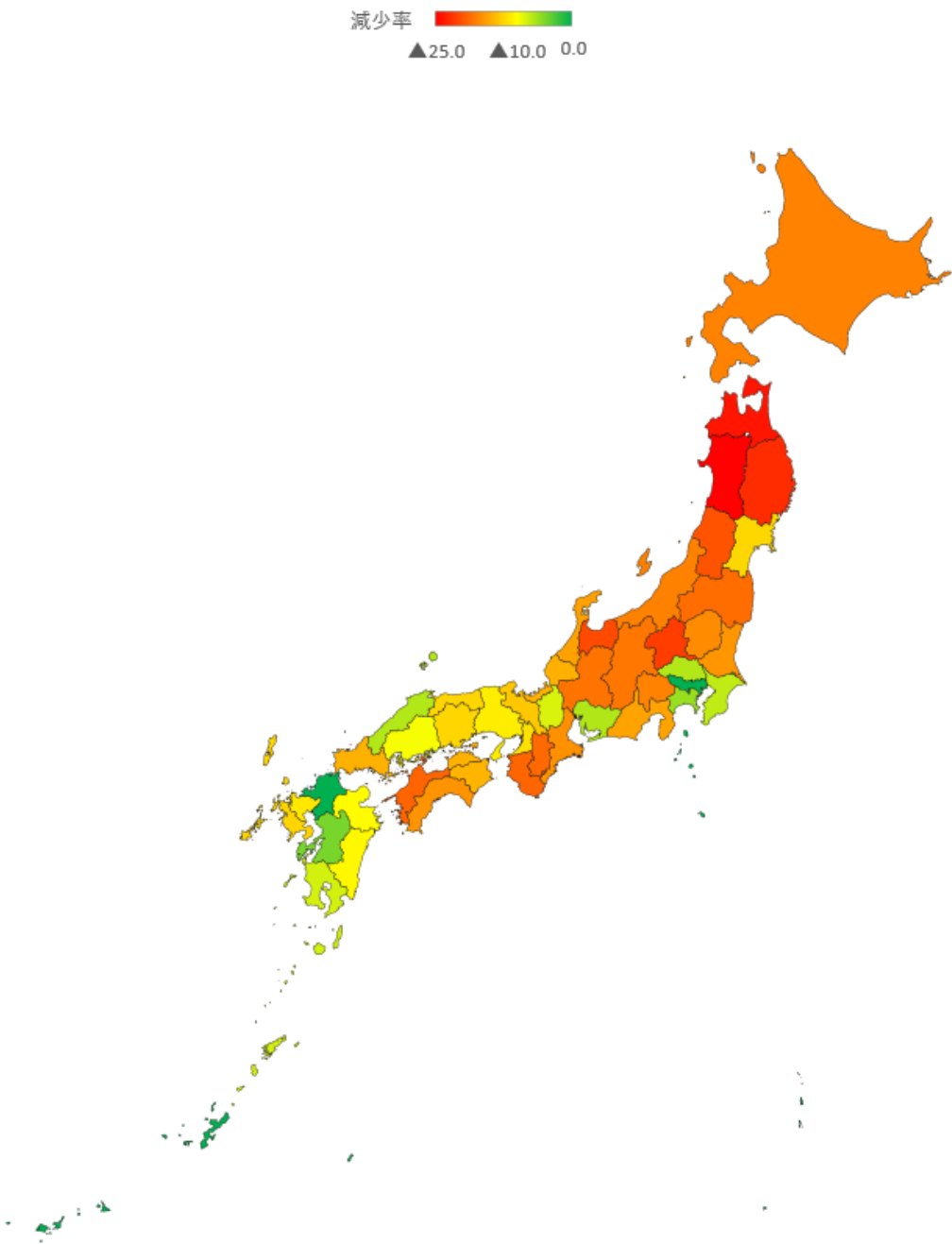


18歳人口予測（全体：都道府県別：2022→2034年）

■東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
沖縄・東京・福岡の3県のみ増加する見込み

■都道府県別 18歳人口減少率（2022年－2034年）

	全国	▲10.3
-20.0以下	秋田	▲24.9
	青森	▲23.7
	岩手	▲22.4
	群馬	▲21.4
	富山	▲20.6
	山形	▲20.1
-15.0以下	愛媛	▲19.1
	和歌山	▲19.1
	奈良	▲18.8
	福島	▲18.6
	岐阜	▲18.2
	長野	▲18.0
	新潟	▲17.4
	山梨	▲17.4
	北海道	▲17.3
	栃木	▲16.8
	三重	▲16.5
	高知	▲16.3
	茨城	▲16.2
	石川	▲15.5
	静岡	▲15.4
-10.0以下	福井	▲14.7
	香川	▲14.6
	山口	▲14.6
	徳島	▲14.4
	京都	▲13.3
	長崎	▲12.5
	鳥取	▲12.5
	岡山	▲12.4
	宮城	▲12.4
	大阪	▲11.8
	佐賀	▲11.3
	兵庫	▲11.1
	宮崎	▲10.4
	大分	▲10.1
- 5.0以下	広島	▲ 9.7
	滋賀	▲ 8.5
	鹿児島	▲ 8.3
	千葉	▲ 7.5
	埼玉	▲ 7.0
	島根	▲ 7.0
	愛知	▲ 6.9
	神奈川	▲ 5.9
0.0以下	熊本	▲ 4.6
0.0超	福岡	0.2
	東京	2.6
	沖縄	5.3



提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, TomTom

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

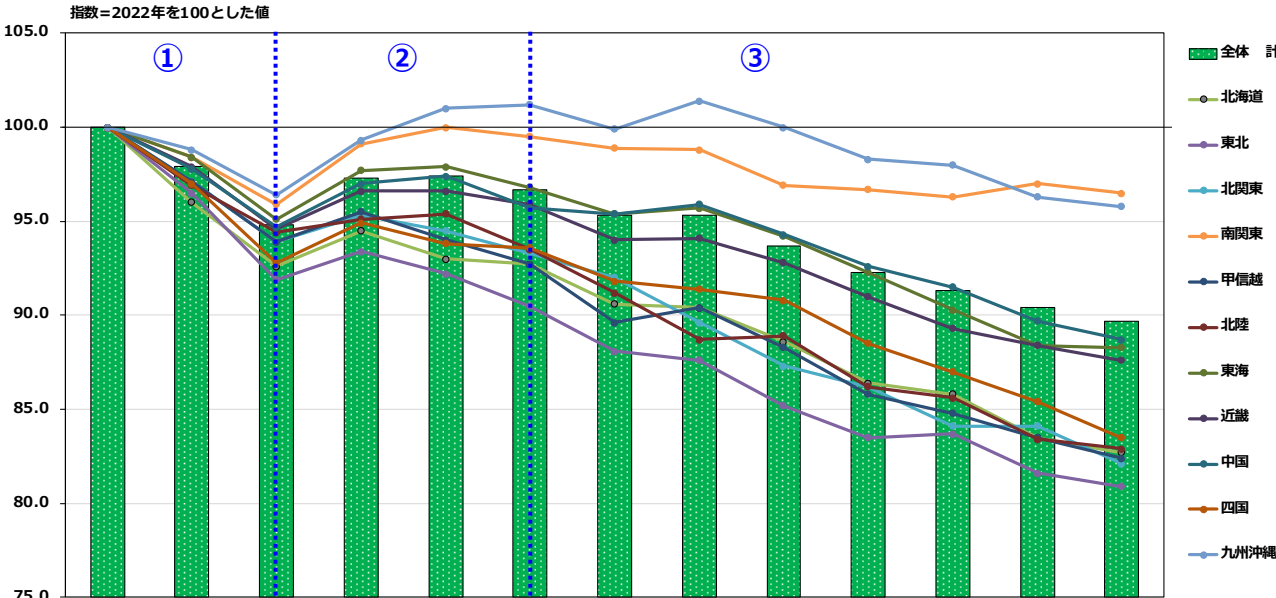
18歳人口予測（全体：エリア別：2022～2034年）

■ 減少率が高いのは東北（2022年比80.9%）、減少数が多いのは近畿（22,958人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比80.9%）、2位 北関東（82.1%）、3位 甲信越（82.4%）。
- ・減少数が多いのは、1位 近畿（22,958人減）、2位 東海（16,427人減）、3位 東北（14,899人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（96.5%）、2位 九州沖縄（95.8%）、3位 中国（88.7%）。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

- ① 2022～2024年：全国では約6万人減少、エリアも含め減少傾向になる時期
- ② 2024～2027年：全国で約3万人増加、人口が回復し、横ばいが続く時期
- ③ 2027～2034年：回復後さらに減少する時期

注）減少率＝2034年人数÷2022年人数で算出。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全体 計	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7
北海道	人数	44,276	42,489	41,008	41,857	41,166	41,045	40,121	40,037	39,230	38,255	37,984	36,989	36,601
	指数	100.0	96.0	92.6	94.5	93.0	92.7	90.6	90.4	88.6	86.4	85.8	83.5	82.7
東北	人数	78,146	75,379	71,820	73,013	72,013	70,749	68,816	68,461	66,576	65,266	65,444	63,794	63,247
	指数	100.0	96.5	91.9	93.4	92.2	90.5	88.1	87.6	85.2	83.5	83.7	81.6	80.9
北関東	人数	63,720	61,863	59,826	60,700	60,209	59,436	58,597	57,094	55,597	54,919	53,598	53,611	52,331
	指数	100.0	97.1	93.9	95.3	94.5	93.3	92.0	89.6	87.3	86.2	84.1	84.1	82.1
南関東	人数	299,356	294,497	287,188	296,737	299,307	297,845	296,090	295,868	290,004	289,532	288,232	290,267	288,970
	指数	100.0	98.4	95.9	99.1	100.0	99.5	98.9	98.8	96.9	96.7	96.3	97.0	96.5
甲信越	人数	46,907	45,536	44,069	44,788	44,075	43,470	42,033	42,422	41,416	40,263	39,768	39,150	38,628
	指数	100.0	97.1	93.9	95.5	94.0	92.7	89.6	90.4	88.3	85.8	84.8	83.5	82.4
北陸	人数	27,545	26,692	26,002	26,197	26,268	25,761	25,131	24,428	24,501	23,757	23,588	22,974	22,842
	指数	100.0	96.9	94.4	95.1	95.4	93.5	91.2	88.7	88.9	86.2	85.6	83.4	82.9
東海	人数	140,510	138,309	133,555	137,302	137,529	136,069	134,013	134,491	132,337	129,727	126,930	124,204	124,083
	指数	100.0	98.4	95.1	97.7	97.9	96.8	95.4	95.7	94.2	92.3	90.3	88.4	88.3
近畿	人数	185,626	181,639	175,609	179,388	179,313	178,046	174,431	174,633	172,217	168,955	165,722	164,183	162,668
	指数	100.0	97.9	94.6	96.6	96.6	95.9	94.0	94.1	92.8	91.0	89.3	88.4	87.6
中国	人数	66,821	65,318	63,279	64,828	65,075	63,981	63,747	64,054	62,988	61,849	61,110	59,931	59,298
	指数	100.0	97.8	94.7	97.0	97.4	95.7	95.4	95.9	94.3	92.6	91.5	89.7	88.7
四国	人数	33,841	32,825	31,419	32,132	31,757	31,685	31,073	30,944	30,731	29,957	29,437	28,906	28,242
	指数	100.0	97.0	92.8	94.9	93.8	93.6	91.8	91.4	90.8	88.5	87.0	85.4	83.5
九州沖縄	人数	134,537	132,869	129,676	133,620	135,935	136,184	134,425	136,444	134,546	132,234	131,779	129,572	128,872
	指数	100.0	98.8	96.4	99.3	101.0	101.2	99.9	101.4	100.0	98.3	98.0	96.3	95.8

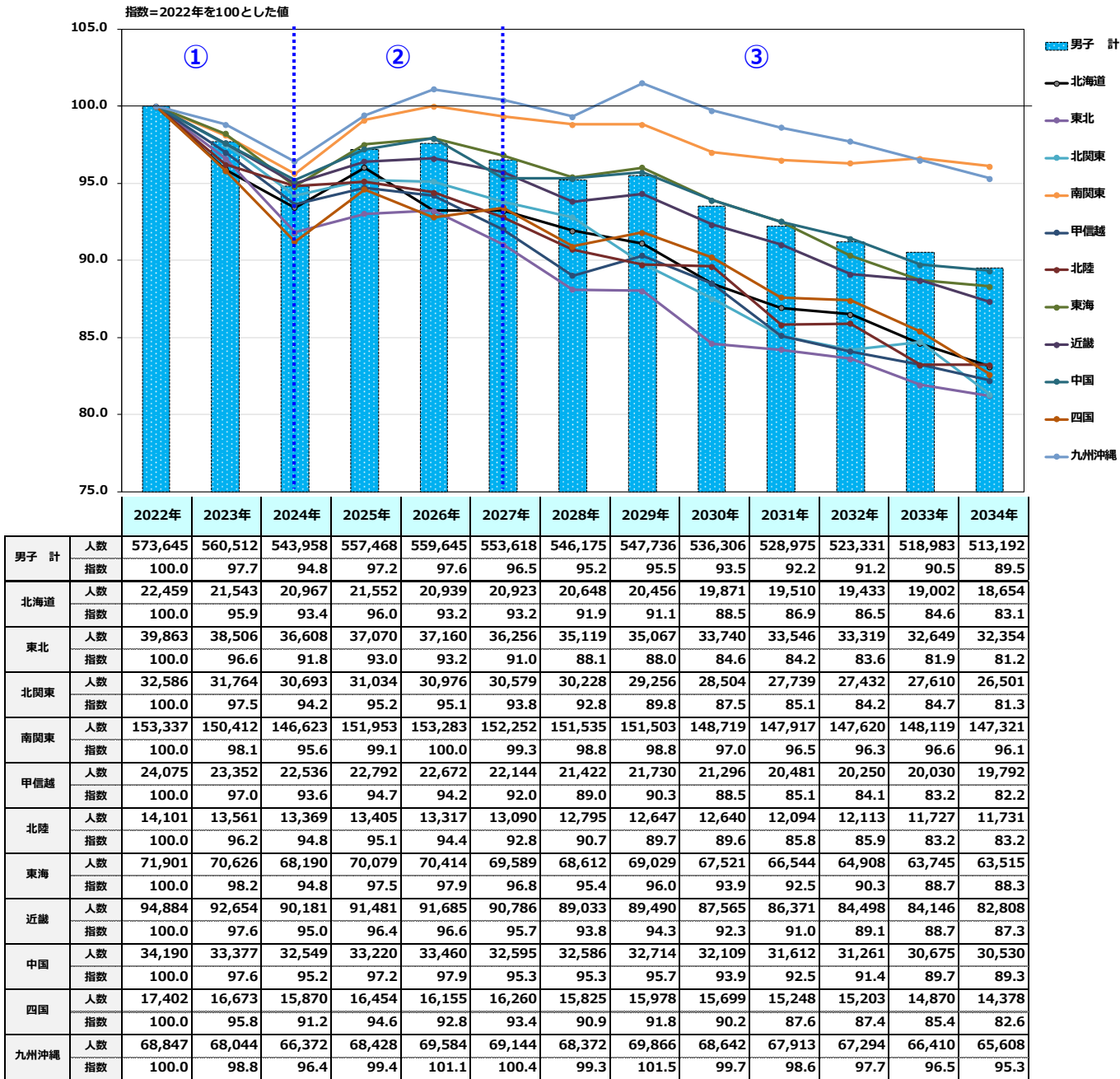
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（男子：エリア別：2022～2034年）

■減少率が高いのは東北（2022年比81.2%）、減少数が多いのは近畿（12,076人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比81.2%）、2位 北関東（81.3%）、3位 甲信越（82.2%）。
- ・減少数が多いのは、1位 近畿（12,076人減）、2位 東海（8,386人減）、3位 東北（7,509人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（96.1%）、2位 九州沖縄（95.3%）、3位 中国（89.3%）。
- ・③期において2028～2034年の男子人口は、北海道（1,994人減）、東北（2,765人減）、北関東（3,727人減）、南関東（4,214人減）、甲信越（1,630人減）、北陸（1,064人減）、東海（5,097人減）、近畿（6,225人減）、中国（2,056人減）、四国（1,447人減）、九州沖縄（2,764人減）。

注）減少率＝2034年人数÷2022年人数で算出。



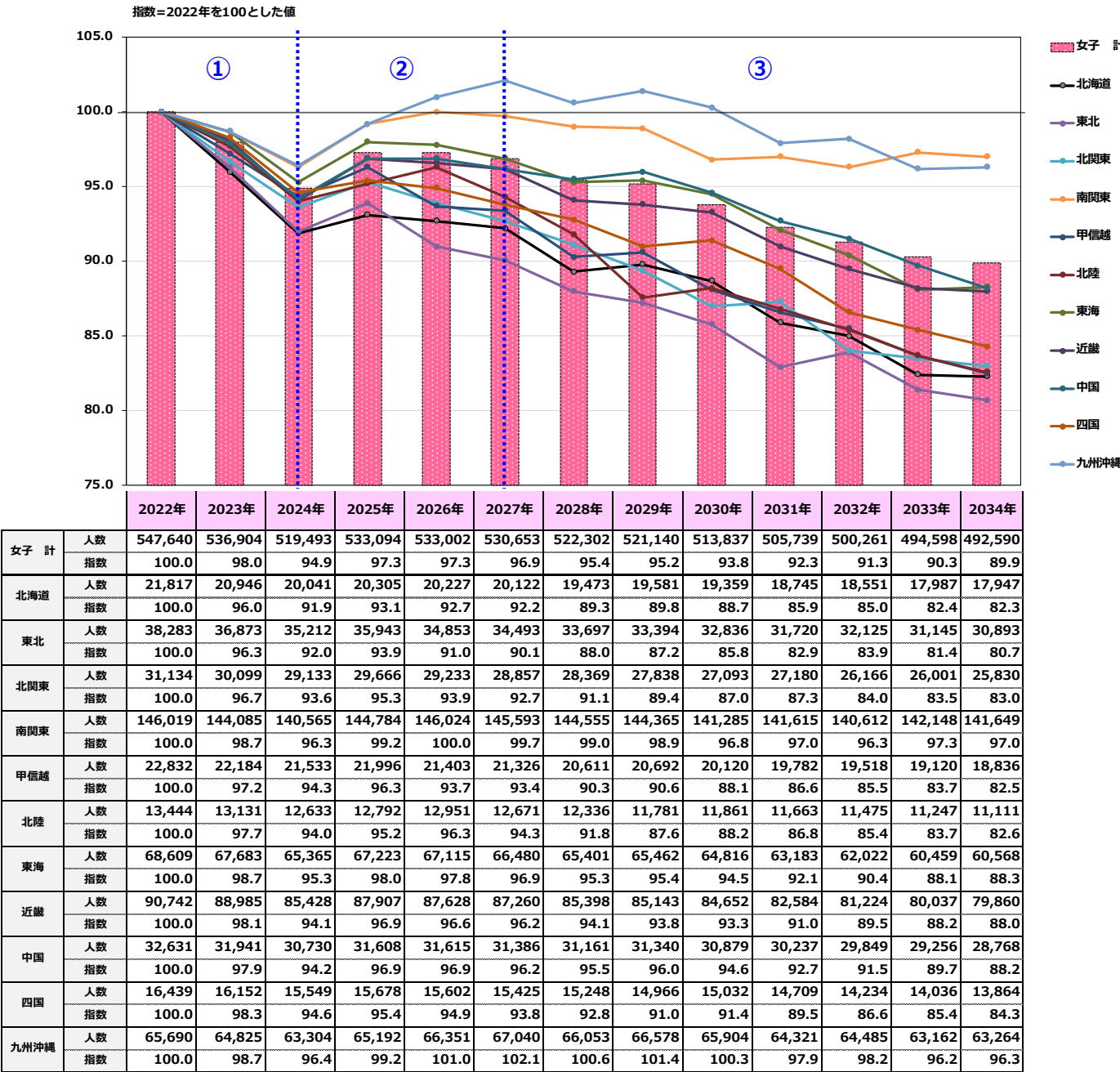
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（女子：エリア別：2022～2034年）

■減少率が高いのは東北（2022年比80.7%）、減少数が多いのは近畿（10,882人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比80.7%）、2位 北海道（82.3%）、3位 甲信越（82.5%）。
- ・減少数が多いのは、1位 近畿（10,882人減）、2位 東海（8,041人減）、3位 東北（7,390人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（97.0%）、2位 九州沖縄（96.3%）、3位 東海（88.3%）。
- ・③期において2028年～2034年の女子人口は、北海道（1,526人減）、東北（2,804人減）、北関東（2,539人減）、南関東（2,906人減）、甲信越（1,775人減）、北陸（1,225人減）、東海（4,833人減）、近畿（5,538人減）、中国（2,393人減）、四国（1,384人減）、九州沖縄（2,789人減）。

注）減少率＝2034年人数÷2022年人数で算出。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022年）

■2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）

・全体の大学進学率は2013年47.4%→2022年55.3%と、10年間で7.9ポイント上昇。

2019年から50%台の進学率となり、2022年には55%を超えた。

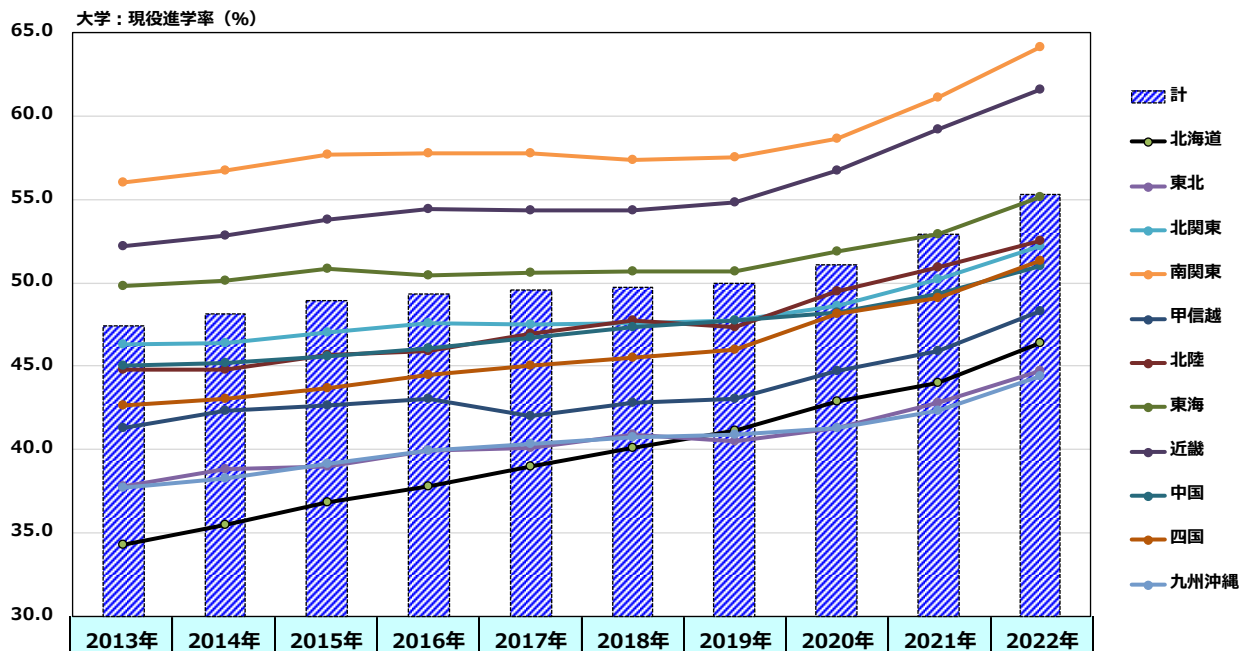
2016～2018年の3年間は横ばいのトレンド（49.3%→49.7%）。

・上昇が大きいのは、1位 北海道（135.3）、2位 四国（120.4）、3位 東北（118.3）。※注

・上昇が小さいのは、1位 東海（110.6）、2位 北関東（112.7）、3位 中国（113.3）。※注

・2022年進学率が高いのは、1位 南関東（64.1%）、2位 近畿（61.6%）、3位 東海（55.1%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
計	進学率	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9	55.3
	指数	100.0	101.5	103.2	104.0	104.6	104.9	105.5	107.8	111.6	116.7
北海道	進学率	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0	46.4
	指数	100.0	103.5	107.3	110.2	113.7	116.9	119.8	125.1	128.3	135.3
東北	進学率	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8	44.7
	指数	100.0	102.6	103.2	105.6	106.1	108.2	107.1	109.3	113.2	118.3
北関東	進学率	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2	52.2
	指数	100.0	100.2	101.5	102.8	102.6	102.8	103.0	105.0	108.4	112.7
南関東	進学率	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1	64.1
	指数	100.0	101.3	103.0	103.2	103.2	102.5	102.7	104.6	109.1	114.5
甲信越	進学率	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9	48.3
	指数	100.0	102.4	103.1	104.1	101.7	103.6	104.1	108.2	111.1	116.9
北陸	進学率	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9	52.5
	指数	100.0	100.0	102.0	102.5	104.7	106.5	105.6	110.5	113.6	117.2
東海	進学率	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9	55.1
	指数	100.0	100.6	102.0	101.2	101.6	101.8	101.8	104.2	106.2	110.6
近畿	進学率	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2	61.6
	指数	100.0	101.1	103.1	104.2	104.0	104.0	105.0	108.6	113.4	118.0
中国	進学率	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3	51.0
	指数	100.0	100.4	101.3	102.4	103.8	105.1	106.0	107.1	109.6	113.3
四国	進学率	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1	51.3
	指数	100.0	100.9	102.6	104.5	105.6	106.8	108.0	112.9	115.3	120.4
九州沖縄	進学率	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3	44.4
	指数	100.0	101.6	103.7	105.8	106.9	108.0	108.5	109.5	112.2	117.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

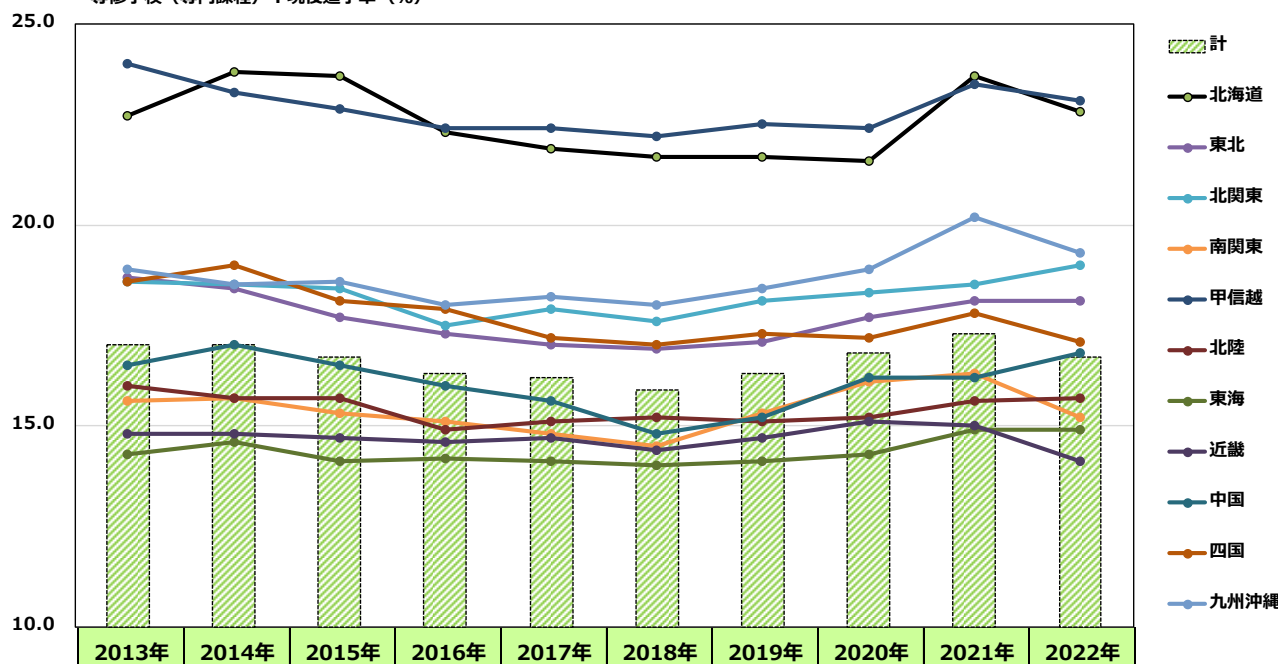
専門学校進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022年）

■2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）

- ・ 全国の専門学校進学率は2013年17.0%→2022年16.7%と、10年間で0.3ポイント低下。
上昇、低下を繰り返し、ほぼ横ばい。
- ・ 上昇が大きいのは、1位 東海（104.2）、2位 北関東（102.2）、3位 九州沖縄（102.1）。※注
- ・ 低下が大きいのは、1位 四国（91.9）、2位 近畿（95.3）、3位 甲信越（96.3）。※注
- ・ 2022年進学率が高いのは、1位 甲信越（23.1%）、2位 北海道（22.8%）、3位 九州沖縄（19.3%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出

専修学校（専門課程）：現役進学率（%）



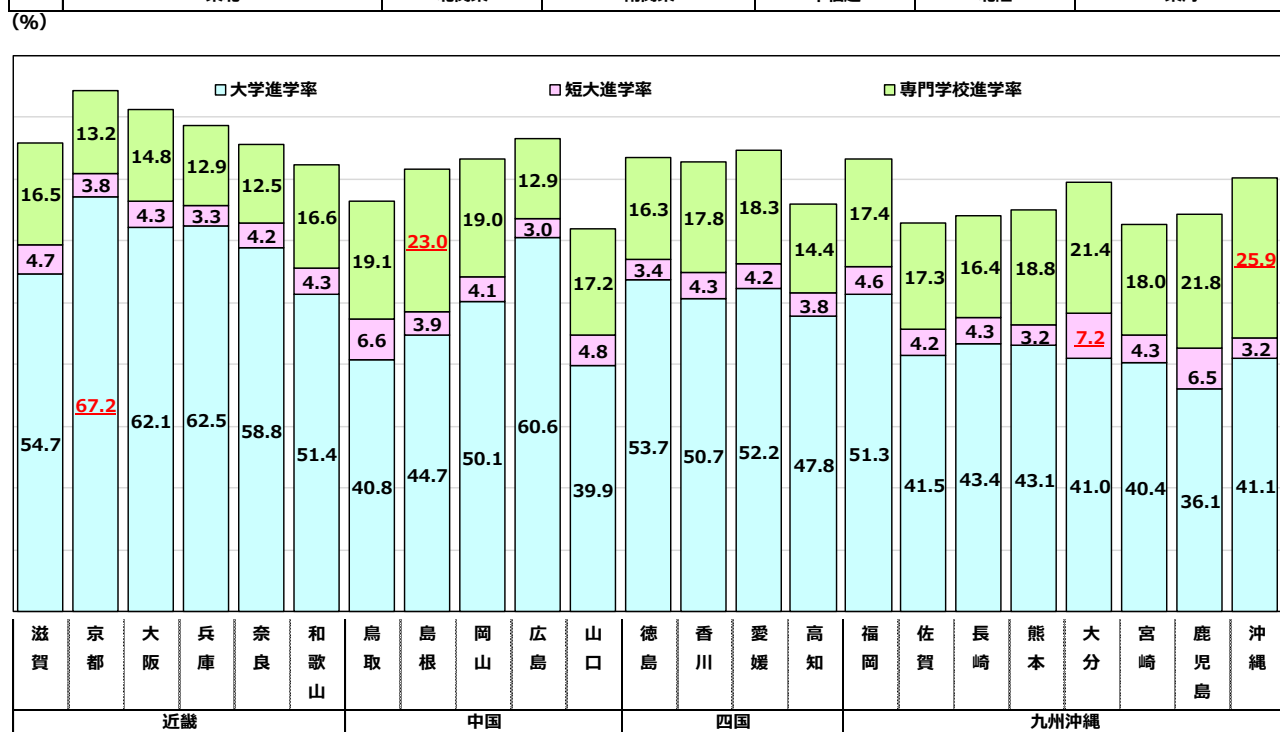
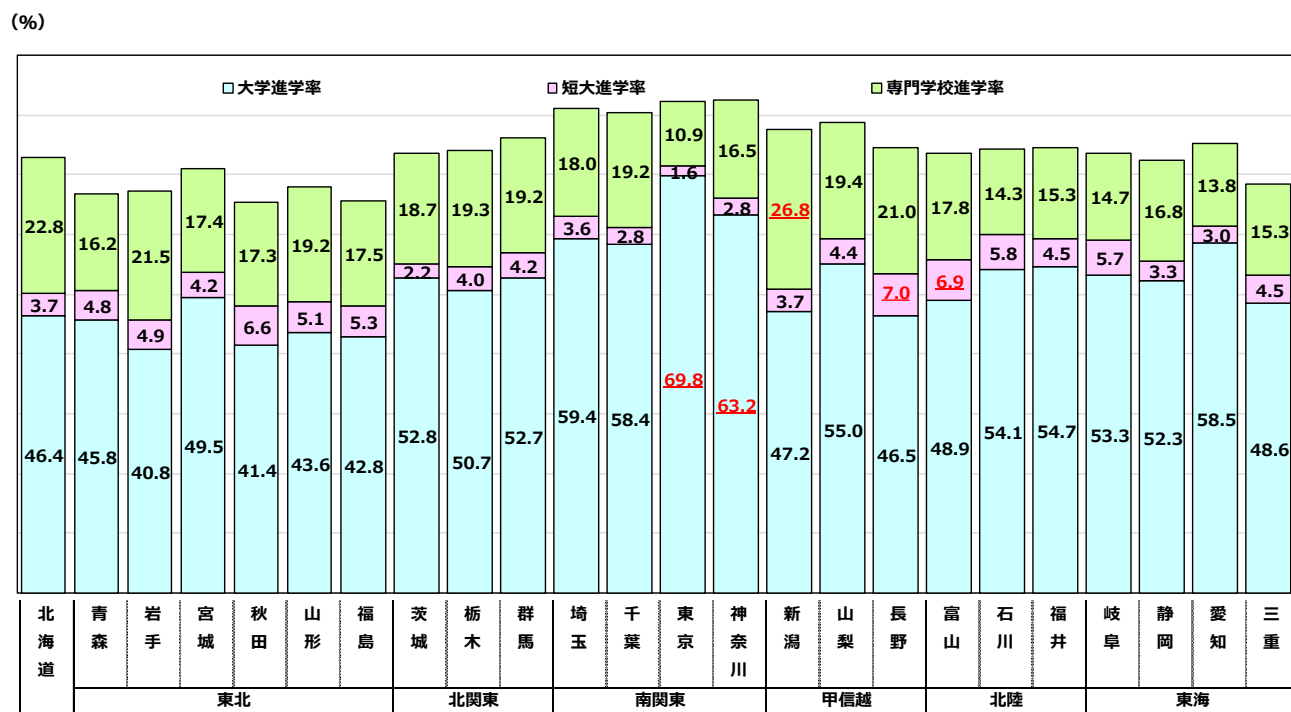
		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
計	進学率	17.0	17.0	16.7	16.3	16.2	15.9	16.3	16.8	17.3	16.7
	指数	100.0	100.0	98.2	95.9	95.3	93.5	95.9	98.8	101.8	98.2
北海道	進学率	22.7	23.8	23.7	22.3	21.9	21.7	21.7	21.6	23.7	22.8
	指数	100.0	104.8	104.4	98.2	96.5	95.6	95.6	95.2	104.4	100.4
東北	進学率	18.7	18.4	17.7	17.3	17.0	16.9	17.1	17.7	18.1	18.1
	指数	100.0	98.4	94.7	92.5	90.9	90.4	91.4	94.7	96.8	96.8
北関東	進学率	18.6	18.5	18.4	17.5	17.9	17.6	18.1	18.3	18.5	19.0
	指数	100.0	99.5	98.9	94.1	96.2	94.6	97.3	98.4	99.5	102.2
南関東	進学率	15.6	15.7	15.3	15.1	14.8	14.5	15.3	16.1	16.3	15.2
	指数	100.0	100.6	98.1	96.8	94.9	92.9	98.1	103.2	104.5	97.4
甲信越	進学率	24.0	23.3	22.9	22.4	22.4	22.2	22.5	22.4	23.5	23.1
	指数	100.0	97.1	95.4	93.3	93.3	92.5	93.8	93.3	97.9	96.3
北陸	進学率	16.0	15.7	15.7	14.9	15.1	15.2	15.1	15.2	15.6	15.7
	指数	100.0	98.1	98.1	93.1	94.4	95.0	94.4	95.0	97.5	98.1
東海	進学率	14.3	14.6	14.1	14.2	14.1	14.0	14.1	14.3	14.9	14.9
	指数	100.0	102.1	98.6	99.3	98.6	97.9	98.6	100.0	104.2	104.2
近畿	進学率	14.8	14.8	14.7	14.6	14.7	14.4	14.7	15.1	15.0	14.1
	指数	100.0	100.0	99.3	98.6	99.3	97.3	99.3	102.0	101.4	95.3
中国	進学率	16.5	17.0	16.5	16.0	15.6	14.8	15.2	16.2	16.2	16.8
	指数	100.0	103.0	100.0	97.0	94.5	89.7	92.1	98.2	98.2	101.8
四国	進学率	18.6	19.0	18.1	17.9	17.2	17.0	17.3	17.2	17.8	17.1
	指数	100.0	102.2	97.3	96.2	92.5	91.4	93.0	92.5	95.7	91.9
九州沖縄	進学率	18.9	18.5	18.6	18.0	18.2	18.0	18.4	18.9	20.2	19.3
	指数	100.0	97.9	98.4	95.2	96.3	95.2	97.4	100.0	106.9	102.1

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2022年）

■ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟

大学進学率	1位：東京（69.8%）	2位：京都（67.2%）	3位：神奈川（63.2%）
短期大学進学率	1位：大分（7.2%）	2位：長野（7.0%）	3位：富山（6.9%）
専門学校進学率	1位：新潟（26.8%）	2位：沖縄（25.9%）	3位：島根（23.0%）

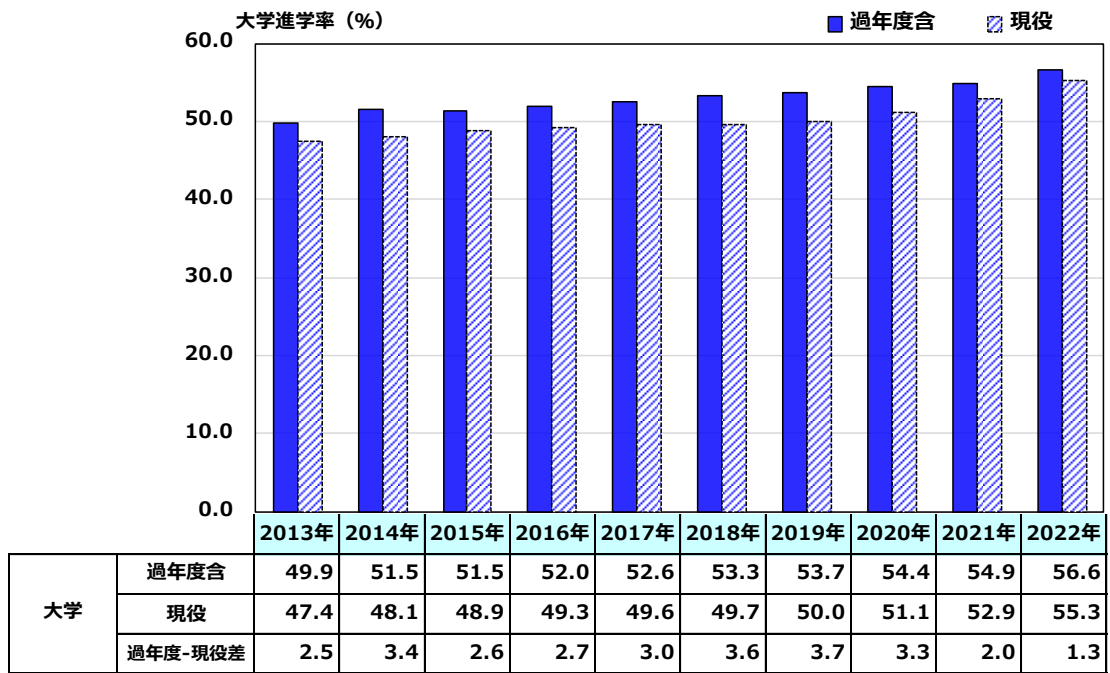


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■ 2022年現役と過年度含の進学率の差は、大学は1.3ポイント（過年度含が高い）
短期大学は差なし。

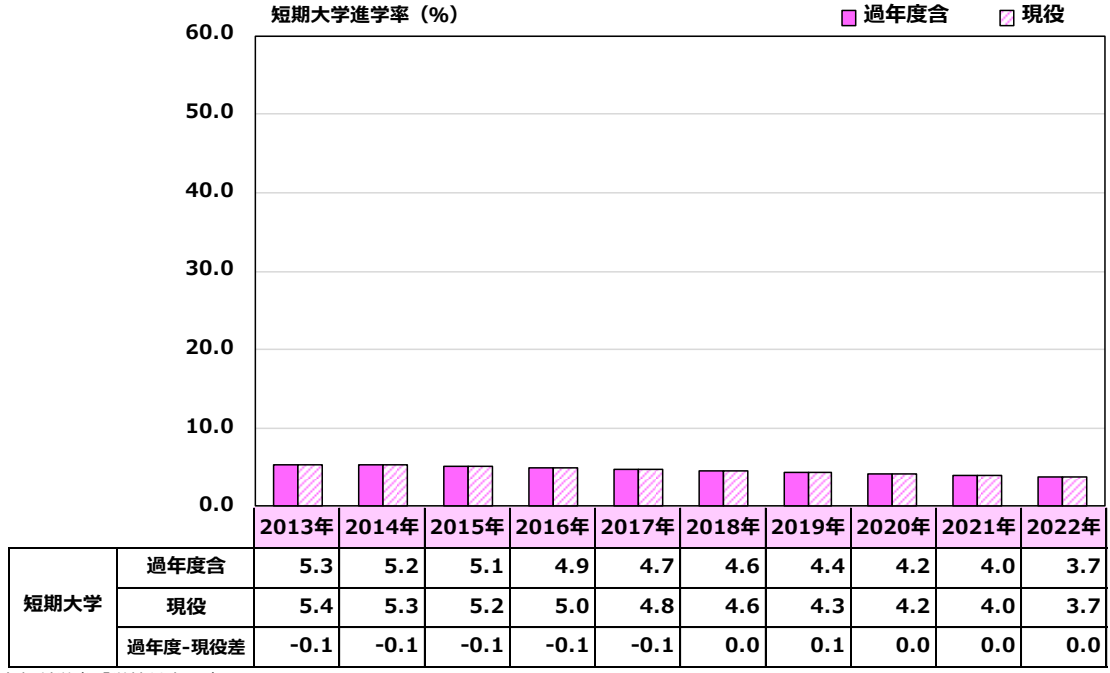
大学進学者

- ・ 現役の進学率は2013年49.9%→2022年56.6%（6.7ポイント上昇）。
- ・ 過年度含の進学率は2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）。
- ・ 過年度含と現役の進学率の差は2013年2.5ポイント→2022年1.3ポイントと縮小。



短期大学進学者

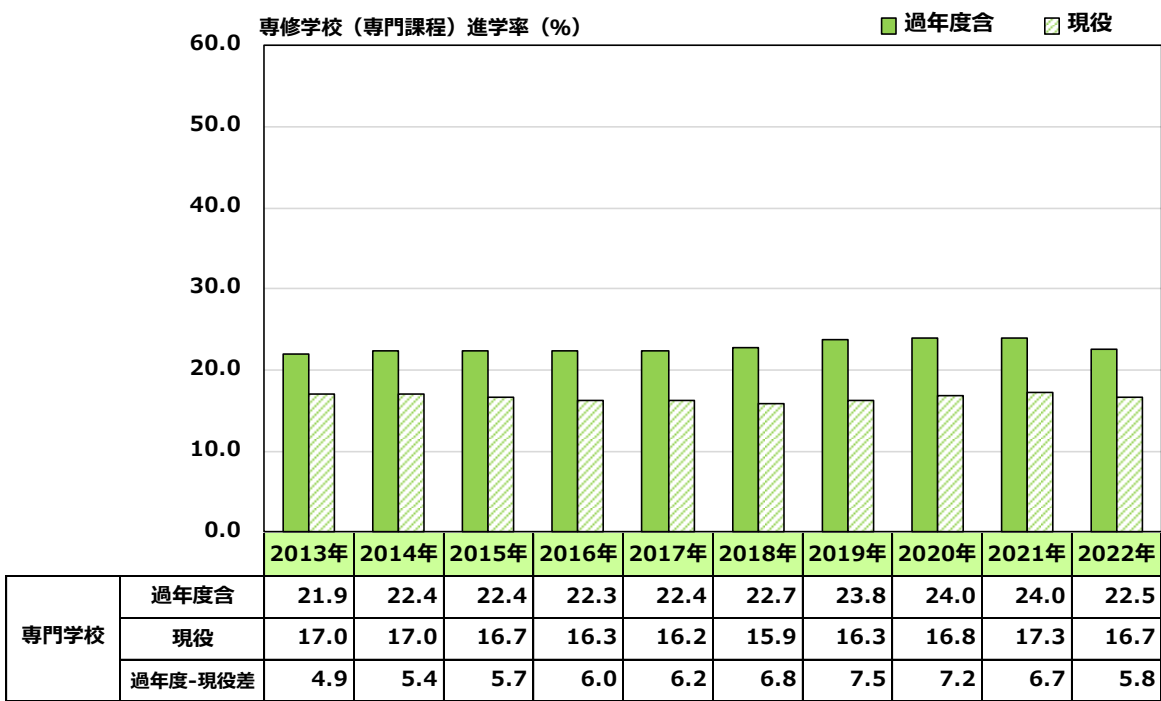
- ・ 現役の進学率は2013年5.3%→2022年3.7%（1.6ポイント低下）。
- ・ 過年度含の進学率は2013年5.4%→2022年3.7%（1.7ポイント低下）。
- ・ 過年度含と現役の進学率の差は2013年0.1ポイント→2022年差がなくなった（3.7%同率）。



■ 専門学校で2022年現役と過年度含の進学率の差は、5.8ポイント（過年度含が高い）

専門学校進学者

- ・ 現役の進学率は2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）。
- ・ 過年度含の進学率は2013年21.9%→2022年22.5%（0.6ポイント上昇）。
- ・ 過年度含と現役の進学率の差は2013年4.9ポイント→2022年5.8ポイントと拡大。



大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2022年）

（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキング

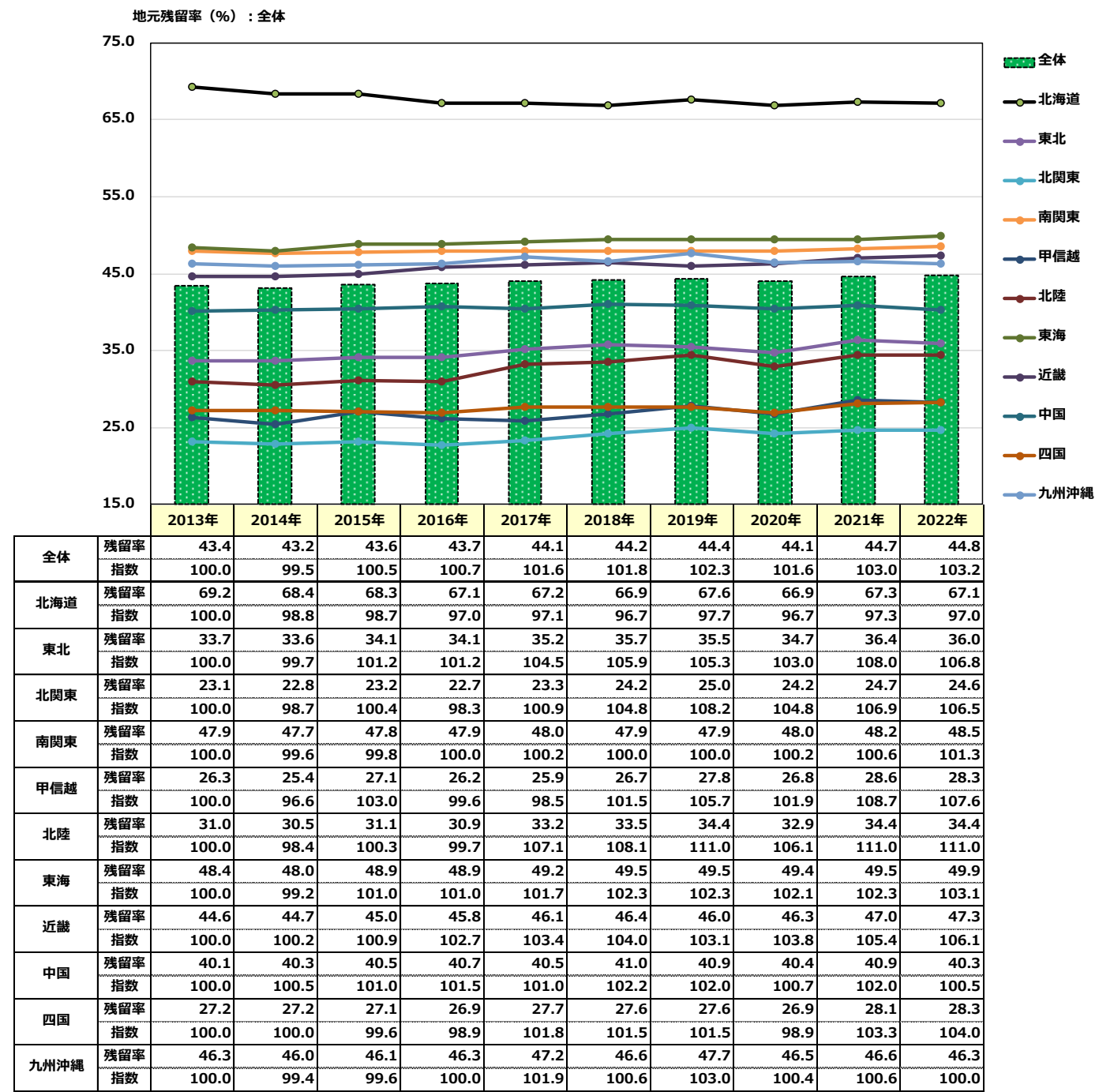
大学			短期大学			専門学校		
1	東京	69.8	1	大分	7.2	1	新潟	26.8
2	京都	67.2	2	長野	7.0	2	沖縄	25.9
3	神奈川	63.2	3	富山	6.9	3	島根	23.0
4	兵庫	62.5	4	秋田	6.6	4	北海道	22.8
5	大阪	62.1	4	鳥取	6.6	5	鹿児島	21.8
6	広島	60.6	6	鹿児島	6.5	6	岩手	21.5
7	埼玉	59.4	7	石川	5.8	7	大分	21.4
8	奈良	58.8	8	岐阜	5.7	8	長野	21.0
9	愛知	58.5	9	福島	5.3	9	山梨	19.4
10	千葉	58.4	10	山形	5.1	10	栃木	19.3
11	山梨	55.0	11	岩手	4.9	11	山形	19.2
12	福井	54.7	12	青森	4.8	11	群馬	19.2
12	滋賀	54.7	12	山口	4.8	11	千葉	19.2
14	石川	54.1	14	滋賀	4.7	14	鳥取	19.1
15	徳島	53.7	15	福岡	4.6	15	岡山	19.0
16	岐阜	53.3	16	福井	4.5	16	熊本	18.8
17	茨城	52.8	16	三重	4.5	17	茨城	18.7
18	群馬	52.7	18	山梨	4.4	18	愛媛	18.3
19	静岡	52.3	19	大阪	4.3	19	埼玉	18.0
20	愛媛	52.2	19	和歌山	4.3	19	宮崎	18.0
			19	香川	4.3			
			19	長崎	4.3			
			19	宮崎	4.3			

地元残留率の推移（全体：大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年43.4%→2022年44.8%（1.4ポイント上昇）

- ・全体で2013年43.4%→2022年44.8%と1.4ポイント上昇。
- ・2022年上昇が高いのは、1位 北陸（111.0）、2位 甲信越（107.6）、3位 東北（106.8）。※注
- ・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（67.1%）、2位 東海（49.9%）、3位 南関東（48.5%）。
- ・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（24.6%）、2位 甲信越・四国（28.3%）

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



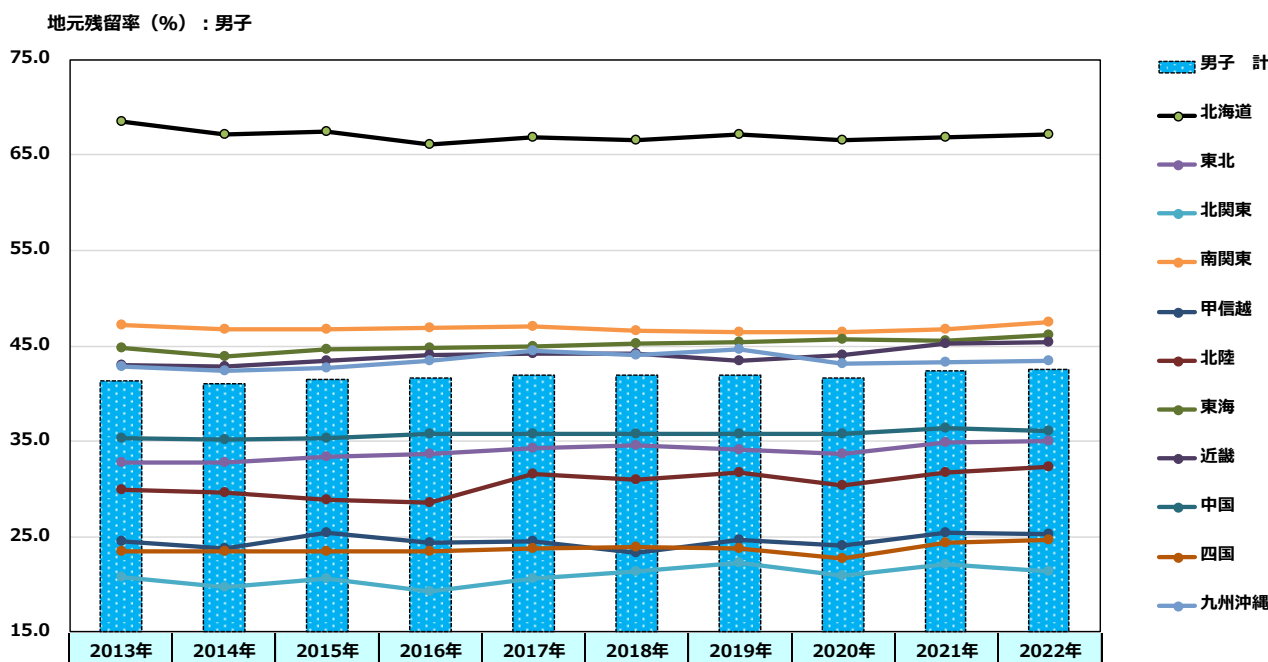
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（男子：大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年41.4%→2022年42.6%（1.2ポイント上昇）

- ・男子は2013年41.4%→2021年42.6%と1.2ポイント上昇。
- ・2022年上昇が高いのは、1位 北陸（108.0）、2位 東北（107.0）、3位 近畿（105.6）。※注
- ・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（67.1%）、2位 南関東（47.5%）、3位 東海（46.1%）。
- ・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（21.4%）、2位 四国（24.6%）、3位 甲信越（25.2%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
男子 計	残留率	41.4	41.0	41.5	41.6	42.0	41.9	41.9	41.7	42.4	42.6
	指数	100.0	99.0	100.2	100.5	101.4	101.2	101.2	100.7	102.4	102.9
北海道	残留率	68.5	67.1	67.5	66.1	66.8	66.6	67.1	66.5	66.8	67.1
	指数	100.0	98.0	98.5	96.5	97.5	97.2	98.0	97.1	97.5	98.0
東北	残留率	32.7	32.7	33.3	33.6	34.2	34.6	34.1	33.6	34.9	35.0
	指数	100.0	100.0	101.8	102.8	104.6	105.8	104.3	102.8	106.7	107.0
北関東	残留率	20.7	19.7	20.6	19.3	20.6	21.3	22.2	20.9	22.1	21.4
	指数	100.0	95.2	99.5	93.2	99.5	102.9	107.2	101.0	106.8	103.4
南関東	残留率	47.2	46.8	46.8	46.9	47.0	46.6	46.5	46.4	46.7	47.5
	指数	100.0	99.2	99.2	99.4	99.6	98.7	98.5	98.3	98.9	100.6
甲信越	残留率	24.5	23.7	25.4	24.3	24.5	23.3	24.7	24.1	25.4	25.2
	指数	100.0	96.7	103.7	99.2	100.0	95.1	100.8	98.4	103.7	102.9
北陸	残留率	29.9	29.6	28.8	28.6	31.5	31.0	31.7	30.3	31.7	32.3
	指数	100.0	99.0	96.3	95.7	105.4	103.7	106.0	101.3	106.0	108.0
東海	残留率	44.8	43.9	44.6	44.8	45.0	45.2	45.4	45.7	45.6	46.1
	指数	100.0	98.0	99.6	100.0	100.4	100.9	101.3	102.0	101.8	102.9
近畿	残留率	43.0	42.8	43.5	44.0	44.2	44.2	43.5	44.1	45.3	45.4
	指数	100.0	99.5	101.2	102.3	102.8	102.8	101.2	102.6	105.3	105.6
中国	残留率	35.3	35.2	35.3	35.7	35.7	35.8	35.7	35.7	36.4	36.1
	指数	100.0	99.7	100.0	101.1	101.1	101.4	101.1	101.1	103.1	102.3
四国	残留率	23.5	23.4	23.4	23.4	23.7	23.9	23.7	22.7	24.3	24.6
	指数	100.0	99.6	99.6	99.6	100.9	101.7	100.9	96.6	103.4	104.7
九州沖縄	残留率	42.9	42.4	42.7	43.4	44.5	44.0	44.6	43.2	43.3	43.5
	指数	100.0	98.8	99.5	101.2	103.7	102.6	104.0	100.7	100.9	101.4

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

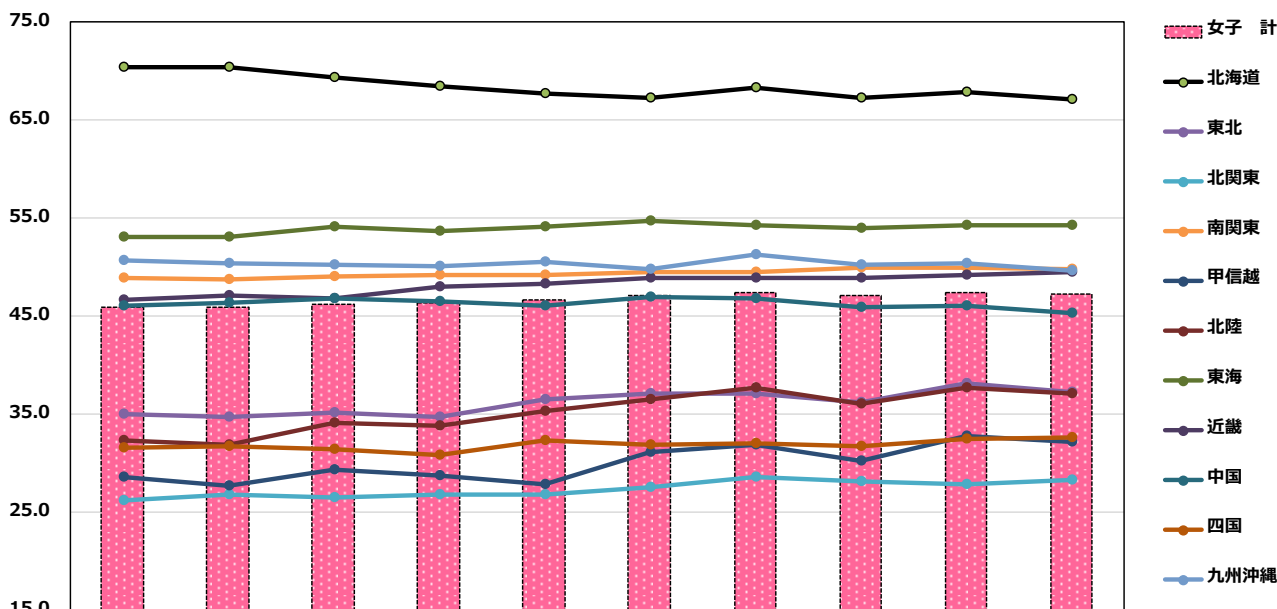
地元残留率の推移（女子：大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年45.8%→2022年47.2%（1.4ポイント上昇）

- ・女子は2013年45.8%→2022年47.2%と1.4ポイント上昇。
- ・2022年上昇が高いのは、1位 北陸（114.9）、2位 甲信越（112.6）、3位 北関東（108.4）。※注
- ・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（67.1%）、2位 東海（54.2%）、3位 南関東（49.8%）。
- ・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（28.3%）、2位 甲信越（32.1%）、3位 四国（32.5%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出

地元残留率（%）：女子



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
女子 計	残留率	45.8	45.9	46.2	46.3	46.6	47.0	47.3	47.0	47.4	47.2
	指数	100.0	100.2	100.9	101.1	101.7	102.6	103.3	102.6	103.5	103.1
北海道	残留率	70.3	70.3	69.3	68.4	67.7	67.3	68.3	67.3	67.9	67.1
	指数	100.0	100.0	98.6	97.3	96.3	95.7	97.2	95.7	96.6	95.4
東北	残留率	34.9	34.6	35.1	34.7	36.4	37.0	37.1	36.1	38.1	37.2
	指数	100.0	99.1	100.6	99.4	104.3	106.0	106.3	103.4	109.2	106.6
北関東	残留率	26.1	26.7	26.5	26.7	26.7	27.5	28.5	28.1	27.8	28.3
	指数	100.0	102.3	101.5	102.3	102.3	105.4	109.2	107.7	106.5	108.4
南関東	残留率	48.8	48.7	49.0	49.2	49.2	49.4	49.5	49.9	49.9	49.8
	指数	100.0	99.8	100.4	100.8	100.8	101.2	101.4	102.3	102.3	102.0
甲信越	残留率	28.5	27.7	29.3	28.7	27.8	31.0	31.8	30.2	32.7	32.1
	指数	100.0	97.2	102.8	100.7	97.5	108.8	111.6	106.0	114.7	112.6
北陸	残留率	32.3	31.8	34.0	33.7	35.2	36.5	37.6	36.0	37.6	37.1
	指数	100.0	98.5	105.3	104.3	109.0	113.0	116.4	111.5	116.4	114.9
東海	残留率	53.0	53.1	54.1	53.7	54.1	54.7	54.3	54.0	54.3	54.2
	指数	100.0	100.2	102.1	101.3	102.1	103.2	102.5	101.9	102.5	102.3
近畿	残留率	46.6	47.0	46.8	47.9	48.3	48.8	48.9	48.8	49.1	49.4
	指数	100.0	100.9	100.4	102.8	103.6	104.7	104.9	104.7	105.4	106.0
中国	残留率	46.0	46.3	46.7	46.4	46.0	46.9	46.8	45.8	46.0	45.2
	指数	100.0	100.7	101.5	100.9	100.0	102.0	101.7	99.6	100.0	98.3
四国	残留率	31.5	31.7	31.4	30.8	32.2	31.8	31.9	31.6	32.4	32.5
	指数	100.0	100.6	99.7	97.8	102.2	101.0	101.3	100.3	102.9	103.2
九州沖縄	残留率	50.6	50.4	50.2	50.0	50.5	49.8	51.3	50.2	50.3	49.6
	指数	100.0	99.6	99.2	98.8	99.8	98.4	101.4	99.2	99.4	98.0

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

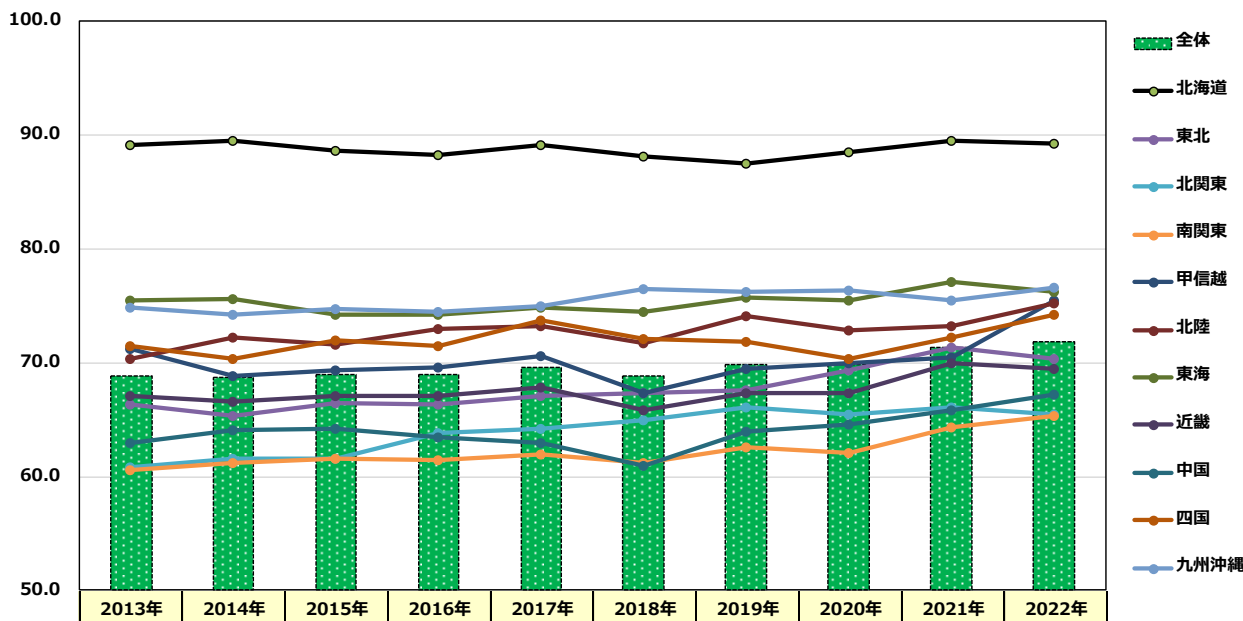
地元残留率の推移（全体：短期大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年68.8%→2022年71.8%（3.0ポイント上昇）

- ・全体で2013年68.8%→2022年71.8%と3.0ポイント上昇。
- ・2022年上昇が高いのは、1位 南関東（107.8）、2位 北関東（107.7）、3位 北陸（107.0）。※注
- ・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（89.3%）、2位 九州沖縄（76.6%）、3位 東海（76.2%）。
- ・2022年残留率が低いのは、1位 南関東（65.3%）、2位 北関東（65.5%）、3位 中国（67.2%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出

地元残留率（%）：全体



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全体	残留率	68.8	68.7	69.0	69.0	69.6	68.9	69.9	69.9	71.3	71.8
	指数	100.0	99.9	100.3	100.3	101.2	100.1	101.6	101.6	103.6	104.4
北海道	残留率	89.1	89.5	88.6	88.3	89.2	88.1	87.5	88.5	89.5	89.3
	指数	100.0	100.4	99.4	99.1	100.1	98.9	98.2	99.3	100.4	100.2
東北	残留率	66.3	65.4	66.5	66.4	67.1	67.4	67.6	69.3	71.3	70.4
	指数	100.0	98.6	100.3	100.2	101.2	101.7	102.0	104.5	107.5	106.2
北関東	残留率	60.8	61.6	61.6	63.8	64.2	65.0	66.1	65.5	66.1	65.5
	指数	100.0	101.3	101.3	104.9	105.6	106.9	108.7	107.7	108.7	107.7
南関東	残留率	60.6	61.2	61.6	61.4	62.0	61.2	62.6	62.1	64.3	65.3
	指数	100.0	101.0	101.7	101.3	102.3	101.0	103.3	102.5	106.1	107.8
甲信越	残留率	71.2	68.9	69.3	69.6	70.6	67.4	69.5	70.0	70.5	75.5
	指数	100.0	96.8	97.3	97.8	99.2	94.7	97.6	98.3	99.0	106.0
北陸	残留率	70.3	72.2	71.6	73.0	73.2	71.7	74.1	72.8	73.2	75.2
	指数	100.0	102.7	101.8	103.8	104.1	102.0	105.4	103.6	104.1	107.0
東海	残留率	75.5	75.6	74.3	74.2	74.9	74.5	75.8	75.5	77.1	76.2
	指数	100.0	100.1	98.4	98.3	99.2	98.7	100.4	100.0	102.1	100.9
近畿	残留率	67.1	66.6	67.1	67.1	67.8	65.8	67.4	67.4	70.0	69.5
	指数	100.0	99.3	100.0	100.0	101.0	98.1	100.4	100.4	104.3	103.6
中国	残留率	63.0	64.1	64.2	63.4	62.9	61.0	63.9	64.6	65.9	67.2
	指数	100.0	101.7	101.9	100.6	99.8	96.8	101.4	102.5	104.6	106.7
四国	残留率	71.5	70.3	72.0	71.5	73.8	72.1	71.8	70.3	72.2	74.2
	指数	100.0	98.3	100.7	100.0	103.2	100.8	100.4	98.3	101.0	103.8
九州沖縄	残留率	74.9	74.2	74.8	74.5	75.0	76.5	76.2	76.4	75.5	76.6
	指数	100.0	99.1	99.9	99.5	100.1	102.1	101.7	102.0	100.8	102.3

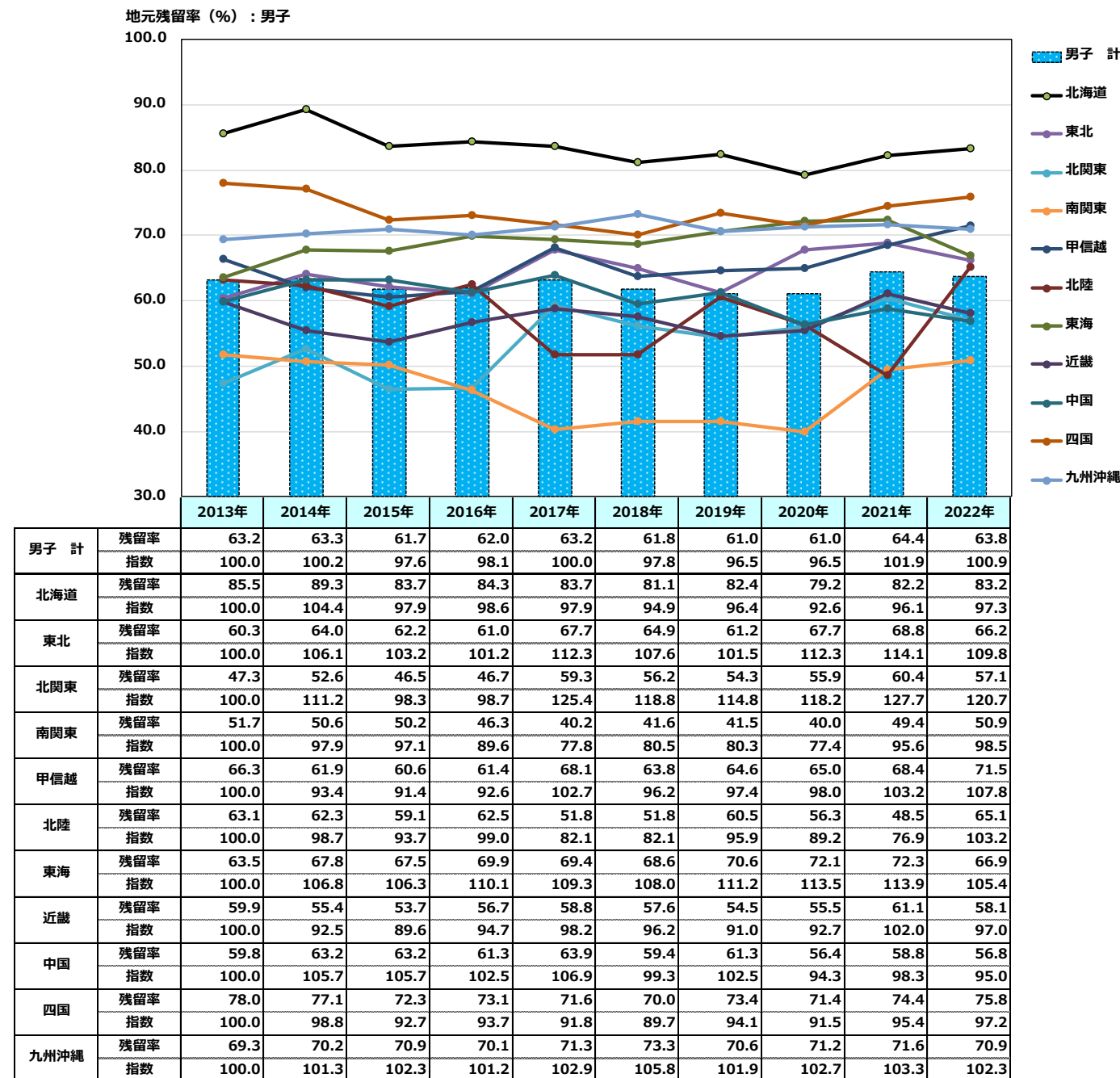
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（男子：短期大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年63.2%→2022年63.8%（0.6ポイント上昇）

- ・ 男子は2013年63.2%→2022年63.8%と0.6ポイント上昇。
- ・ 2022年上昇が高いのは、1位 北関東（120.7）、2位 東北（109.8）、3位 甲信越（107.8）。※注
- ・ 2022年残留率が高いのは、1位 北海道（83.2%）、2位 四国（75.8%）、3位 甲信越（71.5%）。
- ・ 2022年残留率が低いのは、1位 南関東（50.9%）、2位 中国（56.8%）、3位 北関東（57.1%）。

※注（ ）内は指数＝2013年を100として算出



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

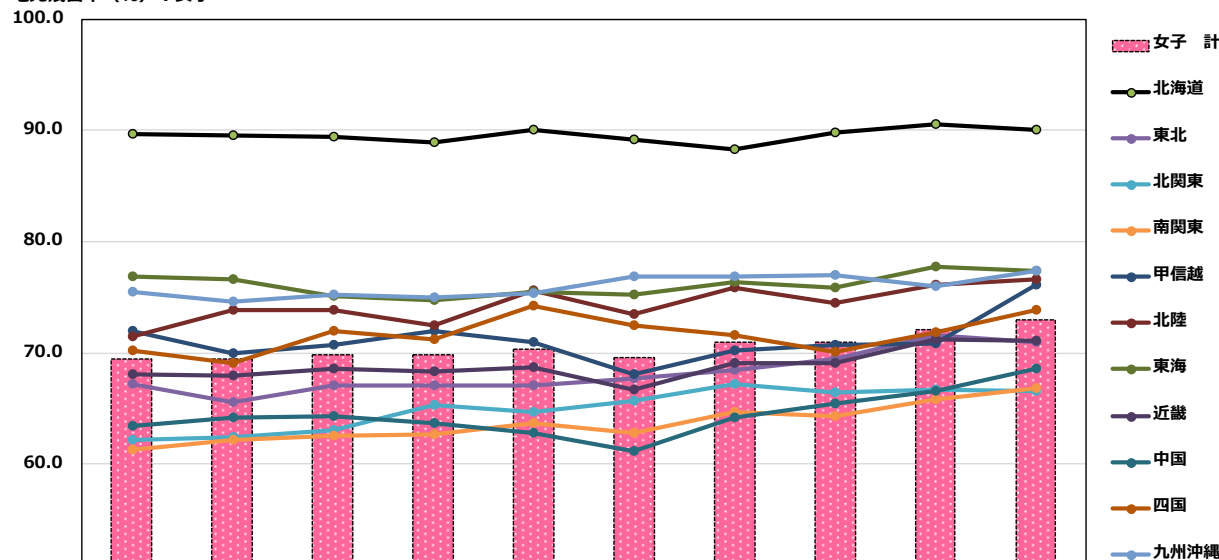
地元残留率の推移（女子：短期大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年69.5%→2022年72.9%（3.4ポイント上昇）

- ・女子は2013年69.5%→2022年72.9%と3.4ポイント上昇。
- ・2021年上昇が高いのは、1位 南関東（109.0）、2位 中国（108.2）、3位 北陸（107.1）。※注
- ・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（90.0%）、2位 東海・九州沖縄（77.4%）。
- ・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（66.5%）、2位 南関東（66.8%）、3位 中国（68.6%）

※注（）内は指数＝2013年を100として算出

地元残留率（%）：女子



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
女子 計	残留率	69.5	69.4	69.8	69.8	70.3	69.6	70.9	71.0	72.1	72.9
	指数	100.0	99.9	100.4	100.4	101.2	100.1	102.0	102.2	103.7	104.9
北海道	残留率	89.7	89.5	89.4	88.9	90.1	89.2	88.3	89.8	90.5	90.0
	指数	100.0	99.8	99.7	99.1	100.4	99.4	98.4	100.1	100.9	100.3
東北	残留率	67.2	65.6	67.0	67.1	67.1	67.7	68.4	69.5	71.6	71.0
	指数	100.0	97.6	99.7	99.9	99.9	100.7	101.8	103.4	106.5	105.7
北関東	残留率	62.2	62.4	63.0	65.3	64.7	65.7	67.2	66.4	66.7	66.5
	指数	100.0	100.3	101.3	105.0	104.0	105.6	108.0	106.8	107.2	106.9
南関東	残留率	61.3	62.2	62.5	62.6	63.7	62.8	64.6	64.3	65.8	66.8
	指数	100.0	101.5	102.0	102.1	103.9	102.4	105.4	104.9	107.3	109.0
甲信越	残留率	71.9	69.9	70.7	72.0	71.0	68.0	70.2	70.7	70.8	76.1
	指数	100.0	97.2	98.3	100.1	98.7	94.6	97.6	98.3	98.5	105.8
北陸	残留率	71.5	73.9	73.9	72.5	75.6	73.5	75.8	74.5	76.1	76.6
	指数	100.0	103.4	103.4	101.4	105.7	102.8	106.0	104.2	106.4	107.1
東海	残留率	76.8	76.6	75.1	74.7	75.5	75.2	76.4	75.9	77.7	77.4
	指数	100.0	99.7	97.8	97.3	98.3	97.9	99.5	98.8	101.2	100.8
近畿	残留率	68.0	67.9	68.5	68.3	68.7	66.7	69.0	69.1	71.2	71.1
	指数	100.0	99.9	100.7	100.4	101.0	98.1	101.5	101.6	104.7	104.6
中国	残留率	63.4	64.2	64.3	63.7	62.8	61.2	64.1	65.4	66.6	68.6
	指数	100.0	101.3	101.4	100.5	99.1	96.5	101.1	103.2	105.0	108.2
四国	残留率	70.2	69.1	71.9	71.2	74.2	72.4	71.6	70.1	71.8	73.9
	指数	100.0	98.4	102.4	101.4	105.7	103.1	102.0	99.9	102.3	105.3
九州沖縄	残留率	75.5	74.6	75.2	75.0	75.4	76.8	76.8	77.0	76.0	77.4
	指数	100.0	98.8	99.6	99.3	99.9	101.7	101.7	102.0	100.7	102.5

地元残留率（全体：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2022年）

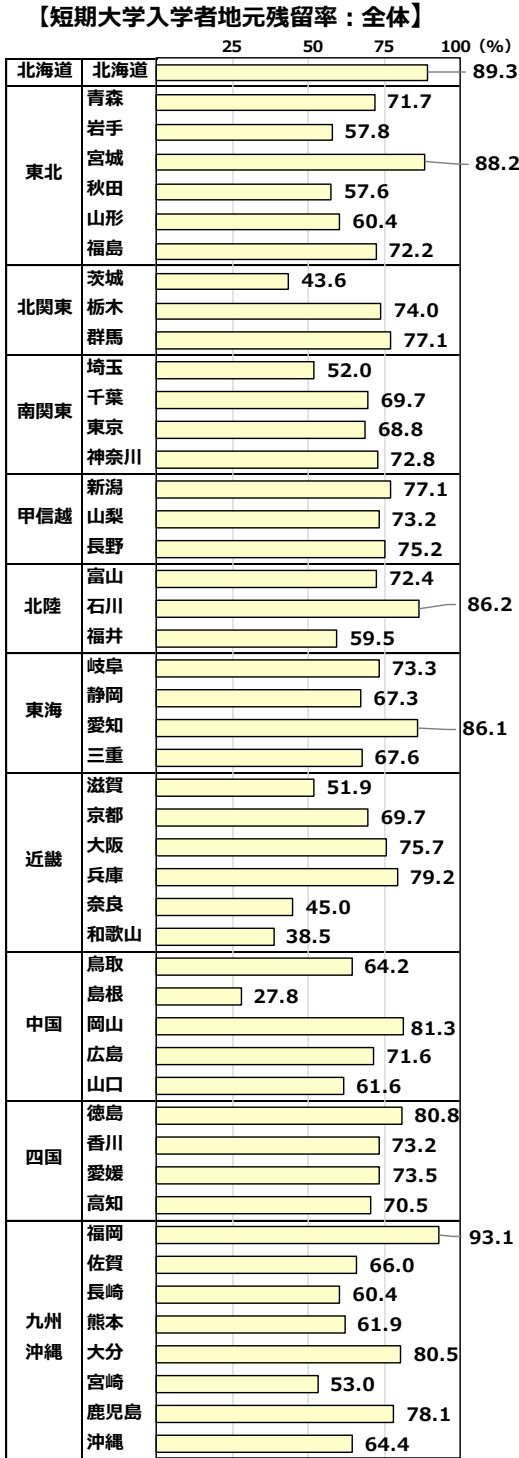
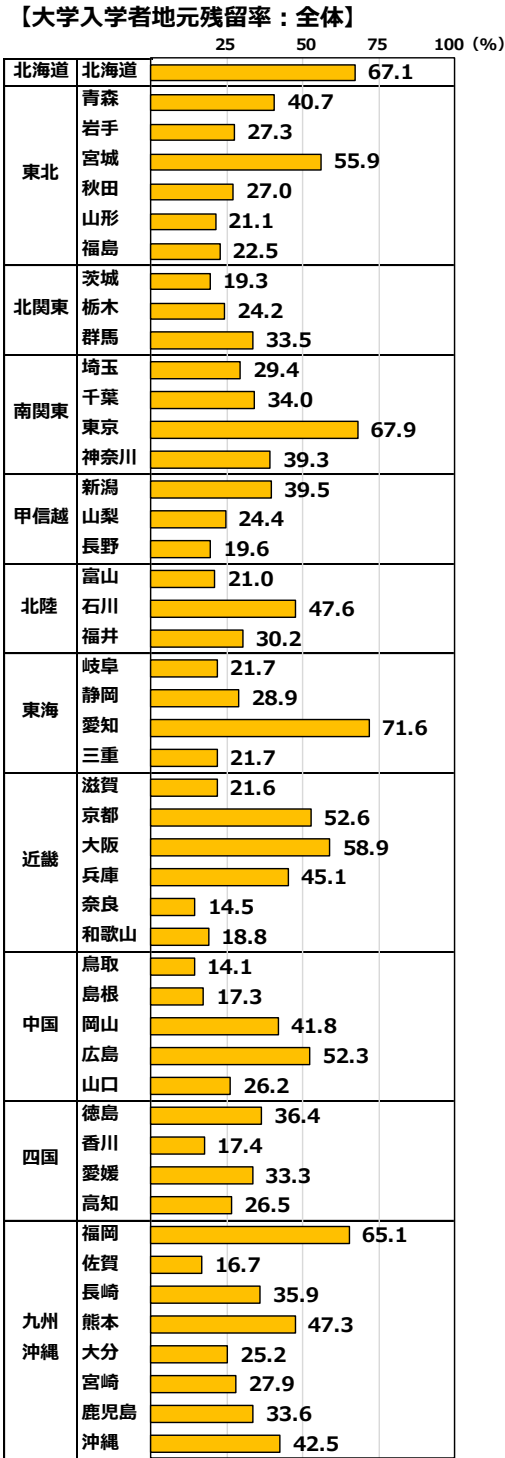
■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（71.6%）、2位 東京（67.9%）、3位 北海道（67.1%）
残留率が低いのは、1位 鳥取（14.1%）、2位 奈良（14.5%）、3位 佐賀（16.7%）

短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 福岡（93.1%）、2位 北海道（89.3%）、3位 宮城（88.2%）
残留率が低いのは、1位 島根（27.8%）、2位 和歌山（38.5%）、3位 茨城（43.6%）



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（男子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2022年）

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の残留率1位は福岡

大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（67.7%）、2位 北海道（67.1%）、3位 東京（64.9%）

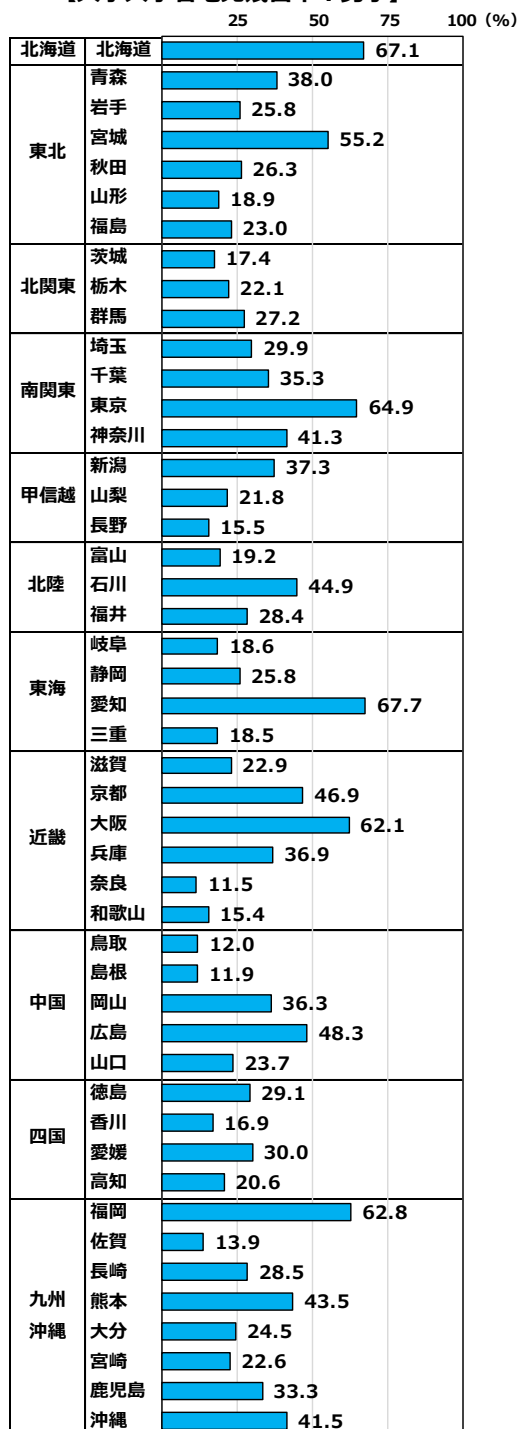
残留率が低いのは、1位 奈良（11.5%）、2位 島根（11.9%）、3位 鳥取（12.0%）

短期大学入学者地元残留率

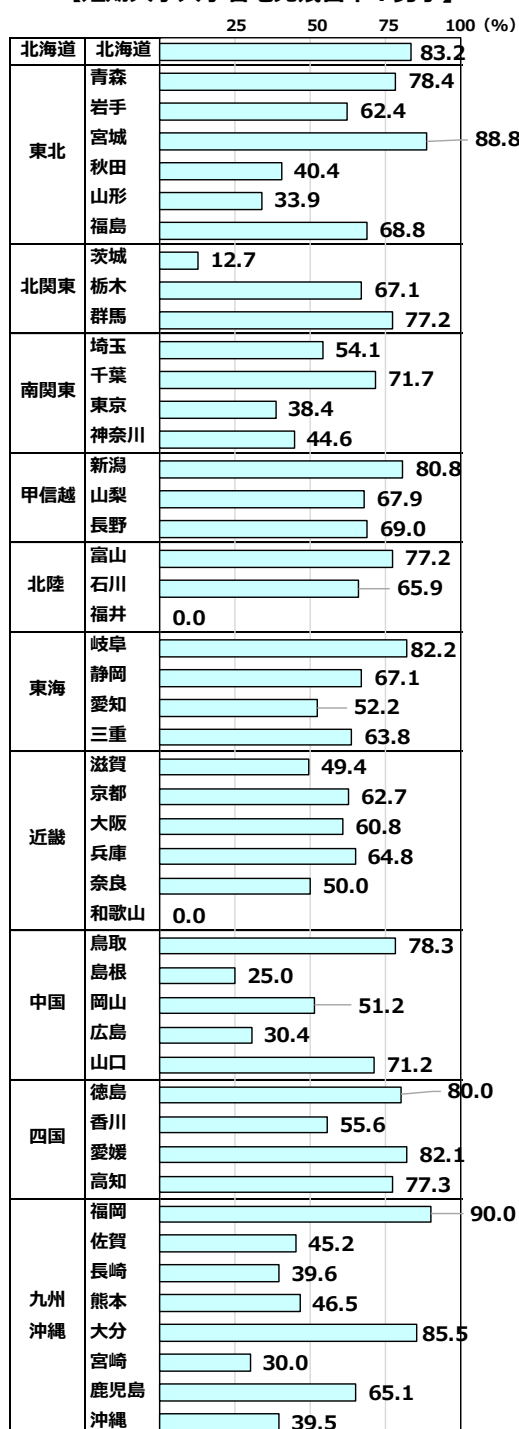
残留率が高いのは、1位 福岡（90.0%）、2位 宮城（88.8%）、3位 大分（85.5%）

残留率が低いのは、1位 茨城（12.7%）、2位 島根（25.0%）、3位 宮崎（30.0%）

【大学入学者地元残留率：男子】



【短期大学入学者地元残留率：男子】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（女子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2022年）

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（76.1%）、2位 東京（71.2%）、3位 福岡（67.7%）

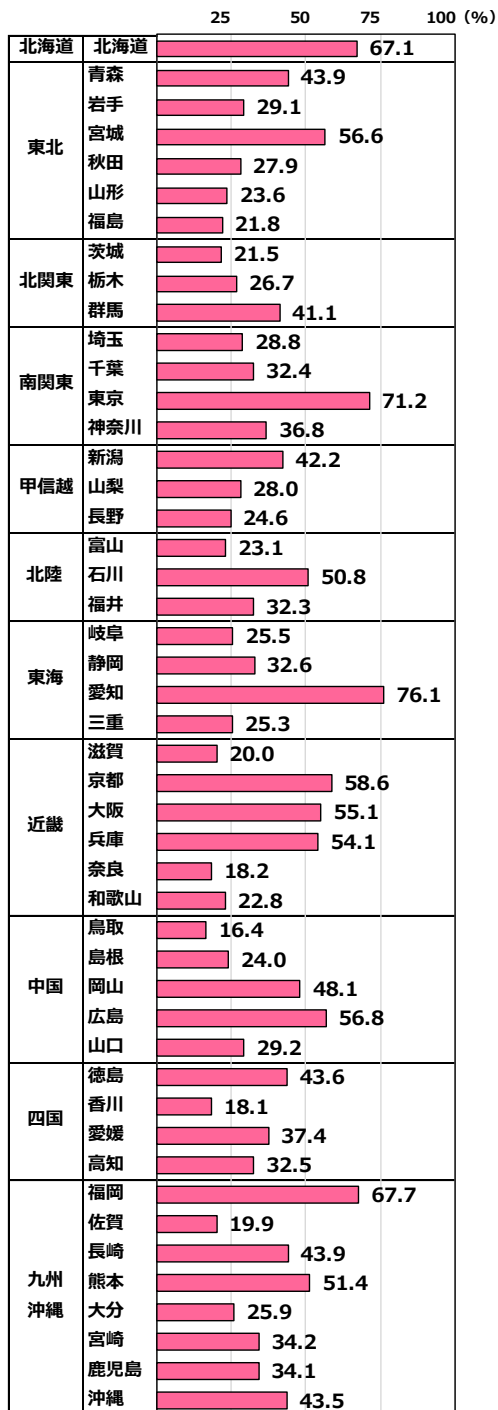
残留率が低いのは、1位 鳥取（16.4%）、2位 香川（18.1%）、3位 奈良（18.2%）

短期大学入学者地元残留率

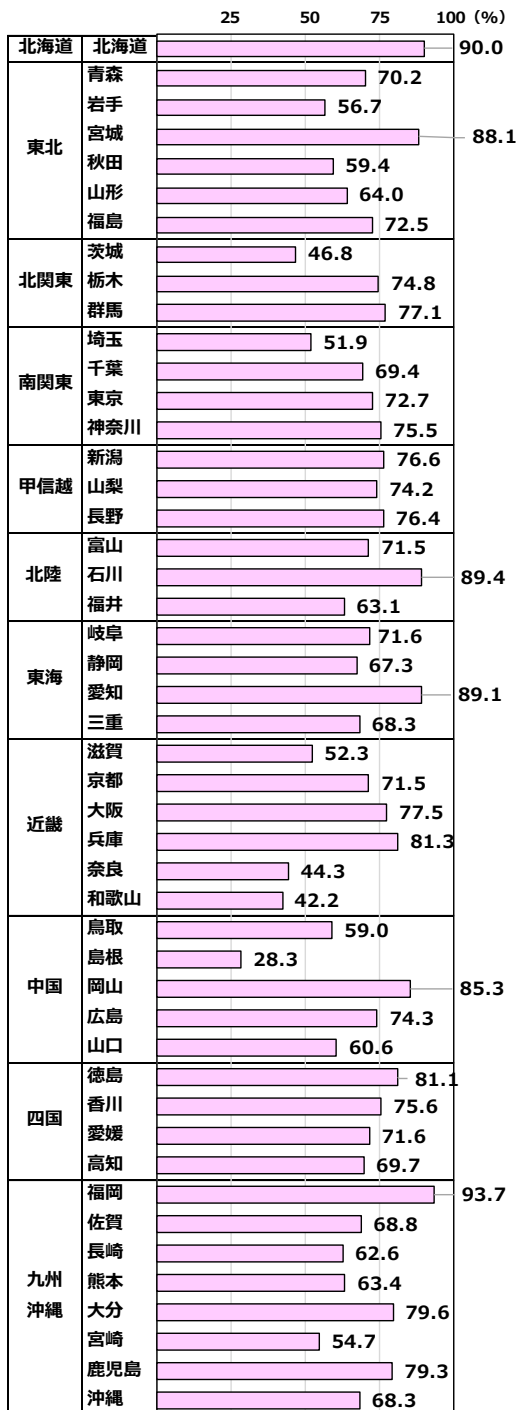
残留率が高いのは、1位 福岡（93.7%）、2位 北海道（90.0%）、3位 石川（89.4%）

残留率が低いのは、1位 島根（28.3%）、2位 和歌山（42.2%）、3位 奈良（44.3%）

【大学入学者地元残留率：女子】



【短期大学入学者地元残留率：女子】

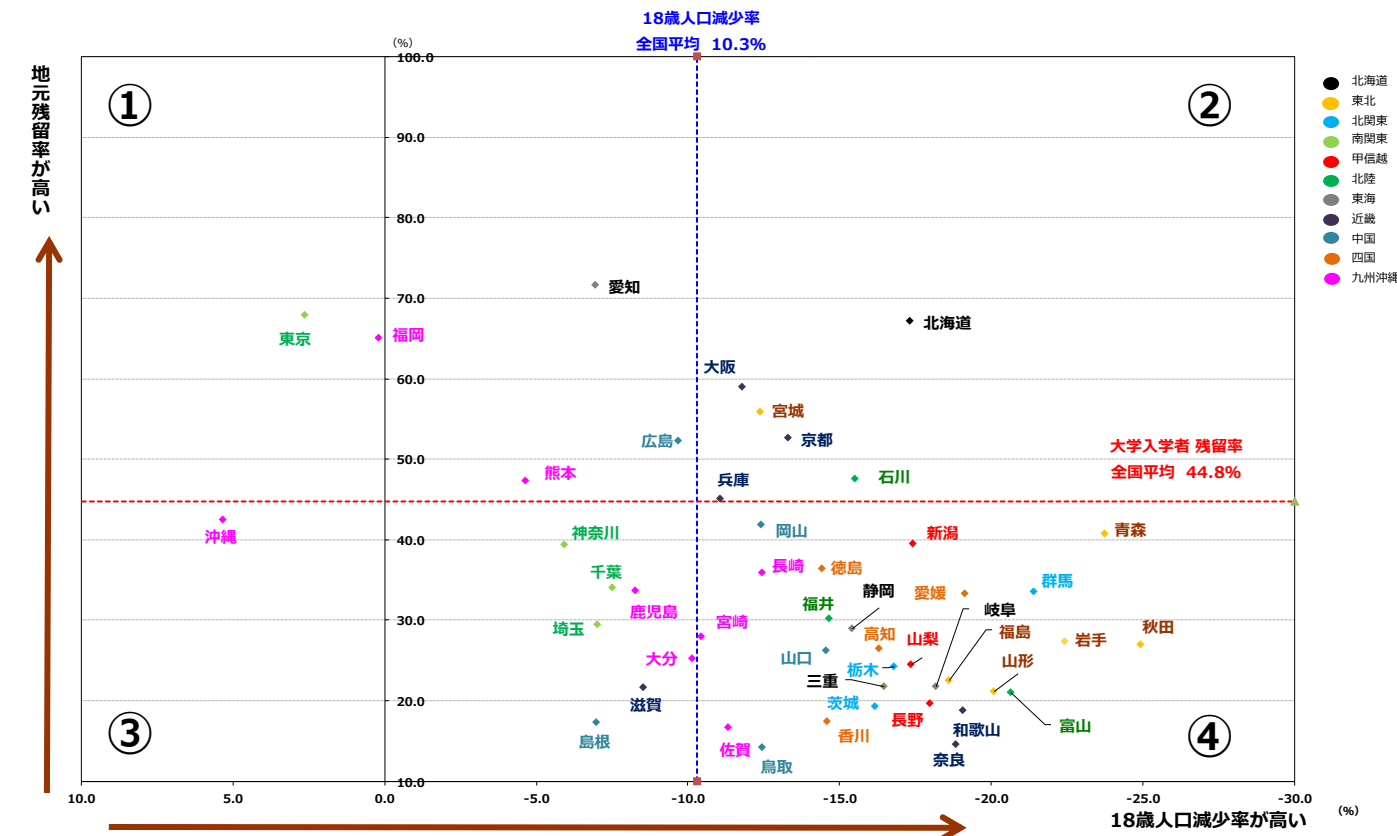


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■「象限④」（18歳人口減少率が高く地元残留率が低い）に多くの県が集まる

・全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。

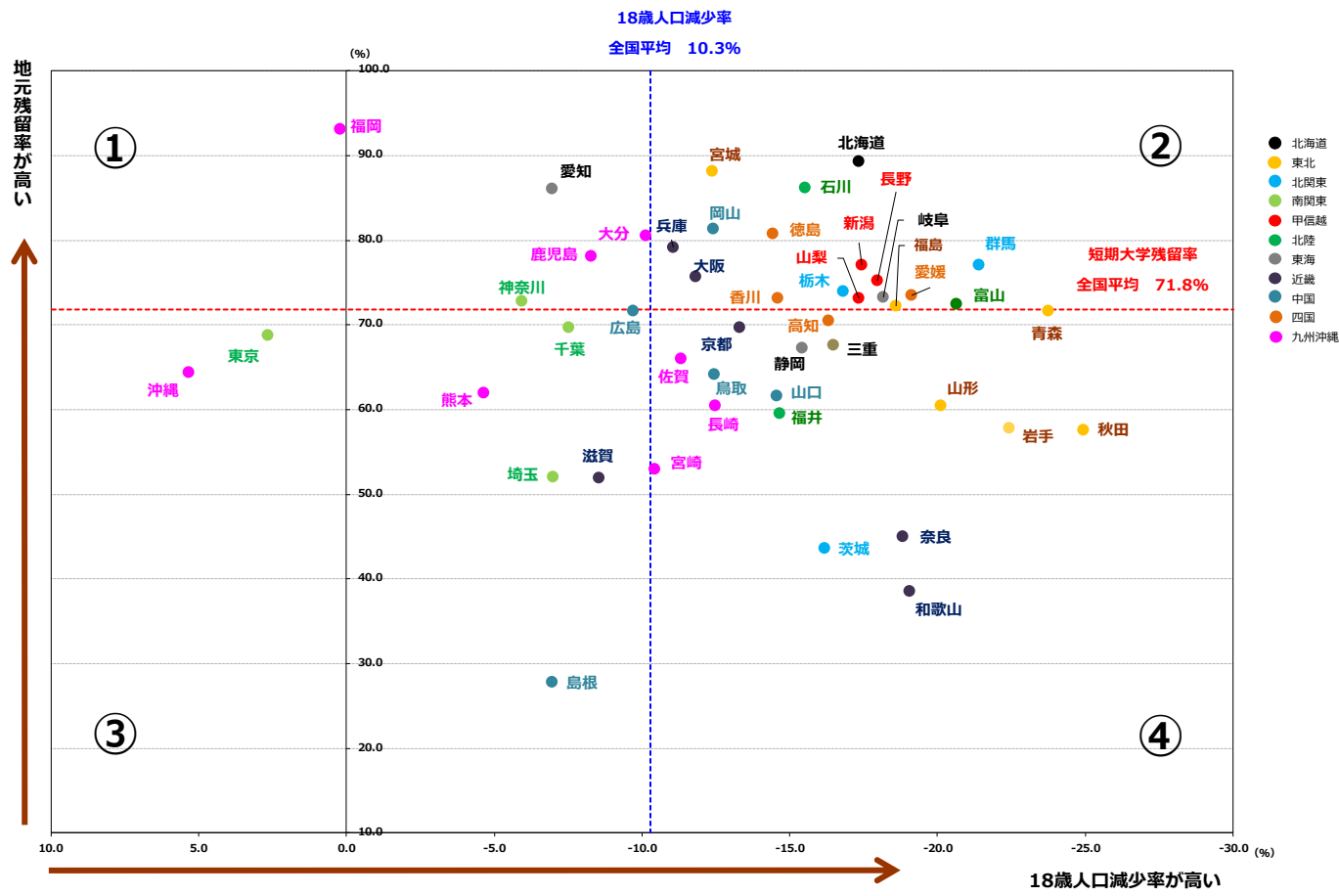
- 象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
：東京、愛知、広島、福岡、熊本
→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
- 象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
：北海道、宮城、石川、大阪、京都、兵庫
→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
- 象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
：神奈川、千葉、埼玉、滋賀、島根、大分、鹿児島、沖縄
→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
- 象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
：その他の県
→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



■大学進学者と比較すると、地元に残留する傾向が強い

- ・短期大学の特性として比較的地元密着の傾向が強く、大学進学者と比較すると地元残留率の平均が27.0ポイント高い。
- ・全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。

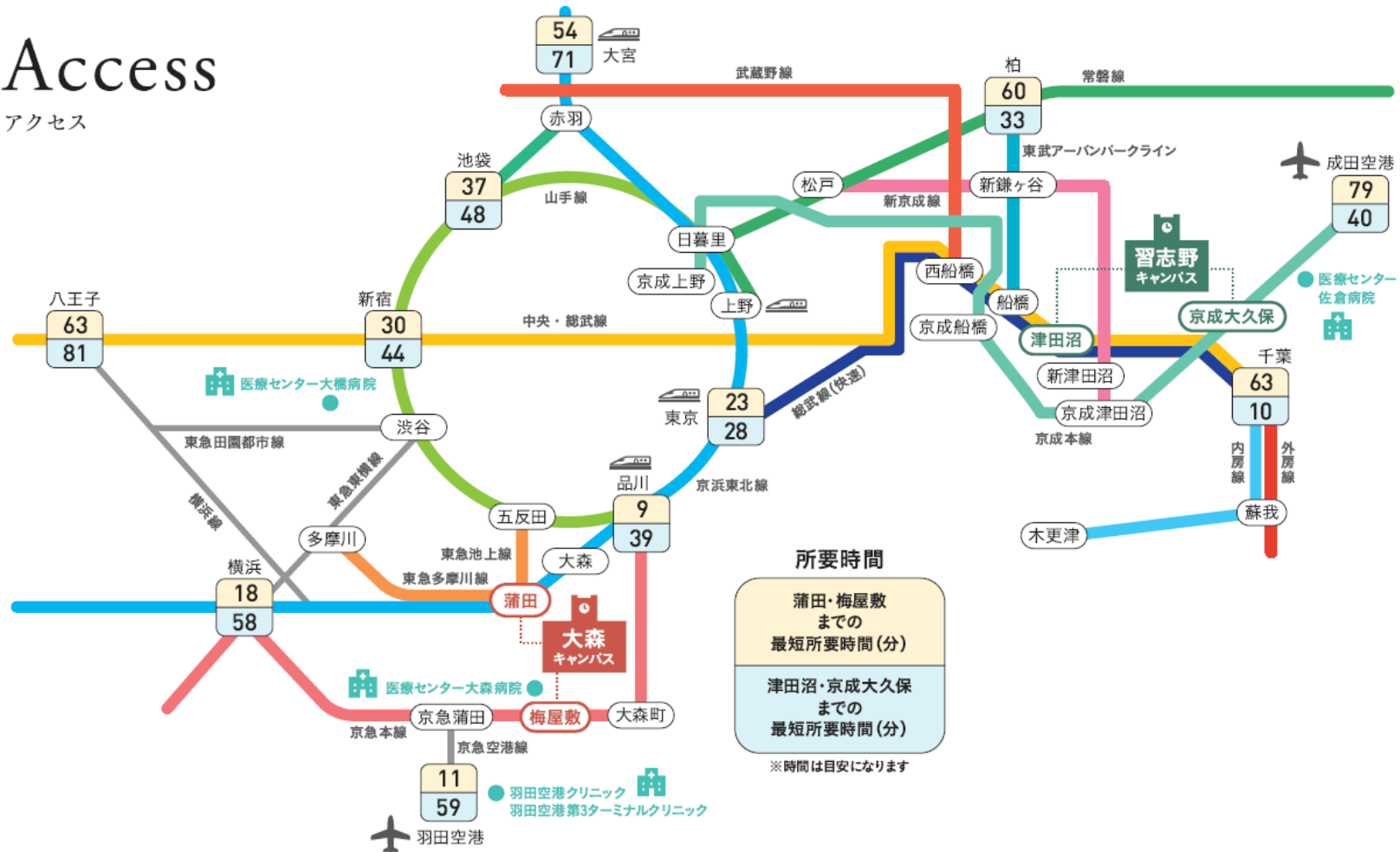
- 象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い**
：神奈川、愛知、福岡、大分、鹿児島
→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
- 象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い**
：北海道、宮城、福島、群馬、栃木、長野、新潟、山梨、岐阜、石川、富山、大阪、兵庫、岡山、徳島、香川、愛媛
→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
- 象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い**
：東京、埼玉、千葉、滋賀、広島、島根、熊本、沖縄
→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
- 象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い**
：その他の府県
→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



東邦大学習志野キャンパスへのアクセスマップ

Access

アクセス



一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルート合同調査

第10回
「高校生と保護者の進路に関する意識調査」
 2021年
 報告書

グローバル化や技術革新・AIの活用、環境問題など、急激で予測しづらい社会の変化をコロナ禍がさらに促進している今、教育においても、学習指導要領の改訂や入学者選抜改革など、戦後最大ともいわれる大きな変化の時を迎えています。このような状況の中で、高校生の進路観の育成、進路先の決定における保護者の関わりはますます重要になっています。行政、学校教育はむろんですが、高校生にとって最も身近な大人である「保護者」ができることは何でしょうか。

高校生と保護者の進路をめぐる意識と行動の実態を調べ、両者のよりよい意思疎通のあり方を研究するとともにその成果を広く社会に提言することを目的に、一般社団法人全国高等学校PTA連合会と株式会社リクルートは、全国の高校生をもつ保護者とその子どもに対して、コミュニケーションの実態と様々な進路観に関するアンケート調査を2003年より隔年で実施してまいりました。その10回目となる調査の分析結果をまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
 会長 泉 満
 進路対策委員長 山田博章

株式会社リクルート
 執行役員 教育・学習事業 山口文洋

▼本調査や「キャリアガイダンス」に関するお問い合わせ▼

(株) リクルート リクルート進学総研「キャリアガイダンス」編集部
<http://souken.shingakunet.com/>

※ この調査結果については、キャリア教育専門誌『キャリアガイダンス』Vol.441(リクルート)にも掲載しています。

※ 出版・印刷物等へデータ転載する際には、“一般社団法人全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ”と付記していただきますようお願い申し上げます。

26. 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由

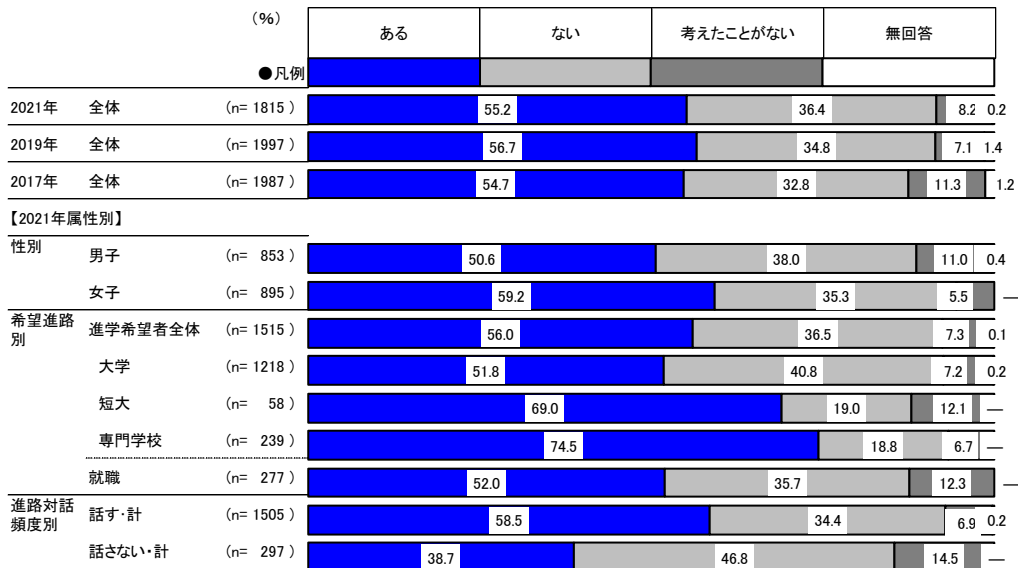
1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の55%が、将来就きたい職業が「ある」と回答。

▶ 就きたい職業は、「公務員」「教師」が上位。

- 高校生に対して、将来就きたい職業があるかどうかを尋ねたところ、55%が「ある」と回答した。
- 時系列ではあまり大きい変化はみられない。
- 性別にみると、男子（51%）より女子（59%）で「ある」割合が高い。
- 希望進路別にみると、就職希望者（52%）より進学希望者全体（56%）の方が「ある」割合がやや高い。進学希望者全体の中でも、短大進学希望者、専門学校進学希望者で「ある」割合が顕著に高い。
- 就きたい職業が「ある」と回答した高校生に対して、就きたい職業を具体的に尋ねたところ、全体では「公務員」（9%）、「教師」（9%）、「建築士・建築関連」（7%）などが上位となった。
- 性別にみると、男子では「建築士・建築関連」、女子では「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」がトップ。
- 「公務員」については、雇用や収入が「安定している」ことを理由とする高校生が多いが、「地元に貢献したい」「国を良くしたい」などの理由もみられた。また、2番目に多い「教師」については、学校生活での教師との接触経験から「あこがれを持った」ことを理由とする高校生が多い。

【高校生】将来、就きたい職業があるか（全体／単一回答）



26_K.Q18

【高校生】就きたい職業ランキング（就きたい職業が「ある」かつ 職業回答者／自由回答）

全体	(n=873)
1 公務員	80 9.2%
2 教師	79 9.0%
3 建築士・建築関連	60 6.9%
4 医師・歯科医師・獣医	53 6.1%
5 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	52 6.0%
6 看護師	51 5.8%
7 薬剤師	38 4.4%
8 技術者・研究者	35 4.0%
9 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	25 2.9%
10 イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	23 2.6%
11 会社員	22 2.5%
12 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	21 2.4%
13 俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	20 2.3%
14 エンジニア・プログラマー・IT関連	18 2.1%
製造業(自動車・造船など)	18 2.1%
16 トリマー・動物関連	16 1.8%
17 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	15 1.7%
18 学校職員・塾講師・教育関連	14 1.6%
インストラクター・スポーツトレーナー	14 1.6%
プロスポーツ選手・スポーツ関連	14 1.6%

男子	(n=361)
1 建築士・建築関連	47 13.0%
2 公務員	39 10.8%
3 教師	32 8.9%
4 技術者・研究者	23 6.4%
5 医師・歯科医師・獣医	22 6.1%
6 エンジニア・プログラマー・IT関連	18 5.0%
7 製造業(自動車・造船など)	16 4.4%
8 薬剤師	15 4.2%
9 イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	13 3.6%
10 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	11 3.0%
プロスポーツ選手・スポーツ関連	11 3.0%

女子	(n=480)
1 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	49 10.2%
2 教師	40 8.3%
看護師	40 8.3%
4 公務員	36 7.5%
5 医師・歯科医師・獣医	30 6.3%
6 薬剤師	21 4.4%
7 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	20 4.2%
8 会社員	18 3.8%
9 俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	14 2.9%
10 建築士・建築関連	12 2.5%

2) 保護者が子どもに将来就いてほしい職業

▶保護者の77%が、「子どもが希望する職業なら何でもよい」。将来就いてほしい職業が「ある」と回答したのは14%

- 保護者に対して、将来就いてほしい職業があるかどうかを尋ねたところ、「子どもの希望する職業なら何でもよい」が77%。一方、14%が「ある」と回答した。
- 時系列では、2019年と比較して「ある」割合が微増した。
- 続柄別にみると、父親（17%）の方が母親（14%）より「ある」割合が高いが、父親では「特にない」も12%と、母親と比較して高い。
- 就いてほしい職業が「ある」と回答した保護者に対して、就いてほしい職業を具体的に尋ねたところ、「公務員」（37%）が突出して高い。
- 理由としては「安定している」ことをあげる意見が圧倒的に多い。また、看護師、医師、医療事務、薬剤師などの医療関連の職業については、安定した職を得られる資格が取得できることを理由とする意見が多いが、親の希望という以前に、「子どもが目指している」ことが前提として挙げられている。

【保護者】将来、子どもに就いてほしい職業はあるか（全体／単一回答）

			ある	子どもが希望する 職業なら何でもよい	今まで 考えたことがない	特にない	無回答
●凡例							
2021年	全体	(n= 1529)	14.2	76.7	1.4	6.5	1.1
2019年	全体	(n= 1759)	11.4	78.5	1.6	5.4	3.1
2017年	全体	(n= 1722)	15.3	72.6	3.0	4.0	5.1
【2021年属性別】							
続柄別	父親	(n= 210)	17.1	68.1	1.4	12.4	1.0
	母親	(n= 1285)	13.9	78.3	1.3	5.7	0.9
子ども 性別	男子	(n= 705)	14.0	76.7	1.8	6.7	0.7
	女子	(n= 804)	14.6	77.1	0.9	6.5	1.0
希望進路 別	進学希望者全体	(n= 1006)	17.6	74.5	1.4	5.7	0.9
	大学	(n= 858)	17.2	74.9	1.4	5.7	0.7
	短大	(n= 44)	20.5	72.7	—	4.5	2.3
	専門学校	(n= 104)	19.2	71.2	1.9	5.8	1.9
	就職	(n= 137)	13.1	77.4	1.5	7.3	0.7
進路対話 頻度別	話す・計	(n= 1354)	14.3	77.5	1.3	5.8	1.1
	話さない・計	(n= 173)	12.7	71.1	2.3	12.7	1.2

【保護者】就いてほしい職業ランキング(就いてほしい職業が「ある」かつ 職業回答者／自由回答)

26_H_Q16

全体	(n=191)
1 公務員	70 36.6%
2 看護師	20 10.5%
3 医師・歯科医師・獣医	17 8.9%
医療事務・医療関連	17 8.9%
5 薬剤師	10 5.2%
6 教師	8 4.2%
保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	8 4.2%
8 技術者・研究者	7 3.7%
9 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	6 3.1%
10 エンジニア・プログラマー・IT関連	4 2.1%
11 建築士・建築関連	3 1.6%
12 学校職員・塾講師・教育関連	2 1.0%
救急救命士	2 1.0%
社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2 1.0%
会社員	2 1.0%
16 弁護士・裁判官・法律関係	1 0.5%
会計士・税理士・行政書士	1 0.5%
歯科衛生士・歯科技工士	1 0.5%
放射線技師・臨床検査技師	1 0.5%
管理栄養士・栄養士	1 0.5%
保健師	1 0.5%
通訳・翻訳・語学・国際関連	1 0.5%
俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	1 0.5%
店員・テーマパーク・サービス関連	1 0.5%
食品関連(加工・開発・製造など)	1 0.5%
デザイナー・設計士	1 0.5%
社長・経営者・起業家	1 0.5%

子どもの性別:男子	(n=84)
1 公務員	36 42.9%
2 医師・歯科医師・獣医	9 10.7%
3 医療事務・医療関連	8 9.5%
4 看護師	5 6.0%
5 薬剤師	5 6.0%
6 技術者・研究者	4 4.8%
7 建築士・建築関連	3 3.6%
8 教師	2 2.4%
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	2 2.4%
エンジニア・プログラマー・IT関連	2 2.4%

子どもの性別:女子	(n=106)
1 公務員	34 32.1%
2 看護師	15 14.2%
3 医療事務・医療関連	9 8.5%
4 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	8 7.5%
医師・歯科医師・獣医	8 7.5%
6 教師	6 5.7%
7 薬剤師	5 4.7%
8 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	4 3.8%
9 技術者・研究者	3 2.8%
10 社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2 1.9%
エンジニア・プログラマー・IT関連	2 1.9%

▶ 将来就きたい職業の理由【高校生】

- ・ **公務員（希望率9％）**
 - ・ 人のために働く姿がかっこいいと思ったから。法学に興味があるので、それを大学で学び、生かしたいから。[東京都/女子/大学]
 - ・ 地域のために働きたいから。[山形県/女子/就職]
 - ・ 新潟県内で一生暮らしたいから。社会貢献できるから。[新潟県/女子/大学]
 - ・ 一般の会社員よりも定期的に課や部が変わるので、マンネリ化しなさそうだから。地域について、もっとこうしたほうがいいのではないかなと思うことがあるから。[茨城県/女子/大学]
 - ・ 安定した仕事につきたいから。[新潟県/女子/大学]
 - ・ 給料が安定していて休みもしっかりあるから。[山形県/男子/大学]
 - ・ 国をより良くしたい 収入が安定している。[山形県/その他/大学]
- ・ **教師（希望率9％）**
 - ・ “先生”という人が身近にいたことがきっかけで、尊敬、憧れを持ったから。[和歌山県/女子/大学]
 - ・ ずっと憧れを持っていたから。[三重県/女子/大学]
 - ・ （自分のもつ）生徒や児童が、よりよい方向（将来）へ進んでほしいと思い、そうなるよう指導したいから。[三重県/男子/大学]
 - ・ 教えるのが好きだし、先生って大変だけど楽しそう。[東京都/女子/大学]
 - ・ 子どもの未来をつくって支えていきたいから。[北海道/男子/大学]
 - ・ 子どもたちが辛い思いをして学校に行くことがないようにしたいから。[新潟県/女子/大学]
 - ・ 自分が中学校高校の先生に知らなかった分野の興味を持たせてくれたので同じように私が子どもたちに視野を広げて色々なことに興味を持ってもらいたい。[東京都/女子/大学]
 - ・ 人と問題を解いた喜びを共有するのが好きだから。[三重県/無回答/大学]
- ・ **建築士・建築関連（希望率7％）**
 - ・ デザインが好きだから、憧れているから。[東京都/女子/大学]
 - ・ 家（建物）が好きだから。人生で1番大きい買い物に関われる、家を買う人が幸せになるために協力できることはとても幸せでやりがいのあることだと思うから。[三重県/女子/大学]
 - ・ 自分の考えた家が建っていたらすごいと思うから。[和歌山県/男子/大学]
 - ・ 高校に入って建築に興味を持ったから。[和歌山県/男子/専門学校]
- ・ **医師・歯科医師・獣医（希望率6％）**
 - ・ 過疎地や発展途上国での医療支援をして全ての人が平等に医療を受けられるようにしたいから。[沖縄県/女子/大学]
 - ・ 自分が小さいころからお世話になっていたし、あこがれていたから。[沖縄県/女子/大学]
 - ・ 生きる上で最も根本的で大切な部分である身体を支える職は意義があると思うから。そして感謝される職だから。[三重県/男子/大学]
 - ・ 責任が重い分やりがい強く感じられ、やりがいを感じることをやる気につながる自分にとって相性が良いと思ったから。[沖縄県/男子/大学]
- ・ **保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連（希望率6％）**
 - ・ 子どもと接するのが好きだから。[山形県/男子/大学]
 - ・ 子どもが大好きという理由もあるが、色んなことを教えたり、子どもの嬉しい顔を見ると、とても嬉しい気持ちになるから。[三重県/女子/専門学校]
 - ・ 小さい子どもが好き、絵本の読み聞かせが得意。ピアノが弾けて歌うことが好きな私には合っているのではないかなと思ったからです。[三重県/女子/専門学校]
 - ・ 小さい時から保育士にあこがれていた。色んな事を教えてくれて、今でもその事を思い出す時があって、自分もそんな風になりたいと思った。[三重県/女子/短大]

▶ 将来就いてほしい職業の理由【保護者】

- ・ **公務員（希望率37％）**
 - ・ 安定した職業だから。自分、配偶者、親が公務員で有り難みがわかるから。福利厚生を正々堂々と享受できる。[島根県/母親/女/大学]
 - ・ 社会に役に立つ人になってほしい。[島根県/母親/男/大学]
 - ・ 経済的な安定と働き手に保証がある。有休や福利厚生の充実。[山形県/母親/女/大学]
 - ・ 安定している。地元に残り、地元の為に働いて欲しい。[山形県/母親/女/大学]
 - ・ 子どもに合っていると思うから、安定した収入が確保され、生活がおちつくと思うから。[茨城県/母親/男/大学]
 - ・ 公務員=面白くないと言われがちだが、実際社会を動かすやりがいのある仕事であり、安定もしている。[和歌山県/母親/男/大学]
 - ・ 親が契約社員等の為、子どもには安定した職業で長く働いてほしい。[沖縄県/母親/女/大学]
- ・ **看護師（希望率11％）**
 - ・ 本人もなりたい意志があるようだし、安定しているから。[新潟県/母親/男/専門学校]
 - ・ 職に困らない。[沖縄県/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・ 国家試験は大変だろうが、その後は安定した求人がありそうだから。[新潟県/母親/女/専門学校]
 - ・ 国家資格を取ってほしいので。[三重県/母親/女/専門学校]
 - ・ 一生困らないような資格を身につけ、自立して生きていって欲しいから。“自分にしか出来ない事”を探し、「人のために」尽くして欲しい。[山形県/母親/女/大学]
 - ・ 病院に限らず介護施設や他の所でも働ける。男子なので結婚しても夜勤できる。人の役に立てる。[山形県/母親/男/子の希望なら何でも]
 - ・ 人の役に立てる仕事をしてもらいたい。[山形県/父親/女/専門学校]
- ・ **医師・歯科医師・獣医（希望率9％）**
 - ・ 本人の意思であり希望であるから。[茨城県/母親/女/大学]
 - ・ 昔から本人が熱望しており、是非実現して欲しいから。[茨城県/父親/男/大学]
 - ・ 子どもが幼い頃から希望している職業だから。目標を達成することができるよう、日々努力しているのを見ているから。[沖縄県/母親/男/大学]
- ・ **医療事務・医療関連（希望率9％）**
 - ・ 本人の子どもの頃からの夢だったので叶えて欲しい。親から見て、先の職業は合わないかと不安もあり、専門職として資格を取り社会へ貢献してほしい。[和歌山県/母親/男/大学]
 - ・ 資格があれば、どこでも働けるため。[山形県/母親/女/大学]
 - ・ 何か資格を持っていれば、結婚後なども仕事するのに有利なものとなりそうなので。[北海道/母親/女/子の希望なら何でも]
 - ・ 私が医療従事者だから。[山形県/母親/男/大学]
 - ・ 手に職。これからの時代、大事な職業だから。[山形県/母親/男/専門学校]
 - ・ コロナ禍であろうと、どんな事があろうと、医療関係の仕事は無くならないと思うので。[沖縄県/母親/女/大学]
- ・ **薬剤師（希望率5％）**
 - ・ 女性でも安定した収入が見込めること。将来の子育てとの両立。[沖縄県/母親/女/大学]
 - ・ 求人がどの時代にもあり、どこで生活する事になっても働ける資格を持ってほしいと思うから。[新潟県/母親/男/大学]
 - ・ 子どもが色々考え、将来就きたい仕事と言っているの。[新潟県/母親/男/大学]

南関東（千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県）設置薬系大学の志願者状況

大学名	平成30（2018）年度			平成31／令和元（2019）年度			令和2（2020）年度			令和3（2021）年度			令和4（2022）年度		
	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率	入学定員	志願者数	倍率
本 学 薬 学 部	220	2,288	10.40	220	1,900	8.64	220	2,096	9.53	220	1,891	8.60	220	2,005	9.11
城 西 大 学	250	1,435	5.74	250	1,317	5.27	250	973	3.89	250	900	3.60	250	866	3.46
日 本 薬 科 大 学	260	1,251	4.81	260	1,313	5.05	260	1,077	4.14	240	818	3.41	240	816	3.40
城 西 国 際 大 学	130	478	3.68	130	419	3.22	130	297	2.28	130	279	2.15	130	187	1.44
千 葉 科 学 大 学	120	284	2.37	120	289	2.41	120	250	2.08	120	224	1.87	100	214	2.14
帝 京 平 成 大 学	240	2,808	11.70	240	2,386	9.94	240	2,112	8.80	240	1,595	6.65	200	2,047	10.24
北 里 大 学	260	2,384	9.17	260	2,176	8.37	260	1,497	5.76	260	1,431	5.50	260	1,690	6.50
慶 應 義 塾 大 学	150	1,826	12.17	150	1,645	10.97	150	1,404	9.36	150	1,255	8.37	150	1,466	9.77
昭 和 大 学	200	1,813	9.07	200	1,754	8.77	200	1,207	6.04	200	1,067	5.34	200	1,282	6.41
昭 和 薬 科 大 学	240	2,411	10.05	240	2,541	10.59	240	2,191	9.13	240	1,841	7.67	240	2,073	8.64
帝 京 大 学	320	4,168	13.03	320	3,221	10.07	320	3,115	9.73	320	2,337	7.30	320	2,200	6.88
東 京 薬 科 大 学	420	2,935	6.99	420	2,821	6.72	420	2,546	6.06	420	2,510	5.98	420	2,367	5.64
東 京 理 科 大 学	100	2,229	22.29	100	2,155	21.55	100	2,050	20.50	100	1,839	18.39	100	2,085	20.85
日 本 大 学	244	2,547	10.44	244	1,875	7.68	244	1,648	6.75	244	1,432	5.87	244	1,398	5.73
星 薬 科 大 学	260	3,790	14.58	260	3,382	13.01	260	3,005	11.56	260	2,848	10.95	260	3,078	11.84
武 蔵 野 大 学	160	3,189	19.93	160	3,550	22.19	160	2,799	17.49	145	2,656	18.32	145	2,362	16.29
明 治 薬 科 大 学	300	3,456	11.52	300	3,207	10.69	300	2,960	9.87	300	2,652	8.84	300	2,455	8.18
横 浜 薬 科 大 学	340	3,311	9.74	340	2,929	8.61	340	2,370	6.97	340	2,000	5.88	340	2,258	6.64
湘 南 医 療 大 学										130	111	0.85	130	192	1.48
計	4,214	42,603	10.11	4,214	38,880	9.23	4,214	33,597	7.97	4,309	29,686	6.89	4,249	31,041	7.31

出典：日本私立薬科大学協会だより 第91号（平成30年6月）、第93号（令和元年6月）、第95号（令和2年6月）、第97号（令和3年6月）、第99号（令和4年6月）に掲載の各年度の
「私立薬科大学（薬学部）入学志願者調」より抜粋

競合校の令和4（2022）年度入試における志願者数等一覧

大学名	入学定員	受験志願者	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
東邦大学薬学部	220	2,005	9.1	1,930	514	241	1.10
日本大学薬学部	244	1,398	5.7	1,217	636	293	1.20
帝京大学薬学部	320	2,167	6.8	2,018	701	347	1.08
北里大学薬学部	260	1,690	6.5	1,627	507	265	1.02
昭和大学薬学部	200	1,282	6.4	1,163	389	200	1.00

出典：各大学のホームページ

過去5年間の入試状況

	入学定員	受験志願者	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
令和4（2022）年度入試	220	2,005	9.11	1,931	514	241	1.10
令和3（2021）年度入試	220	1,891	8.60	1,828	581	241	1.10
令和2（2020）年度入試	220	2,096	9.53	2,001	558	241	1.10
令和元（2019）年度入試	220	1,900	8.64	1,814	533	239	1.09
平成30（2018）年度入試	220	2,288	10.40	2,206	522	241	1.10

千葉県出身者の大学別一覧

()内は女子で内数

大学名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
城西大学	15 (8)	6 (6)	15 (7)	4 (3)	3 (1)
日本薬科大学	16 (10)	10 (7)	14 (6)	14 (9)	22 (9)
城西国際大学	82 (36)	79 (47)	88 (39)	70 (31)	46 (24)
千葉科学大学	25 (18)	23 (12)	20 (12)	26 (8)	22 (9)
帝京平成大学	45 (28)	39 (18)	42 (27)	35 (24)	41 (25)
北里大学	19 (11)	27 (17)	25 (17)	19 (10)	20 (11)
慶應義塾大学	14 (8)	14 (9)	12 (7)	14 (12)	16 (10)
昭和大学	9 (6)	6 (3)	12 (7)	12 (7)	11 (7)
昭和薬科大学	4 (2)	7 (5)	3 (3)	7 (2)	7 (3)
帝京大学	28 (18)	29 (16)	31 (26)	42 (30)	17 (10)
東京薬科大学	10 (7)	9 (6)	8 (4)	9 (5)	13 (4)
東京理科大学	29 (20)	23 (15)	18 (13)	18 (12)	18 (11)
東邦大学	155 (98)	155 (101)	135 (84)	128 (86)	129 (79)
日本大学	68 (47)	56 (29)	70 (40)	83 (52)	50 (35)
星薬科大学	30 (24)	36 (23)	36 (24)	53 (41)	43 (30)
武蔵野大学	6 (5)	11 (5)	7 (7)	7 (2)	6 (4)
明治薬科大学	20 (9)	20 (14)	19 (10)	17 (14)	27 (17)
横浜薬科大学	15 (6)	12 (7)	16 (11)	11 (8)	5 (2)
湘南医療大学*1				— —	— —
計	590 (361)	562 (340)	571 (344)	569 (364)	496 (291)

*1 令和3年度開学のため、令和4年度時点で3年生は在籍していない。

出典：日本私立薬科大学協会だより 第92号（平成30年11月）、第94号（令和元年11月）、第96号（令和2年11月）、第98号（令和3年11月）、第100号（令和4年11月）に掲載の各年度の「私立薬科大学（薬学部）在学生（3年生）出身校都道府県別調 6年制」より抜粋

令和4（2022）年度出張講義実施実績

日時	高校	担当	テーマ
【令和4（2022）年】			
5月23日（月）12:55～15:15	千葉県立国分高等学校（千葉県市川市）	松尾 和廣	薬物治療の個別化～患者さん1人1人に最適な薬物治療を目指して
6月11日（土）15:05～15:55	文教大学付属高等学校（東京都品川区）	松尾 和廣	薬物治療の個別化～患者さん1人1人に最適な薬物治療を目指して
6月22日（水）9:40～11:50	東京都立田園調布高等学校（東京都大田区）	日下部太一	薬学への招待
7月13日（水）10:00～14:45	千葉県立佐原高等学校（千葉県香取市）	桧貝 孝慈	ガンの遺伝子診断と個別化医療
7月14日（木）8:45～11:30	千葉県立八千代高等学校（千葉県八千代市）	高橋 瑞穂	薬学部って？薬剤師って？
7月14日（木）8:30～10:10	習志野市立習志野高等学校（千葉県習志野市）	真坂 互	病院薬剤師の魅力とは？
7月15日（金）13:10～15:40	茨城県立水戸第三高等学校（茨城県水戸市）	成末 憲治	薬学部ってどんなところ？
9月22日（木）12:30～15:35	千葉県立銚子高等学校（千葉県銚子市）	桧貝 孝慈	がんの遺伝子診断と個別化医療
9月30日（金）9:30～11:40	市原中央高等学校（千葉県市原市）	飯坂 洋平	抗菌薬VS病原菌
10月3日（月）12:55～16:00	千葉県立茂原高等学校（千葉県茂原市）	東 祐太郎	ガンに対する免疫応答と治療への応用
10月6日（木）14:00～15:20	千葉県立市川東高等学校（千葉県市川市）	永澤 悦伸	〇〇〇だけじゃない。薬剤師！-拓がる活躍の場を知ろう-
10月17日（月）13:55～15:25	山梨県立甲府東高等学校（山梨県甲府市）	桧貝 孝慈	がんの遺伝子診断と個別化医療
11月9日（水）13:45～15:45	千葉県立匝瑳高等学校（千葉県匝瑳市）	日下部太一	薬学への招待
11月10日（木）13:00～15:20	千葉県立市川東高等学校（千葉県市川市）	行方衣由紀	薬学への招待／心臓の譲る薬を創る
11月15日（火）15:00～16:30	順天高等学校（東京都北区）	田中 光	心臓は電気とカルシウムイオンで動いている
11月24日（木）14:25～15:15	千葉県立佐原白楊高等学校（千葉県香取市）	植草 秀介	薬学部で学ぶことと薬剤師の役割
11月28日（月）12:55～15:15	埼玉県立草加高等学校（埼玉県草加市）	花井 雄貴	一人ひとりの患者を救うために薬剤師ができること
11月28日（月）15:45～16:45	淑徳巣鴨高等学校（東京都豊島区）	田中 博之	薬物治療法の個別化
12月7日（水）11:30～13:00	関東第一高等学校（東京都江戸川区）	津山 崇	遺伝子って？DNAとは？
12月15日（木）9:00～10:00	明治学院高等学校（東京都港区）	松尾 和廣	薬物療法の個別化
12月19日（月）11:30～13:00	関東第一高等学校（東京都江戸川区）	津山 崇	がんの遺伝子診断と個別化医療
12月19日（月）8:40～11:25	千葉県立銚子高等学校（千葉県銚子市）	松尾 和廣	薬物治療の個別化～患者さん1人1人に最適な薬物治療を目指して～
12月20日（火）8:30～10:00	習志野市立習志野高等学校（千葉県習志野市）	小野田稔久	救急医療における薬剤と薬剤師の役割
12月21日（水）9:00～11:20	千葉県立習志野高等学校（千葉県習志野市）	成末 憲治	薬学部ってどんなところ？
12月21日（水）9:10～11:30	東京都立小岩高等学校（東京都江戸川区）	田中 博之	薬剤師の仕事の裏側を見てみよう
12月21日（水）8:45～11:10	千葉県立千葉北高等学校（千葉県千葉市）	日下部太一	薬学への招待
【令和5（2023）年】			
1月6日（金）13:00～15:00	関東第一高等学校（東京都江戸川区）*1	桧貝・津山	がん細胞の弱点をさがせ！
3月6日（月）9:10～12:00	共栄学園高等学校（東京都葛飾区）	永澤 悦伸	聴いて触って確かめる薬の効き目と副作用
3月16日（木）12:30～14:00	敬愛学園高等学校（千葉県千葉市）	氷川 英正	新しいクスリはどのように創れるのか（創薬化学）
3月17日（金）9:30～12:00	大東文化大学第一高等学校（東京都板橋区）	高橋 瑞穂	「薬学部って？薬剤師って？」

*1 本学で実施

東邦大学 御中

東邦大学 薬学部
収容定員増（計画中）
に関する人材需要調査

【病院・薬局・企業等への採用意向】

調査結果報告書

2023年3月

株式会社 リクルート

株式会社 アンド・ディ



目次

▶ 調査概要	3
▶ 調査結果	7
・ サマリー①	8
・ サマリー②	9
・ 回答企業等のプロフィール	10
・ 薬剤師の量的な確保状況	12
・ 薬剤師の質的な確保状況	13
・ 採用意向人数	14
・ <採用実績>2022年の採用状況	15
・ <採用実績>2022年の目標採用人数の充足状況	16
・ <採用予定>2023年の採用見込み	17
・ 東邦大学薬学部での学びの特徴	18
・ 東邦大学薬学部学生の新卒採用意向	20
▶ 調査票・呈示資料	21

調査概要

▶調査目的

- ・ 東邦大学が計画している薬学部の新卒定員の増加について、周辺エリアを中心とした全国の病院・薬局・企業等に学部の新卒の必要性・卒業生の採用検討意向をアンケート調査し、受容性を確認する。

▶調査対象と調査方法

- ・ 東邦大学薬学部の新卒生の採用実績がある病院・薬局・企業等
- ・ 調査対象病院・薬局・企業等に調査票を送付し、郵送で回収。

▶調査期間

- ・ 2022年12月28日（水）～2023年2月1日（水）

▶有効回答数

- ・ 328社（有効回答率39.5%） 発送数830社に対し

▶調査機関

- ・ 株式会社アンド・ディ

▶調査協力企業・団体

- 回答企業・団体 328社
- 内訳：
 - 病院 94施設(28.7%)
 - 保険薬局・ドラッグストア 182社(55.5%)
 - その他 52企業・団体(15.9%)

【病院】

No.	回答企業名	所在地	従業員規模
1	福島県厚生農業協同組合連合会	福島県	1,000~2,999人
2	医療法人社団 協栄会 大久保病院	茨城県	300~499人
3	社会医療法人社団 光仁会 総合守谷第一病院	茨城県	300~499人
4	医療法人社団 常仁会 牛久愛和総合病院	茨城県	500~999人
5	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会 龍ヶ崎済生会病院	茨城県	500~999人
6	一般財団法人筑波麗仁会 筑波学園病院	茨城県	500~999人
7	水戸赤十字病院	茨城県	500~999人
8	水戸協同病院	茨城県	500~999人
9	茨城西南医療センター病院	茨城県	500~999人
10	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会 水戸済生会総合病院	茨城県	1,000~2,999人
11	地方独立行政法人 新小山市市民病院	栃木県	500~999人
12	公益財団法人老年病研究所附属病院	群馬県	300~499人
13	社会医療法人 輝城会 沼田脳神経外科循環器科病院	群馬県	1,000~2,999人
14	高崎総合医療センター	群馬県	1,000~2,999人
15	医療法人社団協友会 東川口病院	埼玉県	300~499人
16	医療法人社団協友会 越谷誠和病院	埼玉県	300~499人
17	医療法人社団協友会 八潮中央総合病院	埼玉県	500~999人
18	東埼玉病院	埼玉県	500~999人
19	社会医療法人 熊谷総合病院	埼玉県	500~999人
20	越谷市立病院	埼玉県	500~999人
21	川口市立医療センター	埼玉県	1,000~2,999人
22	埼玉県病院局	埼玉県	1,000~2,999人
23	上尾中央医療グループ協議会	埼玉県	10,000人以上
24	社会福祉法人ユウカリ優都会 南ヶ丘病院	千葉県	50~99人
25	医療法人 鎗田病院	千葉県	100~299人
26	医療法人社団 徳風会 高根病院	千葉県	100~299人
27	下総精神医療センター	千葉県	100~299人
28	医療法人社団一条会 一条会病院	千葉県	100~299人
29	医療法人徳洲会 館山病院	千葉県	300~499人
30	特定医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院	千葉県	300~499人
31	千葉県海浜病院	千葉県	300~499人
32	地方独立行政法人さんむ医療センター	千葉県	300~499人
33	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院	千葉県	300~499人
34	医療法人社団創造会 平和台病院	千葉県	300~499人
35	医療法人社団慈優会 九十九里病院	千葉県	300~499人
36	医療法人社団真療会 野田病院	千葉県	300~499人
37	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院	千葉県	500~999人
38	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院	千葉県	500~999人
39	医療法人社団誠馨会 セコモディック病院	千葉県	500~999人
40	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	千葉県	500~999人
41	社会医療法人社団蛭水会 名戸ヶ谷病院	千葉県	500~999人
42	医療法人社団創造会 みつわ台総合病院	千葉県	500~999人
43	医療法人徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	千葉県	500~999人
44	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	千葉県	500~999人
45	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉ろうさい病院	千葉県	500~999人
46	医療法人社団淳英会おゆみの中央病院	千葉県	500~999人
47	医療法人財団明理会 行徳総合病院	千葉県	500~999人
48	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 千葉県済生会習志野病院	千葉県	500~999人
49	医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院	千葉県	1,000~2,999人
50	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院	千葉県	1,000~2,999人
51	東京歯科大学市川総合病院	千葉県	1,000~2,999人
52	東京女子医科大学附属八千代医療センター	千葉県	1,000~2,999人
53	松戸市立総合医療センター	千葉県	1,000~2,999人
54	独立行政法人 地域医療機能推進機構 関東地区事務所	東京都	100~299人
55	独立行政法人 地域医療機能推進機構 東日本地区東京城東病院	東京都	100~299人
56	医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院	東京都	300~499人
57	独立行政法人 国立病院機構 関東信越グループ	東京都	300~499人
58	社会福祉法人聖母会 聖母病院	東京都	300~499人
59	医療法人財団明理会 明理会東京大和病院	東京都	300~499人
60	医療法人社団松和会 池上総合病院	東京都	500~999人
61	社会福祉法人あそか会 あそか病院	東京都	500~999人
62	医療法人社団明里会 明里会中央総合病院	東京都	500~999人
63	日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	東京都	500~999人
64	日本医科大学多摩永山病院	東京都	500~999人
65	一般財団法人博慈会博慈会記念総合病院	東京都	500~999人
66	公益財団法人 井之頭病院	東京都	500~999人
67	社会医療法人財団 大和会	東京都	1,000~2,999人
68	聖路加国際病院	東京都	1,000~2,999人
69	社会福祉法人仁生社 江戸川病院	東京都	1,000~2,999人
70	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	東京都	1,000~2,999人
71	社会医療法人社団東京巨樹の会 東京品川病院	東京都	1,000~2,999人
72	社会医療法人社団森山医会 森山記念病院	東京都	1,000~2,999人
73	医療法人社団明芳会 高島平中央総合病院	東京都	10,000人以上
74	独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院	東京都	10,000人以上
75	IMSグループ本部	東京都	10,000人以上
76	箱根病院	神奈川県	100~299人
77	医療法人邦友会 小田原循環器病院	神奈川県	100~299人
78	医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院	神奈川県	500~999人
79	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 神奈川県済生会 済生会横浜市南部病院	神奈川県	1,000~2,999人
80	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 神奈川県済生会 済生会横浜市東部病院	神奈川県	1,000~2,999人
81	独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院	神奈川県	1,000~2,999人
82	学校法人聖マリアンナ医科大学	神奈川県	5,000~9,999人
83	医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院	神奈川県	10,000人以上
84	新潟県立坂町病院	新潟県	100~299人
85	新潟医療生活協同組合 木戸病院	新潟県	500~999人
86	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県	500~999人
87	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟病院	新潟県	500~999人
88	日本赤十字社長岡赤十字病院	新潟県	1,000~2,999人
89	甲府病院	山梨県	300~499人
90	信州上田医療センター	長野県	500~999人
91	長野県厚生農業協同組合連合会	長野県	5,000~9,999人
92	富士市立中央病院	静岡県	500~999人
93	静岡県厚生農業協同組合連合会	静岡県	1,000~2,999人
94	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 法人本部	静岡県	10,000人以上

【保険薬局・ドラッグストア】

No.	回答企業名	所在地	従業員規模
1	株式会社ライブリー	岩手県	100～299人
2	H2STATION株式会社	宮城県	100～299人
3	有限会社ファーマシーすず	山形県	100～299人
4	会喜調剤薬局グループ	福島県	50～99人
5	株式会社くすりのマルト	福島県	500～999人
6	株式会社コスモファーマ東京	福島県	1,000～2,999人
7	株式会社アサヒ	茨城県	50人未満
8	株式会社ベルクラン薬学社	茨城県	50人未満
9	株式会社JM	茨城県	50人未満
10	有限会社ファーマティカ	茨城県	50人未満
11	有限会社スター調剤薬局本部	茨城県	50～99人
12	有限会社正企	茨城県	50～99人
13	あけぼのファーマシーグループ	茨城県	50～99人
14	株式会社サンテ	茨城県	100～299人
15	株式会社協和ホスピタルサービス	茨城県	100～299人
16	株式会社フォルマン	栃木県	50人未満
17	株式会社かみや薬局	栃木県	50～99人
18	株式会社ジェビー	栃木県	100～299人
19	株式会社メディカルグリーン	栃木県	100～299人
20	ファーマシー中山株式会社	栃木県	100～299人
21	株式会社パワーファーマシー	栃木県	100～299人
22	株式会社エフアンドエフ	栃木県	100～299人
23	株式会社ピノキオ薬局	栃木県	300～499人
24	株式会社フレンド	栃木県	500～999人
25	株式会社フラント	群馬県	50～99人
26	富士薬局グループ	群馬県	50～99人
27	株式会社黒沢薬局	埼玉県	50人未満
28	有限会社メディカルエム	埼玉県	50人未満
29	株式会社大慶堂	埼玉県	50～99人
30	わかば薬局グループ本部	埼玉県	50～99人
31	有限会社エム・アイ・イー	埼玉県	50～99人
32	大洋薬品株式会社	埼玉県	50～99人
33	中川調剤株式会社	埼玉県	50～99人
34	株式会社サイファーク企画	埼玉県	50～99人
35	オムニバスグループ	埼玉県	100～299人
36	株式会社タウンメディカル	埼玉県	100～299人
37	株式会社ヴェルベンファルマ	埼玉県	100～299人
38	株式会社飛鳥薬局	埼玉県	100～299人
39	株式会社・バル・オネスト	埼玉県	100～299人
40	イトロン株式会社	埼玉県	100～299人
41	コスモプラス株式会社	埼玉県	300～499人
42	シーエスグループ	埼玉県	300～499人
43	株式会社エクワイ	埼玉県	300～499人
44	株式会社セキ薬品	埼玉県	5,000～9,999人
45	株式会社カナマツ	千葉県	50人未満
46	株式会社健生	千葉県	50人未満
47	有限会社西川永生堂	千葉県	50人未満
48	株式会社三学	千葉県	50人未満
49	豊四季ファーマシーグループ	千葉県	50人未満
50	有限会社ウエルストン薬局	千葉県	50人未満
51	有限会社タカダ薬局	千葉県	50人未満
52	株式会社大樹	千葉県	50人未満
53	株式会社マリン	千葉県	50人未満
54	株式会社エビス薬局	千葉県	50人未満
55	有限会社アワメディカル	千葉県	50人未満
56	株式会社みずきファーマシー	千葉県	50人未満
57	有限会社ミヤマ薬局	千葉県	50人未満
58	株式会社薬王	千葉県	50人未満
59	株式会社古山薬局	千葉県	50人未満
60	有限会社安藤薬局	千葉県	50人未満
61	株式会社エム	千葉県	50人未満
62	有限会社みつわ	千葉県	50人未満
63	株式会社社外苑企画商事	千葉県	50～99人
64	武市薬局株式会社	千葉県	50～99人
65	(株)マキノコーポレーション	千葉県	50～99人
66	富沢産業株式会社	千葉県	50～99人
67	株式会社サンメディカルコーポレーション	千葉県	50～99人
68	株式会社柏龍堂	千葉県	50～99人
69	A.S.O調剤薬局株式会社	千葉県	50～99人
70	有限会社レインフィールド企画	千葉県	50～99人
71	株式会社マル・コーポレーション	千葉県	100～299人
72	一般社団法人千葉保健共同企画	千葉県	100～299人
73	株式会社アオノ	千葉県	100～299人
74	有限会社毎日薬局	千葉県	100～299人
75	株式会社健栄	千葉県	100～299人
76	株式会社アシスト	千葉県	100～299人
77	有限会社エド川薬局	千葉県	100～299人
78	株式会社タカサ	千葉県	500～999人
79	株式会社千葉薬品	千葉県	3,000～4,999人
80	株式会社くすりの福太郎	千葉県	3,000～4,999人
81	有限会社クロバー	東京都	50人未満
82	一心堂漢方株式会社	東京都	50人未満
83	有限会社ヤジマ	東京都	50人未満
84	有限会社よしだ薬局	東京都	50人未満
85	株式会社エクスパンディングファーマシー	東京都	50人未満
86	株式会社和光	東京都	50人未満
87	有限会社ケアブレン	東京都	50人未満
88	東都ファーマシーグループ	東京都	50～99人
89	みどり調剤薬局有限会社	東京都	50～99人
90	株式会社ファーマテック	東京都	50～99人
91	株式会社八王子薬剤センター	東京都	50～99人

No.	回答企業名	所在地	従業員規模
92	株式会社フォルテシモ	東京都	50～99人
93	有限会社アオキドラッグ	東京都	50～99人
94	株式会社メリファ	東京都	50～99人
95	株式会社フロンティアファーマシー	東京都	50～99人
96	有限会社はなぞの薬局	東京都	50～99人
97	株式会社竹内調剤薬局	東京都	100～299人
98	株式会社水戸薬局	東京都	100～299人
99	株式会社龍生堂本店	東京都	100～299人
100	一般社団法人東京メディエール	東京都	100～299人
101	株式会社こはぶきメディカル	東京都	100～299人
102	株式会社メディカルサポート	東京都	100～299人
103	株式会社 ハローコーポレーション	東京都	100～299人
104	株式会社メディカルファーマシー	東京都	100～299人
105	サンハルク株式会社	東京都	100～299人
106	株式会社タカラメディカ	東京都	100～299人
107	株式会社メディサポート	東京都	100～299人
108	株式会社東京調剤センター	東京都	100～299人
109	株式会社宮本薬局	東京都	100～299人
110	株式会社グリーンファーマシー	東京都	100～299人
111	株式会社ワイエム	東京都	100～299人
112	株式会社アビック	東京都	100～299人
113	かちどき薬品株式会社	東京都	100～299人
114	株式会社アップルケアネット	東京都	100～299人
115	株式会社うさぎ薬局	東京都	300～499人
116	株式会社グリーンエイト	東京都	300～499人
117	株式会社アイリスファーマ	東京都	300～499人
118	株式会社ニック	東京都	300～499人
119	日本メディカルシステム株式会社	東京都	300～499人
120	徳永薬局株式会社	東京都	300～499人
121	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社	東京都	500～999人
122	株式会社エスシーグループ	東京都	500～999人
123	株式会社メディックス	東京都	500～999人
124	株式会社okホールディングス	東京都	500～999人
125	田辺薬局株式会社	東京都	500～999人
126	アポグリート株式会社	東京都	1,000～2,999人
127	株式会社コクミン	東京都	1,000～2,999人
128	株式会社ユースマイル	東京都	1,000～2,999人
129	株式会社メディカルシステムネットワーク東京事務所	東京都	3,000～4,999人
130	株式会社サンドラッグ	東京都	3,000～4,999人
131	株式会社アイセイ薬局	東京都	3,000～4,999人
132	クオール株式会社	東京都	5,000～9,999人
133	クラフト株式会社	東京都	5,000～9,999人
134	日本調剤株式会社	東京都	5,000～9,999人
135	株式会社アインファーマシーズ	東京都	10,000人以上
136	総合メディカル株式会社	東京都	10,000人以上
137	ウエルシア薬局株式会社	東京都	10,000人以上
138	株式会社大島薬局	神奈川県	50～99人
139	株式会社昭和薬品	神奈川県	50～99人
140	株式会社アサヒファーマシー	神奈川県	50～99人
141	株式会社カワセ	神奈川県	50～99人
142	株式会社イノベーションオブメディカルサービス	神奈川県	100～299人
143	伸和株式会社	神奈川県	100～299人
144	株式会社ヤマグチ薬局	神奈川県	300～499人
145	トライアドジャパン株式会社	神奈川県	300～499人
146	株式会社望星薬局	神奈川県	300～499人
147	株式会社カメガヤ	神奈川県	1,000～2,999人
148	株式会社MCCマネジメント	神奈川県	5,000～9,999人
149	株式会社クリエイトエス・ディー	神奈川県	10,000人以上
150	有限会社中央調剤薬局	新潟県	50～99人
151	有限会社エム・ケイ・メディカル	新潟県	50～99人
152	有限会社ホウライ	新潟県	50～99人
153	有限会社メディネット	新潟県	50～99人
154	有限会社 桂林	新潟県	50～99人
155	有限会社大手薬局	新潟県	50～99人
156	株式会社メディック太陽	新潟県	100～299人
157	しなの薬局	新潟県	100～299人
158	株式会社エヌ・エム・アイ	新潟県	100～299人
159	徳菊薬品株式会社	新潟県	100～299人
160	株式会社共栄堂	新潟県	500～999人
161	チュールリブ調剤株式会社	富山県	300～499人
162	株式会社コウズケヤ	長野県	50人未満
163	吉田薬業株式会社	長野県	50～99人
164	株式会社としや薬局	長野県	500～999人
165	株式会社トータルケアサービス	岐阜県	50～99人
166	たんぼば薬局株式会社	岐阜県	1,000～2,999人
167	アルメリア株式会社	静岡県	50人未満
168	有限会社下田調剤センター	静岡県	50～99人
169	株式会社静岡メディスン	静岡県	50～99人
170	ビーエフシー株式会社	静岡県	50～99人
171	株式会社デー・ビー・シー	静岡県	500～999人
172	株式会社杏林堂薬局	静岡県	5,000～9,999人
173	株式会社スギヤマ薬品	愛知県	3,000～4,999人
174	株式会社メディカル光グループ	三重県	500～999人
175	寛一商店株式会社	京都府	300～499人
176	株式会社サエラ	大阪府	500～999人
177	株式会社キリン堂	大阪府	1,000～2,999人
178	株式会社アルカ	兵庫県	500～999人
179	I&H株式会社	兵庫県	3,000～4,999人
180	株式会社ファーマシィ	広島県	500～999人
181	有限会社フルークロス	高知県	50～99人
182	HYUGA PRIMARY CARE株式会社	福岡県	500～999人

【小売業（薬局以外を含む）・製造業（製薬・創薬）・地方公務員・その他の団体・無回答】

No.	回答企業名	業種	所在地	従業員規模
1	イオンリテール株式会社	小売業（薬局以外を含む）	千葉県	10,000人以上
2	薬日本堂株式会社	小売業（薬局以外を含む）	東京都	100～299人
3	株式会社イトーヨーカ堂	小売業（薬局以外を含む）	東京都	10,000人以上
4	株式会社太田胃散 茨城工場	製造業（製薬・創薬）	茨城県	100～299人
5	白鳥製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	千葉県	100～299人
6	極東製薬工業株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	100～299人
7	株式会社カイノス	製造業（製薬・創薬）	東京都	100～299人
8	株式会社サティス製薬	製造業（製薬・創薬）	東京都	100～299人
9	同仁医薬化工株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	100～299人
10	株式会社ミノファージェン製薬	製造業（製薬・創薬）	東京都	100～299人
11	PDRファーマ株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	300～499人
12	三笠製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	300～499人
13	クオリテックファーマ株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	300～499人
14	わかもと製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	300～499人
15	株式会社シノテスト	製造業（製薬・創薬）	東京都	300～499人
16	佐藤製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	500～999人
17	トーアエイヨー株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	500～999人
18	全業工業株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	500～999人
19	富士製薬工業株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	500～999人
20	ゼリア新薬工業株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	500～999人
21	日本ケミファ株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	500～999人
22	持田製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	1,000～2,999人
23	日本新薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	1,000～2,999人
24	住友ファーマ株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	3,000～4,999人
25	Meiji Seika ファルマ株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	5,000～9,999人
26	塩野義製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	東京都	5,000～9,999人
27	株式会社三和化学研究所	製造業（製薬・創薬）	愛知県	500～999人
28	沢井製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	大阪府	1,000～2,999人
29	富田製薬株式会社	製造業（製薬・創薬）	徳島県	500～999人
30	協和化学工業株式会社	製造業（製薬・創薬）	香川県	500～999人
31	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	地方公務員	茨城県	10,000人以上
32	千葉市病院局	地方公務員	千葉県	500～999人
33	千葉県病院局	地方公務員	千葉県	3,000～4,999人
34	新潟県病院局	地方公務員	新潟県	3,000～4,999人
35	株式会社スリーエス	その他の団体	千葉県	50～99人
36	一般財団法人 千葉県薬剤師会検査センター	その他の団体	千葉県	100～299人
37	株式会社薬ゼミ情報教育センター	その他の団体	東京都	50人未満
38	インクロム株式会社	その他の団体	東京都	50～99人
39	東亜新薬株式会社	その他の団体	東京都	50～99人
40	株式会社マイクロン	その他の団体	東京都	100～299人
41	株式会社リニカル	その他の団体	東京都	300～499人
42	株式会社新日本科学PPD	その他の団体	東京都	500～999人
43	株式会社江東微生物研究所	その他の団体	東京都	1,000～2,999人
44	株式会社EP総合	その他の団体	東京都	1,000～2,999人
45	株式会社アイロムグループ	その他の団体	東京都	1,000～2,999人
46	アルフレッサ株式会社	その他の団体	東京都	5,000～9,999人
47	森久保薬品株式会社	その他の団体	神奈川県	100～299人
48	地方独立行政法人長野県立病院機構	その他の団体	長野県	1,000～2,999人
49	中北薬品株式会社	その他の団体	愛知県	1,000～2,999人
50	株式会社スズケン	その他の団体	愛知県	3,000～4,999人
51	株式会社誠心堂薬局	無回答	千葉県	100～299人
52	株式会社はいやく	無回答	静岡県	100～299人

<調査結果>

サマリー①

・薬剤師の量的な確保状況 「不足している・計」59.1%

- ・病院では「不足している・計」が69.1%と全体より10pt多い、保険薬局・ドラッグストアでは、54.4%であり、半数以上が「不足している・計」と回答している。

・薬剤師の質的な確保状況 「不足している・計」67.1%

- ・病院では「不足している・計」が80.9%と全体より13.8pt多い、保険薬局・ドラッグストアでは、66.5%であった。
- ・大都市圏の病院では、「不足している・計」が89.3%であり、他のエリアよりも高い。

・薬学部卒業生の採用実績・充足状況 「充足していない」58.5%

- ・1社あたりの採用人数(実績)は、「1~9人」が最も多く53.4%。
- ・目標採用人数の充足状況は、業種別にみると、病院では66.0%、保険薬局・ドラッグストアでは57.1%が「充足していない」。

・東邦大学薬学部の学びの特徴に対する企業等からの魅力

「いずれかの項目に『魅力的である』と回答した企業等の割合」97.7%

- ・5つの特徴のいずれかに魅力を感じている回答が、97.7%、いずれの特徴も6割以上が「魅力を感じる」と回答。
- ・最も多かったのは、「本学の他の4学部(医学部、理学部、看護学部、健康科学部)との積極的な連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の実践」で79.5%

・東邦大学薬学部の学生に対する採用意向

「採用意向あり・計」98.9%

- ・「採用対象になる」は86.7%、「おそらく採用対象になる」(5.3%)、「採用対象として検討してもよい」(6.8%)まで含めると、98.9%が「採用意向あり・計」と回答。
- ・業種×従業員規模別にみると、病院では1,000人以上の規模、保険薬局・ドラッグストアでは100人以上の規模で9割以上が「採用対象になる」と回答。
- ・いずれのカテゴリでもTopBoxである「採用対象になる」が最も多く、東邦大学薬学部で学んだ学生への強い採用意向がうかがえる。

サマリー②

・東邦大学薬学部学生を「採用対象になる」と回答した企業の採用意向人数の合計は **767人**

採用意向人数の合計は予定の定員数(245人)を上回る。(問10「1.採用対象になる」×問11「採用意向人数」のクロス集計の合計)

- ・保険薬局・ドラッグストアからの採用意向数が533人と最も多い(構成比69.5%)、次いで、病院からの採用意向が147人(19.2%)、製造業(製薬・創薬)29人(3.8%)と続く。
- ・一都三県からの採用意向は594人で、うち大都市圏域(千葉市、東京23区、さいたま市、横浜市)の採用意向人数は417人(54.4%)、大都市圏域以外での採用意向人数は177人(23.1%)であった。
- ・一都三県以外の23府県からの採用意向は173人で、うち茨城県は29人、新潟県は22人の採用意向があった。
- ・業種×回答企業等所在地域別では、大都市圏域の保険薬局・ドラッグストアの採用意向が304人(44.7%)と最多で、病院では大都市圏が55人(8.0%)、大都市圏域以外が36人(5.3%)であった。

東邦大学薬学部学生「採用対象になる」回答企業等 うち、採用意向人数「0人」「未定・不明」「未回答」回答企業等を除く)			採用意向 人数(合計)	構成比 (%)	1社あたりの 平均人数
全体 (n=211)			767人	100.0	3.6人
業種別	病院	(n= 58)	147人	19.2	2.5人
	保険薬局・ドラッグストア	(n=121)	533人	69.5	4.4人
	小売業(薬局以外を含む)	(n= 3)	17人	2.2	5.7人
	製造業(製薬・創薬)	(n= 17)	29人	3.8	1.7人
	地方公務員	(n= 2)	7人	0.9	3.5人
	その他の団体	(n= 8)	28人	3.7	3.5人
	無回答	(n= 2)	6人	0.8	3.0人
全体 (n=179)			680人	100.0	3.8人
業種 × 従業員 規模別	病院	(n= 58)	147人	21.6	2.5人
	500人未満	(n= 17)	45人	6.6	2.6人
	500~999人	(n= 22)	34人	5.0	1.5人
	1,000人以上	(n= 19)	68人	10.0	3.6人
	保険薬局・ドラッグストア	(n=121)	533人	78.4	4.4人
	50人未満	(n= 15)	33人	4.9	2.2人
	50~99人	(n= 25)	52人	7.6	2.1人
	100~299人	(n= 38)	124人	18.2	3.3人
	300人以上	(n= 43)	324人	47.6	7.5人
全体 (n=211)			767人	100.0	3.6人
回答企業等 所在地域別	一都三県	(n=147)	594人	77.4	4.0人
	大都市圏域	(n= 84)	417人	54.4	5.0人
	大都市圏域以外	(n= 63)	177人	23.1	2.8人
	千葉県	(n= 44)	118人	15.4	2.7人
	東京都	(n= 74)	384人	50.1	5.2人
	埼玉県	(n= 19)	46人	6.0	2.4人
	神奈川県	(n= 10)	46人	6.0	4.6人
	茨城県	(n= 14)	29人	3.8	2.1人
	新潟県	(n= 9)	22人	2.9	2.4人
	その他(21府県)	(n= 41)	122人	15.9	3.0人
	全体	(n=179)	680人	100.0	3.8人
業種 × 回答企業等 所在地域別	病院	(n= 58)	147人	21.6	2.5人
	一都三県	(n= 38)	91人	13.4	2.4人
	大都市圏域	(n= 17)	55人	8.1	3.2人
	大都市圏域以外	(n= 21)	36人	5.3	1.7人
	千葉県	(n= 17)	29人	4.3	1.7人
	東京都	(n= 15)	52人	7.6	3.5人
	埼玉県・神奈川県	(n= 6)	10人	1.5	1.7人
	茨城県・新潟県・その他	(n= 20)	56人	8.2	2.8人
	保険薬局・ドラッグストア	(n=121)	533人	78.4	4.4人
	一都三県	(n= 84)	442人	65.0	5.3人
	大都市圏域	(n= 43)	304人	44.7	7.1人
	大都市圏域以外	(n= 41)	138人	20.3	3.4人
	千葉県	(n= 21)	70人	10.3	3.3人
	東京都	(n= 40)	290人	42.6	7.3人
	埼玉県・神奈川県	(n= 23)	82人	12.1	3.6人
	茨城県・新潟県・その他	(n= 37)	91人	13.4	2.5人

※大都市圏域:東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

回答企業等のプロフィール

- 回答企業等の業種は、「保険薬局・ドラッグストア」が55.5%、「病院」が28.7%。
- 回答企業等の本社・主たる事業所等の所在地は、「東京都」31.7%、「千葉県」21.3%、「埼玉県」8.5%、「神奈川県」6.7%、「茨城県」5.5%、「新潟県」5.2%。
- 業種別にみると、病院は「千葉県」が31.9%、保険薬局・ドラッグストアは「東京都」が29.7%で最も多い。

【問1】貴社・貴団体の主業種をお選びください。(ひとつに○)

		病院	保険薬局・ドラッグストア	小売業 (薬局以外を含む)	製造業 (製薬・創薬)	地方公務員	その他の団体	無回答
全体 (n=328)		28.7	55.5	0.9	8.2	1.2	4.9	0.6
回答企業等 所在地域別	一都三県 (n=233)	29.6	52.8	1.3	9.4	0.9	5.6	0.4
	大都市圏域 (n=132)	21.2	49.2	2.3	16.7	1.5	9.1	-
	大都市圏域以外 (n=101)	40.6	57.4	-	-	-	1.0	1.0
	千葉県 (n=73)	41.1	49.3	1.4	1.4	2.7	2.7	1.4
	東京都 (n=112)	19.6	50.9	1.8	18.8	-	8.9	-
	埼玉県 (n=27)	33.3	66.7	-	-	-	-	-
	神奈川県 (n=21)	38.1	57.1	-	-	-	4.8	-
	茨城県 (n=20)	45.0	45.0	-	5.0	5.0	-	-
	新潟県 (n=17)	-	64.7	-	-	5.9	-	-
	その他(21府県) (n=58)	19.0	67.2	-	6.9	-	5.2	1.7

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

※大都市圏域：東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

【問2】貴社・貴団体の所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。

		北海道	岩手県	宮城県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	山梨県
全体 (n=328)		0.6	0.3	0.6	0.3	1.2	5.5	3.0	1.5	8.5	21.3	31.7	6.7	5.2	0.6	0.3
業種別	病院 (n=94)	-	-	-	-	1.1	8.5	1.1	3.2	9.6	31.9	24.5	8.5	5.3	-	1.1
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	1.1	0.5	1.1	0.5	1.6	4.9	4.9	1.1	9.9	18.1	29.7	6.6	6.0	0.5	-
	小売業(薬局以外を含む) (n=3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-
	製造業(製薬・創薬) (n=27)	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	3.7	63.0	3.7	-	3.7	-
	地方公務員 (n=4)	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	50.0	-	-	25.0	-	-
	その他の団体 (n=16)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	50.0	6.3	-	-	-
	無回答 (n=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
業種 × 従業員 規模別	病院 (n=94)	-	-	-	-	1.1	8.5	1.1	3.2	9.6	31.9	24.5	8.5	5.3	-	1.1
	500人未満 (n=28)	-	-	-	-	-	7.1	-	3.6	7.1	46.4	21.4	7.1	3.6	-	3.6
	500~999人 (n=36)	-	-	-	-	-	16.7	2.8	-	11.1	33.3	19.4	2.8	8.3	-	-
	1,000人以上 (n=30)	-	-	-	-	3.3	-	-	6.7	10.0	16.7	33.3	16.7	3.3	-	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	1.1	0.5	1.1	0.5	1.6	4.9	4.9	1.1	9.9	18.1	29.7	6.6	6.0	0.5	-
	50人未満 (n=34)	-	-	-	-	-	11.8	2.9	-	5.9	50.0	20.6	-	-	-	-
	50~99人 (n=46)	-	-	-	-	2.2	6.5	2.2	4.3	13.0	15.2	21.7	8.7	13.0	-	-
	100~299人 (n=47)	-	2.1	2.1	2.1	-	4.3	10.6	-	12.8	12.8	40.4	4.3	8.5	-	-
	300人以上 (n=55)	3.6	-	1.8	-	3.6	-	3.6	-	7.3	5.5	32.7	10.9	1.8	1.8	-

		長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	京都府	大阪府	兵庫県	広島県	徳島県	香川県	高知県	福岡県	無回答
全体 (n=328)		1.8	0.6	3.4	1.2	0.3	0.6	2.1	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
業種別	病院 (n=94)	2.1	-	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	1.6	1.1	3.8	0.5	0.5	0.5	1.6	1.1	0.5	-	-	0.5	0.5	0.5
	小売業(薬局以外を含む) (n=3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	製造業(製薬・創薬) (n=27)	-	-	-	3.7	-	3.7	7.4	-	-	3.7	3.7	-	-	-
	地方公務員 (n=4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の団体 (n=16)	6.3	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-
	無回答 (n=2)	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
業種 × 従業員 規模別	病院 (n=94)	2.1	-	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	500人未満 (n=28)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	500~999人 (n=36)	2.8	-	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1,000人以上 (n=30)	3.3	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	1.6	1.1	3.8	0.5	0.5	0.5	1.6	1.1	0.5	-	-	0.5	0.5	0.5
	50人未満 (n=34)	2.9	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9
	50~99人 (n=46)	2.2	2.2	6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-
	100~299人 (n=47)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	300人以上 (n=55)	1.8	1.8	5.5	1.8	1.8	1.8	5.5	3.6	1.8	-	-	-	1.8	-

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査<病院・薬局・企業等>

10

- ・ 回答企業等の従業員規模は、「100～299人」が21.0%。「500～999人」が19.2%、「50～99人」が15.2%と続く。
- ・ 業種別にみると、病院は、「500～999人」が38.3%で最多。「1,000～2,999人」が23.4%、「300～499人」が19.1%と続く。保険薬局・ドラッグストアは、「100～299人」が25.8%、「50～99人」が25.3%とほぼ同率で多く、「50人未満」が18.7%と続く。
- ・ 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では、千葉県は「500～999人」が40.0%で最多、東京都「500～999人」が31.8%で最多。保険薬局・ドラッグストアでは、千葉県は「50人未満」が50.0%、次いで「50～99人」が22.2%。東京都は「100～299人」が31.6%、次いで「50～99人」が15.8%。

【問3】 貴社・貴団体の従業員規模として、あてはまるものをお選びください。(ひとつに○)

		50人未満	50～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1,000～2,999人	3,000～4,999人	5,000～9,999人	10,000人以上	無回答
全体 (n=328)		10.7	15.2	21.0	11.9	19.2	11.3	3.4	3.4	4.0	-
業種別	病院 (n= 94)	-	1.1	9.6	19.1	38.3	23.4	-	2.1	6.4	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	18.7	25.3	25.8	8.2	8.8	3.8	3.8	3.3	2.2	-
	小売業(薬局以外を含む) (n= 3)	-	-	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-
	製造業(製薬・創薬) (n= 27)	-	-	25.9	18.5	33.3	11.1	3.7	7.4	-	-
	地方公務員 (n= 4)	-	-	-	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-
	その他の団体 (n= 16)	6.3	18.8	18.8	6.3	6.3	31.3	6.3	6.3	-	-
	無回答 (n= 2)	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
回答企業等所在地域別	一都三県 (n=233)	12.0	13.3	22.3	13.7	16.3	10.7	3.0	3.9	4.7	-
	大都市圏域 (n=132)	9.1	10.6	22.0	12.9	15.9	12.9	3.8	5.3	7.6	-
	大都市圏域以外 (n=101)	15.8	16.8	22.8	14.9	16.8	7.9	2.0	2.0	1.0	-
	千葉県 (n= 73)	24.7	13.7	19.2	11.0	19.2	6.8	4.1	-	1.4	-
	東京都 (n=112)	7.1	9.8	24.1	14.3	17.0	12.5	3.6	5.4	6.3	-
	埼玉県 (n= 27)	7.4	22.2	22.2	18.5	14.8	7.4	-	3.7	3.7	-
	神奈川県 (n= 21)	-	19.0	23.8	14.3	4.8	19.0	-	9.5	9.5	-
	茨城県 (n= 20)	20.0	15.0	15.0	10.0	30.0	5.0	-	-	5.0	-
	新潟県 (n= 17)	-	35.3	29.4	-	23.5	5.9	5.9	-	-	-
	その他(21府県) (n= 58)	5.2	17.2	15.5	8.6	25.9	17.2	5.2	3.4	1.7	-
業種×回答企業等所在地域別	病院 (n= 94)	-	1.1	9.6	19.1	38.3	23.4	-	2.1	6.4	-
	一都三県 (n= 69)	-	1.4	11.6	20.3	34.8	23.2	-	1.4	7.2	-
	大都市圏域 (n= 28)	-	-	10.7	14.3	32.1	28.6	-	-	14.3	-
	大都市圏域以外 (n= 41)	-	2.4	12.2	24.4	36.6	19.5	-	2.4	2.4	-
	千葉県 (n= 30)	-	3.3	13.3	26.7	40.0	16.7	-	-	-	-
	東京都 (n= 22)	-	-	9.1	18.2	31.8	27.3	-	-	13.6	-
	埼玉県・神奈川県 (n= 17)	-	-	11.8	11.8	29.4	29.4	-	5.9	11.8	-
	茨城県・新潟県・その他 (n= 25)	-	-	4.0	16.0	48.0	24.0	-	4.0	4.0	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	18.7	25.3	25.8	8.2	8.8	3.8	3.8	3.3	2.2	-
	一都三県 (n=123)	22.0	22.0	26.8	9.8	4.9	3.3	4.1	4.1	3.3	-
	大都市圏域 (n= 65)	16.9	16.9	26.2	10.8	6.2	6.2	4.6	6.2	6.2	-
	大都市圏域以外 (n= 58)	27.6	27.6	27.6	8.6	3.4	-	3.4	1.7	-	-
	千葉県 (n= 36)	50.0	22.2	19.4	-	2.8	-	5.6	-	-	-
	東京都 (n= 57)	12.3	15.8	31.6	10.5	8.8	5.3	5.3	5.3	5.3	-
	埼玉県・神奈川県 (n= 30)	6.7	33.3	26.7	20.0	-	3.3	-	6.7	3.3	-
	茨城県・新潟県・その他 (n= 59)	11.9	32.2	23.7	5.1	16.9	5.1	3.4	1.7	-	-

※「全体」と比較して

5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域：東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

薬剤師の量的な確保状況

- 回答企業等における薬剤師の量的な確保状況について尋ねたところ、「大幅に不足している」は7.0%、「不足している」(52.1%)と合わせると、59.1%の企業等で薬剤師が量的に不足している(「不足している・計」)。
- 業種別にみると、特に病院では「不足している・計」が69.1%と、全体より10pt多い。保険薬局・ドラッグストアは54.4%で、こちらも半数以上が量的に不足している。
- 業種×従業員規模別にみると、病院は500人～999人の規模で77.8%、1,000人以上の規模で70.0%、保険薬局・ドラッグストアでは300人以上の規模で65.5%が量的に不足している。
- 回答企業等所在地域別にみると、一都三県で「不足している・計」が最も多いのは千葉県で64.4%。また、すべての地域で「不足している・計」は5割以上。
- 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では大都市圏域以外で65.9%が量的に不足しており、特に千葉県では76.7%と最も多い。保険薬局・ドラッグストアはいずれの地域でも半数以上が量的に不足している。
- 薬剤師はいずれの業種・地域でも量的に不足しているが、特に「従業員規模500～999人の病院」および「千葉県の病院」で不足している傾向がある。

【問4】貴社・貴団体における薬剤師の量的な確保状況についてお答えください。(ひとつに○)

		大幅に不足している	不足している	適度に充足している	やや過剰である	過剰である	無回答	不足している・計	不足している・計(N)
全体 (n=328)		7.0	52.1	38.1	2.1	-	0.6	59.1	194社
業種別	病院 (n= 94)	12.8	56.4	30.9	-	-	-	69.1	65社
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	4.4	50.0	40.7	3.8	-	1.1	54.4	99社
	小売業(薬局以外を含む) (n= 3)	33.3	33.3	33.3	-	-	-	66.7	2社
	製造業(製薬・創薬) (n= 27)	-	55.6	44.4	-	-	-	55.6	15社
	地方公務員 (n= 4)	50.0	25.0	25.0	-	-	-	75.0	3社
	その他の団体 (n= 16)	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	8社
	無回答 (n= 2)	-	100.0	-	-	-	-	100.0	2社
業種×従業員規模別	病院 (n= 94)	12.8	56.4	30.9	-	-	-	69.1	65社
	500人未満 (n= 28)	10.7	46.4	42.9	-	-	-	57.1	16社
	500～999人 (n= 36)	13.9	63.9	22.2	-	-	-	77.8	28社
	1,000人以上 (n= 30)	13.3	56.7	30.0	-	-	-	70.0	21社
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	4.4	50.0	40.7	3.8	-	1.1	54.4	99社
	50人未満 (n= 34)	11.8	47.1	32.4	5.9	-	2.9	58.8	20社
	50～99人 (n= 46)	2.2	32.6	58.7	4.3	-	2.2	34.8	16社
回答企業等所在地域別	100～299人 (n= 47)	2.1	55.3	38.3	4.3	-	-	57.4	27社
	300人以上 (n= 55)	3.6	61.8	32.7	1.8	-	-	65.5	36社
	一都三県 (n=233)	6.9	50.2	40.3	2.1	-	0.4	57.1	133社
	大都市圏域 (n=132)	6.8	47.7	41.7	3.8	-	-	54.5	72社
	大都市圏域以外 (n=101)	6.9	53.5	38.6	-	-	1.0	60.4	61社
	千葉県 (n= 73)	11.0	53.4	32.9	1.4	-	1.4	64.4	47社
	東京都 (n=112)	5.4	49.1	42.0	3.6	-	-	54.5	61社
	埼玉県 (n= 27)	-	51.9	48.1	-	-	-	51.9	14社
	神奈川県 (n= 21)	9.5	42.9	47.6	-	-	-	52.4	11社
	茨城県 (n= 20)	15.0	40.0	45.0	-	-	-	55.0	11社
業種×回答企業等所在地域別	新潟県 (n= 17)	5.9	70.6	23.5	-	-	-	76.5	13社
	その他(21府県) (n= 58)	5.2	58.6	31.0	3.4	-	1.7	63.8	37社
	病院 (n= 94)	12.8	56.4	30.9	-	-	-	69.1	65社
	一都三県 (n= 69)	11.6	56.5	31.9	-	-	-	68.1	47社
	大都市圏域 (n= 28)	17.9	53.6	28.6	-	-	-	71.4	20社
	大都市圏域以外 (n= 41)	7.3	58.5	34.1	-	-	-	65.9	27社
	千葉県 (n= 30)	13.3	63.3	23.3	-	-	-	76.7	23社
	東京都 (n= 22)	18.2	50.0	31.8	-	-	-	68.2	15社
	埼玉県・神奈川県 (n= 17)	-	52.9	47.1	-	-	-	52.9	9社
	茨城県・新潟県・その他 (n= 25)	16.0	56.0	28.0	-	-	-	72.0	18社
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	4.4	50.0	40.7	3.8	-	1.1	54.4	99社
	一都三県 (n=123)	4.9	48.0	42.3	4.1	-	0.8	52.8	65社
	大都市圏域 (n= 65)	3.1	47.7	41.5	7.7	-	-	50.8	33社
	大都市圏域以外 (n= 58)	6.9	48.3	43.1	-	-	1.7	55.2	32社
	千葉県 (n= 36)	8.3	47.2	38.9	2.8	-	2.8	55.6	20社
	東京都 (n= 57)	1.8	50.9	40.4	7.0	-	-	52.6	30社
	埼玉県・神奈川県 (n= 30)	6.7	43.3	50.0	-	-	-	50.0	15社
	茨城県・新潟県・その他 (n= 59)	3.4	54.2	37.3	3.4	-	1.7	57.6	34社

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域：東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市
不足している・計 = 大幅に不足している + 不足している
過剰である・計 = やや過剰である + 過剰である

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

薬剤師の質的な確保状況

- 回答企業等における薬剤師の質的な確保状況について尋ねたところ、「大幅に不足している」は4.0%、「不足している」(29.3%)、「やや不足している」(33.8%)と合わせると、67.1%の企業等で薬剤師が質的に不足している(「不足している・計」)。
- 業種別にみると、病院では「不足している・計」が80.9%と、全体より13.8pt多い。また、保険薬局・ドラッグストアは「不足している・計」が66.5%。
- 業種×従業員規模別にみると、病院は500人～999人の規模と1,000人以上の規模で「不足している・計」が83.3%。500人以上の規模で質的に不足している。
- 回答企業等所在地域別にみると、大都市圏域以外で70.3%が質的に不足している。
- 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では大都市圏域で89.3%が質的に不足しており、東京都で90.9%と多い。保険薬局・ドラッグストアでは大都市圏域で66.2%、埼玉県・神奈川県で80.0%が質的に不足している。
- 薬剤師は特に病院において質的に不足している。
- 前項と合わせると、病院においては、薬剤師は量的・質的ともに不足している。

【問5】貴社・貴団体における薬剤師の質的な確保状況についてお答えください。(ひとつに○)

		大幅に不足している	不足している	やや不足している	適度に充足している	充足している	無回答	不足している・計	不足している・計(N)
全体 (n=328)		4.0	29.3	33.8	29.9	2.1	0.9	67.1	220社
業種別	病院 (n=94)	9.6	33.0	38.3	18.1	-	1.1	80.9	76社
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	1.6	31.3	33.5	30.2	2.2	1.1	66.5	121社
	小売業(薬局以外を含む) (n=3)	-	33.3	66.7	-	-	-	100.0	3社
	製造業(製薬・創薬) (n=27)	-	14.8	22.2	55.6	7.4	-	37.0	10社
	地方公務員 (n=4)	25.0	-	25.0	50.0	-	-	50.0	2社
	その他の団体 (n=16)	-	18.8	25.0	50.0	6.3	-	43.8	7社
	無回答 (n=2)	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	1社
業種×従業員規模別	病院 (n=94)	9.6	33.0	38.3	18.1	-	1.1	80.9	76社
	500人未満 (n=28)	3.6	28.6	42.9	25.0	-	-	75.0	21社
	500～999人 (n=36)	13.9	33.3	36.1	16.7	-	-	83.3	30社
	1,000人以上 (n=30)	10.0	36.7	36.7	13.3	-	3.3	83.3	25社
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	1.6	31.3	33.5	30.2	2.2	1.1	66.5	121社
	50人未満 (n=34)	5.9	26.5	26.5	35.3	2.9	2.9	58.8	20社
	50～99人 (n=46)	-	28.3	37.0	26.1	6.5	2.2	65.2	30社
	100～299人 (n=47)	2.1	31.9	36.2	29.8	-	-	70.2	33社
回答企業等所在地域別	300人以上 (n=55)	-	36.4	32.7	30.9	-	-	69.1	38社
	一都三県 (n=233)	3.4	28.3	33.0	31.8	2.6	0.9	64.8	151社
	大都市圏域 (n=132)	3.0	25.0	32.6	34.8	4.5	-	60.6	80社
	大都市圏域以外 (n=101)	4.0	32.7	33.7	27.7	-	2.0	70.3	71社
	千葉県 (n=73)	8.2	28.8	24.7	35.6	1.4	1.4	61.6	45社
	東京都 (n=112)	1.8	25.0	33.0	35.7	4.5	-	59.8	67社
	埼玉県 (n=27)	-	33.3	51.9	14.8	-	-	85.2	23社
	神奈川県 (n=21)	-	38.1	38.1	19.0	-	4.8	76.2	16社
	茨城県 (n=20)	10.0	25.0	35.0	30.0	-	-	70.0	14社
	新潟県 (n=17)	-	47.1	29.4	23.5	-	-	76.5	13社
業種×回答企業等所在地域別	その他(21府県) (n=58)	5.2	29.3	37.9	24.1	1.7	1.7	72.4	42社
	病院 (n=94)	9.6	33.0	38.3	18.1	-	1.1	80.9	76社
	一都三県 (n=69)	8.7	33.3	40.6	15.9	-	1.4	82.6	57社
	大都市圏域 (n=28)	10.7	28.6	50.0	10.7	-	-	89.3	25社
	大都市圏域以外 (n=41)	7.3	36.6	34.1	19.5	-	2.4	78.0	32社
	千葉県 (n=30)	13.3	36.7	26.7	23.3	-	-	76.7	23社
	東京都 (n=22)	9.1	31.8	50.0	9.1	-	-	90.9	20社
	埼玉県・神奈川県 (n=17)	-	29.4	52.9	11.8	-	5.9	82.4	14社
	茨城県・新潟県・その他 (n=25)	12.0	32.0	32.0	24.0	-	-	76.0	19社
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	1.6	31.3	33.5	30.2	2.2	1.1	66.5	121社
	一都三県 (n=123)	1.6	30.1	33.3	31.7	2.4	0.8	65.0	80社
	大都市圏域 (n=65)	1.5	29.2	35.4	29.2	4.6	-	66.2	43社
	大都市圏域以外 (n=58)	1.7	31.0	31.0	34.5	-	1.7	63.8	37社
	千葉県 (n=36)	5.6	25.0	22.2	41.7	2.8	2.8	52.8	19社
	東京都 (n=57)	-	28.1	36.8	31.6	3.5	-	64.9	37社
	埼玉県・神奈川県 (n=30)	-	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	24社
	茨城県・新潟県・その他 (n=59)	1.7	33.9	33.9	27.1	1.7	1.7	69.5	41社

※「全体」と比較して

5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域：東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

不足している・計 = 大幅に不足している + 不足している + やや不足している

充足している・計 = 適度に充足している + 充足している

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査<病院・薬局・企業等>

13

採用意向人数

- 東邦大学薬学部学生の新卒採用意向について「1.採用対象になる」と答えた企業は228社。採用が見込める人数は「2人」が28.1%と最も多く、次いで「1人」が25.4%、「3人」が18.0%。
- 業種別にみると、病院では「1人」が38.1%で最も多く、次いで「2人」が25.4%。保険薬局・ドラッグストアでは「2人」が30.2%で最も多く、次いで「3人」が20.2%。
- 業種×従業員規模別にみると、病院では、500人未満の規模で「2人」が47.1%、500人～999人の規模で「1人」が50.0%、1,000人以上の規模で「1人」と「3人」が25.0%で最も多い。保険薬局・ドラッグストアでは、「2人」が50人未満の規模（53.3%）・50～99人の規模（50.0%）・100～299人の規模（31.7%）で最も多く、300人以上の規模では「5人」が23.4%で最も多い。
- 回答企業等所在地域別にみると、千葉県は「2人」が39.6%で最も多い。東京都も「2人」が25.6%で最も多い。
- 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では、千葉県で「2人」（45.0%）、茨城県・新潟県・その他で「3人」（35.0%）が最も多い。保険薬局・ドラッグストアでは、大都市圏域（24.4%）と大都市圏域以外（30.2%）ともに「2人」が最多で、埼玉県・神奈川県では最多は「3人」（29.2%）。

【問11】問10で、「1.採用対象になる」を選んだ方にお聞きます。何人程度の採用が見込めるか、おおよそで結構ですので人数を下欄ご記入ください。

			0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10人～19人	20人～29人	30人以上(※)	未定・不明	無回答
東邦大学薬学部学生「採用対象になる」回答企業等														
全体 (n=228)			0.4	25.4	28.1	18.0	0.9	11.4	-	6.6	1.3	0.9	3.9	3.1
業種別	病院 (n=63)		-	38.1	25.4	14.3	1.6	7.9	-	4.8	-	-	4.8	3.2
	保険薬局・ドラッグストア (n=129)		0.8	17.8	30.2	20.2	0.8	13.2	-	7.8	2.3	1.6	3.1	2.3
	小売業(薬局以外を含む) (n=3)		-	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	製造業(製薬・創薬) (n=19)		-	42.1	31.6	15.8	-	-	-	-	-	-	5.3	5.3
	地方公務員 (n=3)		-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3
	その他の団体 (n=9)		-	33.3	11.1	11.1	-	22.2	-	11.1	-	-	11.1	-
	無回答 (n=2)		-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
業種×従業員規模別	病院 (n=63)		-	38.1	25.4	14.3	1.6	7.9	-	4.8	-	-	4.8	3.2
	500人未満 (n=17)		-	35.3	47.1	5.9	-	5.9	-	5.9	-	-	-	-
	500～999人 (n=26)		-	50.0	23.1	11.5	-	-	-	-	-	-	11.5	3.8
	1,000人以上 (n=20)		-	25.0	10.0	25.0	5.0	20.0	-	10.0	-	-	-	5.0
	保険薬局・ドラッグストア (n=129)		0.8	17.8	30.2	20.2	0.8	13.2	-	7.8	2.3	1.6	3.1	2.3
	50人未満 (n=15)		-	20.0	53.3	20.0	-	6.7	-	-	-	-	-	-
	50～99人 (n=26)		3.8	23.1	50.0	19.2	-	3.8	-	-	-	-	-	-
回答企業等所在地域別	100～299人 (n=41)		-	24.4	31.7	19.5	2.4	9.8	-	2.4	-	2.4	4.9	2.4
	300人以上 (n=47)		-	8.5	10.6	21.3	-	23.4	-	19.1	6.4	2.1	4.3	4.3
	一都三県 (n=159)		0.6	25.8	27.7	15.1	1.3	11.9	-	7.5	1.9	1.3	3.8	3.1
	大都市圏域 (n=90)		1.1	23.3	25.6	13.3	1.1	15.6	-	10.0	2.2	2.2	2.2	3.3
	大都市圏域以外 (n=69)		-	29.0	30.4	17.4	1.4	7.2	-	4.3	1.4	-	5.8	2.9
	千葉県 (n=48)		-	27.1	39.6	12.5	2.1	2.1	-	8.3	-	-	6.3	2.1
	東京都 (n=78)		1.3	21.8	25.6	14.1	1.3	17.9	-	9.0	2.6	2.6	1.3	2.6
業種×回答企業等所在地域別	埼玉県 (n=21)		-	33.3	23.8	14.3	-	19.0	-	-	-	-	4.8	4.8
	神奈川県 (n=12)		-	33.3	-	33.3	-	-	-	8.3	8.3	-	8.3	8.3
	茨城県 (n=14)		-	35.7	35.7	21.4	-	7.1	-	-	-	-	-	-
	新潟県 (n=10)		-	20.0	30.0	30.0	-	10.0	-	-	-	-	-	10.0
	その他(21府県) (n=45)		-	22.2	26.7	24.4	-	11.1	-	6.7	-	-	6.7	2.2
	病院 (n=63)		-	38.1	25.4	14.3	1.6	7.9	-	4.8	-	-	4.8	3.2
	一都三県 (n=43)		-	44.2	25.6	4.7	2.3	7.0	-	4.7	-	-	7.0	4.7
業種×回答企業等所在地域別	大都市圏域 (n=19)		-	42.1	15.8	10.5	-	10.5	-	10.5	-	-	5.3	5.3
	大都市圏域以外 (n=24)		-	45.8	33.3	-	4.2	4.2	-	-	-	-	8.3	4.2
	千葉県 (n=20)		-	35.0	45.0	-	5.0	-	-	-	-	-	10.0	5.0
	東京都 (n=15)		-	46.7	13.3	13.3	-	13.3	-	13.3	-	-	-	-
	埼玉県・神奈川県 (n=8)		-	62.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	12.5
	茨城県・新潟県・その他 (n=20)		-	25.0	25.0	35.0	-	10.0	-	5.0	-	-	-	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=129)		0.8	17.8	30.2	20.2	0.8	13.2	-	7.8	2.3	1.6	3.1	2.3
	一都三県 (n=88)		1.1	14.8	27.3	21.6	1.1	14.8	-	10.2	3.4	2.3	1.1	2.3
	大都市圏域 (n=45)		2.2	8.9	24.4	17.8	2.2	20.0	-	13.3	4.4	4.4	-	2.2
	大都市圏域以外 (n=43)		-	20.9	30.2	25.6	-	9.3	-	7.0	2.3	-	2.3	2.3
	千葉県 (n=22)		-	18.2	36.4	22.7	-	4.5	-	13.6	-	-	4.5	-
	東京都 (n=42)		2.4	7.1	26.2	16.7	2.4	21.4	-	11.9	4.8	4.8	-	2.4
	埼玉県・神奈川県 (n=24)		-	25.0	20.8	29.2	-	12.5	-	4.2	4.2	-	-	4.2
	茨城県・新潟県・その他 (n=41)		-	24.4	36.6	17.1	-	9.8	-	2.4	-	-	7.3	2.4

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域：東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市
※30人以上回答：『30人』（保険薬局・ドラッグストア／100～299人規模／東京都）1社
：『70人』（保険薬局・ドラッグストア／300～499人規模／東京都）1社

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査＜病院・薬局・企業等＞

<採用実績>2022年の採用状況

- 本年度(2022年4月入社)の薬学部卒業生の新卒採用者数は「1~9人」が53.4%。
- 業種別にみると、病院では「1~9人」が63.8%で最も多く、次いで「採用なし(0人)」が28.7%。保険薬局・ドラッグストアでは「1~9人」が46.2%で最も多く、次いで「採用なし(0人)」が30.8%、「10~49人」が15.9%。
- 業種×従業員規模別にみると、病院では、いずれの規模でも「1~9人」が最も多い。保険薬局・ドラッグストアでは、50人未満の規模では「採用なし(0人)」が64.7%。50~99人の規模(52.2%)、100~299人の規模(74.5%)では「1~9人」、300人以上の規模では「10~49人」が43.6%で最も多い。
- 回答企業等所在地域別にみると、いずれのエリアも「1~9人」が最も多い。東京都(17.0%)、その他の都道府県(19.0%)では、「10~49人」の割合が多い。
- 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では、いずれの地域でも「1~9人」が最も多いが、千葉県で「採用なし(0人)」が43.3%と多い。保険薬局・ドラッグストアでは、千葉県で「採用なし(0人)」(55.6%)が、それ以外の都道府県では「1~9人」が最も多い。

【問6】 貴社・貴団体の本年度2022年の採用状況についておうかがいします。薬学部卒業生の新卒採用者数として、あてはまるものをお選びください。(ひとつに○)

		採用なし (0人)	1~9人	10~49人	50~99人	100人以上	無回答
全体 (n=328)		29.3	53.4	11.9	1.2	3.7	0.6
業種別	病院 (n=94)	28.7	63.8	4.3	2.1	1.1	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	30.8	46.2	15.9	1.1	5.5	0.5
	小売業(薬局以外を含む) (n=3)	33.3	33.3	-	-	33.3	-
	製造業(製薬・創薬) (n=27)	25.9	59.3	14.8	-	-	-
	地方公務員 (n=4)	-	75.0	-	-	-	25.0
	その他の団体 (n=16)	31.3	56.3	12.5	-	-	-
	無回答 (n=2)	-	100.0	-	-	-	-
業種 × 従業員 規模別	病院 (n=94)	28.7	63.8	4.3	2.1	1.1	-
	500人未満 (n=28)	46.4	50.0	3.6	-	-	-
	500~999人 (n=36)	25.0	75.0	-	-	-	-
	1,000人以上 (n=30)	16.7	63.3	10.0	6.7	3.3	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	30.8	46.2	15.9	1.1	5.5	0.5
	50人未満 (n=34)	64.7	32.4	-	-	-	2.9
	50~99人 (n=46)	47.8	52.2	-	-	-	-
	100~299人 (n=47)	14.9	74.5	10.6	-	-	-
	300人以上 (n=55)	9.1	25.5	43.6	3.6	18.2	-
回答企業等 所在地域別	一都三県 (n=233)	31.8	49.8	11.2	1.3	5.2	0.9
	大都市圏域 (n=132)	28.8	45.5	14.4	1.5	8.3	1.5
	大都市圏域以外 (n=101)	35.6	55.4	6.9	1.0	1.0	-
	千葉県 (n=73)	45.2	49.3	2.7	-	1.4	1.4
	東京都 (n=112)	26.8	46.4	17.0	0.9	8.0	0.9
	埼玉県 (n=27)	25.9	59.3	11.1	3.7	-	-
	神奈川県 (n=21)	19.0	57.1	9.5	4.8	9.5	-
	茨城県 (n=20)	50.0	50.0	-	-	-	-
	新潟県 (n=17)	23.5	64.7	11.8	-	-	-
	その他(21府県) (n=58)	13.8	65.5	19.0	1.7	-	-
業種 × 回答企業等 所在地域別	病院 (n=94)	28.7	63.8	4.3	2.1	1.1	-
	一都三県 (n=69)	29.0	62.3	4.3	2.9	1.4	-
	大都市圏域 (n=28)	17.9	67.9	7.1	3.6	3.6	-
	大都市圏域以外 (n=41)	36.6	58.5	2.4	2.4	-	-
	千葉県 (n=30)	43.3	56.7	-	-	-	-
	東京都 (n=22)	9.1	77.3	9.1	-	4.5	-
	埼玉県・神奈川県 (n=17)	29.4	52.9	5.9	11.8	-	-
	茨城県・新潟県・その他 (n=25)	28.0	68.0	4.0	-	-	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)	30.8	46.2	15.9	1.1	5.5	0.5
	一都三県 (n=123)	35.0	41.5	13.8	0.8	8.1	0.8
	大都市圏域 (n=65)	33.8	32.3	16.9	1.5	13.8	1.5
	大都市圏域以外 (n=58)	36.2	51.7	10.3	-	1.7	-
	千葉県 (n=36)	55.6	38.9	5.6	-	-	-
	東京都 (n=57)	29.8	33.3	19.3	1.8	14.0	1.8
	埼玉県・神奈川県 (n=30)	20.0	60.0	13.3	-	6.7	-
	茨城県・新潟県・その他 (n=59)	22.0	55.9	20.3	1.7	-	-

※「全体」と比較して

5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域: 東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査<病院・薬局・企業等>

<採用実績>2022年の目標採用人数の充足状況

- 本年度(2022年4月入社)の薬学部卒業生の新卒採用者数は目標人数を充足したか尋ねたところ、「充足していない」が58.5%。
- 業種別にみると、病院では66.0%、保険薬局・ドラッグストアでは57.1%が「充足していない」。
- 業種×従業員規模別にみると、病院では500~999人の規模と1,000人以上の規模で66.7%が「充足していない」。保険薬局・ドラッグストアでは、50人未満の規模と50~99人の規模で6割以上が「充足していない」。
- 回答企業等所在地域別にみると、大都市圏では「充足した」(47.7%)と「充足していない」(49.2%)が僅差だが、大都市圏域以外では「充足していない」(64.4%)が「充足した」(33.7%)を大きく上回る。千葉県、埼玉県、茨城県、新潟県では「充足していない」が6割以上。
- 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では、大都市圏域で「充足していない」が71.4%。千葉県、東京都、茨城県・新潟県・その他では「充足していない」が7割程度で、「充足した」を大きく上回る。保険薬局・ドラッグストアでは大都市圏域以外で「充足していない」が67.2%。千葉県では「充足していない」が69.4%で、「充足した」(22.2%)を大きく上回る。
- 目標人数は病院で充足しておらず、特に千葉県では病院と保険薬局・ドラッグストアともに充足していない。

【問7】前問で回答いただいた薬学部卒業生の採用人数は、貴社・貴団体の目標人数に対して充足しましたか。(ひとつに○)

			充足した	充足して いない	無回答
全体 (n=328)			38.7	58.5	2.7
業種別	病院 (n= 94)		31.9	66.0	2.1
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)		39.0	57.1	3.8
業種 × 従業員 規模別	病院 (n= 94)		31.9	66.0	2.1
	500人未満 (n= 28)		32.1	64.3	3.6
	500~999人 (n= 36)		30.6	66.7	2.8
	1,000人以上 (n= 30)		33.3	66.7	-
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)		39.0	57.1	3.8
	50人未満 (n= 34)		17.6	67.6	14.7
	50~99人 (n= 46)		34.8	60.9	4.3
	100~299人 (n= 47)		44.7	55.3	-
	300人以上 (n= 55)		50.9	49.1	-
回答企業等 所在地域別	一都三県 (n=233)		41.6	55.8	2.6
	大都市圏域 (n=132)		47.7	49.2	3.0
	大都市圏域以外 (n=101)		33.7	64.4	2.0
	千葉県 (n= 73)		26.0	68.5	5.5
	東京都 (n=112)		50.9	47.3	1.8
	埼玉県 (n= 27)		37.0	63.0	-
	神奈川県 (n= 21)		52.4	47.6	-
	茨城県 (n= 20)		25.0	60.0	15.0
	新潟県 (n= 17)		35.3	64.7	-
	その他(21府県) (n= 58)		32.8	67.2	-
業種 × 回答企業等 所在地域別	病院 (n= 94)		31.9	66.0	2.1
	一都三県 (n= 69)		34.8	63.8	1.4
	大都市圏域 (n= 28)		28.6	71.4	-
	大都市圏域以外 (n= 41)		39.0	58.5	2.4
	千葉県 (n= 30)		26.7	70.0	3.3
	東京都 (n= 22)		31.8	68.2	-
	埼玉県・神奈川県 (n= 17)		52.9	47.1	-
	茨城県・新潟県・その他 (n= 25)		24.0	72.0	4.0
	保険薬局・ドラッグストア (n=182)		39.0	57.1	3.8
	一都三県 (n=123)		40.7	55.3	4.1
	大都市圏域 (n= 65)		49.2	44.6	6.2
	大都市圏域以外 (n= 58)		31.0	67.2	1.7
	千葉県 (n= 36)		22.2	69.4	8.3
	東京都 (n= 57)		52.6	43.9	3.5
	埼玉県・神奈川県 (n= 30)		40.0	60.0	-
	茨城県・新潟県・その他 (n= 59)		35.6	61.0	3.4

※「全体」と比較して 5pt 以上高い

10pt 以上低い

※大都市圏域:東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査<病院・薬局・企業等>

<採用予定>2023年の採用見込み

- 来年度(2023年4月入社)の薬学部卒業生の新卒採用見込みは、「2022年度と同程度」が50.0%と最も多く、「2022年度よりも増える」(25.0%)、「2022年度よりも減る」(5.2%)と合わせると、採用予定のある企業等は80.2%(「採用予定あり・計」)。
- 業種別にみると、病院と保険薬局・ドラッグストアともに「2022年度と同程度」が50.0%。
- 業種×従業員規模別にみると、病院ではいずれの規模でも「2022年度と同程度」が最も多い。保険薬局・ドラッグストアでは100~299人の規模、300人以上の規模で「採用予定あり・計」が94%前後で多い。
- 回答企業等所在地域別にみると、いずれの地域でも「2022年度と同程度」が最も多い。
- 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では、千葉県で「2022年度と同程度」(40.0%)に次いで、「2022年度よりも増える」(36.7%)が多い。保険薬局・ドラッグストアでは、埼玉県・神奈川県で「2022年度と同程度」(43.3%)に次いで、「2022年度よりも増える」(36.7%)が多い。

【問8】 貴社・貴団体の来年度2023年の採用予定についてお伺いします。薬学部卒業生の新卒採用について、現時点でどのように見込まれていますか。(ひとつに○)

			2022年度よりも増える	2022年度と同程度	2022年度よりも減る	採用予定はない	未定・わからない	無回答	採用予定あり・計
全体 (n=328)			25.0	50.0	5.2	4.9	14.6	0.3	80.2
業種別	病院	(n= 94)	24.5	50.0	4.3	4.3	16.0	1.1	78.7
	保険薬局・ドラッグストア	(n=182)	25.8	50.0	5.5	4.9	13.7	-	81.3
	小売業(薬局以外を含む)	(n= 3)	-	100.0	-	-	-	-	100.0
	製造業(製薬・創薬)	(n= 27)	22.2	55.6	7.4	3.7	11.1	-	85.2
	地方公務員	(n= 4)	-	50.0	25.0	-	25.0	-	75.0
	その他の団体	(n= 16)	31.3	31.3	-	12.5	25.0	-	62.5
	無回答	(n= 2)	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0
業種×従業員規模別	病院	(n= 94)	24.5	50.0	4.3	4.3	16.0	1.1	78.7
	500人未満	(n= 28)	28.6	46.4	3.6	10.7	7.1	3.6	78.6
	500~999人	(n= 36)	22.2	52.8	8.3	-	16.7	-	83.3
	1,000人以上	(n= 30)	23.3	50.0	-	3.3	23.3	-	73.3
	保険薬局・ドラッグストア	(n=182)	25.8	50.0	5.5	4.9	13.7	-	81.3
	50人未満	(n= 34)	20.6	32.4	2.9	17.6	26.5	-	55.9
	50~99人	(n= 46)	34.8	32.6	4.3	4.3	23.9	-	71.7
	100~299人	(n= 47)	12.8	70.2	10.6	-	6.4	-	93.6
回答企業等所在地域別	300人以上	(n= 55)	32.7	58.2	3.6	1.8	3.6	-	94.5
	一都三県	(n=233)	24.0	46.4	5.2	6.0	18.0	0.4	75.5
	大都市圏域	(n=132)	22.7	43.2	6.1	7.6	19.7	0.8	72.0
	大都市圏域以外	(n=101)	25.7	50.5	4.0	4.0	15.8	-	80.2
	千葉県	(n= 73)	24.7	46.6	1.4	6.8	19.2	1.4	72.6
	東京都	(n=112)	23.2	45.5	7.1	7.1	17.0	-	75.9
	埼玉県	(n= 27)	25.9	48.1	11.1	-	14.8	-	85.2
	神奈川県	(n= 21)	23.8	47.6	-	4.8	23.8	-	71.4
業種×回答企業等所在地域別	茨城県	(n= 20)	20.0	55.0	10.0	-	15.0	-	85.0
	新潟県	(n= 17)	23.5	52.9	11.8	-	11.8	-	88.2
	その他(21府県)	(n= 58)	31.0	62.1	1.7	3.4	1.7	-	94.8
	病院	(n= 94)	24.5	50.0	4.3	4.3	16.0	1.1	78.7
	一都三県	(n= 69)	24.6	47.8	2.9	4.3	18.8	1.4	75.4
	大都市圏域	(n= 28)	25.0	42.9	3.6	3.6	21.4	3.6	71.4
	大都市圏域以外	(n= 41)	24.4	51.2	2.4	4.9	17.1	-	78.0
	千葉県	(n= 30)	36.7	40.0	-	3.3	16.7	3.3	76.7
	東京都	(n= 22)	22.7	54.5	4.5	4.5	13.6	-	81.8
	埼玉県・神奈川県	(n= 17)	5.9	52.9	5.9	5.9	29.4	-	64.7
	茨城県・新潟県・その他	(n= 25)	24.0	56.0	8.0	4.0	8.0	-	88.0
	保険薬局・ドラッグストア	(n=182)	25.8	50.0	5.5	4.9	13.7	-	81.3
	一都三県	(n=123)	25.2	44.7	6.5	6.5	17.1	-	76.4
	大都市圏域	(n= 65)	23.1	41.5	7.7	9.2	18.5	-	72.3
	大都市圏域以外	(n= 58)	27.6	48.3	5.2	3.4	15.5	-	81.0
	千葉県	(n= 36)	19.4	44.4	2.8	11.1	22.2	-	66.7
	東京都	(n= 57)	22.8	45.6	8.8	7.0	15.8	-	77.2
	埼玉県・神奈川県	(n= 30)	36.7	43.3	6.7	-	13.3	-	86.7
	茨城県・新潟県・その他	(n= 59)	27.1	61.0	3.4	1.7	6.8	-	91.5

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

※大都市圏域:東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査<病院・薬局・企業等>

東邦大学薬学部 of 学びの特徴

- 【魅力を感じる特徴】を新卒採用予定のある企業等に尋ねたところ、結果は下記の通り。
 - 最も多かったのは、「本学の他の4学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の実践」（79.5%）。
 - 次いで、「本学医療センター3病院との連携による高度な実務実習および臨床を強く意識した医療薬学教育の実践」（79.1%）。
 - いずれの特徴も6割以上が「魅力を感じる」と回答。
- 学びの特徴のいずれかの項目に「魅力的である」と回答した企業等の割合は97.7%。

【問9a】東邦大学「薬学部（収容定員増計画中）」の学び・取組みには、以下のような特徴があります。a) 魅力的であると感じる特徴について、番号をお選びください。（いくつでも○）

新卒採用予定企業等		薬学教育・研究の実践の歴史と	薬学教育の実践	連携による高度な実務実習との	本学の他の4学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育の実践	本学の他の4学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育の実践	卒業後の進路の決定に	上心として生じた	薬剤師としてのキャリアアップの	懇切丁寧なサポートの実践	高い国家試験合格率の達成に	無回答	合
全体 (n=263)		63.1	79.1	79.5	60.1	72.6	2.3						97.7
業種別	病院 (n=74)	59.5	83.8	79.7	55.4	71.6	1.4						98.6
	保険薬局・ドラッグストア (n=148)	64.2	79.7	79.7	60.8	74.3	2.7						97.3
	小売業（薬局以外を含む） (n=3)	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	-						100.0
	製造業（製薬・創薬） (n=23)	60.9	60.9	78.3	60.9	60.9	4.3						95.7
	地方公務員 (n=3)	66.7	66.7	100.0	100.0	66.7	-						100.0
	その他の団体 (n=10)	80.0	80.0	70.0	80.0	90.0	-						100.0
	無回答 (n=2)	50.0	100.0	100.0	-	50.0	-						100.0
業種 × 従業員規模別	病院 (n=74)	59.5	83.8	79.7	55.4	71.6	1.4						98.6
	500人未満 (n=22)	63.6	86.4	86.4	63.6	63.6	-						100.0
	500~999人 (n=30)	63.3	93.3	90.0	63.3	76.7	3.3						96.7
	1,000人以上 (n=22)	50.0	68.2	59.1	36.4	72.7	-						100.0
	保険薬局・ドラッグストア (n=148)	64.2	79.7	79.7	60.8	74.3	2.7						97.3
	50人未満 (n=19)	73.7	63.2	68.4	52.6	84.2	10.5						89.5
	50~99人 (n=33)	42.4	75.8	81.8	57.6	45.5	6.1						93.9
回答企業等所在地域別	100~299人 (n=44)	61.4	81.8	79.5	52.3	79.5	-						100.0
	300人以上 (n=52)	76.9	86.5	82.7	73.1	84.6	-						100.0
	一都三県 (n=176)	60.8	81.8	80.1	59.7	68.2	2.3						97.7
	大都市圏域 (n=95)	64.2	78.9	78.9	60.0	73.7	1.1						98.9
	大都市圏域以外 (n=81)	56.8	85.2	81.5	59.3	61.7	3.7						96.3
	千葉県 (n=53)	58.5	88.7	83.0	56.6	71.7	3.8						96.2
	東京都 (n=85)	63.5	76.5	76.5	63.5	69.4	1.2						98.8
業種 × 回答企業等所在地域別	埼玉県 (n=23)	52.2	73.9	82.6	47.8	60.9	4.3						95.7
	神奈川県 (n=15)	66.7	100.0	86.7	66.7	60.0	-						100.0
	茨城県 (n=17)	82.4	64.7	64.7	47.1	70.6	5.9						94.1
	新潟県 (n=15)	60.0	73.3	73.3	66.7	80.0	6.7						93.3
	その他（21府県） (n=55)	65.5	76.4	83.6	63.6	85.5	-						100.0
	病院 (n=74)	59.5	83.8	79.7	55.4	71.6	1.4						98.6
	一都三県 (n=52)	59.6	84.6	76.9	57.7	67.3	1.9						98.1
業種 × 回答企業等所在地域別	大都市圏域 (n=20)	60.0	75.0	75.0	55.0	75.0	-						100.0
	大都市圏域以外 (n=32)	59.4	90.6	78.1	59.4	62.5	3.1						96.9
	千葉県 (n=23)	65.2	91.3	82.6	60.9	73.9	4.3						95.7
	東京都 (n=18)	55.6	72.2	66.7	55.6	61.1	-						100.0
	埼玉県・神奈川県 (n=11)	54.5	90.9	81.8	54.5	63.6	-						100.0
	茨城県・新潟県・その他 (n=22)	59.1	81.8	86.4	50.0	81.8	-						100.0
	保険薬局・ドラッグストア (n=148)	64.2	79.7	79.7	60.8	74.3	2.7						97.3
業種 × 回答企業等所在地域別	一都三県 (n=94)	59.6	84.0	83.0	58.5	70.2	2.1						97.9
	大都市圏域 (n=47)	66.0	87.2	83.0	57.4	78.7	-						100.0
	大都市圏域以外 (n=47)	53.2	80.9	83.0	59.6	61.7	4.3						95.7
	千葉県 (n=24)	45.8	83.3	79.2	50.0	70.8	4.2						95.8
	東京都 (n=44)	68.2	86.4	84.1	65.9	77.3	-						100.0
	埼玉県・神奈川県 (n=26)	57.7	80.8	84.6	53.8	57.7	3.8						96.2
	茨城県・新潟県・その他 (n=54)	72.2	72.2	74.1	64.8	81.5	3.7						96.3

※「全体」と比較して

5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域：東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査＜病院・薬局・企業等＞

・【他の大学にはないと思う特徴】を新卒採用予定のある企業等に尋ねたところ、結果は下記の通り。

- ・最も多かったのは、「本学の他の4学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の実践」（39.9%）。
- ・次いで、「本学医療センター3病院との連携による高度な実務実習および臨床を強く意識した医療薬学教育の実践」（33.5%）。

・ 学びの特徴のいずれかの項目に「他の大学にはない」と回答した企業等の割合は63.5%。

【問9b】東邦大学「薬学部（収容定員増計画中）」の学び・取組みには、以下のような特徴があります。b) 他の大学にはないと思う特徴について、番号をお選びください。（いくつでも○）

新卒採用予定企業等			薬学に根ざした実践の歴史が高い	伝立100年を迎える歴史が高い	創100年を迎える歴史が高い	薬学教育の実践	よび臨床を強く意識した医療	連携による高度な実務実習との	本学医療センター3病院との	育による学部間交流の実践	育プログラムの連携による合同教育	との積極的な連携による合同教育	本学の他の4学部（医学部、理学部、看護学部、健康科学部）との積極的な連携による合同教育	ロ卒上薬	懇向高い	無回答	の割合
全体 (n=263)			20.2	33.5	39.9	24.3	13.7	36.5	63.5								
業種別	病院	(n= 74)	12.2	29.7	32.4	17.6	9.5	48.6	51.4								
	保険薬局・ドラッグストア	(n=148)	23.0	35.8	41.9	25.0	17.6	31.1	68.9								
	小売業（薬局以外を含む）	(n= 3)	-	-	-	33.3	33.3	66.7	33.3								
	製造業（製薬・創薬）	(n= 23)	26.1	34.8	43.5	30.4	4.3	30.4	69.6								
	地方公務員	(n= 3)	33.3	-	66.7	33.3	-	33.3	66.7								
	その他の団体	(n= 10)	20.0	50.0	60.0	40.0	10.0	40.0	60.0								
	無回答	(n= 2)	50.0	-	50.0	50.0	-	-	100.0								
業種 × 従業員 規模別	病院	(n= 74)	12.2	29.7	32.4	17.6	9.5	48.6	51.4								
	500人未満	(n= 22)	9.1	27.3	27.3	9.1	9.1	54.5	45.5								
	500~999人	(n= 30)	13.3	36.7	40.0	33.3	13.3	36.7	63.3								
	1,000人以上	(n= 22)	13.6	22.7	27.3	4.5	4.5	59.1	40.9								
	保険薬局・ドラッグストア	(n=148)	23.0	35.8	41.9	25.0	17.6	31.1	68.9								
	50人未満	(n= 19)	21.1	36.8	42.1	21.1	21.1	42.1	57.9								
	50~99人	(n= 33)	18.2	39.4	21.2	12.1	3.0	45.5	54.5								
回答企業等 所在地域別	100~299人	(n= 44)	22.7	25.0	43.2	29.5	9.1	34.1	65.9								
	300人以上	(n= 52)	26.9	42.3	53.8	30.8	32.7	15.4	84.6								
	一都三県	(n=176)	19.9	33.0	42.6	23.9	15.9	35.8	64.2								
	大都市圏域	(n= 95)	18.9	32.6	48.4	30.5	16.8	30.5	69.5								
	大都市圏域以外	(n= 81)	21.0	33.3	35.8	16.0	14.8	42.0	58.0								
	千葉県	(n= 53)	22.6	30.2	32.1	17.0	15.1	47.2	52.8								
	東京都	(n= 85)	21.2	34.1	55.3	29.4	17.6	24.7	75.3								
業種 × 回答企業等 所在地域別	埼玉県	(n= 23)	13.0	39.1	26.1	13.0	13.0	52.2	47.8								
	神奈川県	(n= 15)	13.3	26.7	33.3	33.3	13.3	33.3	66.7								
	茨城県	(n= 17)	17.6	23.5	47.1	11.8	11.8	23.5	76.5								
	新潟県	(n= 15)	-	13.3	20.0	20.0	-	66.7	33.3								
	その他（21府県）	(n= 55)	27.3	43.6	34.5	30.9	10.9	34.5	65.5								
	病院	(n= 74)	12.2	29.7	32.4	17.6	9.5	48.6	51.4								
	一都三県	(n= 52)	11.5	26.9	26.9	15.4	9.6	55.8	44.2								
	大都市圏域	(n= 20)	20.0	25.0	40.0	20.0	15.0	50.0	50.0								
	大都市圏域以外	(n= 32)	6.3	28.1	18.8	12.5	6.3	59.4	40.6								
	千葉県	(n= 23)	13.0	34.8	26.1	21.7	13.0	52.2	47.8								
	東京都	(n= 18)	16.7	16.7	38.9	16.7	11.1	50.0	50.0								
	埼玉県・神奈川県	(n= 11)	-	27.3	9.1	-	-	72.7	27.3								
	茨城県・新潟県・その他	(n= 22)	13.6	36.4	45.5	22.7	9.1	31.8	68.2								
	保険薬局・ドラッグストア	(n=148)	23.0	35.8	41.9	25.0	17.6	31.1	68.9								
業種 × 回答企業等 所在地域別	一都三県	(n= 94)	25.5	37.2	51.1	25.5	22.3	24.5	75.5								
	大都市圏域	(n= 47)	19.1	36.2	55.3	31.9	23.4	19.1	80.9								
	大都市圏域以外	(n= 47)	31.9	38.3	46.8	19.1	21.3	29.8	70.2								
	千葉県	(n= 24)	37.5	33.3	41.7	16.7	20.8	33.3	66.7								
	東京都	(n= 44)	22.7	38.6	63.6	27.3	25.0	15.9	84.1								
	埼玉県・神奈川県	(n= 26)	19.2	38.5	38.5	30.8	19.2	30.8	69.2								
	茨城県・新潟県・その他	(n= 54)	18.5	33.3	25.9	24.1	9.3	42.6	57.4								

※「全体」と比較して

5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域：東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査＜病院・薬局・企業等＞

東邦大学薬学部学生の新卒採用意向

- 東邦大学 薬学部で学んだ学生に対する採用意向を新卒採用予定のある企業等に尋ねたところ、TopBoxである「採用対象になる」は86.7%、「おそらく採用対象になる」(5.3%)、「採用対象として検討してもよい」(6.8%)まで含めると、98.9%が採用意向あり(採用意向あり・計)。
- 業種別にみると、病院では85.1%、保険薬局・ドラッグストアでは87.2%が「採用対象になる」と回答。
- 業種×従業員規模別にみると、病院では1,000人以上の規模、保険薬局・ドラッグストアでは100人以上の規模で9割以上が「採用対象になる」と回答。
- 回答企業等所在地域別にみると、大都市圏域では94.7%が「採用対象になる」と回答。千葉県・東京都・埼玉県で「採用対象になる」が9割以上。
- 業種×回答企業等所在地域別にみると、病院では、千葉県・東京都・茨城県・新潟県・その他で8割以上、保険薬局・ドラッグストアでは千葉県・東京都・埼玉県・神奈川県で9割以上が「採用対象になる」と回答。
- いずれのカテゴリでもTopBoxである「採用対象になる」が最も多く、東邦大学薬学部で学んだ学生への強い採用意向がうかがえる。

【問10】東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えですか。貴社・貴団体のお考えにもっとも近いものをお選びください。(ひとつに○)

新卒採用予定企業等			採用対象 になる	おそらく採用 対象になる	採用対象 として検討 してもよい	あまり採用 対象には ならない	採用対象 にはなら ない	無回答	採用意向 あり・計
全体 (n=263)			86.7	5.3	6.8	-	0.8	0.4	98.9
業種別	病院	(n= 74)	85.1	8.1	6.8	-	-	-	100.0
	保険薬局・ドラッグストア	(n=148)	87.2	4.1	6.8	-	1.4	0.7	98.0
	小売業(薬局以外を含む)	(n= 3)	100.0	-	-	-	-	-	100.0
	製造業(製薬・創薬)	(n= 23)	82.6	8.7	8.7	-	-	-	100.0
	地方公務員	(n= 3)	100.0	-	-	-	-	-	100.0
	その他の団体	(n= 10)	90.0	-	10.0	-	-	-	100.0
	無回答	(n= 2)	100.0	-	-	-	-	-	100.0
業種 × 従業員 規模別	病院	(n= 74)	85.1	8.1	6.8	-	-	-	100.0
	500人未満	(n= 22)	77.3	9.1	13.6	-	-	-	100.0
	500~999人	(n= 30)	86.7	10.0	3.3	-	-	-	100.0
	1,000人以上	(n= 22)	90.9	4.5	4.5	-	-	-	100.0
	保険薬局・ドラッグストア	(n=148)	87.2	4.1	6.8	-	1.4	0.7	98.0
	50人未満	(n= 19)	78.9	-	10.5	-	5.3	5.3	89.5
	50~99人	(n= 33)	78.8	12.1	6.1	-	3.0	-	97.0
回答企業等 所在地域別	100~299人	(n= 44)	93.2	-	6.8	-	-	-	100.0
	300人以上	(n= 52)	90.4	3.8	5.8	-	-	-	100.0
	一都三県	(n=176)	90.3	4.0	5.1	-	0.6	-	99.4
	大都市圏域	(n= 95)	94.7	3.2	2.1	-	-	-	100.0
	大都市圏域以外	(n= 81)	85.2	4.9	8.6	-	1.2	-	98.8
	千葉県	(n= 53)	90.6	3.8	3.8	-	1.9	-	98.1
	東京都	(n= 85)	91.8	3.5	4.7	-	-	-	100.0
業種 × 回答企業等 所在地域別	埼玉県	(n= 23)	91.3	4.3	4.3	-	-	-	100.0
	神奈川県	(n= 15)	80.0	6.7	13.3	-	-	-	100.0
	茨城県	(n= 17)	82.4	5.9	5.9	-	-	5.9	94.1
	新潟県	(n= 15)	66.7	13.3	20.0	-	-	-	100.0
	その他(21府県)	(n= 55)	81.8	7.3	9.1	-	1.8	-	98.2
	病院	(n= 74)	85.1	8.1	6.8	-	-	-	100.0
	一都三県	(n= 52)	82.7	7.7	9.6	-	-	-	100.0
業種 × 回答企業等 所在地域別	大都市圏域	(n= 20)	95.0	-	5.0	-	-	-	100.0
	大都市圏域以外	(n= 32)	75.0	12.5	12.5	-	-	-	100.0
	千葉県	(n= 23)	87.0	8.7	4.3	-	-	-	100.0
	東京都	(n= 18)	83.3	5.6	11.1	-	-	-	100.0
	埼玉県・神奈川県	(n= 11)	72.7	9.1	18.2	-	-	-	100.0
	茨城県・新潟県・その他	(n= 22)	90.9	9.1	-	-	-	-	100.0
	保険薬局・ドラッグストア	(n=148)	87.2	4.1	6.8	-	1.4	0.7	98.0
業種 × 回答企業等 所在地域別	一都三県	(n= 94)	93.6	2.1	3.2	-	1.1	-	98.9
	大都市圏域	(n= 47)	95.7	4.3	-	-	-	-	100.0
	大都市圏域以外	(n= 47)	91.5	-	6.4	-	2.1	-	97.9
	千葉県	(n= 24)	91.7	-	4.2	-	4.2	-	95.8
	東京都	(n= 44)	95.5	2.3	2.3	-	-	-	100.0
	埼玉県・神奈川県	(n= 26)	92.3	3.8	3.8	-	-	-	100.0
	茨城県・新潟県・その他	(n= 54)	75.9	7.4	13.0	-	1.9	1.9	96.3

※「全体」と比較して

5pt 以上高い
10pt 以上低い

※大都市圏域:東京23区・千葉市・さいたま市・横浜市

※回答数の85%を病院、保険薬局・ドラッグストアが占めるため、クロス集計はこの2業態について行い、主要な就職先の傾向を把握するものとする

東邦大学薬学部定員増人材需要調査<病院・薬局・企業等>

20

<調查票・呈示資料>

依頼状

2023 年 1 月 吉日

人事・採用ご担当者様

東邦大学
学長 高松 研
(公印省略)

「東邦大学 薬学部(収容定員増計画中)」構想に関するアンケート」ご協力のお願い

拝啓 初春の候、貴社・貴団体におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃は本学の教育研究に対し、ご理解並びにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび東邦大学では、2024 年 4 月に薬学部の収容定員の増員を計画しております。

つきましては、この計画の内容を一層充実したものとするため、貴社・貴団体の人事・採用の責任者、担当者の皆様のご意向をお聞かせいただきたく、調査へのご協力をお願いさせていただいた次第でございます。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、同封しております「薬学部(収容定員増計画中)」の概要をご高覧の上、アンケートへのご回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査で得られた情報は、薬学部の収容定員の増員計画に係る統計資料としてのみ活用いたします。本調査の主旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、今後の貴社・貴団体のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

記

■調査内容 貴社・貴団体の概要について、収容定員増計画中の薬学部の新規卒業者の採用意向

■調査対象 本学への求人実績がある他、医薬・医療に関連する企業・団体の人事・採用の責任者、担当者の皆様

■実施方法 アンケート用紙とともに、返送用封筒(料金受取人払)を同封し、お送りしております。ご回答後は、返送用封筒にアンケート用紙を入れ、ご返送願います。

■アンケート返送期限

誠に勝手ながら、2023 年 1 月 27 日(金)を目途にご投函くださいますようお願いいたします。

※このアンケート調査は、所定の契約を結んだ上、下記調査会社に業務委託しております。

■調査内容・記入方法に関するお問合せは、下記宛にお願いいたします。

【調査委託会社】株式会社アンド・ディ <社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 正会員 No.20143>

調査担当:羽生田(はにゅうだ)、信時(のぶとき)

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-5 ビュロー西新橋 2F

メール:post2@and-d.co.jp / 電話:0120-09-8401 受付時間:月～金(祝日を除く) 10:00～17:00

■本件に関するお問合せ

東邦大学習志野学事学部学部長室 担当:小菅、徳永

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

メール:dean.narashino@jim.toho-u.ac.jp / 電話:047-472-1205(直通)

*お電話の受付時間:月～金(祝日を除く) 9:00～17:00

以 上

調査票

SEQ NO 印字

東邦大学 薬学部(収容定員増計画中) に関するアンケート

東邦大学では現在、変化する社会において求められる人材育成ニーズに対応するため、2024 年 4 月より薬学部の収容定員を増員することを計画しています。

皆様から回答いただいた内容は、文部科学省への学部設置申請資料として提出するとともに、本学の教育をより充実させるための資料とさせていただきます。皆様から得られた情報は、学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

業務ご多用の折、大変お手数ではございますが、本調査の主旨をご理解の上、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

誠に勝手ながら、下記期日までにご回答いただきますようお願い致します。

2023年1月27日(金) 当日消印有効

※同封の返信用封筒(切手不要)にてご投函ください。

はじめに貴社についてお聞きます。

問 1. 貴社・貴団体の主業種をお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| 1. 病院 | 2. 保険薬局・ドラッグストア | 3. 小売業(薬局以外を含む) |
| 4. 製造業(製薬・創薬) | 5. 製造業(食品・飲料) | 6. 国家公務員 |
| 7. 地方公務員 | 8. その他の団体 | |

問 2. 貴社・貴団体の所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。

都 道 府 県

問 3. 貴社・貴団体の従業員規模として、あてはまるものをお選びください。(ひとつに○)

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 50 人未満 | 2. 50～99 人 | 3. 100～299 人 |
| 4. 300～499 人 | 5. 500～999 人 | 6. 1,000～2,999 人 |
| 7. 3,000～4,999 人 | 8. 5,000～9,999 人 | 9. 10,000 人以上 |

問 4. 貴社・貴団体における薬剤師の量的な確保状況についてお答えください。(ひとつに○)

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 大幅に不足している | 2. 不足している | 3. 適度に充足している |
| 4. やや過剰である | 5. 過剰である | |

問 5. 貴社・貴団体における薬剤師の質的な確保状況についてお答えください。(ひとつに○)

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| 1. 大幅に不足している | 2. 不足している | 3. やや不足している |
| 4. 適度に充足している | 5. 充足している | |

問 6. 貴社・貴団体の本年度 2022 年の採用状況についておうかがいします。

薬学部卒業生の新卒採用者数として、あてはまるものをお選びください。(ひとつに○)

1. 採用なし(0 人) 2. 1～9 人 3. 10～49 人
4. 50～99 人 5. 100 人以上

問 7. 前問で回答いただいた薬学部卒業生の採用人数は、貴社・貴団体の目標人数に対して充足しましたか。
(ひとつに○)

1. 充足した 2. 充足していない

問 8. 貴社・貴団体の来年度 2023 年の採用予定についてお伺いします。

薬学部卒業生の新卒採用について、現時点でどのように見込まれていますか。(ひとつに○)

1. 2022 年度よりも増える 2. 2022 年度と同程度 3. 2022 年度よりも減る
4. 採用予定はない 5. 未定・わからない

問 8. で「4. 採用予定はない」を選んだ方は、ここで終了になります。ご協力ありがとうございました。

ここからは、東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」についてお聞きします。
別途お配りしたリーフレットをよくお読みいただき、お答えください。

問 9. 東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」の学び・取り組みには、以下のような特徴があります。

- a) 魅力的であると感じる特徴について、番号をお選びください。(いくつでも○)
b) 他の大学にはないと思う特徴について、番号をお選びください。(いくつでも○)

		魅力的 である (いくつでも○) ↓	他大学 にはない (いくつでも○) ↓
1	創立100年を迎える歴史と伝統に根ざした充実度の高い薬学教育・研究の 実践	1	1
2	本学医療センター3病院との連携による高度な実務実習および臨床を強く 意識した医療薬学教育の実践	2	2
3	本学の他の4学部(医学部、理学部、看護学部、健康科学部)との積極的な 連携による合同教育プログラムおよび全学共通教育による学部間交流の 実践	3	3
4	薬剤師として生涯にわたる向上心を育むことを目的とした卒後研修制度に よる卒後フォローアップの実践	4	4
5	高い国家試験合格率の達成に向けた個々の学生に合わせた懇切丁寧な サポートの実践	5	5

【参考】周辺エリアで同分野の大学

大学名	学部名
東邦大学	薬学部
日本大学	薬学部
北里大学	薬学部
昭和大学	薬学部
帝京大学	薬学部

他大学の名称は、各大学ホームページの掲載情報です(2022年11月時点)

東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」の新卒採用についてお聞きます。

問 10. 東邦大学「薬学部(収容定員増計画中)」で学んだ学生の新卒採用について、どのようにお考えですか。

貴社・貴団体のお考えにもっとも近いものをお選びください。(ひとつに○)

1. 採用対象になる 2. おそらく採用対象になる 3. 採用対象として検討してもよい
4. あまり採用対象にはならない 5. 採用対象にはならない

問 11. 問 9 で、「1.採用対象になる」「2.おそらく採用対象になる」「3.採用対象として検討してもよい」を選んだ方にお聞きます。

何人程度の採用が見込めるか、おおよそで結構ですので人数を下欄ご記入ください。

東邦大学「薬学部」卒業者の採用見込み数:

人程度

アンケートはこれで終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

呈示資料



薬学部 薬学科

2024年4月

入学定員増構想中

220名

➡

245名

記載の内容は現在構想中の予定数であり、変更される可能性があります。





100th Anniversary
東邦大学は2025年に100周年を迎えます。

東邦大学は、「自然・生命・人間」を建学の精神とする自然科学系総合大学です。大森キャンパスに医学部、看護学部、習志野キャンパスに薬学部、理学部、健康科学部を置いています。これら5学部では、「豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を持った人材の育成」を教育理念として、自然、生命、人間の3要素をバランスよく学修します。このような教育体制により、専攻分野に精通するだけでなく、幅広い視野を持ち、人間的にも豊かな深い自然・生命科学の専門的職業人、医療人を輩出しています。





東邦大学

いのち 生命の科学で未来をつなぐ



東邦大学の薬学部で 「養成する人材像」

心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的としています。

実習を支える施設

プレ実習実習に対応した薬学部C館

実際の薬局や病院の施設・設備を忠実に再現し、地域医療から先端医療現場に対応。

薬学部C館には、調剤薬局のカウンターを再現した模擬薬局や、注射調剤実習室、入院患者さんへの対応を学ぶ模擬病室などが設置されており、学生の技能のレベルアップを支えています。

これらのハード面の充実だけでなく、患者役としてプレ実習実習に参加する模擬患者*さんの協力により、対人カウンター・ベッドサイドでの医療コミュニケーション実習なども経験でき、薬剤師の役割を総合的に学ぶことができます。



*模擬患者…学生が患者さんとのコミュニケーションを学ぶために、患者さんの役割を演じる方

主な施設・設備

モラル薬局/待合室・投薬説明カウンター/モラル病室/注射調剤実習室/新製・新製調剤実習室/西薬調剤実習室/患者シミュレータ

●高い合格率

5年制薬学部の学生にとって、薬剤師をめざす場合も研究職や医療職をめざす場合も、薬剤師国家資格の取得は、大きな目標の一つです。本学は毎年、高い合格率を維持しています。



薬剤師国家試験合格率(第104回～第107回)

	第104回	第105回	第106回	第107回
東邦大学	94.6%	93.0%	93.9%	92.2%
全国平均	85.5%	84.8%	85.6%	85.2%

※薬学関係者データ

■学部・学科入学定員

2024年4月 入学定員増増増中

薬学部 薬学科

入学定員 **220名** → **245名**

記載の内申は現在増員中の予定数であり、変更される可能性があります。

統合する大学・学部

日本大学薬学部/北里大学薬学部/昭和大学薬学部/市京大学薬学部

医学部

入学定員 **110名**

理学部

入学定員 **470名**

看護学部

入学定員 **102名**

健康科学部

入学定員 **60名**

■薬学部学費(2023年度)

1 年次学納金(年額)		入学時	入学後
区分	入学金	400,000円	—
	授業料	560,000円	560,000円
	教育充実費	355,000円	355,000円
合計		1,315,000円	915,000円

2 年次以降学納金(年額)	2,050,000円
---------------	------------

●その他

学納金収支	学生生活費(年間)	奨学金(年間)	奨学金(年間)
	6,840円	奨学金(奨学金)費	40,000円※1
合計	45,000円	同窓会費	10,000円※2
	101,840円		

※1: 薬学部の奨学金については2年次以降、20,000円ずつ給付します。

※2: 薬学部の同窓会費については2年次から5年次まで10,000円ずつ給付します。

入学時の教育充実費 減免制度(本学独自)	対象学部	募集人数
	薬学部	約50名
内容	一般入試、共通テスト利用入試、一般入試(共通テスト利用)合格者のうち、給付減免の適用対象者は、教育充実費の全額または一部を免除。	

<3つの付属病院>

医学部・看護学部がある大森キャンパスに隣接し、特定機能病院でもある大森病院。東京・浜松に近く、地域の中枢病院である大森病院。千葉県にあり、地域住民の医療・健康を支えプライマリ・ケアを実現する社会病院。それぞれが首都圏有数の施設・設備を誇り、地域医療の要として、そして実習実習の場として重要な役割を担っています。



東邦大学医療センター 大森病院
(東京都大田区)



東邦大学医療センター 大森病院
(東京都品川区)



東邦大学医療センター 大森病院
(千葉県千葉市)



東邦大学 習志野キャンパス [薬学部] [理学部] [健康科学部]

〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1

■ JR 総武線「津田沼駅」北口4番・5番バス乗り場から「三山車庫」「京成バス習志野出張所」「二宮神社」「八千代台駅」「日大実習」行きのいずれかに乗車し(乗車時間約10分)、「東邦大学前」下車後すぐ。

※習志野キャンパスから JR 津田沼駅方面へお帰りの際は、バス停「大久保十字路」が便利です。

■ 京成本線「京成大久保駅」から、徒歩約10分。

JR「津田沼駅」……路線バス約10分……

▲ 新京成電鉄「新津田沼」から徒歩約3分

京成本線「京成大久保駅」……徒歩約10分……

習志野
キャンパス

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	タカマツ ケン 高 松 研 ＜平成30年7月＞		医学博士		東邦大学 学長 (平30.7)